

大阪産業技術研究所森之宮センター

給排水・空調配管改修工事

特記仕様書

委託期間	契約締結日 ～ 令和11年3月31日
------	--------------------

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所

特記仕様書

1. 業務名称 給排水・空調配管改修工事

2. 施設概要

- (1) 施設名称 地方独立行政法人大阪産業技術研究所森之宮センター
- (2) 施設位置 大阪市城東区森之宮 1 丁目 6 番 5 0 号
- (3) 施設用途 研究所

3. 適用

- (1) 本特記仕様書は、地方独立行政法人大阪産業技術研究所森之宮センター給排水・空調配管改修工事業務に適用するものとする。
- (2) 本仕様書及び設計図面に基づくほか、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」各最新版に基づき施工しなければならない。
- (3) 本契約において、工事を下請負に付する場合には、下請負人が大阪府及び大阪市競争入札参加停止措置要綱に基づく競争入札参加停止期間中でないこと。
- (4) 「公共建築工事共通費積算基準」による共通費の算定について 本工事の共通仮設費率及び現場管理費率の算定時に用いる工期（T）については 29 ヶ月とする。
なお、落札決定や契約締結が予定より遅くなり、実際の工期が上記算定時に用いる工期（T）を下回った場合でも、その事を理由とした工期延期（変更）及び請負代金額の変更は行わない。
- (5) 本工事の施工上必要な書類は、「工事請負契約に関する提出書類一覧表」（大阪市都市整備局）による。
- (6) 請負金額 500 万円以上のものは工事实績情報登録を行うこと。

4. 業務与条件

(1) 改修箇所の面積

- a. 研究本棟 10,047.81 m²
- b. 管理棟 2,024.25 m²
- c. 応用研究棟 1,676.00 m²

(2) 業務内容

本業務は、地方独立行政法人大阪産業技術研究所森之宮センターにおける給排水・空調配管の改修工事を行うものである。項目については、設計書等の資料のもとそれぞれの検討を行い、最高の機能を発揮するよう工事するものとする。

- a. 研究本棟、管理棟並びに応用研究棟における給排水管の更新及び更生
- b. 研究本棟、管理棟における空調配管の更新及び更生
- c. 研究本棟におけるソーラー温水系統の機器及び配管の撤去

5. 契約の特則

- (1) 各会計年度における支払限度額及び出来高予定額については、当初契約金額から次の比率により算出した額とする。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度
支払限度額	29%	46%	25%
出来高予定額	29%	46%	25%

ただし、予算の都合や協議により変更することがある。

- (2) 前払金は、各年度出来高予定額の40%以内とする。

6. 履行報告

- (1) 本契約工事における履行報告については、「工事請負契約に関する提出書類一覧表」の工事履行報告書を工事契約締結後21日以内に予定工程と工事進捗予定(金額ベース)を記載したものを提出しなければならない。(契約変更等により工期に変更を生じた場合も同様)
- また、工期が終了するまでの間、毎月15日までに実施工程に進捗状況を記載したものを提出しなければならない。
- (2) 契約変更時に予定工程の変更が必要な場合は、工事履行報告書にある予定工程欄に変更前後の工程が分かるよう変更後の工程(金額ベースの変更含む)を記載し、すみやかに提出しなければならない。
- (3) 工事履行報告書提出に際して、発注者が報告書の内容確認のために、数量や工事工程写真など工事進捗状況を確認するための書類の提示(提出含む)を求めた場合受注者は速やかに必要書類の提示を行わなければならない。

7. 主任技術者・監理技術者の配置

- (1) 建設業法及び建設業法施行規則の規定による資格を有する者であること。
- (2) 本工事契約において、現場代理人については直接的な雇用関係にある自社社員であり、他の工事の現場代理人及び主任技術者等として従事していないこと(関連工事における随意契約を除く)。
- また、営業所に置かれる経營業務の管理責任者、営業所に置く専任の技術者でないこと。
- (3) 上記を確認するため、現場代理人届書に、現場代理人が請負者に所属することを証する書面の届出書を添付し、契約締結後21日以内に提出すること。
- (4) 雇用が確認できない場合及び疑義がある場合は、契約解除、入札参加停止措置等の処置を行うものとする。
- (5) 監理技術者の兼務を認めない。

8. 検査

技術検査は、大阪市請負工事技術検査要領、大阪市営繕工事技術検査基準に基づき、次に掲げるときに行う。

- (1) 部分払い（既済）部分及び一部完成（完済）部分、完成部分の検査時
 (2) 次に掲げる中間技術検査の対象工事の施工中

中間技術検査の対象工事

- ① 予定価格 1 億円以上かつ工期が 6 ヶ月以上の建築工事（工事種目 02A）、電気工事（同 04）、給排水衛生冷暖房工事（同 05）で、新築及び増築に係る工事。
 ② 「工事請負契約に係る低入札価格調査制度運用要領」に基づく調査の結果、適合した履行がされると認められ契約締結をした工事

中間技術検査の実施は次による。

・実施回数

実施回数は、原則として工事期間が 1 年以上の工事は 2 回、1 年未満の工事は 1 回とする。なお、実施回数を変更する場合は、監督職員より指示するものとする。

・実施段階

出来形及び品質確認のうえで重要な時期で、監督職員が指示する施工段階
 ただし、対象工事に該当するか否かにかかわらず、発注者が施工管理上重要と判断した場合や、工事請負契約書に基づく部分使用が大規模に実施される場合には、監督職員の指示により、中間技術検査を追加実施する。

9. 付保する保険

- (1) 受注者は、下表の目的を満たす保険を付保しなければならない。

目的	保険の種類
引渡し前の工事目的物、検査済材料、支給材料又は貸与品に生じた損害その他工事の施工に生じた損害を補填する保険	建設工事保険 組立保険 管理物件担保特約(注) 1
工事作業員・作業員の身体傷害を補填する保険	法定外労災保険
工事の施工について第三者に与えた損害を補填する保険	賠償責任保険

民間保険会社、建設業団体の組合等、保険の契約相手は問いません。

① 建設工事保険・組立保険

- ア 保険対象は、契約対象となっているすべての工事種目とする。
 イ 被保険者は、発注者、受注者及びその全下請負人とする。
 ウ 保険金額は、請負代金額(支給材料又は貸与品が有ればその額を加算)とする。
 ただし、基礎工事、屋外工事、撤去工事や埋設物は除くことができる。
 エ 保険期間は、現場着手日から引渡し予定日（工事完成期日の 1 カ月経過した日）とする。ただし、引渡し日が保険期間を超える場合は、延長すること。
 (注) 1 部分払金の支払いにより所有権が発注者に移転するため、引渡し完了まで「管理物件担保特約」を付加すること。

② 法定外労災保険

- ア 被保険者は、受注者及びその全下請負人とする。

イ 保険期間は、現場着手日から引渡し予定日（工事完成期日の1カ月経過した日）とする。ただし、引渡し日が保険期間を超える場合は、延長すること。

③ 賠償責任保険

ア 保険対象は、契約対象となっているすべての工事種目とする。

イ 被保険者は、受注者及びその全下請負人とする。

ウ 保険金額は、請負代金額を基に受注者にて確定する。

エ 保険期間は、現場着手日から引渡し予定日（工事完成期日の1カ月経過した日）とする。ただし、引渡し日が保険期間を超える場合は、延長すること。

④ 保険証券の提示について

保険契約を締結したとき、又は変更したときは、保険証券の写しを提出することにより、保険証券の提示があったものとする。

ただし、年間総括契約等（(注)2）をしている場合は、当該工事が総括契約に含まれている旨の保険会社発行の証明書を提出すること。

（工事請負契約に関する提出書類一覧表・様式8）

（注）2 年間総括契約等について

年間総括契約等において、保険期間の終期が引渡し日（工事完成期日経過後1カ月後）とならない場合については、終期までに保険契約更新を行い、保険会社発行の証明書をその都度提出すること。

⑤ 受注者が任意に工事目的物及び工事材料等を保険等に付した場合は、発注者に通知しなければならない。この場合、保険証券の写し、または保険会社発行の証明書を提出することにより、通知があったものとする。

（工事請負契約に関する提出書類一覧表・様式8）

⑥ 工事請負契約を変更契約した場合の対応

工事請負変更契約を締結した場合は、直ちに保険会社と協議の上、必要に応じ加入契約の変更の処置を講じること。加入契約を変更した場合は、上記「保険証券の提示について」のとおり取り扱うこと。

（工事請負契約に関する提出書類一覧表・様式8）

供用中の施設等において工事または調査を実施するにあたっての 請負者等の遵守事項

下記について、遵守願います。

記

1. 作業全工程の予定表を監督職員に提出するとともに、事前に施設管理者にも説明を行うこと。
2. 敷地内に立ち入り禁止作業を行う時は、作業日毎に施設管理者に申し出て、当日の作業内容を伝え、了解を得たうえで行うこと。
3. 作業日毎に作業の終了の報告を施設管理者に行うこと。
4. 作業を行うにあたり、契約以外の内容でやむを得ず施設もしくは用地の一部を加工、移動、撤去等する場合は、施設管理者の同意を得ること。
その場合は、監督職員並びに施設管理者と協議をしたうえで、安全対策を請負者等の責任で施すこと。

以上

社会情勢によるサプライチェーンへの影響に伴う設備機器等の納品 遅れが発生した場合の工期の取扱いについて

本工事において、社会情勢によるサプライチェーンへの影響に伴い、工事対象物となる設備機器等の納品が遅れると認められる場合は、受注者の責めに帰することができない事由として、工期の延長変更を請求することができるものとする。

大阪産業技術研究所森之宮センター

給排水・空調配管改修工事

図面番号	図面名称	縮尺	備考	図面番号	図面名称	縮尺	備考	図面番号	図面名称	縮尺	備考
		A1				A1				A1	
M-001	表紙・図面リスト	NOSCALE		M-046	給排水設備 6階平面図（1）（改修）（その2工事）	1/60		M-091	給排水設備 B 1階平面図（1）（改修）（その3工事）	1/100	
M-002	機械設備工事特記仕様書（1）	NOSCALE		M-047	給排水設備 1階平面図（1）（撤去）（その2工事）	1/60		M-092	給排水設備 B 1階平面図（2）（改修）（その3工事）	1/100	
M-003	機械設備工事特記仕様書（2）	NOSCALE		M-048	給排水設備 2階平面図（1）（撤去）（その2工事）	1/60		M-093	給排水設備 1階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-004	機械設備工事特記仕様書（3）・凡例表	NOSCALE		M-049	給排水設備 3階平面図（1）（撤去）（その2工事）	1/60		M-094	給排水設備 2階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-005	付近見取図・配置図	1/300		M-050	給排水設備 4階平面図（1）（撤去）（その2工事）	1/60		M-095	給排水設備 3階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-006	居室更新エリアフロー図（参考図）	NOSCALE		M-051	給排水設備 5階平面図（1）（撤去）（その2工事）	1/60		M-096	給排水設備 4階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-007	衛生器具詳細図（参考図）	NOSCALE		M-052	給排水設備 6階平面図（1）（撤去）（その2工事）	1/60		M-097	給排水設備 5階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-008	給排水設備 配管系統図（改修・撤去）（その1工事）	NOSCALE		M-053	給排水設備 配管系統図（更生）（その2工事）	NOSCALE		M-098	給排水設備 6階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-009	給排水設備 1階平面図（改修）（その1工事）	1/60		M-054	給排水設備 屋外配管図（更生）（その2工事）	1/300		M-099	給排水設備 R・PH階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-010	給排水設備 2階平面図（改修）（その1工事）	1/60		M-055	給排水設備 1階平面図（更生）（その2工事）	1/100		M-100	給排水設備 応用研究棟 平面図（1）（改修）（その3工事）	1/50	
M-011	給排水設備 3階平面図（改修）（その1工事）	1/60		M-056	給排水設備 2階平面図（更生）（その2工事）	1/100		M-101	給排水設備 応用研究棟 平面図（2）（改修）（その3工事）	1/50	
M-012	給排水設備 4階平面図（改修）（その1工事）	1/60		M-057	給排水設備 3階平面図（更生）（その2工事）	1/100		M-102	給排水設備 中間工業研究棟・防音防振研究棟 平面図（改修）（その3工事）	1/50	
M-013	給排水設備 5階平面図（改修）（その1工事）	1/60		M-058	給排水設備 4階平面図（更生）（その2工事）	1/100		M-103	給排水設備 屋外配管図（撤去）（その3工事）	1/300	
M-014	給排水設備 6階平面図（改修）（その1工事）	1/60		M-059	給排水設備 5階平面図（更生）（その2工事）	1/100		M-104	給排水設備 B 1階平面図（1）（撤去）（その3工事）	1/100	
M-015	給排水設備 1階平面図（撤去）（その1工事）	1/60		M-060	給排水設備 6階平面図（更生）（その2工事）	1/100		M-105	給排水設備 B 1階平面図（2）（撤去）（その3工事）	1/100	
M-016	給排水設備 2階平面図（撤去）（その1工事）	1/60		M-061	給排水設備 管理棟 1・2階平面図（更生）（その2工事）	1/100		M-106	給排水設備 1階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-017	給排水設備 3階平面図（撤去）（その1工事）	1/60		M-062	給排水設備 管理棟 3・4階平面図（更生）（その2工事）	1/100		M-107	給排水設備 2階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-018	給排水設備 4階平面図（撤去）（その1工事）	1/60		M-063	給排水設備 便所詳細図（更生）（その2工事）	1/30		M-108	給排水設備 3階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-019	給排水設備 5階平面図（撤去）（その1工事）	1/60		M-064	給排水設備 応用研究棟 平面図（1）（更生）（その2工事）	1/50		M-109	給排水設備 4階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-020	給排水設備 6階平面図（撤去）（その1工事）	1/60		M-065	給排水設備 応用研究棟 平面図（2）（更生）（その2工事）	1/50		M-110	給排水設備 5階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-021	空調設備 配管系統図（改修）（その1工事）	NOSCALE		M-066	給排水設備 中間工業研究棟・防音防振研究棟 平面図（更生）（その2工事）	1/50		M-111	給排水設備 6階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-022	空調設備 B 1階平面図（改修）（その1工事）	1/100		M-067	空調設備 配管系統図（改修・撤去）（その2工事）	NOSCALE		M-112	給排水設備 R・PH階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-023	空調設備 1階平面図（改修）（その1工事）	1/100		M-068	空調設備 B 1階平面図（改修）（その2工事）	1/100		M-113	給排水設備 応用研究棟 平面図（1）（撤去）（その3工事）	1/50	
M-024	空調設備 2階平面図（改修）（その1工事）	1/100		M-069	空調設備 1階平面図（改修）（その2工事）	1/100		M-114	給排水設備 応用研究棟 平面図（2）（撤去）（その3工事）	1/50	
M-025	空調設備 3階平面図（改修）（その1工事）	1/100		M-070	空調設備 2階平面図（改修）（その2工事）	1/100		M-115	給排水設備 中間工業研究棟・防音防振研究棟 平面図（撤去）（その3工事）	1/50	
M-026	空調設備 4階平面図（改修）（その1工事）	1/100		M-071	空調設備 3階平面図（改修）（その2工事）	1/100		M-116	空調設備 配管系統図（改修・撤去）（その3工事）	NOSCALE	
M-027	空調設備 5階平面図（改修）（その1工事）	1/100		M-072	空調設備 4階平面図（改修）（その2工事）	1/100		M-117	空調設備 B 1階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-028	空調設備 6階平面図（改修）（その1工事）	1/100		M-073	空調設備 5階平面図（改修）（その2工事）	1/100		M-118	空調設備 1階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-029	空調設備 R・PH階平面図（改修）（その1工事）	1/100		M-074	空調設備 6階平面図（改修）（その2工事）	1/100		M-119	空調設備 2階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-030	空調設備 機器表（撤去）（その1工事）	NOSCALE		M-075	空調設備 B 1階平面図（撤去）（その2工事）	1/100		M-120	空調設備 3階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-031	空調設備 配管系統図（撤去）（その1工事）	NOSCALE		M-076	空調設備 1階平面図（撤去）（その2工事）	1/100		M-121	空調設備 4階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-032	空調設備 B 1階平面図（撤去）（その1工事）	1/100		M-077	空調設備 2階平面図（撤去）（その2工事）	1/100		M-122	空調設備 5階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-033	空調設備 1階平面図（撤去）（その1工事）	1/100		M-078	空調設備 3階平面図（撤去）（その2工事）	1/100		M-123	空調設備 6階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-034	空調設備 2階平面図（撤去）（その1工事）	1/100		M-079	空調設備 4階平面図（撤去）（その2工事）	1/100		M-124	空調設備 R階平面図（改修）（その3工事）	1/100	
M-035	空調設備 3階平面図（撤去）（その1工事）	1/100		M-080	空調設備 5階平面図（撤去）（その2工事）	1/100		M-125	空調設備 B 1階機械室詳細図（改修）（その3工事）	1/50	
M-036	空調設備 4階平面図（撤去）（その1工事）	1/100		M-081	空調設備 6階平面図（撤去）（その2工事）	1/100		M-126	空調設備 B 1階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-037	空調設備 5階平面図（撤去）（その1工事）	1/100		M-082	空調設備 配管系統図（更生）（その2工事）	NOSCALE		M-127	空調設備 1階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-038	空調設備 6階平面図（撤去）（その1工事）	1/100		M-083	空調設備 1階平面図（更生）（その2工事）	1/100		M-128	空調設備 2階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-039	空調設備 R・PH階平面図（撤去）（その1工事）	1/100		M-084	空調設備 4階平面図（更生）（その2工事）	1/100		M-129	空調設備 3階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-040	給排水設備 配管系統図（改修・撤去）（その2工事）	NOSCALE		M-085	空調設備 6階平面図（更生）（その2工事）	1/100		M-130	空調設備 4階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-041	給排水設備 1階平面図（改修）（その2工事）	1/60		M-086	空調設備 管理棟 1・2階平面図（更生）（その2工事）	1/100		M-131	空調設備 5階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-042	給排水設備 2階平面図（改修）（その2工事）	1/60		M-087	空調設備 管理棟 3・4階平面図（更生）（その2工事）	1/100		M-132	空調設備 6階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-043	給排水設備 3階平面図（改修）（その2工事）	1/60		M-088	機械室内更新手順（その3工事）	NOSCALE		M-133	空調設備 R階平面図（撤去）（その3工事）	1/100	
M-044	給排水設備 4階平面図（改修）（その2工事）	1/60		M-089	給排水設備 配管系統図（改修・撤去）（その3工事）	NOSCALE		M-134	空調設備 B 1階機械室詳細図（撤去）（その3工事）	1/50	
M-045	給排水設備 5階平面図（改修）（その2工事）	1/60		M-090	給排水設備 屋外配管図（改修）（その3工事）	1/300					

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 表紙・図面リスト	縮尺 A1：NOSCALE A3：NOSCALE	図面番号 M—001

機械設備工事特記仕様書

1. 共通仕様

特記仕様書及び図面に記載されていない事項は国土交通省大臣官房庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和7年版（以下「標準仕様書」という。）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和7年版（以下「改修標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房庁営繕部設備・環境課監修公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和7年版（以下「標準図」という。）による。

2. 特記仕様

- (7) 図面に記載した機器の品名・品番等については、品質・形状の程度を示すものであり、使用にあつては、建築機械設備工事の使用機材品の選定について(①1.4.2)の項に委ねるものとする。
- (8) 特記事項は、●印がついたものを主事に適用する。ただし●印のない場合は※印を適用する。
- (9) 工事中目に電気工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該欄による。
- (10) 各項目の(③1.1.2)は、標準仕様書第4編、第1章、第1節、2項、〈改③1.1.2〉は、改修工事標準仕様書第1編、

項目	特記事項
工事に上の注意事項を行う	1) 本工事の施工に当たっては、施設の運用に支障なく、施設管理者と充分に打合せを行う。 2) 既設建物及び設備等に損傷を与えないよう注意し、万一損傷した場合は、速やかに原形復旧を行う。 3) 撤去工事、内部改修工事、内部閉栓工事については、事前に充分な調査の上行う。 本工事を含むガス設備工事の施工は、ガス事業法に基づくものとする。 工事請負契約に規定する監督職員及び必要より工事監理委託を受ける者とする。
ガス設備工事の施工監督職員	
工事実績情報の登録	契約金額(変更含む)が500万円(税込み)以上の工事について、(財)日本建築情報総合センターによるコンリス登録を次の要式期間内に行う。
工事実績情報登録の要式	(1) 工事受注時 契約締結後 10日以内 (2) 登録内容の変更時 変更契約締結後 10日以内 (3) 工事完成時 工事完成後 10日以内
書類の書式及び取扱い	上記期間には、土曜日、日曜日、祝日は含まない。変更時と工事完成時の間が、10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。 1. 大阪市ホームページに記載の「工事請負契約に関する提出書類一覧表」(都市整備局)によるほか本所監督職員の指示等による。 2. 標準仕様書①(1.5.2)及び工事請負契約書52条のうち、下記の書類は監督職員が認める場合を除き適用しない。 ・標準仕様書①1.7で示す完成図面等及び工事写真 ・原本や捺印が必要な書類、印紙や証紙、収納書の貼り付けが必要な書類 ・施工体制台帳、再下請通知書、作業員名簿、施工体系図 ・機器製作台帳 ・試験成績報告書、検査成績報告書、試験・検査成績報告書 ・出来高査定簿、出来高査定簿請求書、出来高査定簿(明細書)
休日工事作業届	標準仕様書①1.3.3(ア)に定める休日又は(ウ)の夜間に施工する場合は、施設管理者等と事前に調整を行い、作業予定日目の2日前までに休日工事作業届を監督職員に提出する。
建設リサイクル等	1. 受注者は、工事の施工に当たって、「(大阪市建設リサイクルガイドライン)(平成38年5月)の記載事項を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。 なお、本ガイドラインは、大阪市建設局ホームページを参照すること。 (掲載ページ) > 産業・ビジネス > 入札契約情報 > 各局等入札契約情報 > 建設局 > 入札・契約のお知らせ 2. 計画金額(設計変更含む)が100万円(税込み)以上の工事について、再生資源利用作成(実施書)、再生資源利用設計書(実施書)の作成を建設リサイクルガイドラインに基づき行い、電子データを送る監督職員より提出する。
電気保安技術者	※適用する ●適用しない
機器類の確認について	本工事で使用する機器類については、設計図書に定められた仕様や能力を満たすことができるよう、施工前に施工図面を用いて総合的な確認を受注者にて行う。
建築機械設備工事の使用機器材の選定について	本工事で使用する機器材は、JIS及び公に採り公認機関に準する関係機関の規格品、認定品とする。また、別表「工事用材料一覧表(機械設備工事)」に該当する場合は次のいずれかの条件を満たすものとする。 (1) 直近の、建築材料、設備材料等の品質性能評価事業(「社」公共建設協会)により評価を受けた機器材で、納品(2)場所に入荷が可能と記載されている。 (2) 大阪市都市整備局の工事において納入実績のある機器材(製造者を示す場合は、その製造品) (3) 図中に「グリーン購入適合品」と記載のあるものは、「環境物品等」の調達の手続きに関する法令によりする特定調達物品とする。 (4) 上記(1)～(2)以外の機器材は、設計図書に定める品質及び性能が確認できる次の書類を提出し、本所監督職員の承認を受ける。

共

No.

1

機器仕様書

備考

設計書に定める品質及び性能が数値等で明記されている資料
(汎用品は製品カタログも可能)

2

製造者、営業所等住所
生産、販売実績
アフターサービス
体制

申請品の生産販売・納入実績（民間・他官公庁）が、別表に示す主要機器材は5年以上、その他機器材は3年以上の期間が確認できる資料
納品（工事）場所がアフターサービス地区に含まれている事が確認できる資料

別表

工事用対象機器材一覧表（機械設備工事）

番号	分類	品名	適用		備考
			主要機器材	その他機器材	
M-A	弁及び継手類	特定設備（消防設備配管、空調冷水水・冷却水配管等）で使用するもの	◇		
M-B	消火装置	消火栓及び器具類	◇		
		消火ホース	◇		
		不活性ガス系消火設備	◇		
		スプリンクラー設備	◇		
M-C	ポンプ類	泡消火設備	◇		
		模型渦巻きポンプ	◇		
		汚水・汚物・排水水中モーターポンプ	◇		
		真空給水ポンプ	◇		
M-D	槽並びに圧力容器	消火用ポンプ	◇		
		鋼製槽類	◇		
		F R P製一体タンク	◇		
		F R P製バルタンク	◇		
M-E	衛生器具	ステンレス鋼製バルタンク	◇		
		圧力容器	◇		
		衛生器具	◇		
		鋼製品ボイラー（煙管式）	◇	◇	
M-F	熱源機器	鉄鉄製ボイラー	◇		
		鋼製温水ボイラー（貫流ボイラーは除く）	◇		
		真空式温水機（鋼製、鉄鉄製）	◇		
		熱交換機（円筒多管式）	◇		
		遠心冷凍機	◇		
		チリングユニット（往復動式、スクリュース、スクロール式）	◇		
		スクリュー冷凍機	◇		
		吸収冷凍機	◇		
		ガス直置き吸収冷水水器（小型ユニット形含む）	◇		
		冷却塔	◇		
M-G	空調機並びに送風機類	パッケージ形空気調和機	◇		
		ユニット形空気調和機	◇		
		ファンコイルユニット	◇		
		電気集じん機（ろ材併用）	◇		
		エアフィルター	◇		
		全熱交換器（回転型）	◇		
		定・変風量ユニット	◇		
		吹出口、吸込口	◇		
		ダンパー	◇		
		送風機（遠心式、軸流式、斜流式）		◇	
M-H	計装制御並びに計測機器類	計装、制御機器並びに盤（電気式、電子式）	◇		
		計装、制御機器並びに盤（空気圧式）	◇		
M-I	厨房機器類	厨房機器	◇		
		グリッドフィルター		◇	
M-J	その他	水ろ過装置（プール用（経路土式又は砂式））			

・主要機器

申請品の生産販売・納入実績（民間・他官公庁）が5年ある

・その他機器

申請品の生産販売・納入実績（民間・他官公庁）が3年ある

・同種類機器類については、原則としてメーカーを統一する

	項目	特記事項
一般 共 通 事 項	建物の管理	工事完成後、本所への引渡し手続きが完了するまでは、請負者の責任で管理し、これに要する費用は受注者間で適正な負担を行う。
	技能士 (①1.5.2)	●配管施工 ○建築板金施工 ○熱絶縁施工 ○冷凍空調和機器施工
	化学物質の濃度測定 (①1.5.8)	○要（施工前、施工後） ・測定対象化学物質（ ） ・測定方法（ ） ・測定対象室（ ） ・測定箇所（ ） ※不要
	完成図 (①1.7.2)	●要 ・CADデータ(PDFデータ共) ※1部 ・原寸背貼製本 ※2部 ○（ ）部 ・A3縮小背貼製本 ○（ ）部 ※不要 但し、CADデータを作成した場合はCADデータを提出する(PDFデータ共)。
	保安全に関する資料 (①1.7.3)	※要(※2部 ○（ ）部 ○不要 建物管理者への保守に関する説明 ※要 ○不要 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」にある第1種特定製品を設置、改修しくはフロンの回収、充填等を行う場合は、第1種特定製品ごとに冷媒漏えい点検記録簿を作成し提出(電子データ共)する。 当該建築物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用权は、発注者に委譲するものとする。
	著作権・使用权等	
	工事用電力・水 ガス・その他	本工事に必要な工事用電力・水・ガス等の使用料及び諸手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。
	官公署その他への 届出手続き等	本工事に必要な関係法令等に基づく官公署その他の関係機関への必要な届出手続き等を遅滞なく行い、手続き費用は受注者の負担とする。
	特定元方事業者の指名	※特定元方事業者等の満たすべき措置については、別途契約の建築工事受注者を労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名するので、当該特定元方事業者の措置する事項に協力する。 ○労働安全衛生法第30条第2項に基づき、本工事の受注者を同法第30条第1項に規定する措置を講ずべきものとする。
	受注者事務所等の設置 (②4.1.1)	構内につくることが ※できる ○できない
	足 場 (改①2.2.1)	※別途工事 ●本工事(図面特記箇所) 外部足場 種別 ※A種：枠組足場及びB種：くさび緊結式足場 ○C種：単管本足場 ○D種：仮設ゴンドラ ○E種：移動式足場 ○F種：高所作業車 1)足場は、労働安全衛生法その他の関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切保守管理を行う。 2)足場を設ける場合には、「[手すり先行工法に関するガイドライン]について」(厚生労働省 平成21年4月)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置する。 3)枠組足場及びくさび緊結式の設置においては、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 4)外部足場の壁つなぎ材の施工は、撤去後、補修が少ない位置で各階毎に設けるものとし、壁つなぎ材を撤去した後、現状に復する。 5)メッシュ養生シート(JIS1類)による養生を行う。 6)足場で使用する工具等は、原則として転落防止用ワイヤー等を取り付けて使用する。 7)仮設足場周辺にはネットフェンス、バリケード、標識ロープ等により立ち入れない様にし、「しきん」、「立入禁止」等の標示を行う。 防護柵 ※図面特記箇所(地盤面から足場上部までの高さ10mを超える場合) ●不要
	墜落制止用具器具の使用 (フルバネ型)	1)防護柵が敷地境界線を超える場合には関係各番と打合せの上、届出を行う。 「墜落制止用具器具の安全な使用に関するガイドライン」による (平成38年6月22日付け基盤8622第2号)
	埋設配管	※要 工事完成時、設計図書をもとに今回工事範囲の敷地埋設管(給水、消火、排水)の管理、口径、埋設深さ及び仕様などからの寄り付法を記入した埋設図面を作成し、本所監督職員に提出する。また、別途工事でまとめる埋設図面を作成する場合は、上記内容を書き及む。なお、必要に応じて配管凡例書を記載する。 ○不要
		配管凡例
		給水管の系統表示記号
		直結直圧管 ① タンク下りパイプ ④ 圧送管(直結を除く) ⑤ 直結増圧管 ⑥
	保守工具等	※要 ○不要
		要否 物品名 数量 単位
		○ 制水弁キー 1 個
		○ 掃除口開閉キー 1 個
		○ 小口径ホース開閉ハンドル 1 個
		○ 水槽類の鍵(3個/組) 1 式
		○ 吹き出し口調整キー 1 組
		○ 機器類保証書・取扱説明書 1 式
		○ 機器類完成図 1 式
		○ 冷暖漏えい点検記録簿(電子データ共) 1 式
	総合調整 (②1.3.3)	●要 ○風量調整 ●水量調整(空気調和設備) ●水量調整(給水設備) ○水量調整(給湯設備) ○内外空気の温度測定 ○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定 ※不要
	一般用弁及び栓 (②2.2.1)	標準仕様書第2編2.2.1(1)〜(10)によるほか、下記による。 1)揚程50m未満のポンプ廻りに取り付ける弁類(逆止弁を除く)及び大気開放形のタンク類の排水に使用する弁は、JIS5K又はJV5Kとする。 2)給水装置に使用する弁は、JIS10K又はJV10Kとする。
	フレキシブルジョイント (②2.2.9)	※ステンレス製(パローズ形) ○合成ゴム製
	床下埋設配管の支持 (②2.6.1〜3)	ステンレス鋼製配管支持金物を取り付ける。支持間隔及び構造は標準仕様書による。
	地中表示用テープ 及び地中埋設標 (②2.7.1)	(1)給水管 埋設表示用テープ ※要 ○不要 地中埋設標 ※不要 ○要 (2)消火管 埋設表示用テープ ※要 ○不要 地中埋設標 ※不要 ○要 埋設表示用テープ巾は150mmとし、折込率はダブルとする。

共通工事	耐圧試験 (②(2.9.1~5))	特記事項 耐圧試験は次の圧力値により行い、試験結果報告書を監督職員に提出する。				
		配管種別	試験圧力	試験方法	保持時間	
		●給水配管（配水管分岐部から量水器まで）	1.75 MPa	水圧試験	1分以上	
		●給水配管（量水器以降）	1.75 MPa	水圧試験	6 0 分以上	
		○給水配管（器具取付後）	0.75 MPa	水圧試験	6 0 分以上	
		○給水配管 （給水装置を除くポンプ加圧部）☆1	1.00 MPa	水圧試験	6 0 分以上	
		●給水配管（タンク下がり部）	0.75 MPa	水圧試験	6 0 分以上	
		○給湯配管	0.75 MPa	水圧試験	6 0 分以上	
		○冷暖配管	☆2	窒素ガスによる 気密試験	24時間以上	
		○消火配管（屋内消火栓）	1.2 MPa	水圧試験	6 0 分以上	
共通工事	保温及び塗装 (②(3.1.1~6) (②(3.2.1~2))	○消火配管（スプリンクラー） MPa 水圧試験 6 0 分以上 ○水道通水用ポリエチレン管 ☆3 水圧試験 6 0 分以上 ○消火用ポリエチレン管 ☆3 水圧試験 6 0 分以上 ○水道用ポリエチレン二層管 ☆4 水圧試験 1 0 分以上 O MPa ☆1 給水配管（給水装置を除くポンプ加圧部）で、ポンプ揚程の2倍の圧力が1MPaを超える場合は、その圧力とする。 ☆2 1日の法定冷凍能力が5トン未満の場合、当該機器メーカー標準圧力とする。 気密試験後は、機器製造者の基準による全系統の高真空蒸発脱気処理を行うものとし、最小保持時間は2時間とする。 1日の法定冷凍能力が5トン以上の場合は標準圧力とする。 試験結果報告書には、試験の日付及び開始終了時刻、気温、試験方法、管理場所（室名等）、封入ガスの種類、基準及び試験圧力、保持時間を記載する。 ☆3 1.75MPaを1分間加圧し、0.8MPaに減圧する。60分後0.7MPa以上とする。規定圧力以上の場合はその圧力を下げないで再加圧し、60分後0.8MPa以上とする。 ☆4 0.75MPaを3分間加圧し、10分後0.6MPa以上とする。 1 標準圧力値において、ロックウール保温材、グラスウール保温材及びポリスチレンフォーム保温材が併記されている箇所は、どれを使用してもよい。ただし、給水管で、屋外露出及び浴室、厨房などの多湿箇所はポリスチレンフォーム保温材とする。 2 1階床下ピット内は、すべて保温不要とする。 3 PS内の汚水、雑排水管は保温、塗装共不要（クーラードレン管を除く）。また、PS内の給水ビール管も保温、塗装共不要とする（天井部横引管を除く）。 4 ポンプ室及び機械室内は、すべて保温不要とする。 5 露出の保温を施さない鋼管は、塗装上げとする。なお、ビール管及び外面に樹脂被覆を施した管は塗装不要とする。 6 スラップ上貼がしの排水管は保温不要とする。（クーラードレンは除く） 7 スラップ下配管ピット内は、すべて保温不要とする。 8 仮設保温工事の仕様はポリエチレンビニールカバーとする。（厚み10mm） 9 開放廊下は屋内露出の項に順する。 10 消火管の屋外露出配管の保温は給水管の項に順する。 11 屋外タンクのドレン管から排水弁までは保温を施す。 【参考】給排水衛生設備工事の保温施工種別は、特記仕様書（2）の図示による。				
	土中埋設配管の埋土し土 (②(4.2.1))	すべて掘削土を使用する。（公道を除く）				
	残土処理 (②(4.2.1))	※構内指示の場所に敷きならし ○構内指示の場所にたい積 ○搬出適切処理（受入証明の写し提出要） 残土処理は、標準仕様書第2編4.2.1によるほか「大阪市建設リサイクルガイドライン」の地球環境項目による。				
	耐震措置 (③(2.1.1) (⑤(2.2.1) (②(2.6.1))	1 耐震措置の計算及び施工方法は、「標準仕様書」、(標準圖)及び図示以外は、「建築設備耐震設計・施工指針(国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人建築研究所監修 2014年版)」による。 2 当該建築物の耐震安全性の分類は、○特定の施設 ○一般の施設)とする。 3 下記の設計用水平震度及び鉛直震度により、据付ボルト・アンカーボルトなどの耐震性能を確認し、監督職員の承認を受ける。 (1)設計用水平震度				
			一般水槽	重要水槽	一般機器	重要機器
		上層階・屋上・塔屋	1.5	2.0	1.5(2.0)	2.0(2.0)
		中間階	1.0	1.5	1.0(1.5)	1.5(1.5)
		1階・地下階	1.0	1.5	0.6(1.0)	1.0(1.0)
		注) ○ 内の数値は、防振支持の機器の場合を示す。 上層階・中間階の定義は次のとおりとする。 ・上層階：2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建は上層3階、13階建以上の場合は上層4階。 ・中間階：地下階及び1階を除く階、上層階に該当しない階。 なお、重要機器は、下記に示すものとする。 (受水槽、消火水槽、)				
		(2)鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。 (3)機器選定は「標準仕様書」(②(2.6.1))による。				
あと施工アンカー確認試験 (改②(5.2.3))	※適用しない ○適用する () ○性能確認試験 ○施工後確認試験 ()					
機器類の能力、容量等の表示	機器類の能力、容量等はメーカー別により些少の相違は認める。					
はつり及び穴あけ	既存のコンクリート壁・床などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用することとし、作業前に数箇所の探査を行う。なお、使用はモルタル補修とする。また、いかなる場合においても、柱・梁のはつり及び貫通は行ってはならない。					
スリーブ入れ (②(2.2.23))	※別添工事（但し、スリーブ取り外し、修正ははつり及び穴埋めは本工事とする） ●本工事					
箱入れ	※別添工事（但し、修正ははつり及び穴埋めは本工事とする） ○本工事					
公共工事労務費調査への協力について	1 本工事が本所の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入して本所に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。 2 調査票を提出した事業所を本所に訪問して行う調査・指導の対象に受注者がなった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても同様とする。 3 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就業規程等とて共に賃金台帳を調査・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。 4 受注者が本工事の一部について下請け契約を締結する場合には、受注者は、当該下請け工事の受注者（当該下請け工事の一部に於ける二次以降の下請負人を含む）が1から3と同様の義務を負う旨を定めなければならない。					
空気調和設備工事	防煙ダンパー (③(1.75.4) (③(1.15.8))	復帰方式は下記による ※手動復帰式 ○遠方復帰式（電気式）				
	設計時の室温条件	場所	屋外	屋内（調整目標値）		
		時期	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)
		冬季	22.0℃	57.9%	22.0℃	
	夏季	25.4℃	49.0%	26.0℃	50.0%	
ダクトの区分 (③(1.14.1))	※低圧ダクト ○高圧ダクト ○高圧2ダクト					
ダクトの工法 (③(2.2.~3))	※アングラ工法 ※コーナボルト工法 ※通明範囲は標準仕様書による) (※共接フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法)					
予備フィルター	○グラスフィルター (※100% ○ %)					
シックハイズ対策	換気扇、天井埋込型換気扇のスイッチ上部に「24時間換気」と記したシールを貼り付ける。					

項目		特記事項	
給排水衛生設備工事	管の埋設深さ (②2.7.2)	(1) 一般敷地 ※300mm ○ (mm) (2) 構内車道道路 ※600mm ○ (mm) (3) 給水装置に該当する場合は、下記による。	
		区分	埋設深さ 呼び径 50以下 呼び径 75 以上 舗装厚+0.3m以下としないこと (ただし、0.6m以下としないこと) (ただし、0.6m以下としないこと)
		公道	600mm以上 600mm以上
		私道	300mm以上 600mm以上
		公道・私道以外	
	水道用仕切弁 (制水弁) (②2.2.1)	※水道用ソフトシール仕切弁 (JWWA B126) ○エポキシ樹脂粉末ライニング弁 (水道法性能基準適合品)	
	水道分担金 (①1.1.3)	本工事には含まない。	
	簡易専用水道 (①1.1.3)	飲料用受水槽の有効容量が10m3を超えるものは、「簡易専用水道使用届」を施設所在地の区を所轄する衛生衛生監視事務所に提出する。	
	水質検査	○不要 ※要 ○検査項目A ○検査項目B ○検査項目C (○給水:) 水質検査は、給水・給湯設備工事完了後に行う。 ・検査項目A (1) 一般細菌 (2) 大腸菌 (3) 鉛及びその化合物 (4) 亜硝酸態窒素 (5) 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 (6) 亜鉛及びその化合物 (9) 塩化物イオン (7) 鉄及びその化合物 (8) 銅及びその化合物 (9) 塩化物イオン (10) 蒸発残留物 (11) 有機物 (全有機炭素 (TOC) の量) (12) pH値 (13) 味 (14) 臭気 (15) 色度 (16) 濁度 (17) 遊離残留塩素 ・検査項目B (1) 一般細菌 (2) 大腸菌 (3) 塩化物イオン (4) 有機物 (全有機炭素 (TOC) の量) (5) pH値 (6) 味 (7) 臭気 (8) 色度 (9) 濁度 (10) 遊離残留塩素 ・検査項目C (1) 臭気 (2) 味 (3) 色 (4) 濁り (5) 遊離残留塩素 検査機関 検査項目A及びB: 水道法第20条第3項又は建築物飲料水水質検査業の登録検査機関とする。 検査項目C: 上記又は水道法第34条の2第2項による登録検査機関とする。	
	直結給水管断水計画書	工事の施工上、直結給水管の断水が必要な場合、当日の作業手順を明確にし、直結給水管断水計画書を作成し、本市に提出する。 作成は下記による。 1) 断水実施日の2週間前までに本所監督職員に提出する。 そのためには、工事計画を充分に検討し、余裕を持って日程を決める。 2) 断水後の洗管は充分に行い、特に給食室に飲水器等が入り込まないよう、洗管手順に注意する。 3) 作業手順を分かりやすく、また補足のために図面を添付する。 4) 作成部数は5部とする。 5) 作成例は、機械設備工事特記仕様書 (3) ・凡例表による。	
防火区画貫通処理材 (②2.8.1)	防火区画を貫通する、リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RFV)に防火区画貫通処理材 (国土交通大臣認定品) を使用する、又は耐火硬質ポリ塩化ビニル管 (国土交通大臣認定品) を使用する。		
満水試験継手 (②2.4.8)	※不要 ○要 (図箇所に取り付ける)		
公共下水道の施設に係る工事 (①1.1.3)	※施工承認工事 (※施工承認工事の事務監督費は本工事に含まない) ○委託下水道工事		
道路掘削跡復旧箇所の表示	一次本復旧完了後、大阪市建設局の「道路掘削跡復旧箇所における工事施工者名の表示要領」に準じて表示を行う。		
衛生器具	和風便器耐火力バー	※要 (ビット内は除く) ○不要	
給湯槽	届け出	ボイラ等で入力が78kWをこえるものは、所轄消防署に設置届けを提出する。	
消火設備	消火用充水タンク (⑤1.4.6)	※FRP一体形タンク ○ステンレス鋼板 ○鋼板	
	保温	消火用充水タンクの保温 ※不要 ○要	
	採水口	○65mm 差込式双口 ○75mm ねじ式双口 間上プレートの材質 ※ステンレス鋼製 (ハアーライン仕上げ) ○黄銅製	
	フレキシブル継手	ポンプ廻りに使用するフレキシブル継手は (財) 日本消防設備安全センター性能評定品とする。	

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.3	
	設計事務所	図面名称 機械設備工事特記仕様書（1）	縮尺 A1：NOSCALE A3：NOSCALE	図面 M

編	項目	特記事項
撤去工事	撤去工事	既設建物又はその一部解体に伴い、既存設備を撤去する場合は、下記該事項による。 （１）管の一部を撤去する場合には、既設管に適した方法で完全に閉塞して使用に支障のないようにする。また、給水管の撤去については、残存部分に滞留水がないよう注意する。 （２）ダクト及び配管の支持金物、吊ボルト等は本工事で撤去する。 （３）配管・機器等の撤去後に不要となる開口は、閉塞し補修を行う。
	発生材の処理等 （①1.3.9）	・引渡しを要するもの ※なし ○あり（ ） ・再資源化を図るもの ※なし ○あり（ ） 上記以外のものは、標準仕様書第1編1.3.9による。（電子マニフェストシステム受渡確認票を提出する。） ※なし ○あり（ ） ・特別管理産業廃棄物 ※なし ○あり（ ） 注：過積載は、法令及び仕様書等の遵守事項に反する行為であることから、搬出の際には積載重量を確認し、過積載を行わない。
	機器類等の撤去及び廃材処理	１．一般事項 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「特定家庭用機器再商品化法」（以下「家電リサイクル法」という。）及び「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」（以下「フロン排出抑制法」という。）等の関係法令を遵守し、適法適正に廃材処理を行う ２．機器類、設備資材等の撤去及び廃材処理 （１）機器類及び設備資材等の撤去は、「大阪市建設リサイクルガイドライン」平成30年5月の記載事項を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図り、産業廃棄物は適正に処理する。（電子マニフェストシステム受渡確認票を提出する。） （２）ルームエアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機の家電製品については、家電リサイクル法により適正に処理する。 なお家電リサイクル券の写しを監督職員に提出する。 （３）再資源化の受け入れ態勢が整っている廃棄物については、分別回収し、再資源化施設への搬入に努める。 （４）その他可能限り分別を行い、減量化及び再資源化に努める。 ３．フロン類の回収及び処理 （１）フロン排出抑制法にある第一種特定製品の設置の有無についての確認と説明 ※必要 ○必要でない（設置されていないことが明らかである） 説明が必要な場合、受注者は、回収依頼書、委託確認書の発行後、決められた期日までに監督職員が引取証明書（様式）の受理ができるよう事前に調整する。 フロン類の引渡し行程管理にかかる帳票用紙は請負者側で用意する。 （２）家電リサイクル法が適用される機器は撤去する前にフロン類を室外機ユニットに集める作業（ボンバダウ）を行う。 ４．ハロンポンペ等の回収及び処理 ハロゲン化合物消火装置のハロンポンペ、移動式ハロン消火器（以下「ハロンポンペ等」という。）の撤去。 （１）ハロンポンペ等の撤去又は移動は、特定非営利活動法人消防環境ネットワークへ届けた後行う。 （２）ハロンポンペ等は撤去し消火装置業者に適法適切に処理する。 （３）ハロンポンペ等の引取書を監督職員に提出する。 ただし、ハロンポンペ等を市施設の補充用として再利用する場合は、ハロンポンペなどを撤去回収後本市指定場所へ引き継ぐ。 ５．吸収液の回収及び処理 （１）回収業者は、吸収式冷凍機及び直だし吸収冷水水機等の臭化リチウム液等（以下「吸収液」という。）の回収を回収装置により行い、適切に処理する。 （２）吸収液を再生する場合は引取書を、産業廃棄物処理する場合は処理証明書を監督職員に提出する。 ６．その他 その他の機器類等撤去に先立ち、処理などが必要な含有物については、回収し適法適切に処理などを行う。

アスベスト含有建材の処理（撤去含む）は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版によるほか、以下のとおりとする。

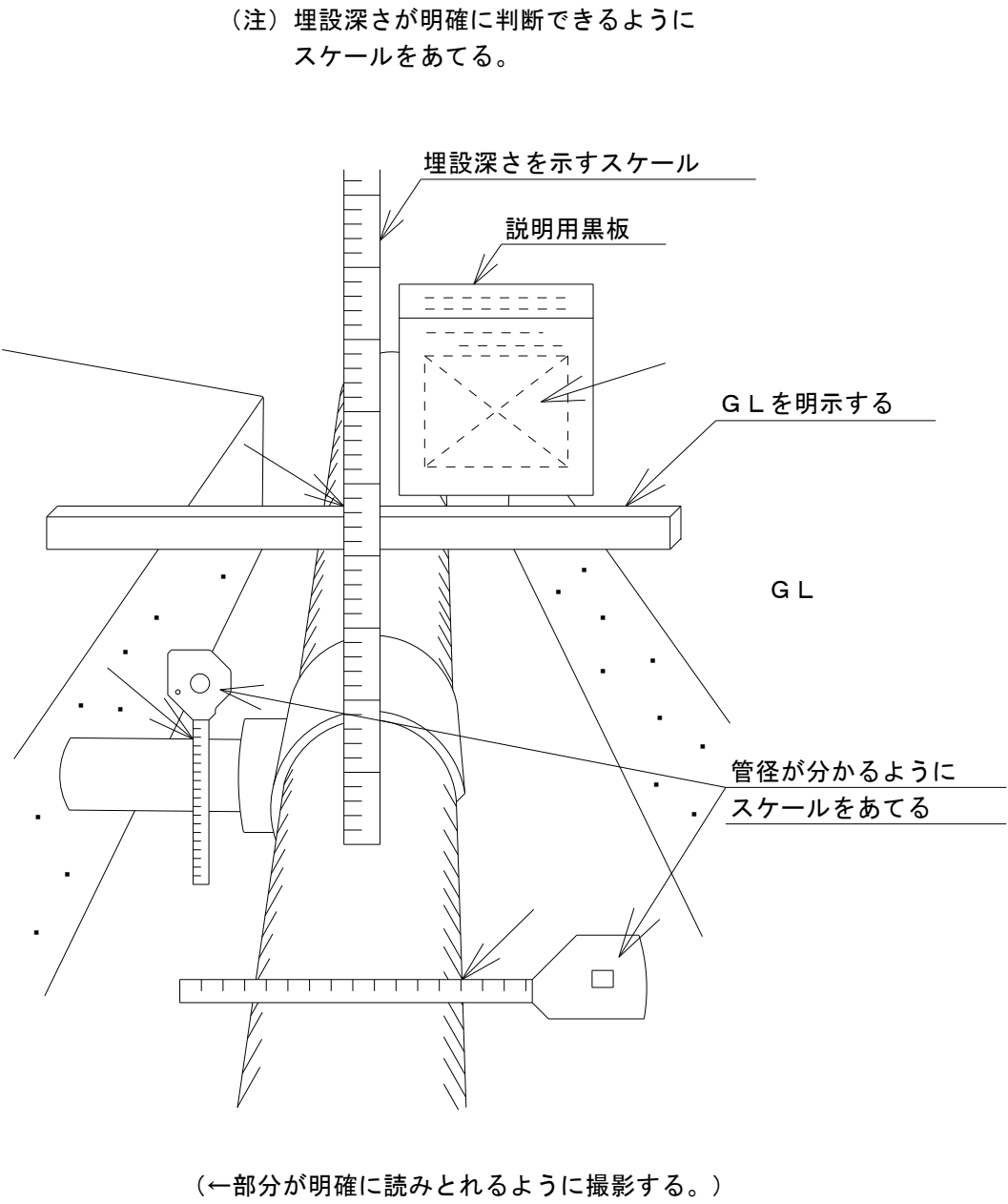
	項目	特記事項								
環境 配慮 改修 工事	一般事項	1. 石綿事前調査等について 1）改修等工事を行う際は、当該工事に係る部分について事前調査を行い、「解体等工事に係る事前調査書面」を作成し、事前調査結果を監督職員へ説明するとともに、事前調査結果を現場掲示の上、工事を行う。 2）上記事前調査は「建築物石綿含有建材調査者（一戸建て等石綿含有建材調査者は除く）」又は令和5年9月30日までに一般財団法人アスベスト調査診断協会に登録され調査時点においても同協会に引き続き登録されている者」が行う。 3）事前調査結果は石綿事前調査結果報告システムにより、所管の環境部局及び労働基準監督署に報告を行う。 4）石綿含有建材の事前調査及び除去等の工法は「石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第2版】」（令和4年3月厚生労働省）」及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル（令和6年2月改正 厚生労働省「環境省）」による。 2. アスベスト含有建材の処理（撤去含む） ※ 不要 ● 要（下表による。） <table><thead><tr><th>材料名</th><th>撤去範囲</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table>	材料名	撤去範囲						
	材料名	撤去範囲								
	除去工事 共通事項	調査結果の揭示 アスベスト含有の有無について調査した結果は、作業開始までに³⁾石綿に関する事前調査の結果を現場に掲示する。なお、平成18年9月1日以後に設置工事に着手した建築物等又は改造若しくは補修工事に着手した部分で、アスベスト含有建材の使用のないことが明らかな解体等（解体、改造、改修を伴う）工事であっても、建築物等の敷地内の公衆の見やすい場所にアスベスト含有建材の使用が無いことを掲示する。 ³⁾様式は大阪市ホームページを参照する。								
	アスベスト含有成形板 の撤去	1. 作業者は、防じんマスク、保護メガネ及び作業衣を着用する。 2. 建物内部で撤去作業を行う場合は、外部建具を閉鎖するとともに、ガラスの破損箇所又は換気扇枠等で粉じんが外部に飛散するおそれがある箇所をビニールシート等で塞ぐものとする。 3. 成形板の除去を行う場合は、粉じんが飛散しないよう湿潤化を行い、原則として手ばらしで行う。 4. アンカーボルト等設置のため成形板の穴あけを行う場合は、粉じんが飛散しないように湿潤化を行い作業する。 5. 撤去作業後、アスベスト含有成形板の破片、破断粉及び作業衣等に付着した粉じんが残存しないよう、真空掃除機等により、清掃及び後片付けを十分に行う。 6. 処分先 アスベスト含有せっこうボード ※管理型最終処分場で埋立処分 アスベスト含有せっこうボード以外 ※ 石綿含有産業廃棄物として安定型最終処分場で埋立処分 ○ 設置許可溶解処分場で溶解処理 ○ 認定無害化処理施設で無害化処理								

編	項目	特記事項																																																						
環境配慮改修工事	外壁等のアスベスト含有 仕上げ塗材の処理	１．既設建物の外壁等に施工されている仕上げ塗材にはアスベストが含有されている恐れがあり、穴を開ける作業は特定粉じん排出等作業に該当するため、以下のとおり処理を行う。 （１）外壁等に仕上げ塗材が施工されている場所に、アンカー設置またはダイヤ貫通を行う場合は、湿潤化を行い、飛散させないようカッターナイフ・スクレーパー等で仕上げ塗材及び下地材を除去の上、作業を行う。 （２）除去跡については固化的噴霧や接着材塗布等の飛散防止措置を講じる。 （３）除去を行った仕上げ塗材及び下地材は、石綿含有産業廃棄物として適切に処分を行う。 ２．作業者は防護マスク、保護メガネ及び作業衣を着用する。																																																						
	一般事項 （①1.2.4.（d））	標準仕様書によるほか、下記によるものとする。 （１）工事の写真はこの要領に基づき撮影する。 （２）工事対象部分との取合上、着手前の現況を必要とする場合はこれを撮影する。 今回工事 ※不要 ○必要 （３）現場代理人は監督職員と充分打合せを行い、撮影時期を逸しないようにする。																																																						
	写真の撮り方	（１）撮影箇所は原則として工事完成後容易に確認できない部分とし、撮影はカラー撮影とする。 （２）工事写真の整理上必要な場合は黒板などを設置し、黒板には必要に応じて施工場所、内容を記入の上これを写しこむ。（付図1に参考例を示す） （３）給水管や消火管などで地中埋設深さなど、被写体の寸法、位置の明示が必要な場合は、スケールなどを利用して被写体と同時に撮影し、確実に判定できるように撮影する。（付図2に参考例を示す）																																																						
工事写真撮影要領	撮影要領	各工程の撮影要領は次に示すとおりとする。 <table><tr><th>工事内容</th><th>撮影箇所</th><th>撮影のポイント</th></tr><tr><td rowspan="2">給水管分岐工事 （撤去工事）</td><td>本管分岐部分</td><td>・管の材質、口径、継手及び埋設深度など</td></tr><tr><td>引込み延長部分</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">下水接続工事 （撤去工事）</td><td>本管接続部分</td><td>・管の材質、口径、継手及び埋設深度など</td></tr><tr><td>延長部分</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">配管工事</td><td>敷地内埋設部分 （給水管、消火管など）</td><td>・管の材質、口径、継手など ・防食処理後はその仕上がり状況 ・埋設表示テープの設置状況</td></tr><tr><td>敷地内埋設部分 （排水管）</td><td>・管の材質、口径、継手など ・管路の敷設状況</td></tr><tr><td>土中障害物 （撤去）</td><td>・形状、寸法、位置 ・処理状況、処理後の状況</td></tr><tr><td>屋外露出配管</td><td>・管の材質、口径、継手など ・保温処理後はその仕上がり状況 ・フレキシブルジョイントと建物との関係</td></tr><tr><td rowspan="4">建物貫通工事 （必要により両面から撮影）</td><td>不等沈下対策部分</td><td>・管の材質、口径、継手、勾配、支持金物と建物 （天井、床など）との納まり ・保温処理後はその仕上がり状況</td></tr><tr><td>屋内配管</td><td>・管とスリーブとの納まり状況 ・防水工事前の収まり状況</td></tr><tr><td>地中梁貫通部分</td><td>・管又はダクトとスリーブとの隙間の処理状況</td></tr><tr><td>防水層貫通部分</td><td>・防水工事後の収まり状況</td></tr><tr><td rowspan="4">電気設備工事 （電気工事との範囲が 分かるよう撮影）</td><td>防火区画貫通部分</td><td>・管又はダクトの貫通前後の耐火被覆処理状況</td></tr><tr><td>耐火処理材工事 はつり貫通工事</td><td>・耐火処理材の取り付け状況</td></tr><tr><td>会所樹類</td><td>・鉄筋探査状況 ・掘削施工状況 ・会所掘付状況</td></tr><tr><td>機器類据付工事</td><td>・基礎のアンカーボルト（接着系アンカー含む）の材料（形状、寸法、員数） ・基礎へのアンカーボルト（接着系アンカー含む）の施工（穿孔穴の径・深さ・清掃、アンカーボルトの埋設深さ） ・重量機器の搬入状況 ・据付、組立状況 ・掘削施工状況 ・機器据付状況</td></tr><tr><td rowspan="4">試験調整</td><td>電気設備工事</td><td>・配管敷設状況 ・ボックス内電線接続状況 ・盤引き下げ配管廻り</td></tr><tr><td>試験箇所</td><td>・試験の実施状況</td></tr><tr><td>産業廃棄物および現場発生材処理</td><td>・集積・分別状況（監督員の指示による） ・搬出状況（〃） ・積降（〃） ・廃棄状況（〃）</td></tr><tr><td>注.上記の他、特に監督職員の指示する場合は撮影を行う。</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">災害時の撮影</td><td>災害時の撮影</td><td>工事現場で、災害、事故が発生した場合は、早急に被害状況を撮影し、速やかに監督職員に報告する。</td></tr><tr><td>写真の整理</td><td>（１）撮影したフィルムは、速やかに現像、焼付を行う。焼付サイズは、83mm×117mm以上とする。 （２）写真は、フリーアルバム（A4サイズ）などに貼付けて、1部作成する。また、必要に応じて説明書を添付しておく。 （３）デジタルカメラで撮影した場合は、アルバム整理したもの提出する。 用紙は原則としてA4コピー用紙とする。 （４）アルバムの表紙には、工事名称を記入し、背表紙には完成年度、工事名称を明記する。（付図3参照） （５）整理した写真は、監督職員が指示する時期に提出する。</td></tr></table>	工事内容	撮影箇所	撮影のポイント	給水管分岐工事 （撤去工事）	本管分岐部分	・管の材質、口径、継手及び埋設深度など	引込み延長部分		下水接続工事 （撤去工事）	本管接続部分	・管の材質、口径、継手及び埋設深度など	延長部分		配管工事	敷地内埋設部分 （給水管、消火管など）	・管の材質、口径、継手など ・防食処理後はその仕上がり状況 ・埋設表示テープの設置状況	敷地内埋設部分 （排水管）	・管の材質、口径、継手など ・管路の敷設状況	土中障害物 （撤去）	・形状、寸法、位置 ・処理状況、処理後の状況	屋外露出配管	・管の材質、口径、継手など ・保温処理後はその仕上がり状況 ・フレキシブルジョイントと建物との関係	建物貫通工事 （必要により両面から撮影）	不等沈下対策部分	・管の材質、口径、継手、勾配、支持金物と建物 （天井、床など）との納まり ・保温処理後はその仕上がり状況	屋内配管	・管とスリーブとの納まり状況 ・防水工事前の収まり状況	地中梁貫通部分	・管又はダクトとスリーブとの隙間の処理状況	防水層貫通部分	・防水工事後の収まり状況	電気設備工事 （電気工事との範囲が 分かるよう撮影）	防火区画貫通部分	・管又はダクトの貫通前後の耐火被覆処理状況	耐火処理材工事 はつり貫通工事	・耐火処理材の取り付け状況	会所樹類	・鉄筋探査状況 ・掘削施工状況 ・会所掘付状況	機器類据付工事	・基礎のアンカーボルト（接着系アンカー含む）の材料（形状、寸法、員数） ・基礎へのアンカーボルト（接着系アンカー含む）の施工（穿孔穴の径・深さ・清掃、アンカーボルトの埋設深さ） ・重量機器の搬入状況 ・据付、組立状況 ・掘削施工状況 ・機器据付状況	試験調整	電気設備工事	・配管敷設状況 ・ボックス内電線接続状況 ・盤引き下げ配管廻り	試験箇所	・試験の実施状況	産業廃棄物および現場発生材処理	・集積・分別状況（監督員の指示による） ・搬出状況（〃） ・積降（〃） ・廃棄状況（〃）	注.上記の他、特に監督職員の指示する場合は撮影を行う。		災害時の撮影	災害時の撮影	工事現場で、災害、事故が発生した場合は、早急に被害状況を撮影し、速やかに監督職員に報告する。	写真の整理	（１）撮影したフィルムは、速やかに現像、焼付を行う。焼付サイズは、83mm×117mm以上とする。 （２）写真は、フリーアルバム（A4サイズ）などに貼付けて、1部作成する。また、必要に応じて説明書を添付しておく。 （３）デジタルカメラで撮影した場合は、アルバム整理したもの提出する。 用紙は原則としてA4コピー用紙とする。 （４）アルバムの表紙には、工事名称を記入し、背表紙には完成年度、工事名称を明記する。（付図3参照） （５）整理した写真は、監督職員が指示する時期に提出する。
工事内容	撮影箇所	撮影のポイント																																																						
給水管分岐工事 （撤去工事）	本管分岐部分	・管の材質、口径、継手及び埋設深度など																																																						
	引込み延長部分																																																							
下水接続工事 （撤去工事）	本管接続部分	・管の材質、口径、継手及び埋設深度など																																																						
	延長部分																																																							
配管工事	敷地内埋設部分 （給水管、消火管など）	・管の材質、口径、継手など ・防食処理後はその仕上がり状況 ・埋設表示テープの設置状況																																																						
	敷地内埋設部分 （排水管）	・管の材質、口径、継手など ・管路の敷設状況																																																						
	土中障害物 （撤去）	・形状、寸法、位置 ・処理状況、処理後の状況																																																						
	屋外露出配管	・管の材質、口径、継手など ・保温処理後はその仕上がり状況 ・フレキシブルジョイントと建物との関係																																																						
建物貫通工事 （必要により両面から撮影）	不等沈下対策部分	・管の材質、口径、継手、勾配、支持金物と建物 （天井、床など）との納まり ・保温処理後はその仕上がり状況																																																						
	屋内配管	・管とスリーブとの納まり状況 ・防水工事前の収まり状況																																																						
	地中梁貫通部分	・管又はダクトとスリーブとの隙間の処理状況																																																						
	防水層貫通部分	・防水工事後の収まり状況																																																						
電気設備工事 （電気工事との範囲が 分かるよう撮影）	防火区画貫通部分	・管又はダクトの貫通前後の耐火被覆処理状況																																																						
	耐火処理材工事 はつり貫通工事	・耐火処理材の取り付け状況																																																						
	会所樹類	・鉄筋探査状況 ・掘削施工状況 ・会所掘付状況																																																						
	機器類据付工事	・基礎のアンカーボルト（接着系アンカー含む）の材料（形状、寸法、員数） ・基礎へのアンカーボルト（接着系アンカー含む）の施工（穿孔穴の径・深さ・清掃、アンカーボルトの埋設深さ） ・重量機器の搬入状況 ・据付、組立状況 ・掘削施工状況 ・機器据付状況																																																						
試験調整	電気設備工事	・配管敷設状況 ・ボックス内電線接続状況 ・盤引き下げ配管廻り																																																						
	試験箇所	・試験の実施状況																																																						
	産業廃棄物および現場発生材処理	・集積・分別状況（監督員の指示による） ・搬出状況（〃） ・積降（〃） ・廃棄状況（〃）																																																						
	注.上記の他、特に監督職員の指示する場合は撮影を行う。																																																							
災害時の撮影	災害時の撮影	工事現場で、災害、事故が発生した場合は、早急に被害状況を撮影し、速やかに監督職員に報告する。																																																						
	写真の整理	（１）撮影したフィルムは、速やかに現像、焼付を行う。焼付サイズは、83mm×117mm以上とする。 （２）写真は、フリーアルバム（A4サイズ）などに貼付けて、1部作成する。また、必要に応じて説明書を添付しておく。 （３）デジタルカメラで撮影した場合は、アルバム整理したもの提出する。 用紙は原則としてA4コピー用紙とする。 （４）アルバムの表紙には、工事名称を記入し、背表紙には完成年度、工事名称を明記する。（付図3参照） （５）整理した写真は、監督職員が指示する時期に提出する。																																																						

< 撮 影 例 >

（工事名称）	
工事名○○小学校増築○○設備工事	（省略せず、正確に書く）
（撮影場所）	
1階職員室前（東側）	（文字で表現しづらい場合は、簡略な位置図を添えるなどする）
（被写体の説明）	
☐ 口用給水管	
5 0 VP×2 5 VP（分岐）	

【付図1．黒板記入例】



【付図2．埋設配管撮影要領】

令和		年度	発注年度
○○学校新築	←	工事名称	令和○○年度○○学校新築○○設備工事
○○設備工事	←		
工事場所（地名）	←	大阪市北区中之島	
受注者名	←	○○○○○	
表	紙	背表紙部分	（作成したアルバムが薄い場合は省略できる。）

【付図3．アルバム表紙記入例】

管	区分	施工箇所	施工順序	保温材の厚さ	
				呼び径	厚さ（mm）
				15～80	20
（継手及び弁類を含む）	給水管	屋内露出 （一般居室・廊下・開放廊下）	1. ロックウール保温筒 または グラスウール保温筒	100～150	25
			2. 鉄線		
			3. 合成樹脂製カバー1 または 合成樹脂製カバー2		
		屋内露出 （機械室・書庫・倉庫）	1. ポリスチレンフォーム保温筒	15～80	20
			2. 粘着テープ	100～150	25
			3. 合成樹脂製カバー1 または 合成樹脂製カバー2		
		天井内	1. アルミガラスクロス化粧保温筒（ロックウール、グラスウール、ポリスチレンフォーム）	15～80	20
			2. 粘着テープ	100～150	25
			3. アルミガラスクロス		
		暗室内 （ビット内を含む）	1. ポリスチレンフォーム保温筒	15～80	20
			2. 粘着テープ	100～150	25
			3. ポリエチレンフィルム		
排水・給湯・給排水衛生設備工事の保温施工種別	排水・給湯管 （排水管分岐点より100mm以内の通気管）	屋内露出 （一般居室・廊下・開放廊下）	1. ロックウール保温筒 または グラスウール保温筒	15～80	20
			2. 鉄線		
			3. 合成樹脂製カバー1 または 合成樹脂製カバー2		
		機械室・書庫・倉庫	1. ポリスチレンフォーム保温筒	15～80	20
			2. 粘着テープ	100～150	25
			3. 合成樹脂製カバー1 または 合成樹脂製カバー2		
		天井内	1. アルミガラスクロス化粧保温筒（ロックウール、グラスウール、ポリスチレンフォーム）	15～80	20
			2. 粘着テープ	100～150	25
			3. アルミガラスクロス		
		浴室、厨房等の多湿箇所	1. ポリスチレンフォーム保温筒	15～80	20
			2. 粘着テープ	100～150	25
			3. ポリエチレンフィルム		
機器	給湯管 （膨張管を含む）	屋内露出（一般居室、廊下）	1. ロックウール保温筒 または グラスウール保温筒	15～80	20
			2. 鉄線		
			3. 原紙		
		機械室・書庫・倉庫	1. 合成樹脂製カバー1 または 合成樹脂製カバー2	15～80	20
			2. グラスウール保温筒		
			3. 鉄線		
		天井内、パイプシャフト内	1. アルミガラスクロス	15～80	20
			2. ロックウール保温筒 または グラスウール保温筒		
			3. 鉄線		
		暗室内 （ビット内を含む）	1. ロックウール保温筒 または グラスウール保温筒	15～80	20
			2. 粘着テープ	100～150	25
			3. ポリエチレンフィルム		
	排気筒	屋外露出及び浴室厨房等の多湿箇所	1. ロックウール保温筒 または グラスウール保温筒	15～80	20
			2. 鉄線		
			3. ポリエチレンフィルム		
		隠蔽箇所	1. ロックウール保温帯		50
			2. 鉄線		
			3. アルミガラスクロス		

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称	大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事			日付	2 0 2 6 . 8 . 3 1	
	設計事務所	図面名称	機械設備工事特記仕様書（2）		縮尺	A1：NOSCALE A3：NOSCALE	図面番号 M—003

配 管 材 料 (図面特記部分は除く)

用途	施工箇所	配管材料	記号	備考	
冷媒	一般	○ 断熱材被覆銅管(JCDA8910)	CU		
空調	排水一般	○ 硬質ポリ塩化ビニル管 ○ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 ○ 保温材付硬質ポリ塩化ビニル管	V RFV HV	(38mm以下) (48mm以上) (56mm以下)	
	(冷温水一般)	● 配管用炭素鋼鋼管(白管)	G		
	()	○ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管	TV	(48mm以上)	
	(冷却水一般)	● 硬質塩化ビニルライニング鋼管(内面)	VA		
	(温水・給水立主管)	○ 硬質塩化ビニルライニング鋼管(内面)	VA		
	(上記埋設部分)	○ 硬質塩化ビニルライニング鋼管(内外面)	VD		
	一般	● 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HI		
	(給水引込)	○ 水道用ダクタイル鉄鉄管	CI		
	(給水引込・埋設)	○ 水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762)	PE	(58mm以下) 防火継手	
	(埋設)	● 水道配水用ポリエチレン管 (JWMA K 144)	P	(75mm以上) 電気劣化継手	
給湯	()	○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管	V		
	一般	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管(プレス接合)	SUS		
	()	○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	HVA		
排水	(図示箇所)	○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	DVA		
	(屋外露出部)	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)	G		
	一般	● リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 ● 硬質ポリ塩化ビニル管(一般管)	RFV V	(46mm以上) (38mm以下)	
	()	○ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管	TV	(48mm以上)	
	(樹間地中埋設部)	○ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管	RSVU		
	(地中埋設部)	○ 硬質ポリ塩化ビニル管(薄肉管)	UV		
	()	○ 排水用フッ素エポキシ塗装鋼管	TA		
	()	○ 排水用鋳鉄管	CI		
	(衛生器具廻り)	○ 鉛管	L		
	()	○ コンクリート管	H		
	(実験排水)	● 排水用硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	TF		
	()	○ 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管	HTV		
	通気	(屋外露出部)	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)	G	
		一般	○ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管	RFV	(48mm以上)
		()	● 排水用硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	TF	
		()	○ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管	TV	(48mm以上)
	消火	一般	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)	G	
()		○ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	VS		
()		○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(白管Sch40)	S		
()		○ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(白管Sch40)	SVS		
(地中埋設)		○ 消火用ポリエチレン管(最高使用圧力:1.2MPa)	F-PE		
()		○ 高圧消火用ポリエチレン管(最高使用圧力:1.6MPa)	HF-PE		

[直結給水管断水計画書作成例]

直 結 給 水 管 断 水 計 画 書	
工 事 名 称	〇〇小学校増築その他機械設備工事
断 水 日	令和 3 年 4 月 1 日 (水)
断 水 時 間	16時～18時頃
断水工事の目的	水道本管引込替え
作 業 手 順	① 給食室の給水バルブを閉める。(添付図のA) ② 既設水道メーターを取り外し、今回給水引込部に取付ける。 ③ 給水配管切替え後、給食室以外の各所水栓で洗管を行う。(添付図のB～F) ④ 最後に給食室の給水バルブを開ける。(添付図のA) ⑤ 給食室内の洗管を行う。本作業は、教頭先生にお願いしています。

機 器 類 記 号

種 別	記 号	備 考
給湯ボイラー	GB	
ポンプ	P	
揚水ポンプ	PW	
消火ポンプ	PF	
消火ユニットポンプ	PFU	
排水ポンプ	PD	
自動給水装置	APW	
加圧給水装置	BPW	
全熱交換換気扇	HEU	
クリーンヒーター	CH	
送風機	F	
送風機(給気)	FS	
送風機(排気)	FE	
換気扇	VFE	
天井埋込型換気扇	VFC	
パイプ取付換気扇	VFP	
パッケージ形空気調和機	ACP	
ガスヒートポンプエアコン	GHP	
電気ヒートポンプエアコン	EHP	
ルームエアコン	ACR	
空気清浄装置	AF	
タンク	T	
受水タンク	TWR	
高置タンク	TWH	
貯湯タンク	THW	
給湯用補給水タンク	TWS	
膨張タンク	TEX	
消火タンク	TF	
消火用充水タンク	TFS	
ガス給湯器	GH	
水ろ過装置	WF	
ガス遠赤外線ヒーター	GSH	
浴室暖房専用熱源機	GD	
浴室暖房乾燥機	DKF	
ガス回転釜	DGK	
ガスフライヤー	FG	
シックハウス用換気扇	24h	換気扇部分に記載

吹出口、吸込口記号

[illegible]

図 示 記 号

空 気 調 和 配 管		
冷煤管	—— R ——	
ドレン管	—— D ——	
冷温水管 (往)	—— CH ——	
冷温水管 (還)	—— CHR ——	
冷却水管 (往)	—— CD ——	
冷却水管 (還)	—— CDR ——	
冷水管 (往)	—— C ——	
冷水管 (還)	—— CR ——	
温水管 (往)	—— H ——	
温水管 (還)	—— HR ——	

給 水 ・ 給 湯 配 管	
市水管	— — — —
市水銅鉄管	┐ — — —
給湯送り管	— — — —
給湯送り管	— — — —
膨張管	— — E — —
工水管	— — — —
工水銅鉄管	┐ — — —

排水配管		
雑排水管	— — — — —	
污水管	— — — — —	
通気管	— — — — —	
実験排水管	— — — — — P — — — — —	

消 火 配 管		
消火栓管	—— X ——	
連結送水管	—— XS ——	
連結散水管	—— XB ——	
スプリンクラー管	—— SP ——	
採水管	—— H ——	

弁、計器類		
弁	  	水道用仕切弁 ハンドル付止水栓 GV：仕切弁 BV：バタフライ弁 SV：玉形弁 BAV：ボール弁
逆止弁		
コック		
安全弁		
減圧弁		
電磁弁		
自動エア抜き弁		
ストレーナー		
計器類		P：圧力計 C：遠成計 W：水高計 T：温度計 F：瞬間流量計
地中埋設標		

継 手 類		
防振継手	S又はR 	S：ステンレス製 R：合成ゴム製
可とう継手	S又はR 	S：ステンレス製 R：合成ゴム製
伸縮継手	S又はD 	S：単式 D：複式

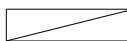
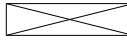
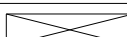
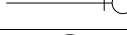
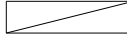
ダクト 類		
ダクト		SA : 給気 GA : 外気 RA : 運気 EA : 排気
ダクト断面 (給気・外気)		SA : 給気 GA : 外気
ダクト断面 (運気・排気)		RA : 運気 EA : 排気
壁付吹出口		
壁付吸込口		
天井付吹出口		
天井付吸込口		
たわみ継手		
ガイドベーン		
消音内貼部		
ダンパー		FD : 防火 VD : 風量調整 MD : モーター SD : 防煙 SPD : 防火防煙 CD : 逆流防止 PD : ピストン
フレキシブルダクト		

自 動 制 御		
配線	_____	隠べい
	*****	露出

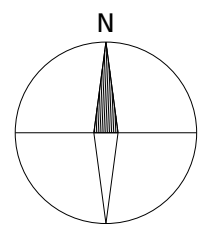
管 撤 去 そ の 他		
既設管	(_ _)	
既設管撤去	~~× × ×~~	
既設管放棄	~~/ / /~~	
工事中配管	{ _ _ }	

[illegible]

衛生器具類		
水栓		給水栓 給湯栓 混合栓
自動水栓		
洗浄弁		
ボールタップ		
量水器		
シャワー		
散水栓		
床上掃除口		C04：非防水形
		C08：防水形
掃棄ドレン (掃除口兼用)		C0D4：非防水形 C0D8：防水形
床排水トラップ		T54：非防水形床排水
		T59：防水形床排水
		T74：非防水形形床排水
		T7B：防水形形床排水
		T14A：ステンレス製しし
		T14B：人研流し
共栓付 排水トラップ		T541：非防水形床排水
		T5B1：防水形床排水
		T14B1：ステンレス製しし
		T14B1：人研流し
洗濯機用 排水トラップ		T54-W：非防水 T54B-W：防水形
排水金物(目皿)		D：D金具 C：C金具
共栓付排水金物 (目皿)		SNA SNB
通気口 (ベントキャップ)		露出形(VC) 埋込形(VB)
排水樹		A 1形・A 2形 別途工事
汚水樹		A 1形・A 2形
小口径樹		
トラップ樹		T形
グリーストラップ		
ドラムトラップ		

消火器具類		
屋内消火栓	 	HB-単露：単独露出形 HB-単埋：単独埋込形 HB-総露：総合露出形 HB-総埋：総合埋込形 HB-併露：併設露出形 HB-併埋：併設埋込形 HB-(面取)： 総合露出形(全面面取形)
屋内2号消火栓		2
放水口		箱共
放水口・放水用器具格納箱		
屋外消火栓		箱共
送水口	 	双口 単口
スプリンクラーヘッド		
アラーム弁		
手動起動装置		
モーターサイレン		
補助放水栓		S
採水口	 	双口 単口

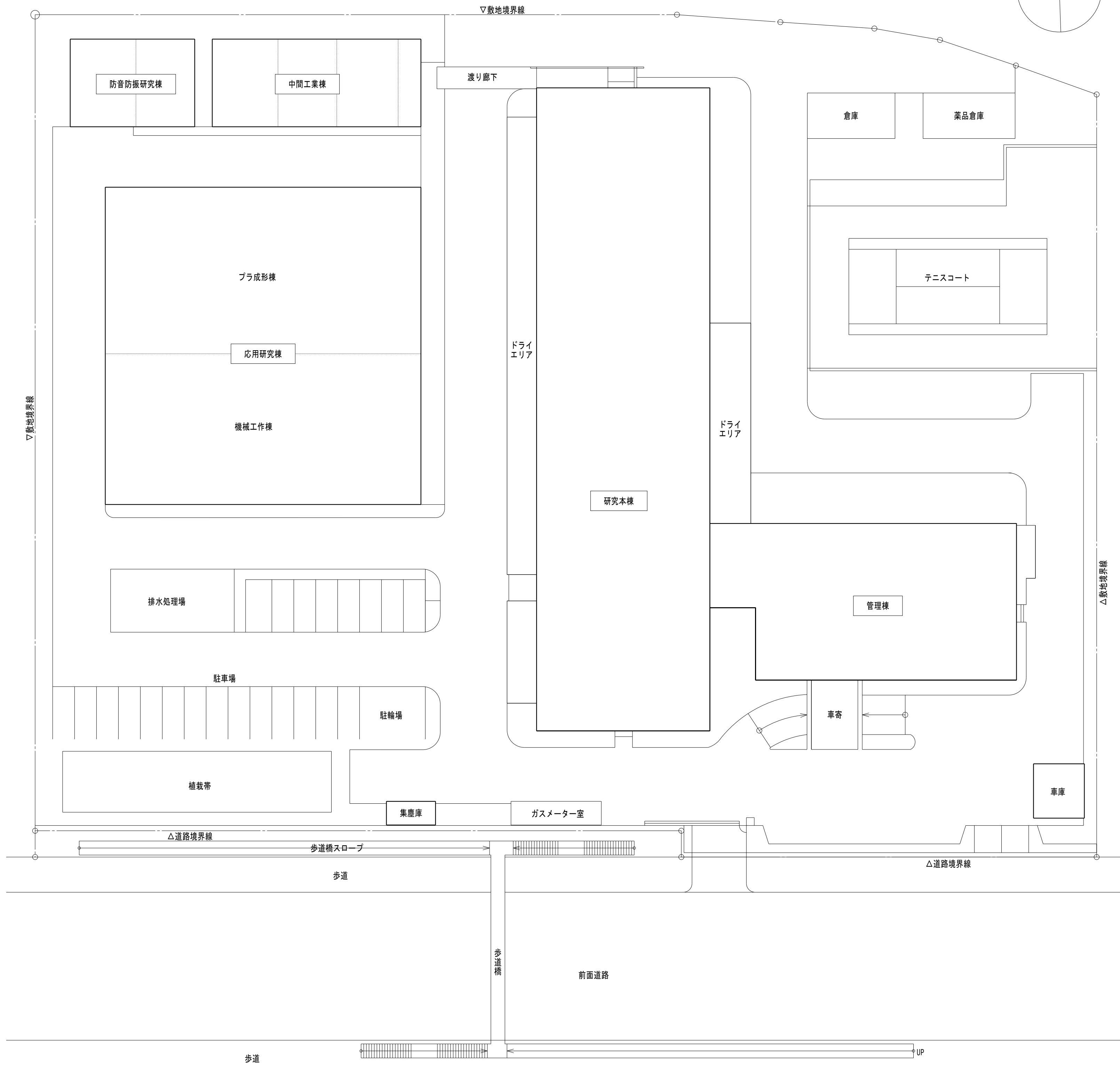
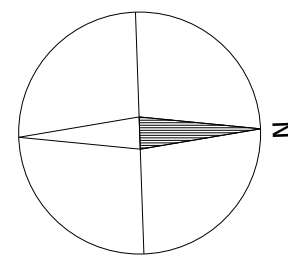
地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 機械設備工事特記仕様書（３）・凡例表	縮尺 A1：NOSCALE A3：NOSCALE	図面番号 M-094



工事場所：大阪産業技術研究所森ノ宮センター

付近見取図

工事概要	
工 事 種 目	工 事 内 容
空調設備	ソーラー系統の機器及び配管の撤去を行う（その1工事）
	研究本棟①～⑨通りの各PS内立管及び各室内機までの冷温水配管の更新を行う（その1工事）
	研究本棟⑨～⑭通りの各PS内立管及び各室内機までの冷温水配管の更新を行う（その2工事）
	研究本棟の廊下天井内配管及び管理棟の冷温水配管の管更生を行う（その2工事）
	上配管更生工事に伴う配管切断・接続を行う（その2工事）
給排水設備	研究本棟の地階・屋上階及び各階機械室内の冷温水配管の更新を行う（その3工事）
	研究本棟①～⑨通りの各PS内立管及び各居室内器具までの給排水配管の更新を行う（その1工事）
	研究本棟⑨～⑭通りの各PS内立管及び各居室内器具までの給排水配管の更新を行う（その2工事）
	研究本棟及び管理棟の便所系統の給排水配管の管更生を行う（その2工事）
	応用研究棟及び屋外の給水配管（埋設部）の管更生を行う（その2工事）
	上配管更生工事に伴う配管切断・接続を行う（その2工事）
	応用研究棟の給水配管（露出部）の更新を行う（その3工事）
	研究本棟の地階・屋上階及び各階機械室内の給排水配管の更新を行う（その3工事）



配置図 1/300

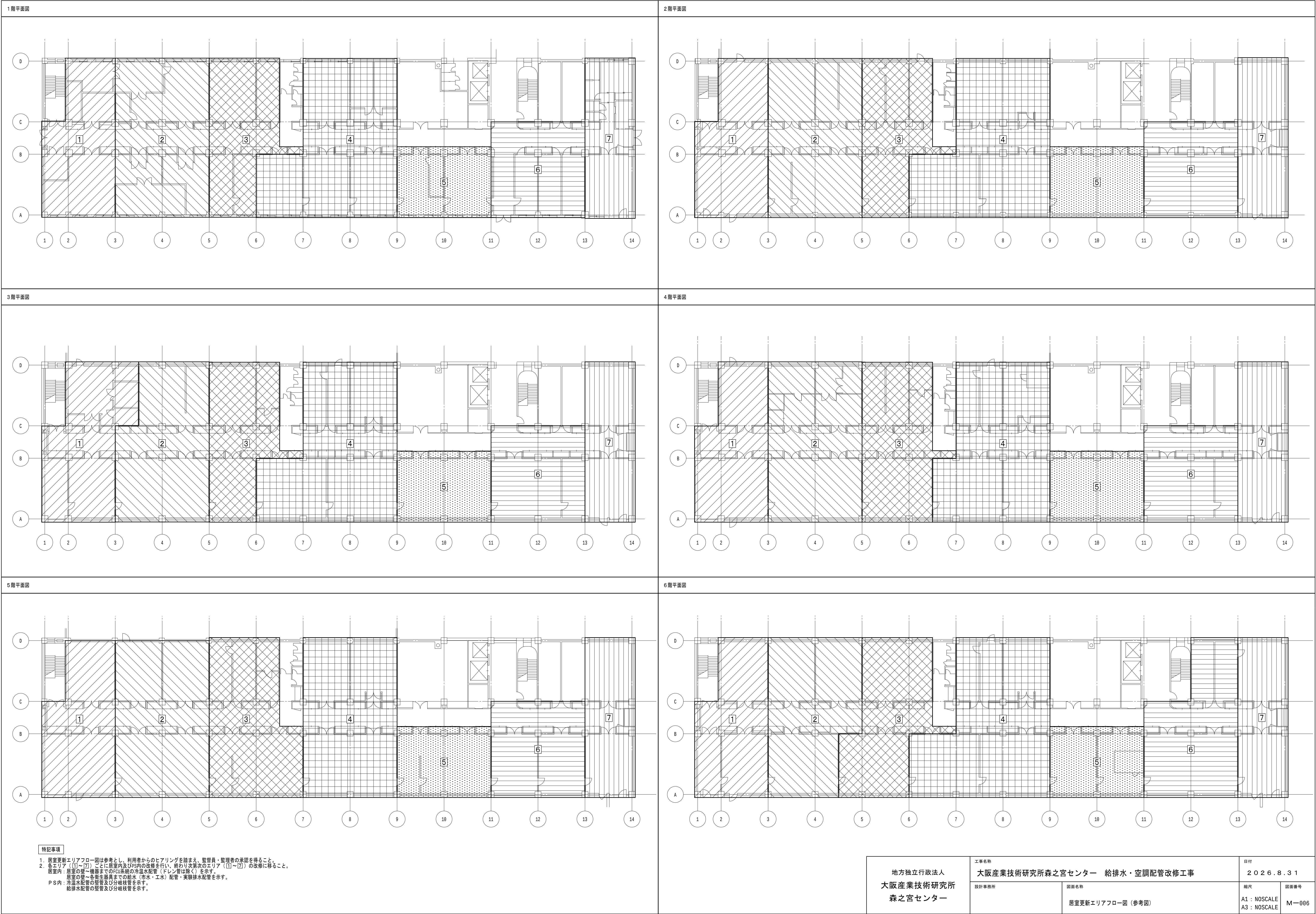
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

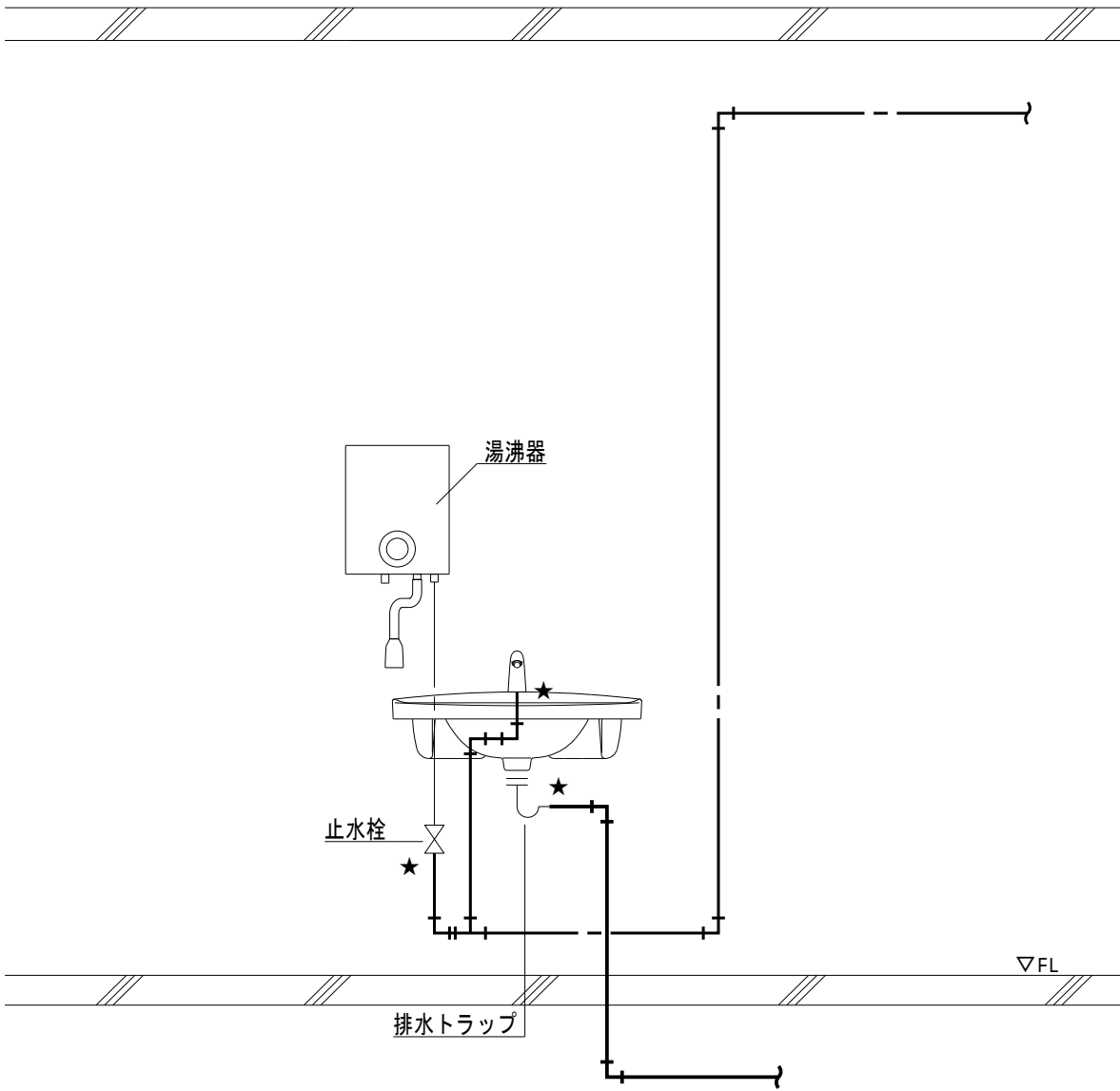
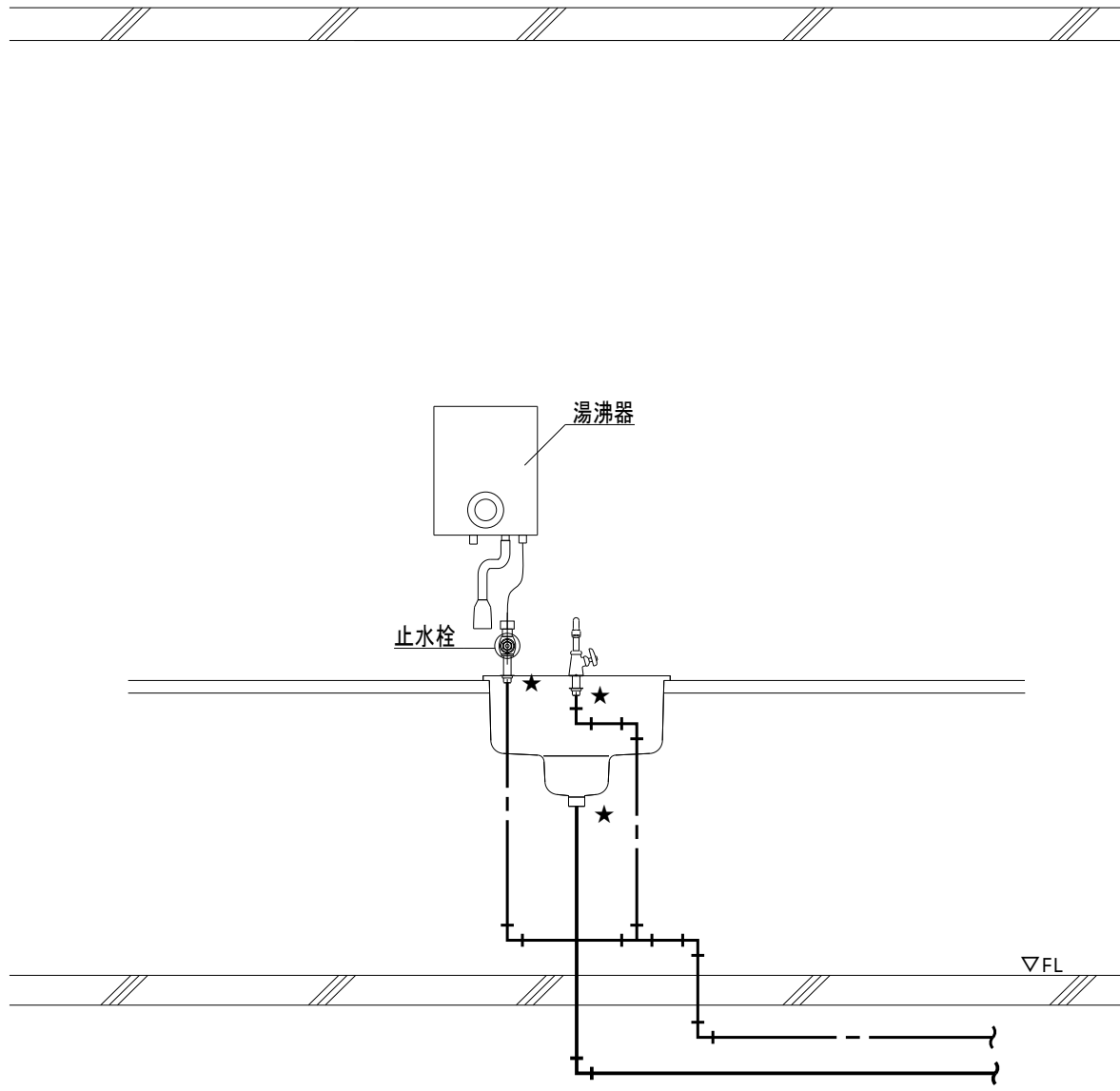
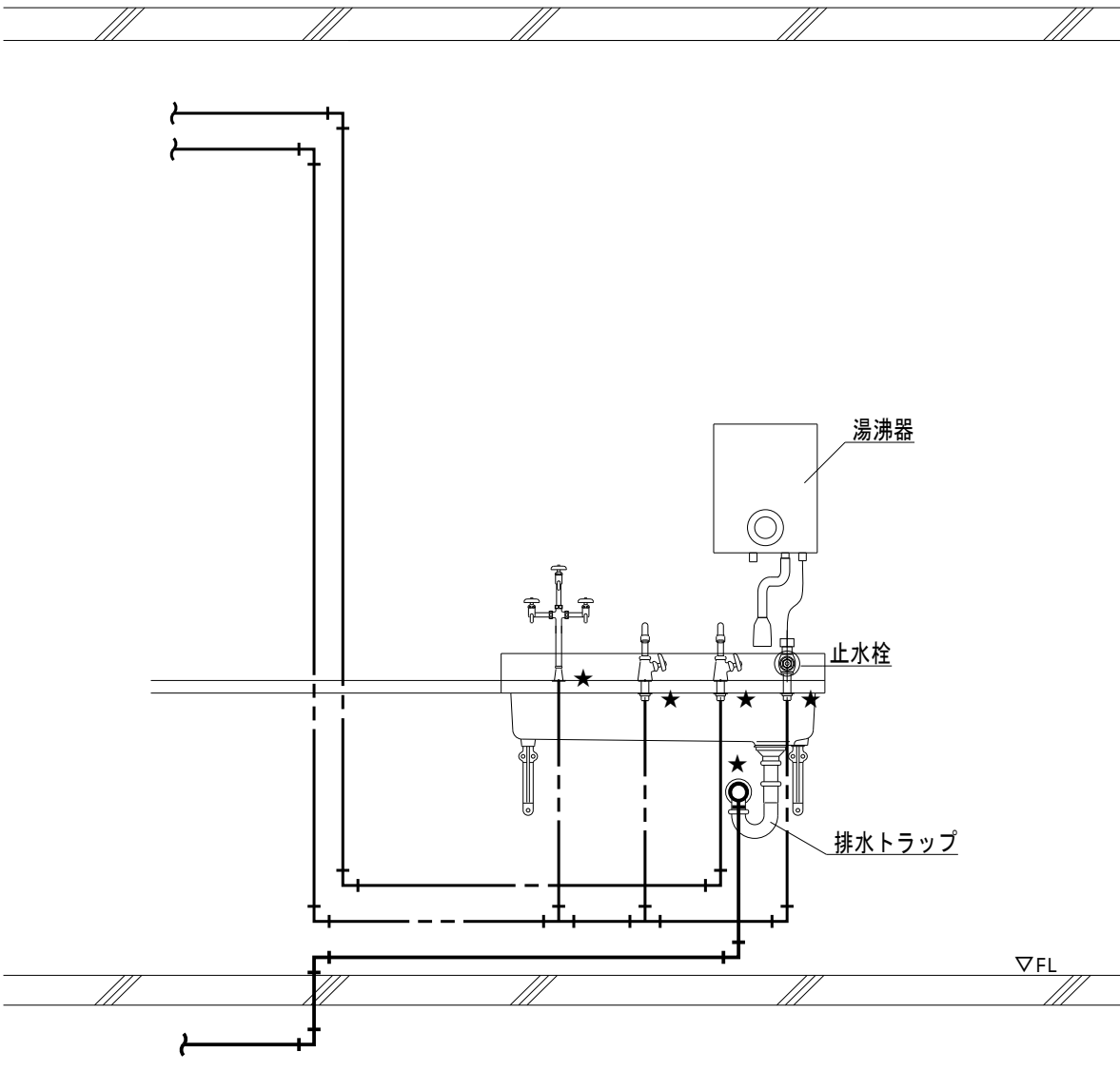
工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

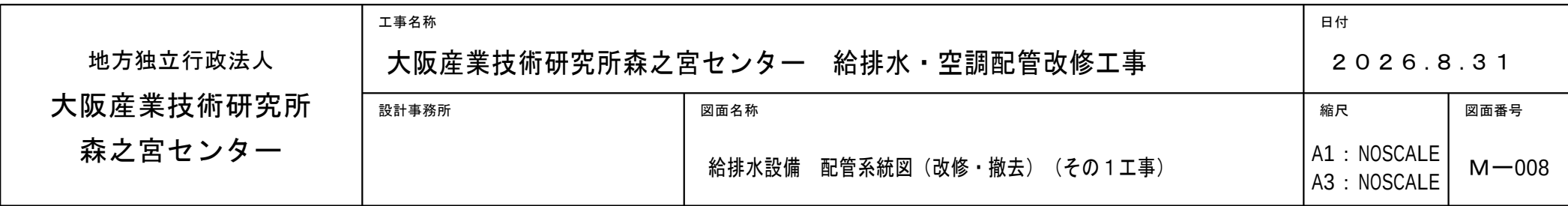
設計事務所
図面名称
付近見取図・配置図

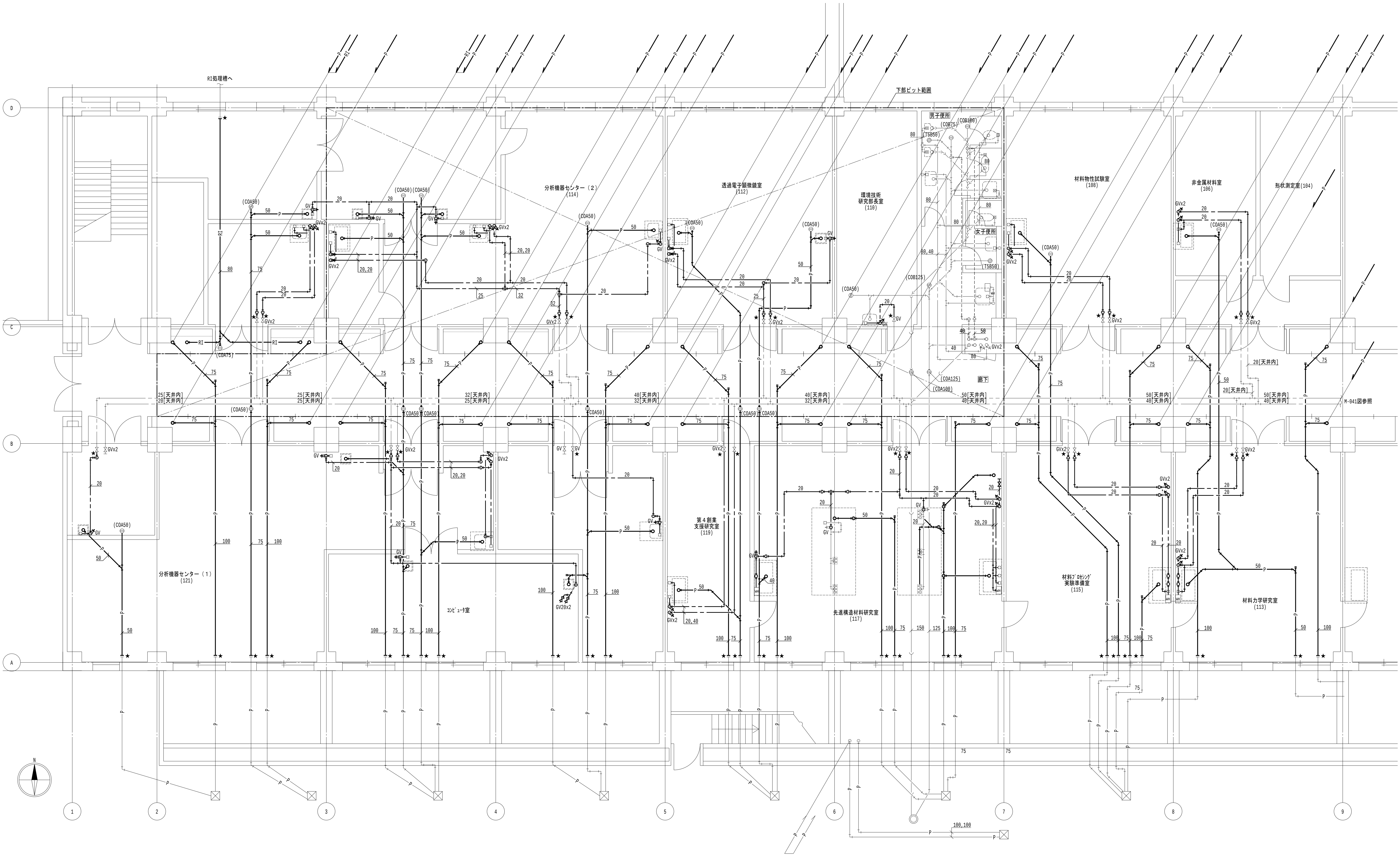
日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/300
A3 : 1/600
図面番号
M-005



洗面器	台所流し	実験流し								
										
		凡例 1. — は、撤去・新設を示す。 2. — は、既設残置を示す。 3. ★ は、切断・接続箇所を示す。								
地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター		<table><tr><td colspan="2">工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事</td><td colspan="2">日付 2026.8.31</td></tr><tr><td>設計事務所</td><td>図面名称 衛生器具詳細図（参考図）</td><td>縮尺 A1：NOSCALE A3：NOSCALE</td><td>図面番号 Mー007</td></tr></table>	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31		設計事務所	図面名称 衛生器具詳細図（参考図）	縮尺 A1：NOSCALE A3：NOSCALE	図面番号 Mー007
工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31								
設計事務所	図面名称 衛生器具詳細図（参考図）	縮尺 A1：NOSCALE A3：NOSCALE	図面番号 Mー007							





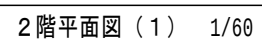
1階平面図(1) 1/60

- 凡例

 - 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★ は、接続箇所を示す。
 - 室名 は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

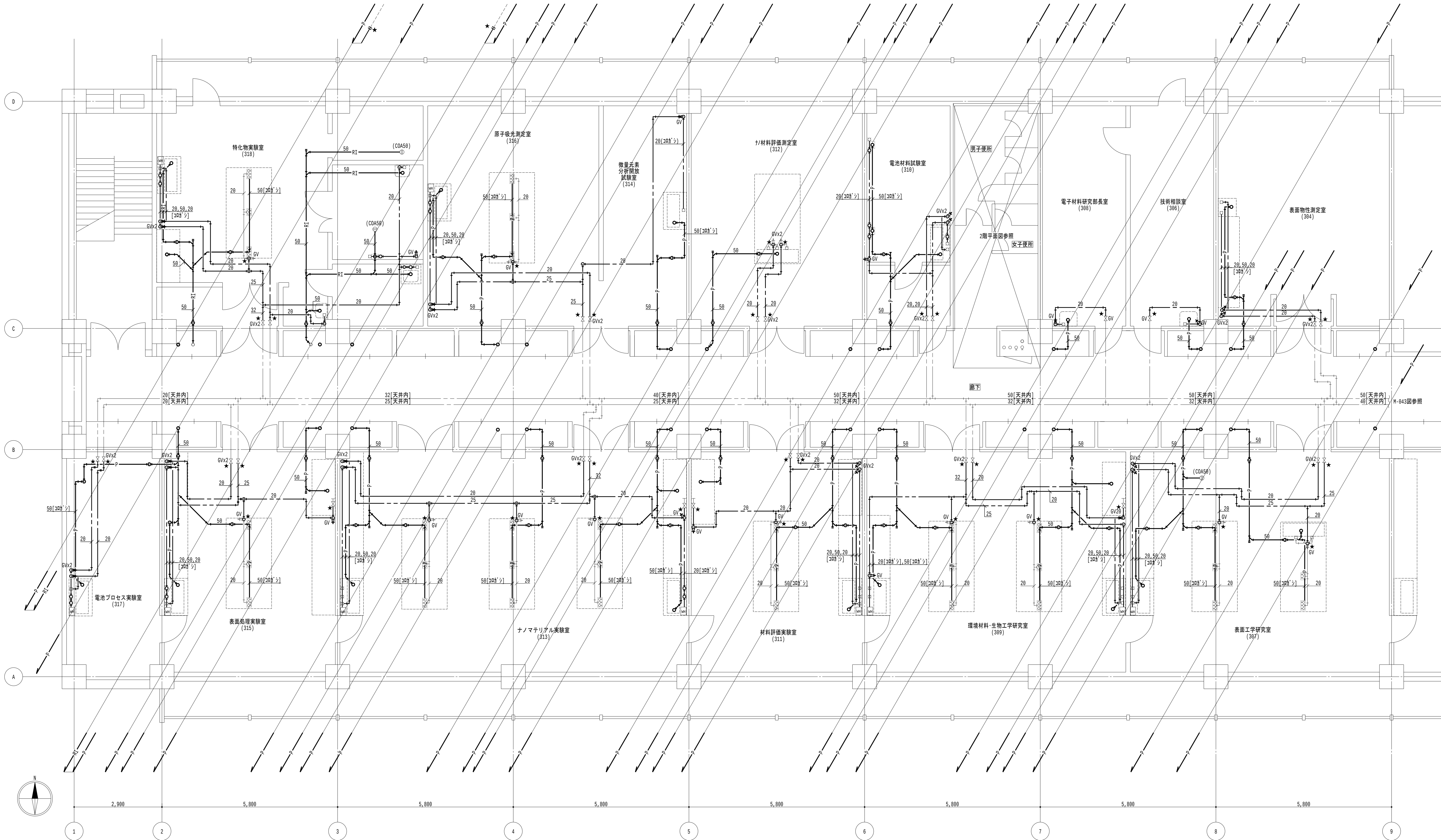
地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター		工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事	日付 2026.8.31	
設計事務所	図面名称 給排水設備 1階平面図(改修) (その1工事)	縮尺 A1: 1/60 A3: 1/120	図面番号 M-009	



1. — 太線は、新設を示す。
2. — 細線は、既設を示す。
3. ★ は、接続箇所を示す。
4. 室名 は、天井有を示す。

1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
2. 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
3. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 給排水設備 2階平面図(改修) (その1工事)	縮尺 A1 : 1/60 A3 : 1/120	図面番号 M-010



3 階平面図 (1) 1/60

凡例

1. 太線は、新設を示す。
2. 細線は、既設を示す。
3. ★ は、接続箇所を示す。
4. 室名 は、天井有を示す。

特記事項

1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下天井露出とする。
2. 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
3. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

給排水設備 3 階平面図 (改修) (その 1 工事)

日付

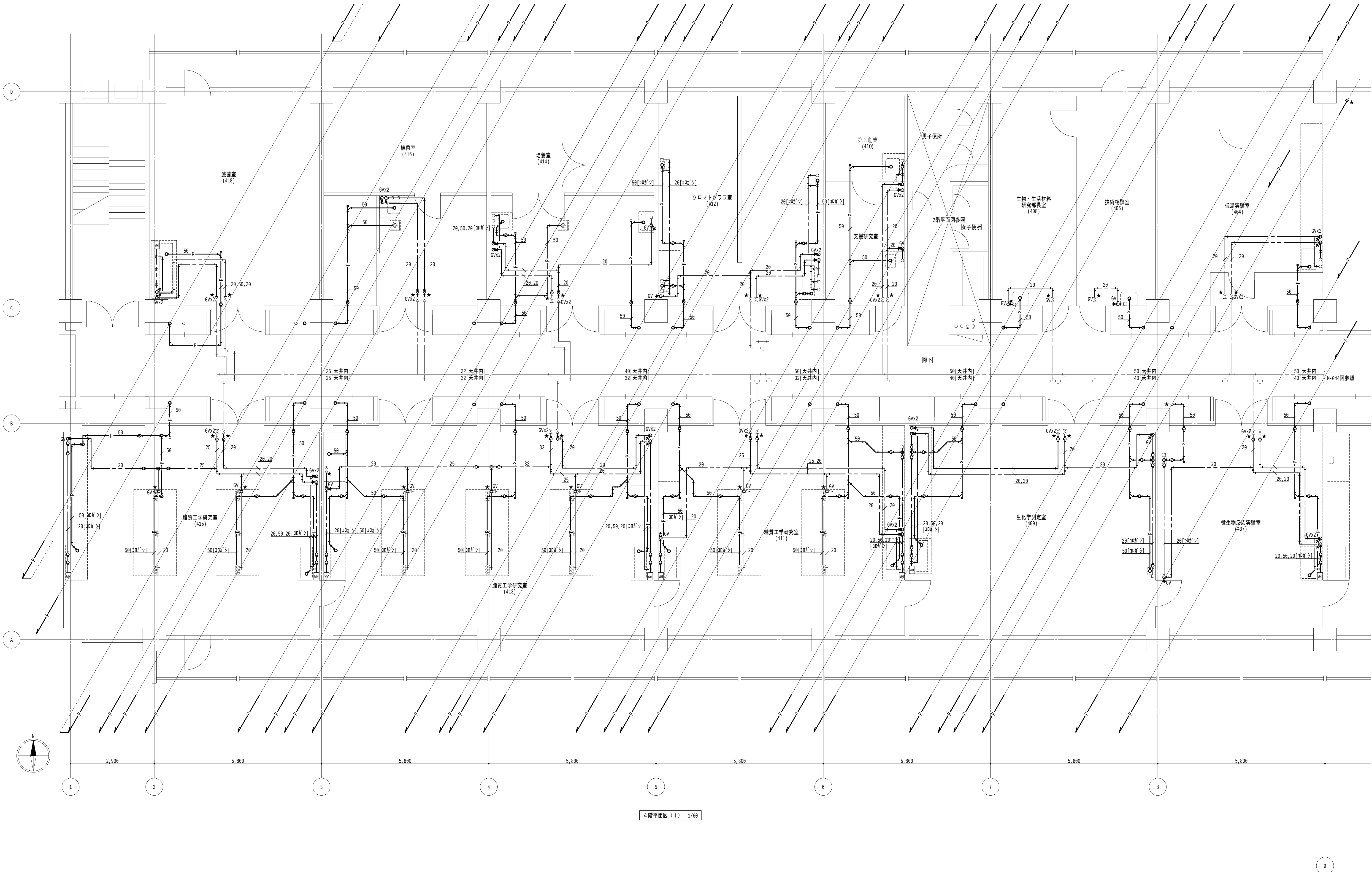
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/60
A3 : 1/120

図面番号

M-011



4 階平面図 (1) 1/60

- 凡例

 - 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★ は、接続箇所を示す。
 - 室名 は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

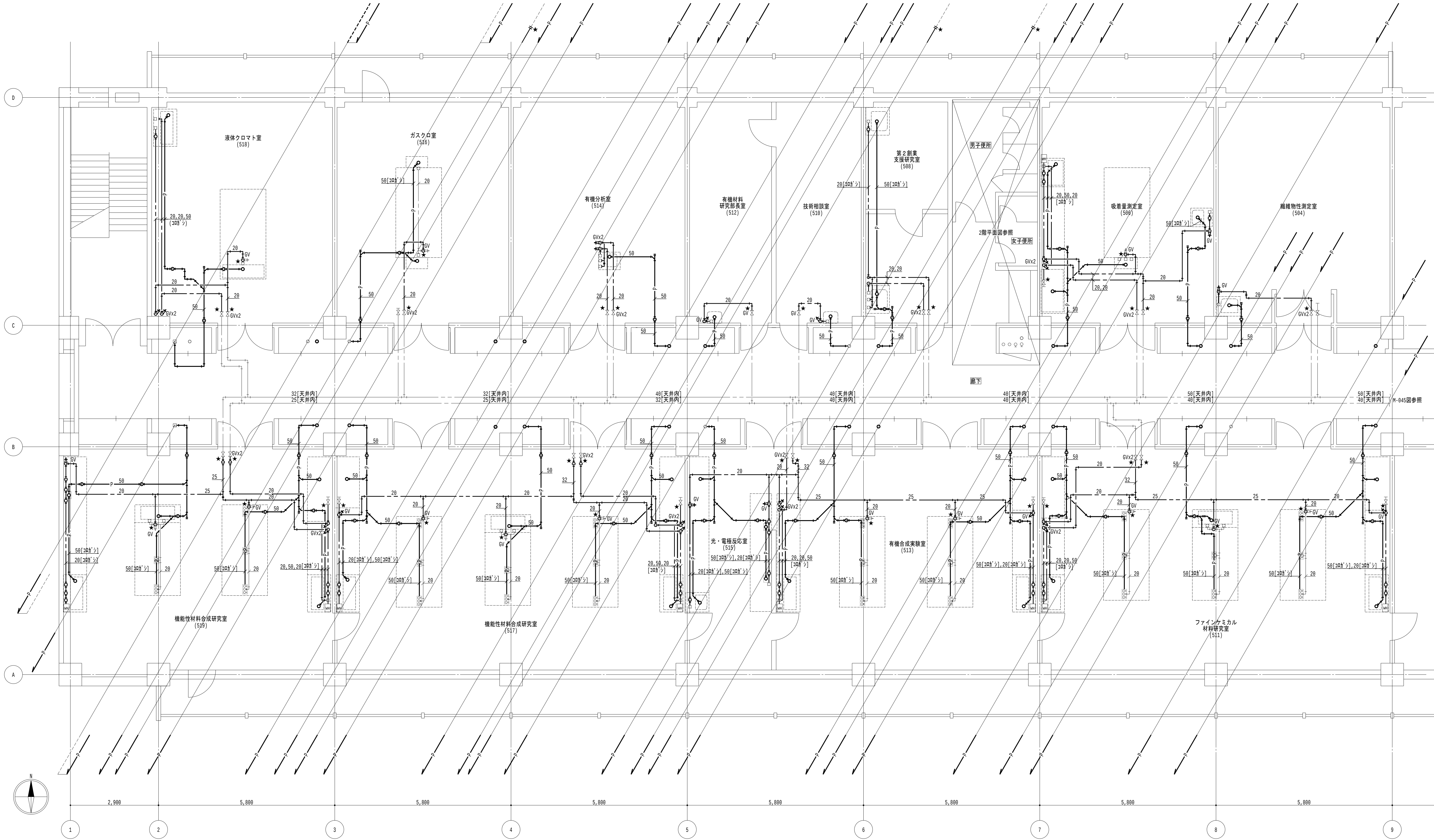
工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 4階平面図（改修）（その1工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/60
A3 : 1/120

図面番号
M-012



5階平面図（1） 1/60

- 凡例
1. 太線は、新設を示す。
 2. 細線は、既設を示す。
 3. ★ は、接続箇所を示す。
 4. 室名 は、天井有を示す。

- 特記事項
1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 2. 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
 3. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

給排水設備 5階平面図（改修）（その1工事）

日付

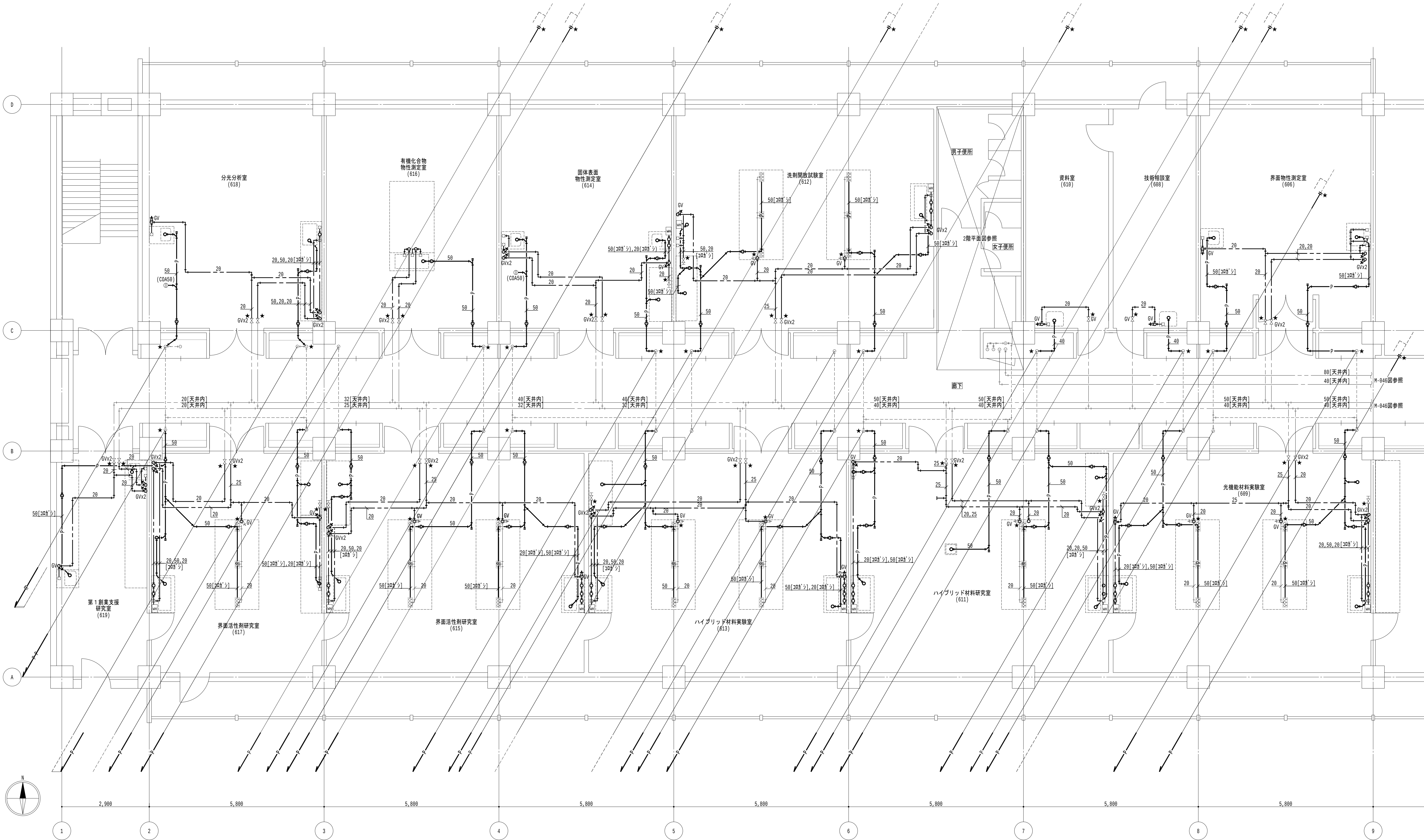
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/60
A3 : 1/120

図面番号

M-013



6階平面図 (1) 1/60

- 凡例

 - 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★ は、接続箇所を示す。
 - 室名 は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

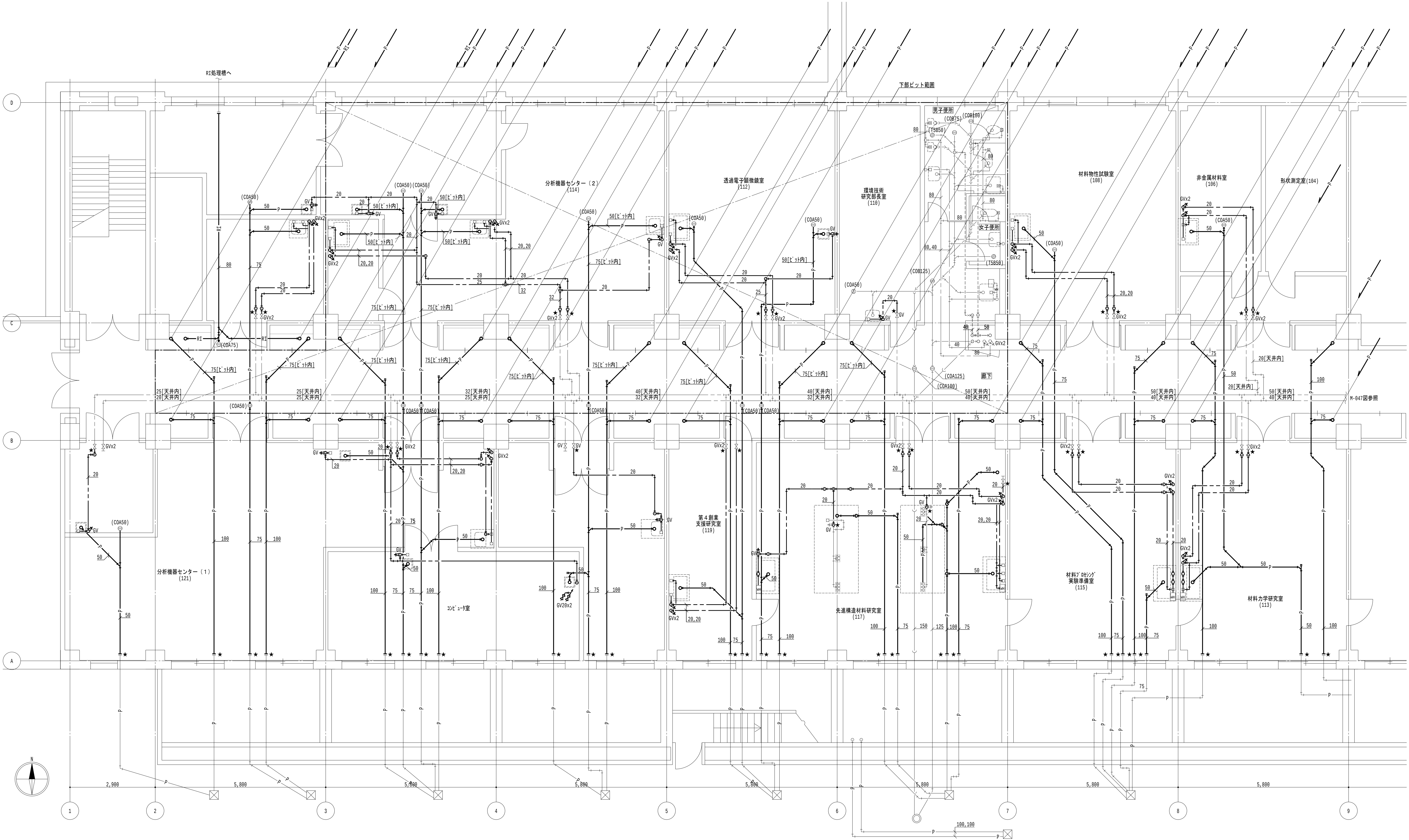
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 6階平面図（改修）（その1工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/60
A3 : 1/120
図面番号
M-014



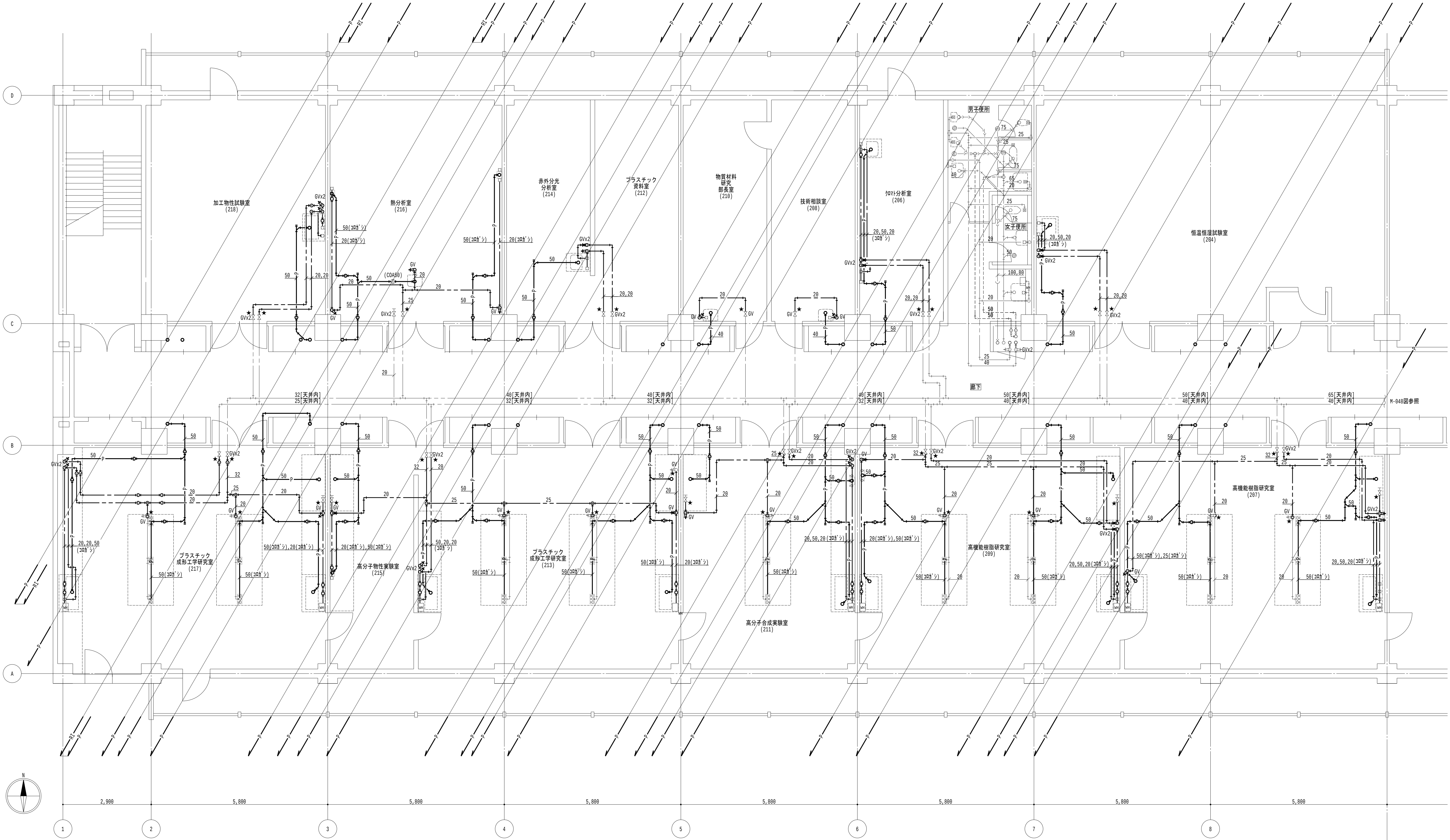
1階平面図(1) 1/60

- 凡例

 - 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切斷箇所を示す。
 - 室名は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切斷までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切斷までを本工事とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター		工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事	日付 2026.8.31	
設計事務所	図面名称 給排水設備 1階平面図(撤去) (その1工事)	縮尺 A1: 1/60 A3: 1/120	図面番号 M-015	



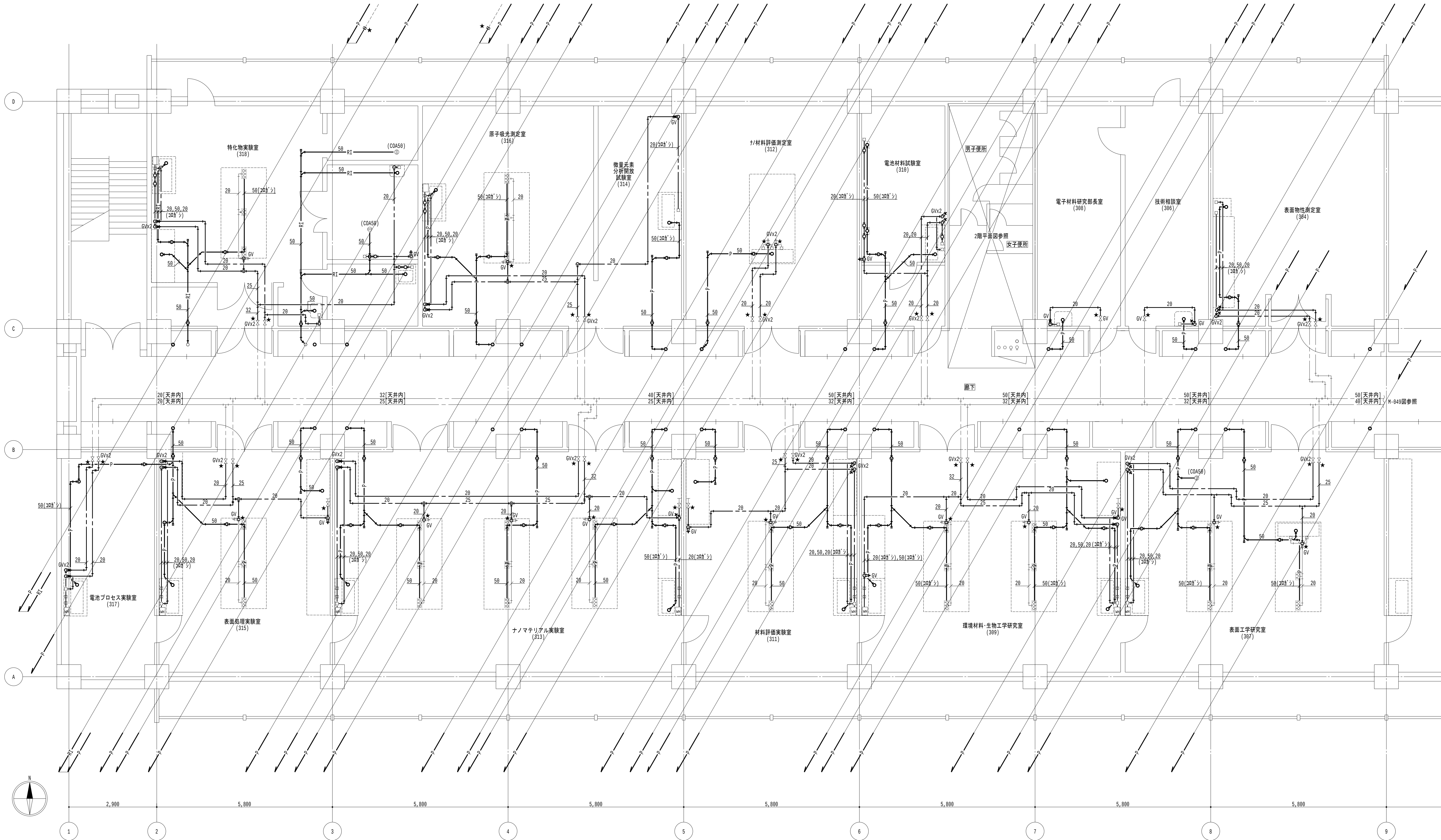
2階平面図 (1) 1/60

- 凡例

 - 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切断箇所を示す。
 - 室名は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 給排水設備 2階平面図(撤去) (その1工事)	縮尺 A1 : 1/60 A3 : 1/120	図面番号 M-016



3 階平面図 (1) 1/60

凡例

1. — 太線は、撤去を示す。
2. — 細線は、残置を示す。
3. ★ は、切断箇所を示す。
4. 〔室名〕 は、天井有を示す。

特記事項

1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
2. 排水金物は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
3. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称

大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

給排水設備 3 階平面図 (撤去) (その 1 工事)

日付

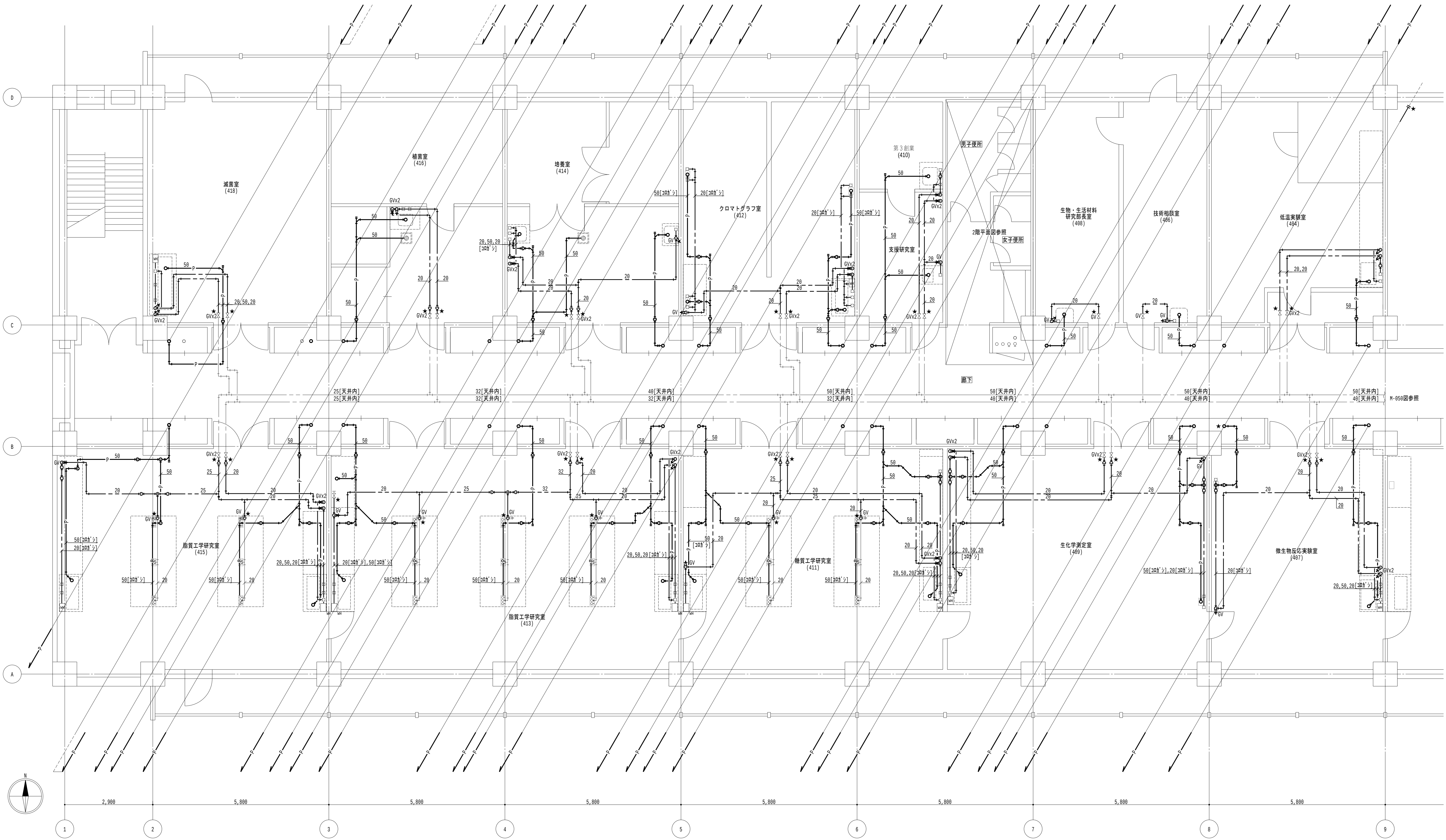
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/60
A3 : 1/120

図面番号

M-017



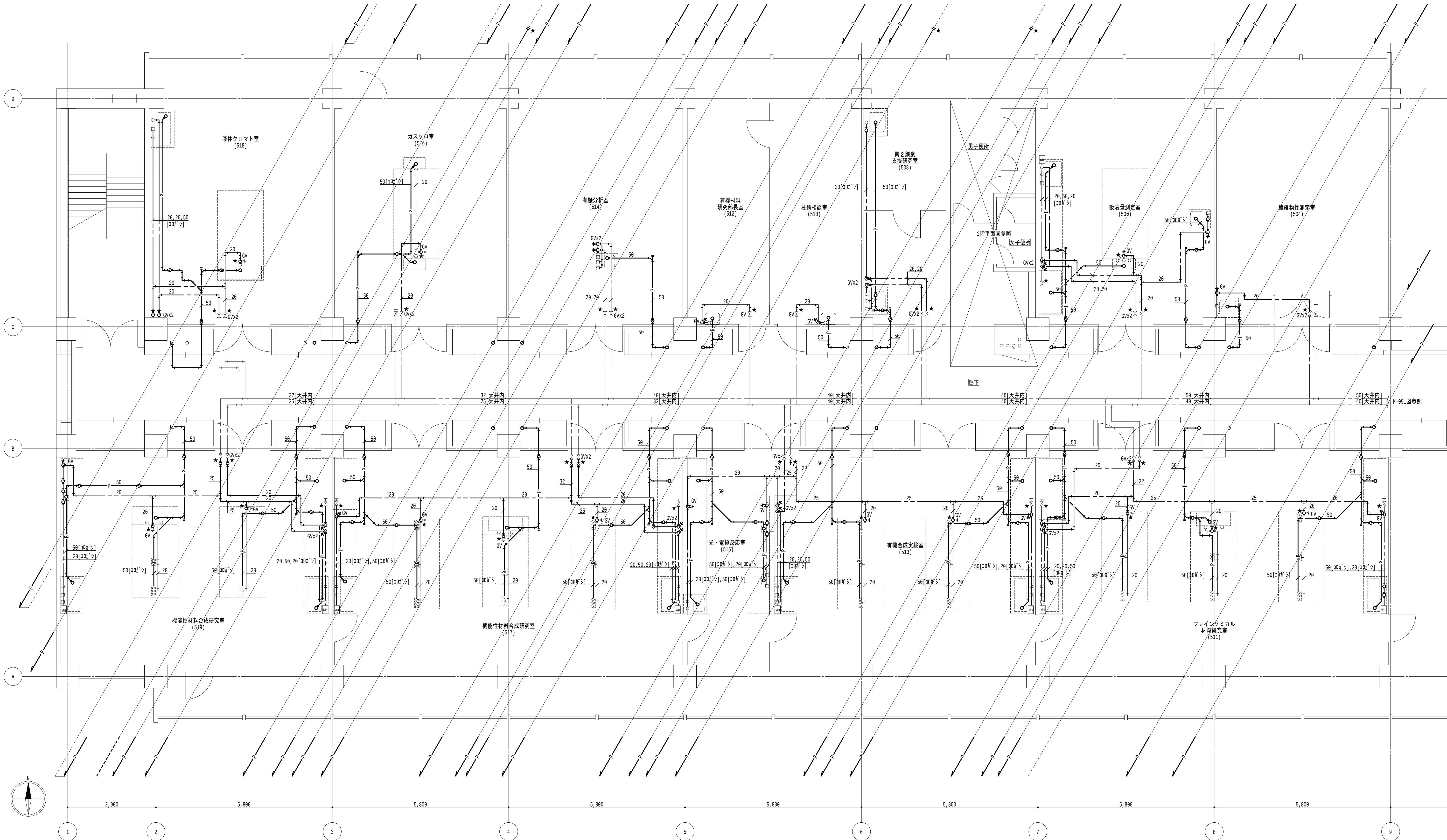
4 階平面図 (1) 1/60

- 凡例

 - 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★ は、切斷箇所を示す。
 - 室名 は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切斷までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切斷までを本工事とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 給排水設備 4階平面図（撤去）（その1工事）	縮尺 A1：1/60 A3：1/120	図面番号 M－018



5階平面図(1) 1/60

凡例

1. 太線は、撤去を示す。
2. 細線は、残置を示す。
3. ★は、切断箇所を示す。
4. 室名は、天井有を示す。

特記事項

1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
2. 排水金物は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
3. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

給排水設備 5階平面図(撤去) (その1工事)

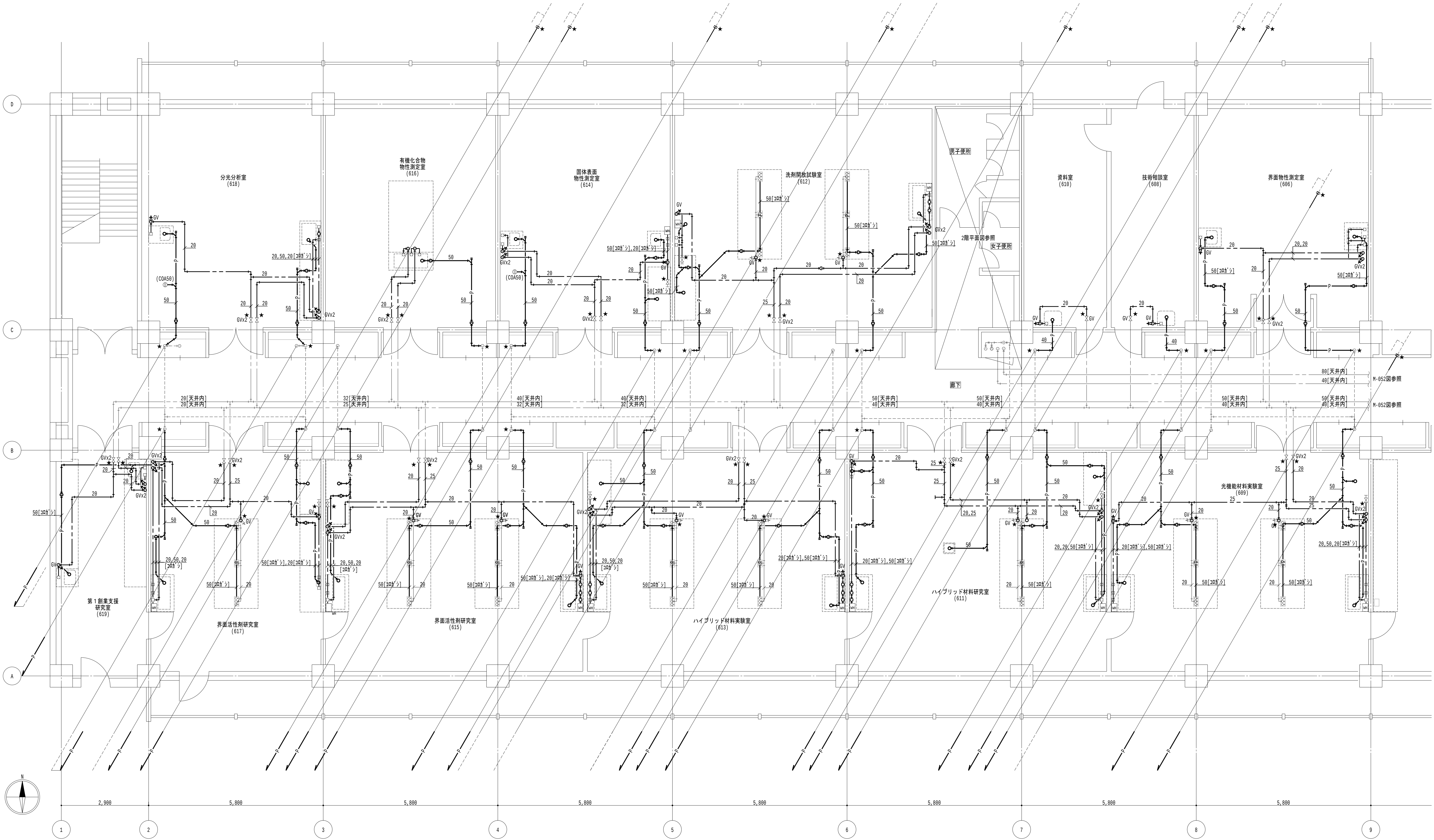
日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/60
A3 : 1/120

図面番号

M-019



6階平面図 (1) 1/60

- 凡例

 - 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切斷箇所を示す。
 - 室名は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切斷までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切斷までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

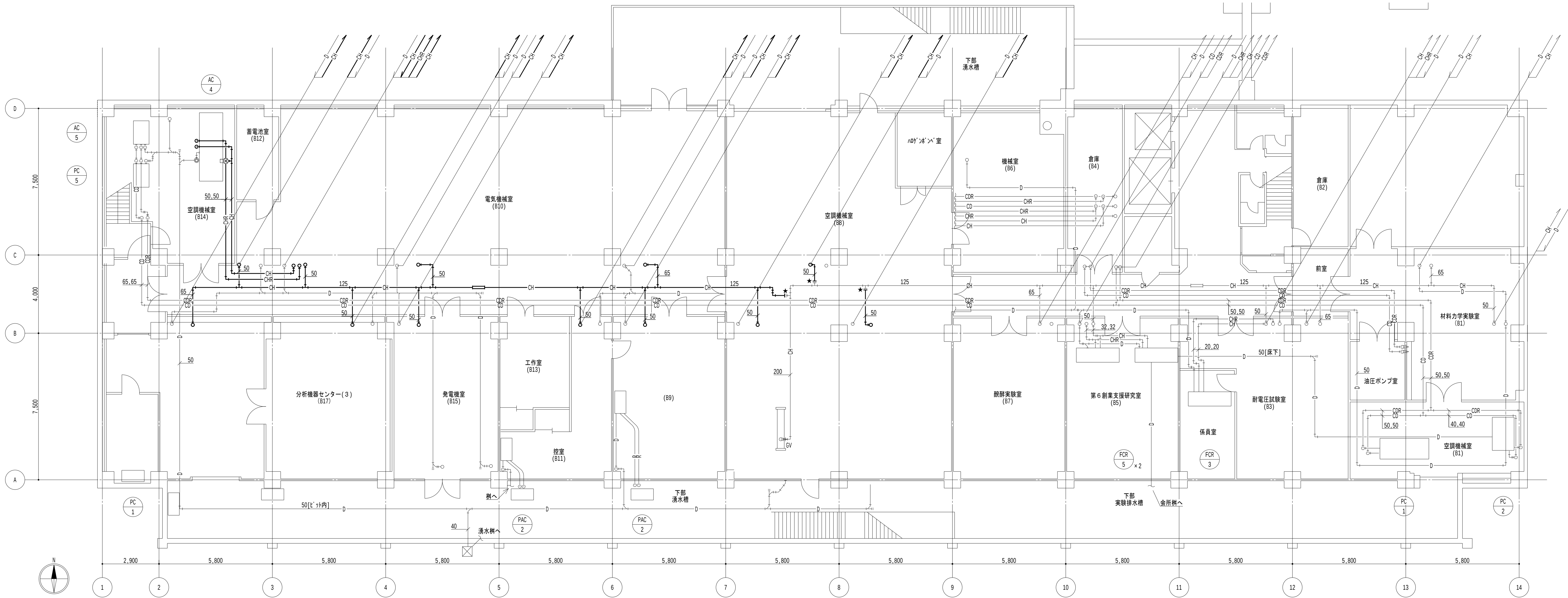
工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 6階平面図 (撤去) (その1工事)

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/60
A3 : 1/120
図面番号
M-020

A1 : NOSCALE M-021



B 1 階平面図 1/100

- 凡例
1. 太線は、新設を示す。
 2. 細線は、既設を示す。
 3. ★ は、接続箇所を示す。
 4. 室名 は、天井有を示す。

- 特記事項
1. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
 2. 機器直近のバルブは既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称
空調設備 B 1 階平面図（改修）（その 1 工事）

日付

2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-022



1 階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★ は、接続箇所を示す。
 - 室名 は、天井有を示す。

- 特記事項
- 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
 - 機器直近のバルブは既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

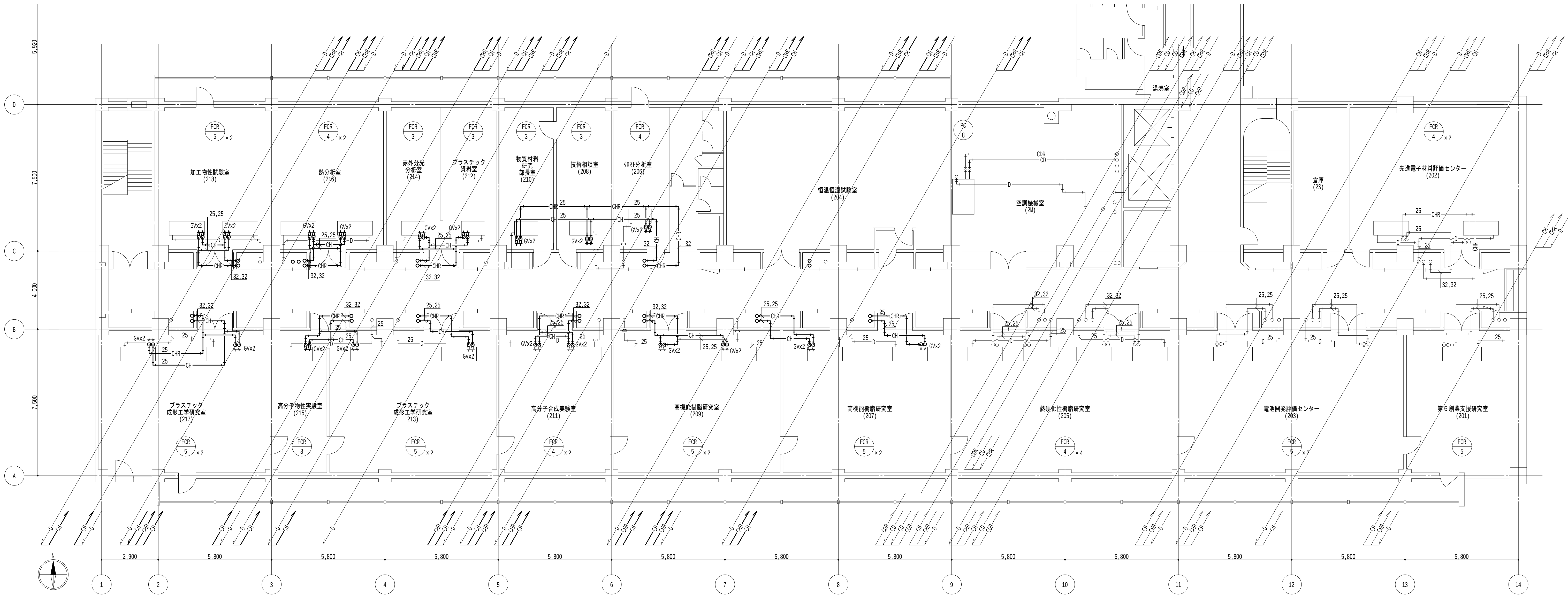
図面名称

空調設備 1 階平面図（改修）（その 1 工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-023



2 階平面図 1/100

凡例

1. 太線は、新設を示す。
2. 細線は、既設を示す。
3. ★ は、接続箇所を示す。
4. 室名 は、天井有を示す。

特記事項

1. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
2. 機器直近のバルブは既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

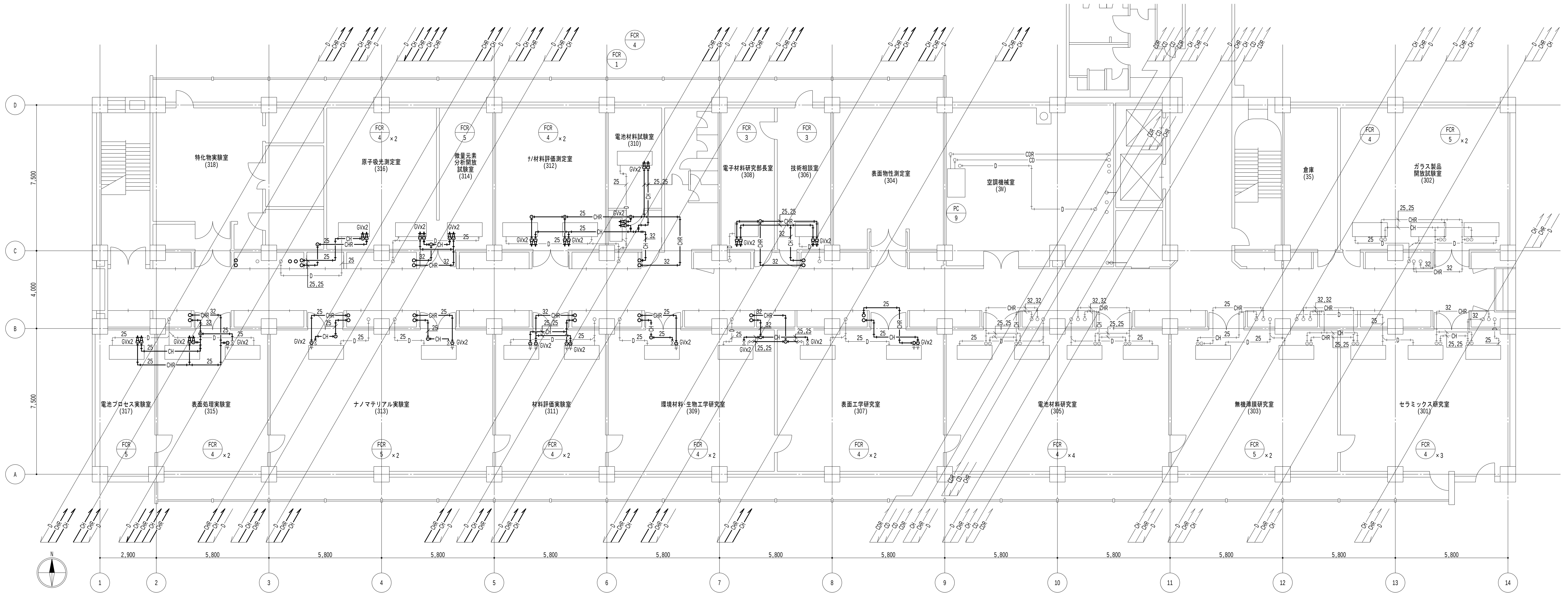
設計事務所

図面名称
空調設備 2 階平面図（改修）（その 1 工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-024



3階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★ は、接続箇所を示す。
 - 室名 は、天井有を示す。

- 特記事項
- 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
 - 機器直近のバルブは既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

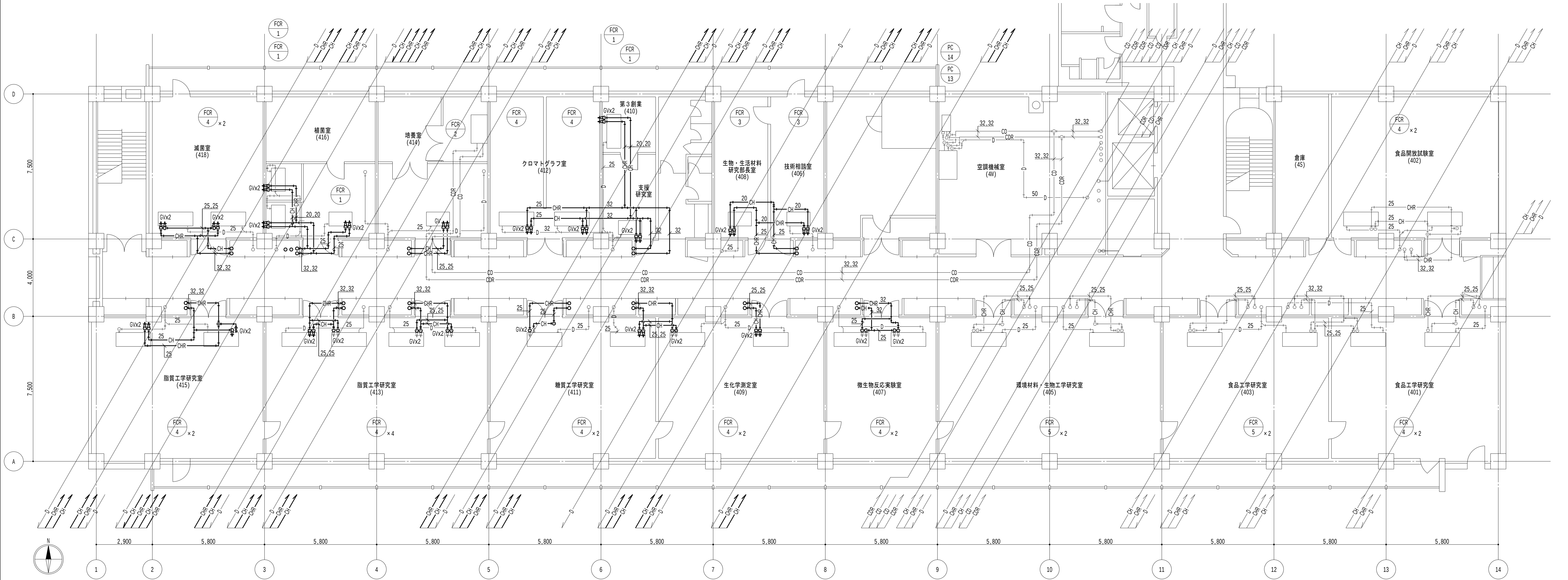
図面名称

空調設備 3階平面図（改修）（その1工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-025



4階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★は、接続箇所を示す。
 - 室名は、天井有を示す。

- 特記事項
- 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
 - 機器直近のバルブは既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

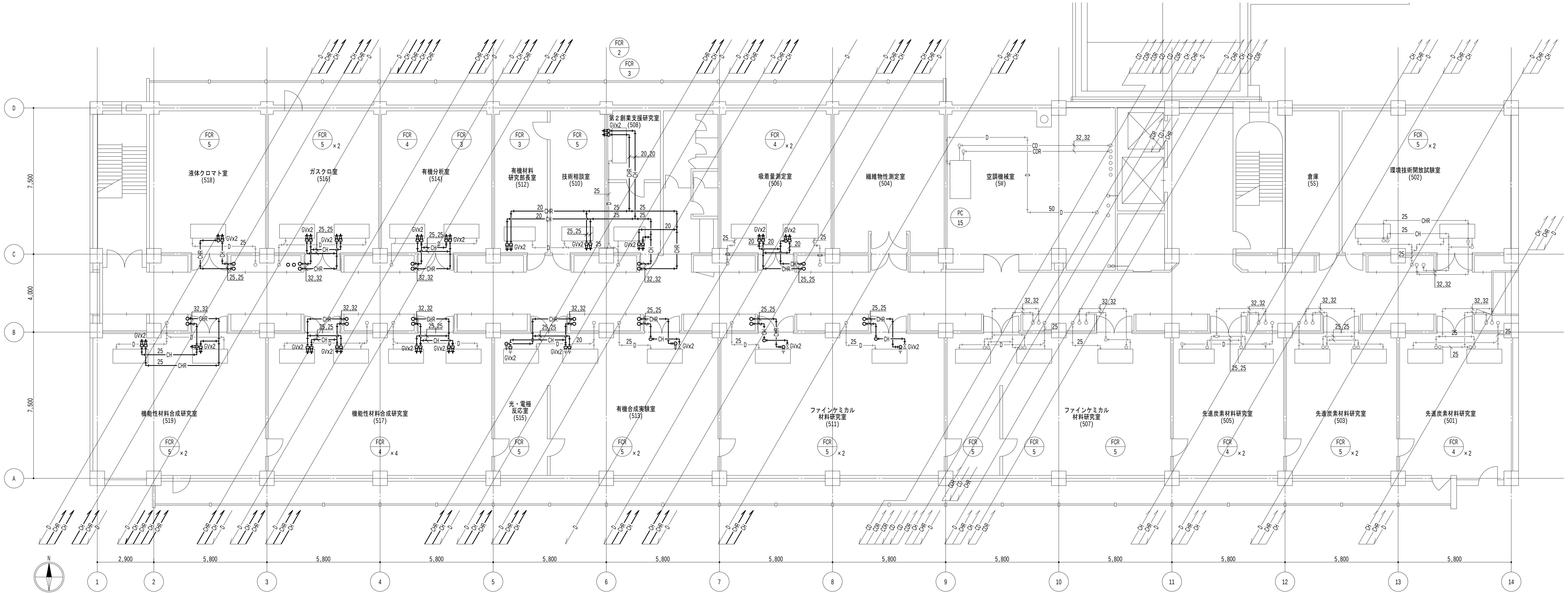
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
空調設備 4階平面図（改修）（その1工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200
図面番号
M-026



5階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★ は、接続箇所を示す。
 - 室名 は、天井有を示す。

- 特記事項
- 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
 - 機器直近のバルブは既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

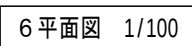
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

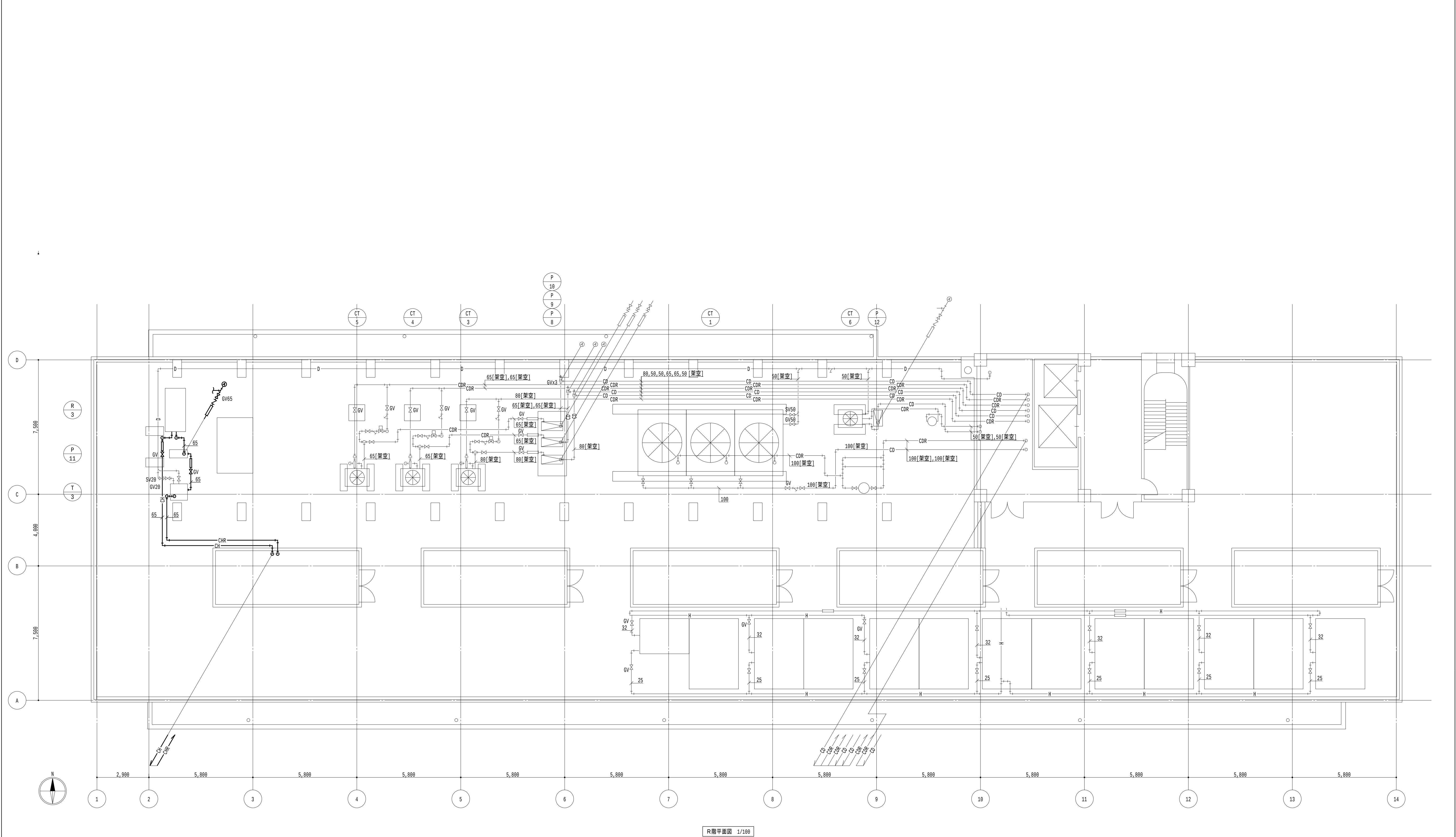
設計事務所
図面名称
空調設備 5階平面図（改修）（その1工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200
図面番号
M-027



地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 空調設備 6階平面図（改修）（その1工事）	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号 M—028



R階平面図 1/100

凡例

- 太線は、新設を示す。
- 細線は、既設を示す。
- ★ は、接続箇所を示す。
- 〔室名〕 は、天井有を示す。

特記事項

- 特記なきは屋外架空配管とする。
- 機器直近のバルブは既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称

大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 R・PH階平面図（改修）（その1工事）

日付

2026.8.31

縮尺

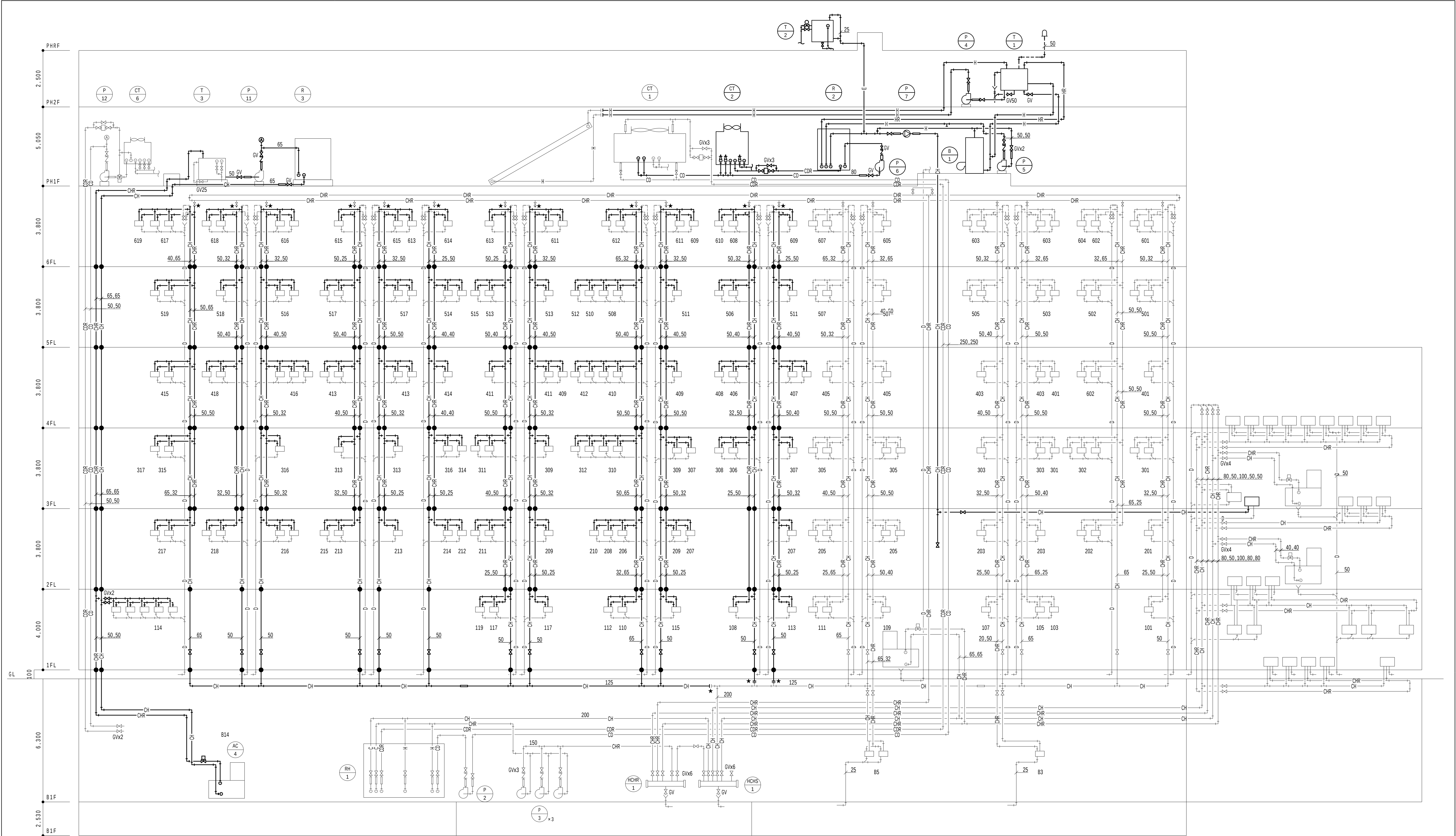
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-029

機器表（撤去）																			
記号	機器名称	仕様	動力			台数	設置場所		備考	記号	機器名称	仕様	電圧	容量		台数	設置場所		備考
			機器	φ-V	kW		階	室名					φ-V	kW	起動方式		階	室名	
R-2	温水焚ウォーターチラー	冷凍能力：22,500kcal/h		3-200	0.35	1	R	機械室		P-4	集熱温水循環ポンプ	型式：ポンプ	3-200	1.5	L-S	1	PH1	機械室	40X43FS4H61.5
		冷水出口温度：9℃（Δ t=5℃） 冷水量：75l/min							（三洋電機）			方式：運転							（荏原製作所）
		熱媒入口温度：75～100℃（Δ t=5℃） 熱媒循環量：107l/min										能力：4 0 φ × 1 5 0 L / m i n × 1 5 m							
		冷却水入口温度 29.5℃（Δ t=5℃） 冷却水循環量：238l/min										付属品：標準付属品一式							
B-1	ガス焚ボイラー	定格出力：70,000kcal/h		1-100	0.4	1	R	機械室	BGS7	P-5	温水循環ポンプ	型式：ポンプ	3-200	1.5	L-S	1	R	機械室	
		伝熱面積：2.58㎡ 缶容量：140ℓ							（巴商会）			方式：運転							（荏原製作所）
		ガス消費量：23.9										能力：4 0 φ × 1 2 0 L / m i n × 1 5 m							
		付属品：進相コンデンサー										付属品：標準付属品一式							
T-1	高熱水槽	型式:ステンレス製		－	－	1	R	機械室		P-6	冷却水循環ポンプ	型式：ポンプ	3-200	2.2	L-S	1	R	屋上設備スペース	
		有効容量：6,000ℓ										方式：運転							
		大きさ：3700×1400×1400H										能力：5 0 φ × 4 0 φ × 2 0 0 L / m i n × 1 8 m							
		給湯用コイル：30m										付属品：標準付属品一式							
T-2	膨張水槽	型式:ステンレス製		3-200	2.2x2	1	PH2	水槽置場		P-7	冷水循環ポンプ	型式：天吊形ラインポンプ	3-200	0.75	L-S	1	R	機械室	
		有効容量：800ℓ										方式：運転							
		大きさ：1000×1000×1000H										能力：3 2 φ × 8 5 L / m i n × 1 7 m							
												付属品：標準付属品一式							
CT-2	冷却塔	型式：低騒音形	送風機	3-200	0.20	1	R	屋上設備スペース	SKN-10R										
		冷却能力：45.35kW							（空研工業）										
		冷却水出入口温度：29.5℃-33.4℃ 循環水量：130ℓ/min																	
NSD-2	水処理装置	常用圧力：5kg/cm							NSD-40A										
		処理剤：カートリッジ型2個							（ノーセイ化学工業）										

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2 0 2 6 . 8 . 3 1	
	設計事務所	図面名称 空調設備 機器表（撤去）（その1工事）	縮尺 A1：NOSCALE A3：NOSCALE	図面番号 M—030



凡例		
記号	名称	配管材（既設）
—CH—	冷温水管（往）	配管用炭素鋼鋼管（白）
—CHR—	冷温水管（還）	配管用炭素鋼鋼管（白）
—CD—	冷却水管（往）	強化ビニルライニング鋼管
—CDR—	冷却水管（還）	強化ビニルライニング鋼管
—C—	冷水管（往）	配管用炭素鋼鋼管（白）
—CR—	冷水管（還）	配管用炭素鋼鋼管（白）
—H—	温水管（往）	配管用炭素鋼鋼管（白）
—HR—	温水管（還）	配管用炭素鋼鋼管（白）
—E—	膨張管	配管用炭素鋼鋼管（白）
—D—	ドレン管	配管用炭素鋼鋼管（白）

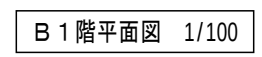
1. — 太線は、撤去を示す。
2. — 細線は、既設を示す。
3. ★ は、切断箇所を示す。
4. ● は、既設開口閉塞部を示す。

- 特記事項
1. 空調配管更新工程ステップ毎に水抜きを行い、都度エア抜き及び整備復旧を行うこと。
2. 既設開口部は、モルタル等不燃材にて閉塞補修を行うこと。
3. 各居室内の改修期間は極力短期となるように工事工程を組むこと。
4. 配管の保温撤去において、エルボ・チーズ部分にアスベストが含有されているため、特記仕様書（2）に準拠し、撤去すること。
5. 配管更新に伴う自動制御用配線は取外し再接続を行い、試運転調整を行うこと。
6. なお、ソーラー系統に関しては、取外しとする。

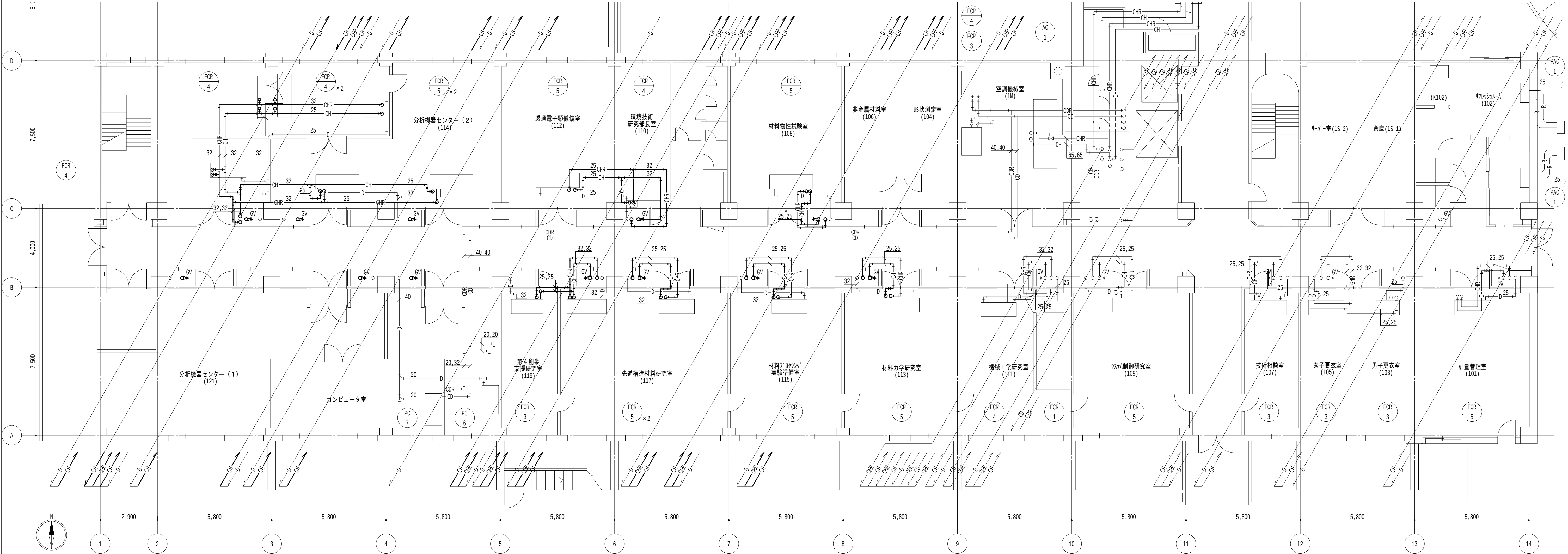
- 改修対象内容
- ・P S内冷温水配管の壁管及び分岐管を先行して新設し、既設管を撤去する。
- ・居室壁～室内機（バルブがある場合はバルブまで）の冷温水配管を撤去・新設し、新設した分岐管に接続する。
- ・B1階冷温水配管の横主管を先行して新設し、接続替え後に既設管を撤去する。

空調系統図（撤去）

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称	大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		目付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称	空調設備 配管系統図（撤去）（その1工事）	縮尺	図面番号
				A1 : NOSCALE A3 : NOSCALE	M—031



地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 空調設備 B1階平面図(撤去) (その1工事)	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号 M-032



1階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★ は、切断箇所を示す。
 - 室名 は、天井有を示す。

- 特記事項
- 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
 - 機器直近のバルブは既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 1階平面図（撤去）（その1工事）

日付

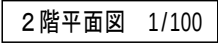
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

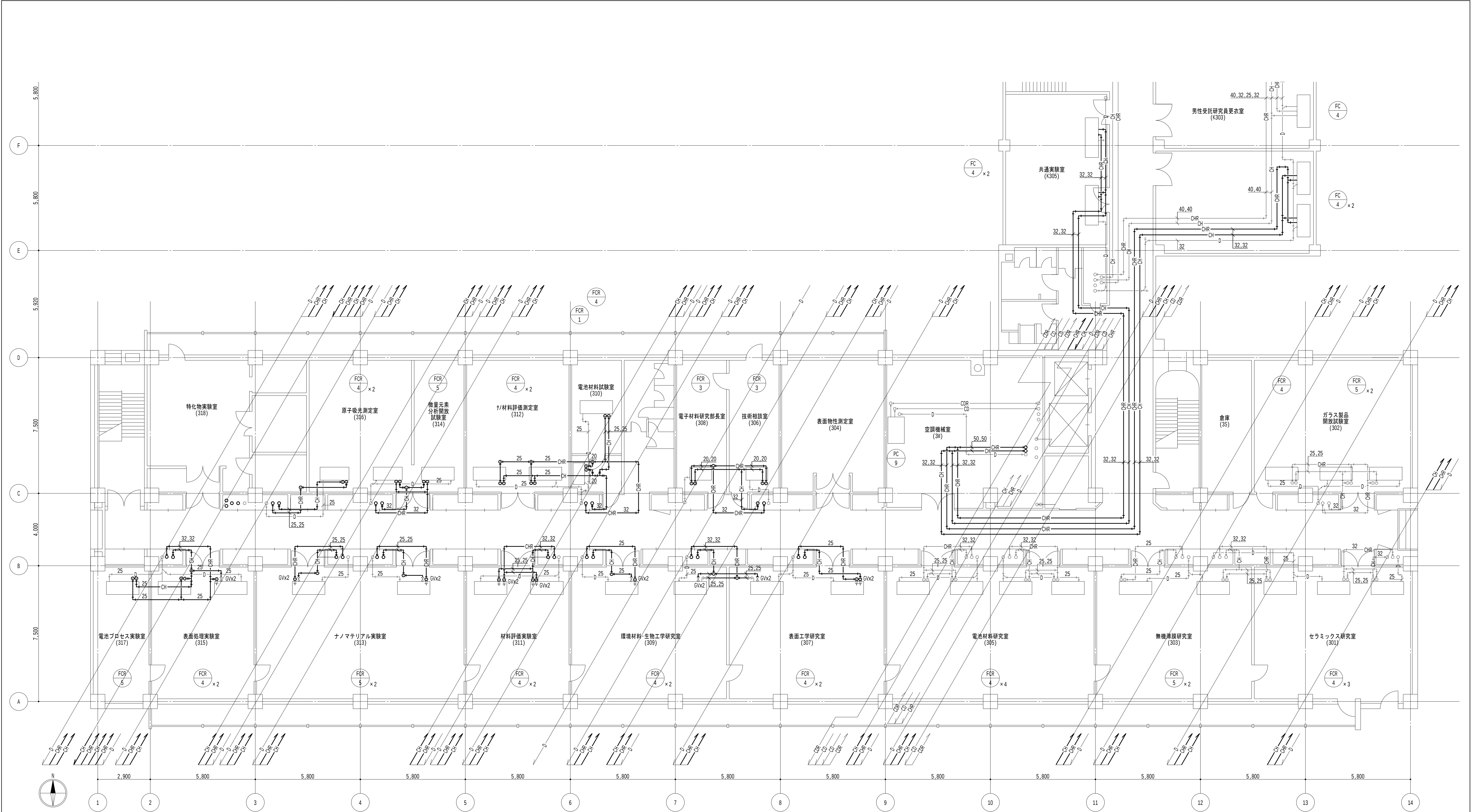
図面番号

M-033



- 特記事項**
1. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
2. 機器直近のバルブは既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 空調設備 2階平面図(撤去) (その1工事)	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号 M-034



3 階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★ は、切断箇所を示す。
 - 室名 は、天井有を示す。

- 特記事項
- 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
 - 機器直近のバルブは既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

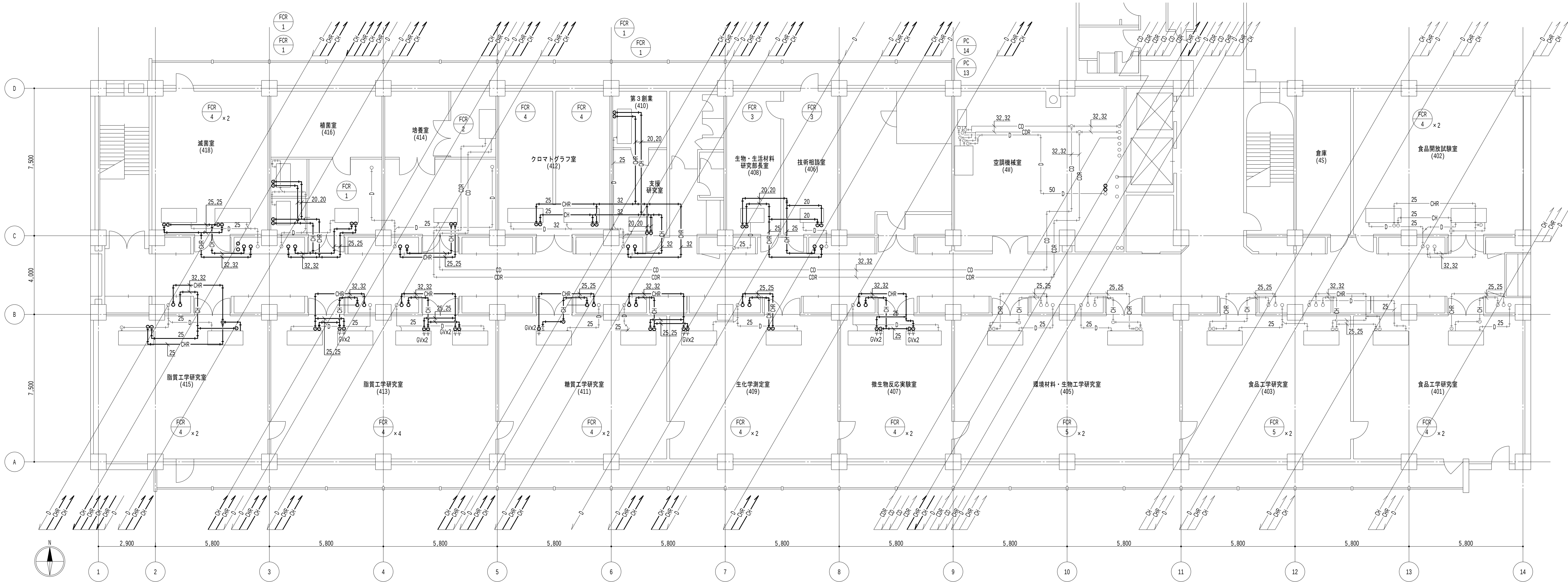
図面名称

空調設備 3 階平面図（撤去）（その 1 工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-035



4 階平面図 1/100

特記事項

1. 太線は、撤去を示す。
2. 細線は、残置を示す。
3. ★ は、切断を示す。
4. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

凡例

1. 太線は、撤去を示す。
2. 細線は、残置を示す。
3. ★ は、切断箇所を示す。
4. 室名は、天井有を示す。

特記事項

1. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
2. 機器直近のバルブは既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

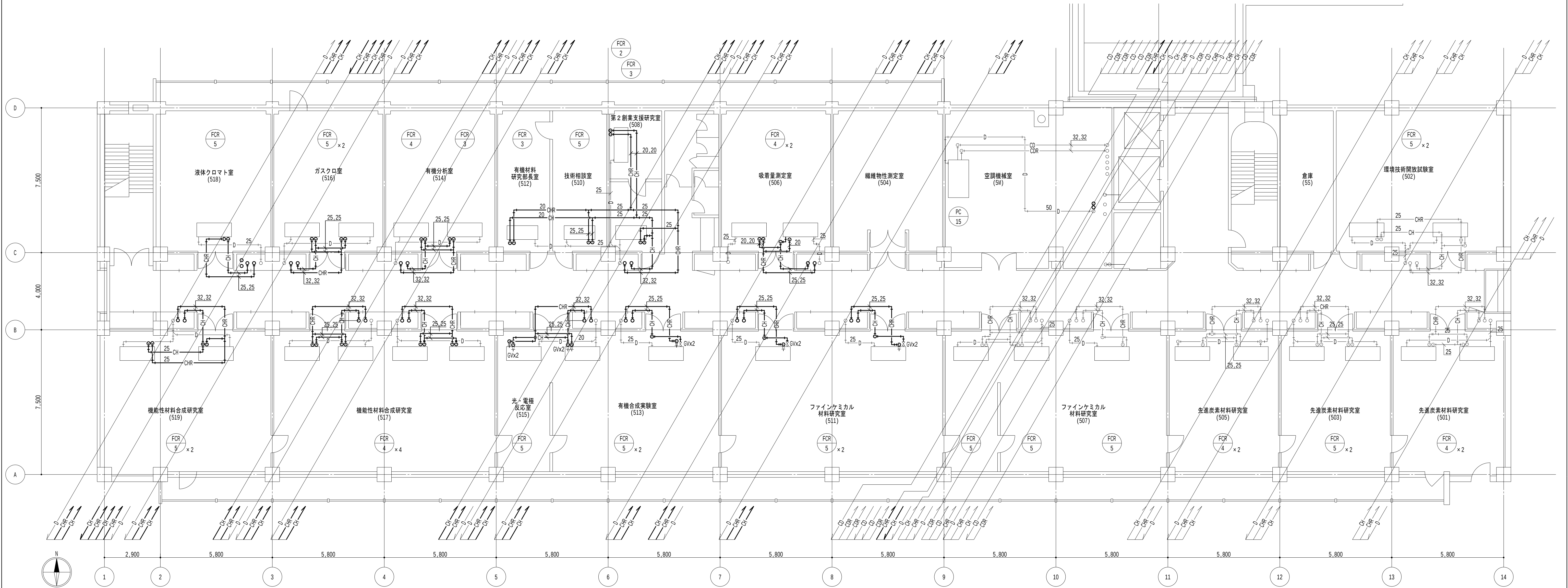
図面名称

空調設備 4 階平面図（撤去）（その 1 工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-036



5階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★ は、切断箇所を示す。
 - 室名 は、天井有を示す。

- 特記事項
- 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
 - 機器直近のバルブは既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

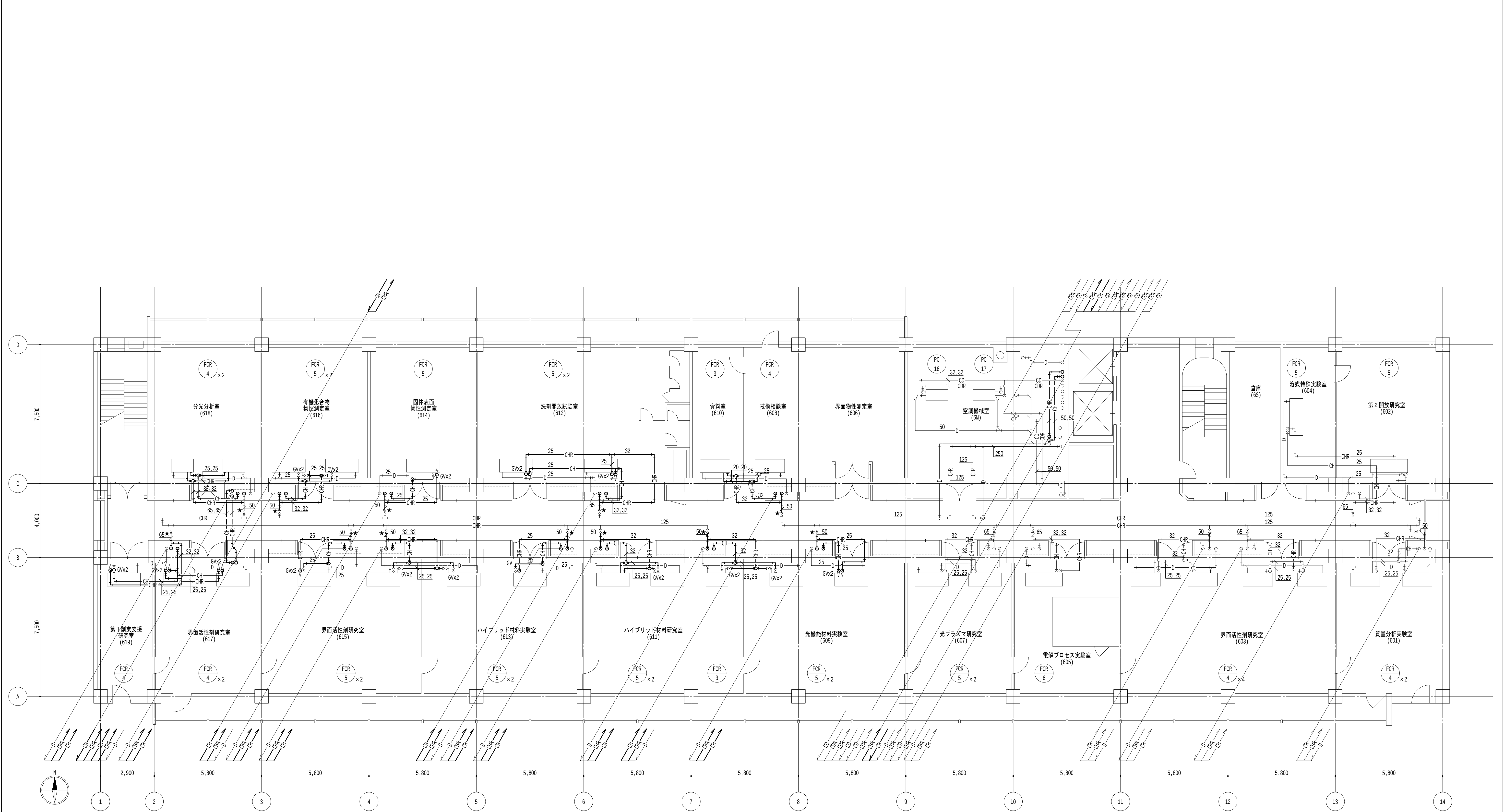
図面名称

空調設備 5階平面図（撤去）（その1工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-037



6階平面図 1/100

凡例

- 太線は、撤去を示す。
- 細線は、残置を示す。
- ★は、切断箇所を示す。
- 室名は、天井有を示す。

特記事項

- 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
- 機器直近のバルブは既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 6階平面図（撤去）（その1工事）

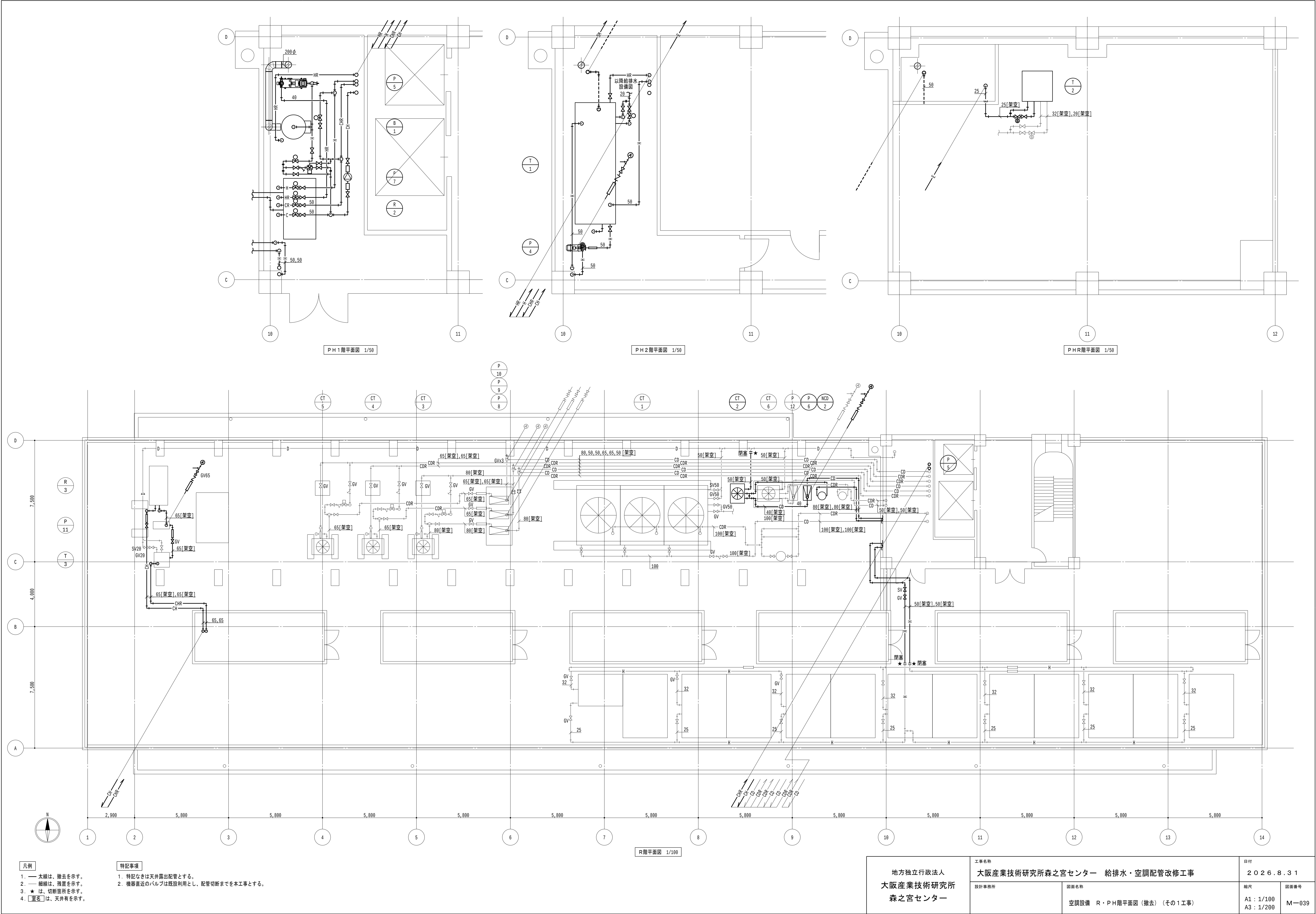
日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-038



凡例

- 太線は、撤去を示す。
- 細線は、残置を示す。
- ★ は、切断箇所を示す。
- 〔室名〕は、天井有を示す。

特記事項

- 特記なきは天井露出配管とする。
- 機器直近のバルブは既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 R・PH階平面図（撤去）（その1工事）

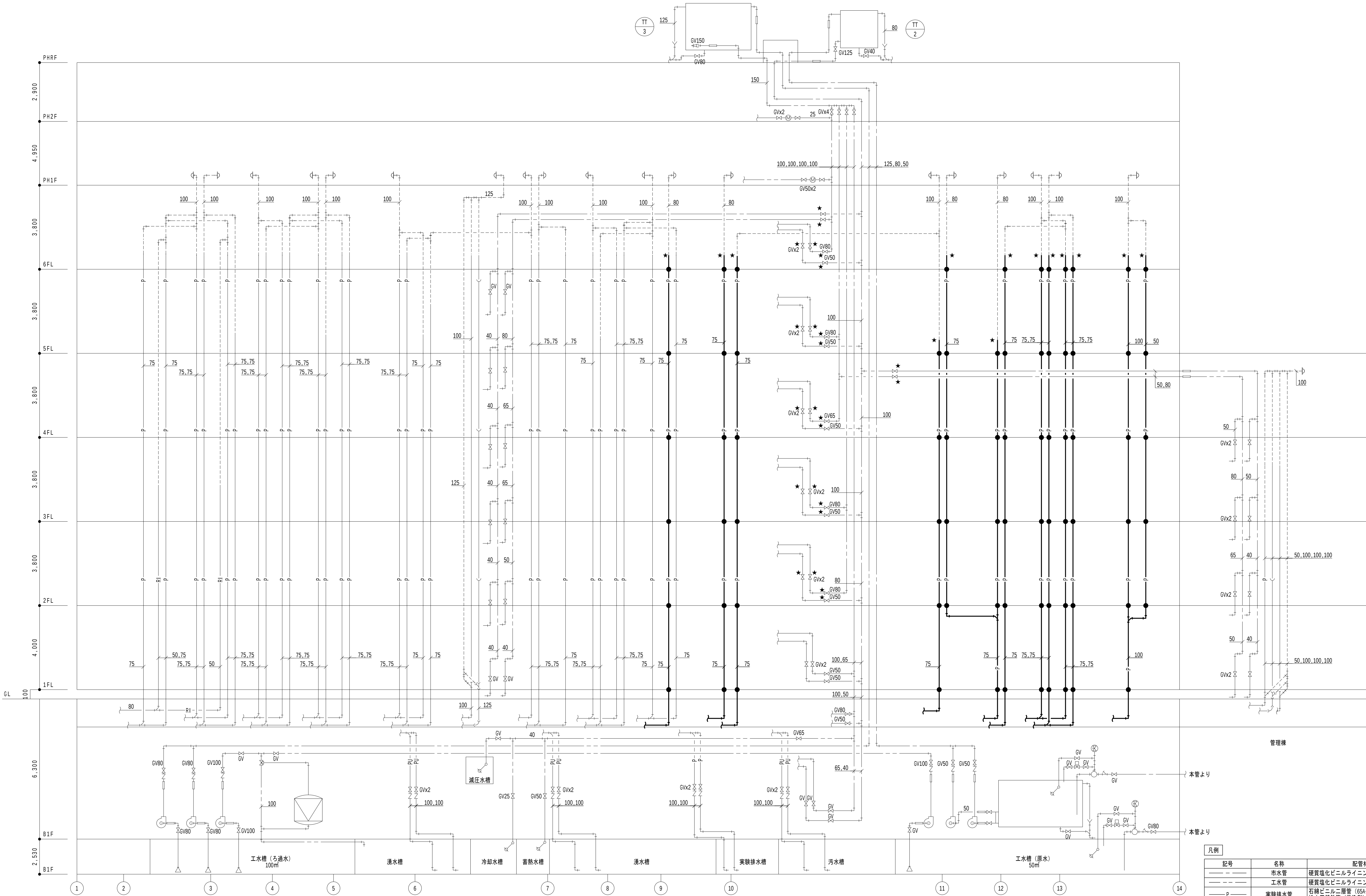
日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-039



特記事項

- 1. 空調配管更新工程ステップ毎に水抜きを行い、都度エア抜き及び整調復旧を行うこと。
- 2. 新たに設ける床開口は、レントゲン撮影を行い、コア抜きを行うこと。また、モルタル等の不燃材にて閉塞し補修を行うこと。（仕上げ補修も含む）
- 3. 既設を利用する壁開口し、新設配管施工後はモルタル等不燃材にて閉塞補修を行うこと。
- 4. 各居室内の改修期間は極力短期となるように工事工程を組むこと。
- 5. 配管の保溫撤去において、エルボ・チーズ部分にアスベストが含まれているため、特記仕様書（2）に準拠し、撤去すること。
- 6. 配管更新に伴う自動制御用配線は取外・再接続を行い、試運転調整を行うこと。
- 7. 排水立管の1・3・5階のFL+1,500に掃除口（CO）を設けること。
- 8. 排水立管の最下階は大曲90°エルボとすること。
- 9. 新設の排水立管は、先行にて各ステップ毎に施工すること。
- 10. 給水管（市水・工水）のクロスコネクション防止策として、識別テープによる色分け表示と配管種類の表示を行うこと。

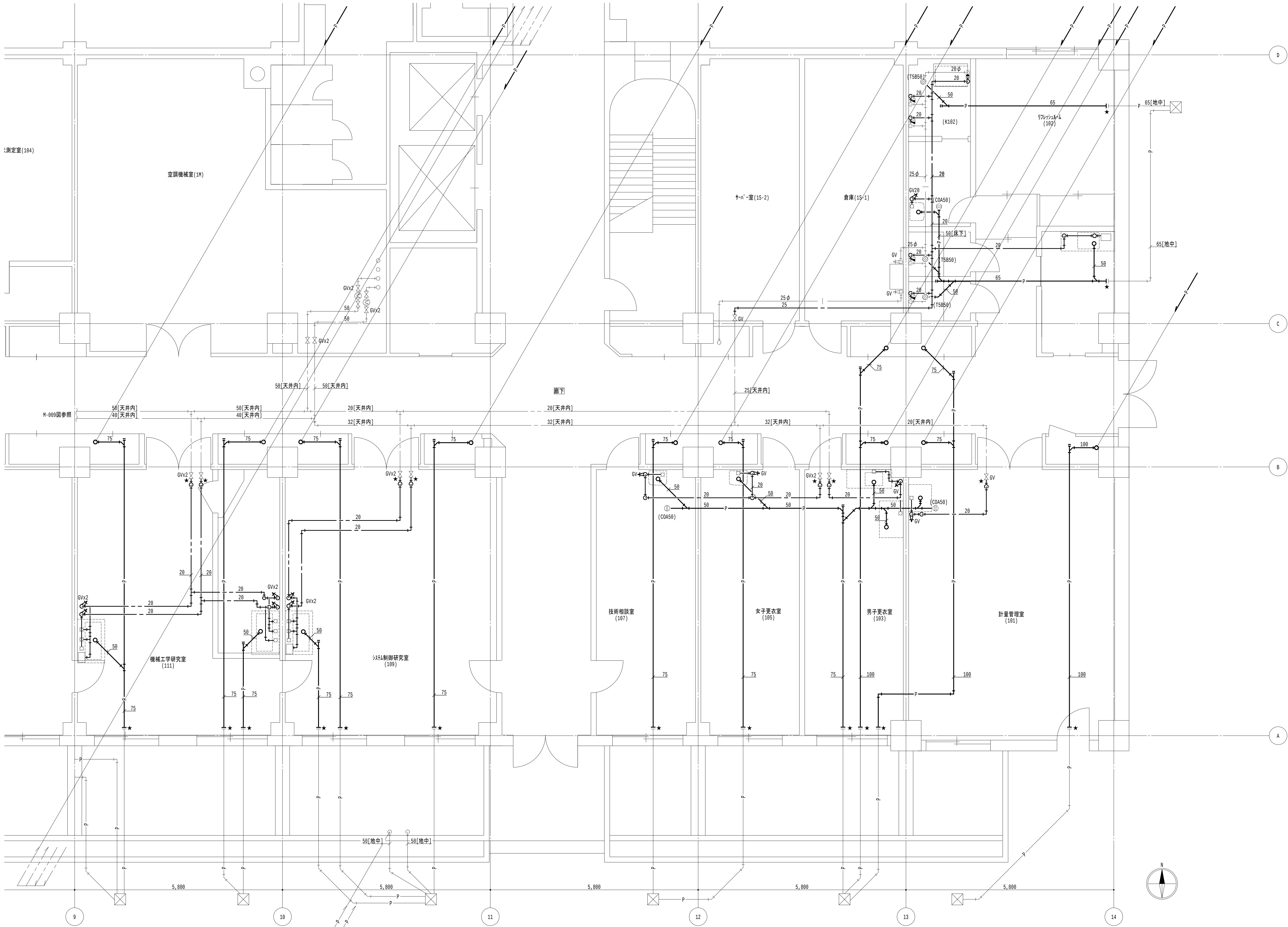
改修対象内容

- ・⑨～⑩通りのPS内実験排水管の堅管及び分岐管を先行して新設し、接続替え後に既設管を撤去する。
- ・⑨～⑩通りの居室壁～トラップまでの実験排水管を撤去・新設し、分岐管に接続する。
- ・⑨～⑩通りの居室系統バルブ～水栓（もしくは実験台のバルブ）までの給水管（市水・工水）を撤去・新設し、居室系統バルブに再接続する。

凡例		
記号	名称	配管材（既設）
——	市水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管
----	工水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管
——P——	実験排水管	石綿ビニル二層管（65A-）／硬質塩ビ管（50A） 排水用鋳鉄管（差込型）／異型管（1階横主管）
——	雑排水管	配管用炭素鋼管（白）
——	汚水管	排水用メカニカル鋳鉄管／異型管
-----	通気管	石綿ビニル二層管（80A-）／硬質塩ビ管（65A）

- 1. —— 太線は、撤去・新設を示す。
- 2. —— 細線は、既設残置を示す。
- 3. ★ は、切断・接続箇所を示す。
- 4. ● は、新設開口部及び既設開口閉塞部を示す。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 給排水設備 配管系統図（改修・撤去）（その2工事）	縮尺 A1：NOSCALE A3：NOSCALE	図面番号 M—040



凡例

1. 太線は、新設を示す。
2. 細線は、既設を示す。
3. ★ は、接続箇所を示す。
4. 〔蓋名〕は、天井有を示す。

特記事項

1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
2. 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
3. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

1階平面図 (1) 1/50

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称

大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

給排水設備 1階平面図 (改修) (その2工事)

日付

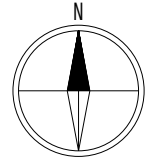
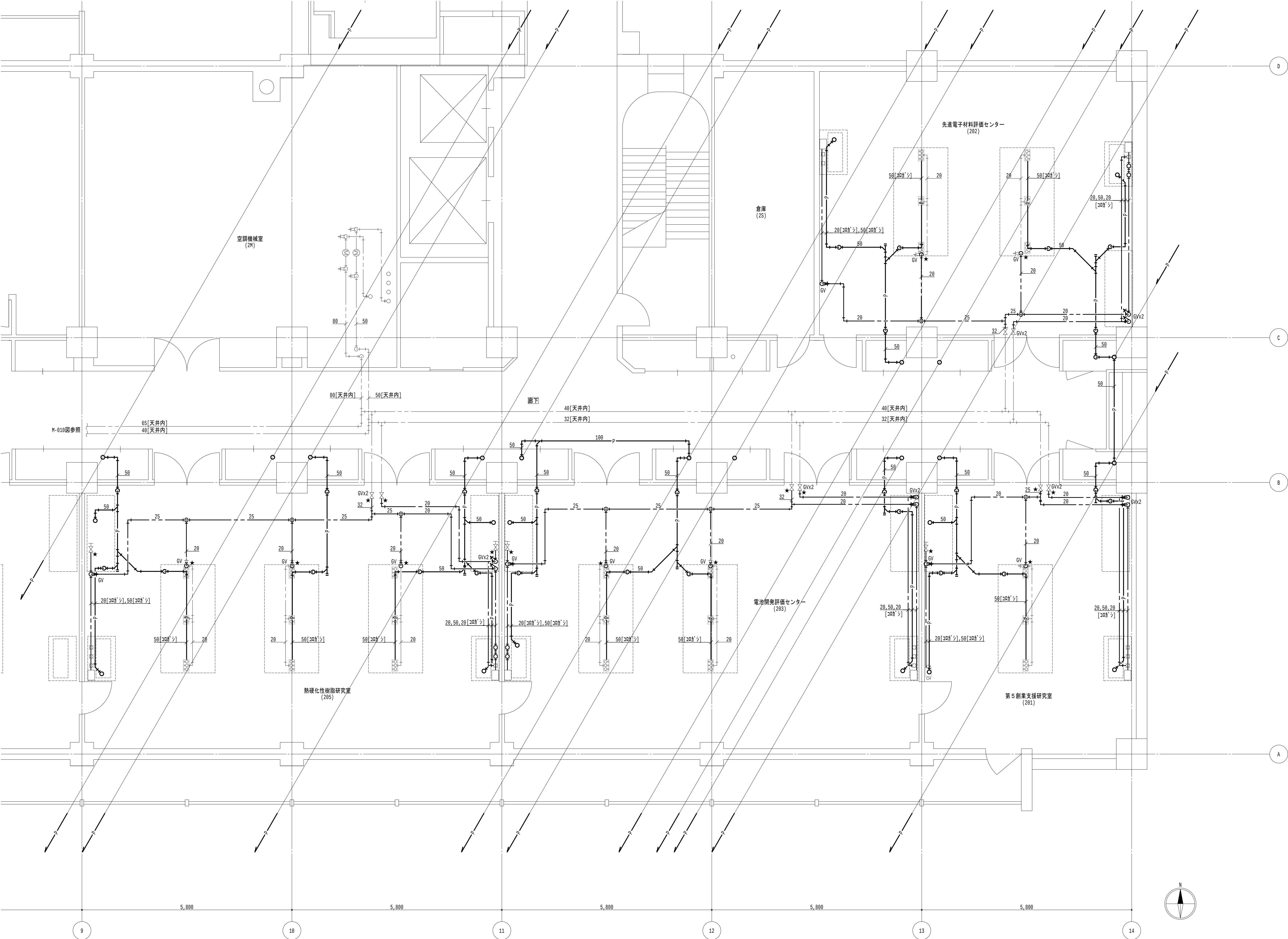
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/50
A3 : 1/100

図面番号

M-041



- 凡例

 - 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★ は、接続箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

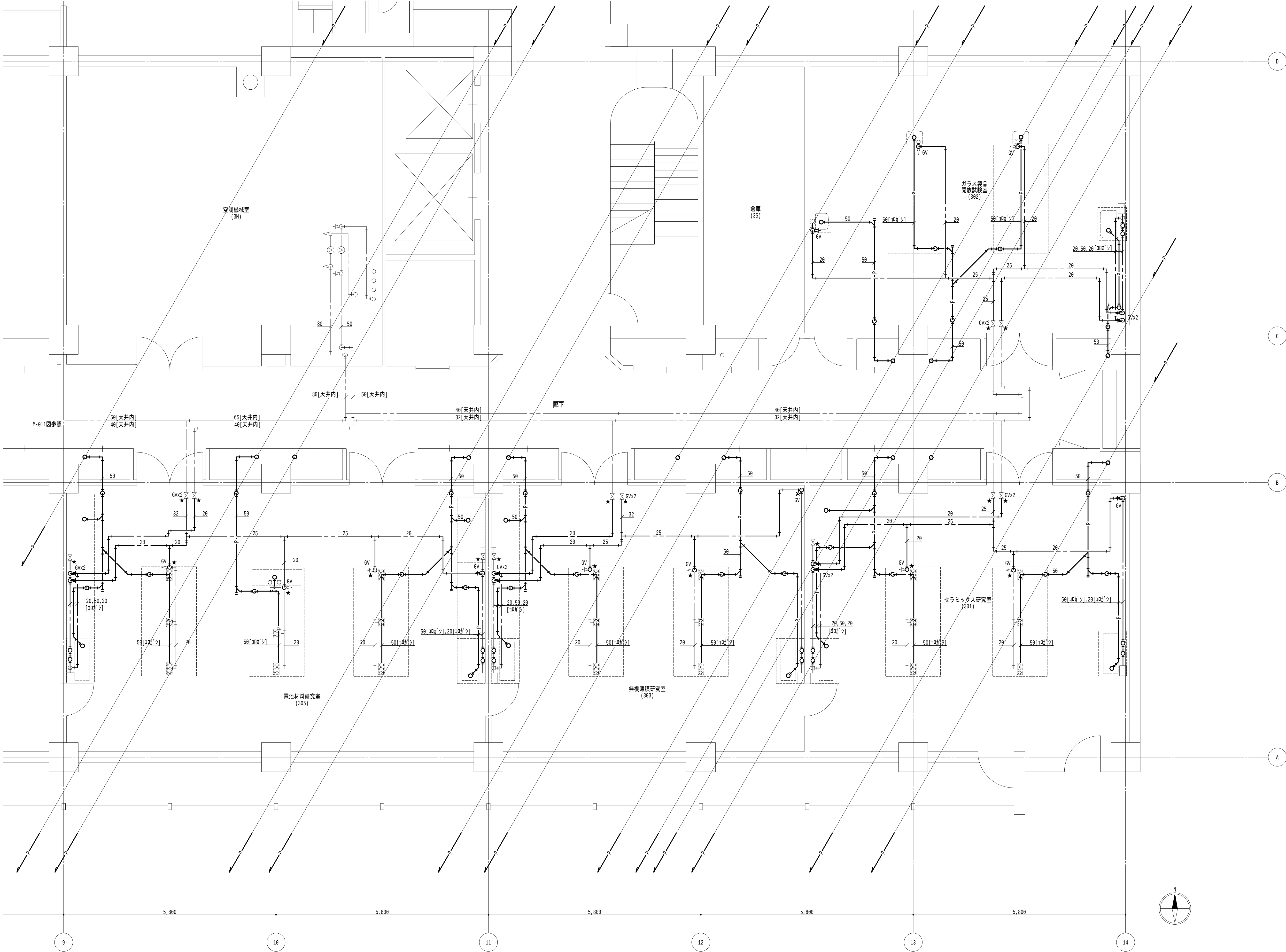
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 2階平面図 (改修) (その2工事)

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/50
A3 : 1/100
図面番号
M-042



凡例

- 1. 太線は、新設を示す。
- 2. 細線は、既設を示す。
- 3. ★ は、接続箇所を示す。
- 4. 〔蓋名〕は、天井有を示す。

特記事項

- 1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
- 2. 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
- 3. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

3階平面図 (1) 1/50

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称

大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

給排水設備 3階平面図 (改修) (その2工事)

日付

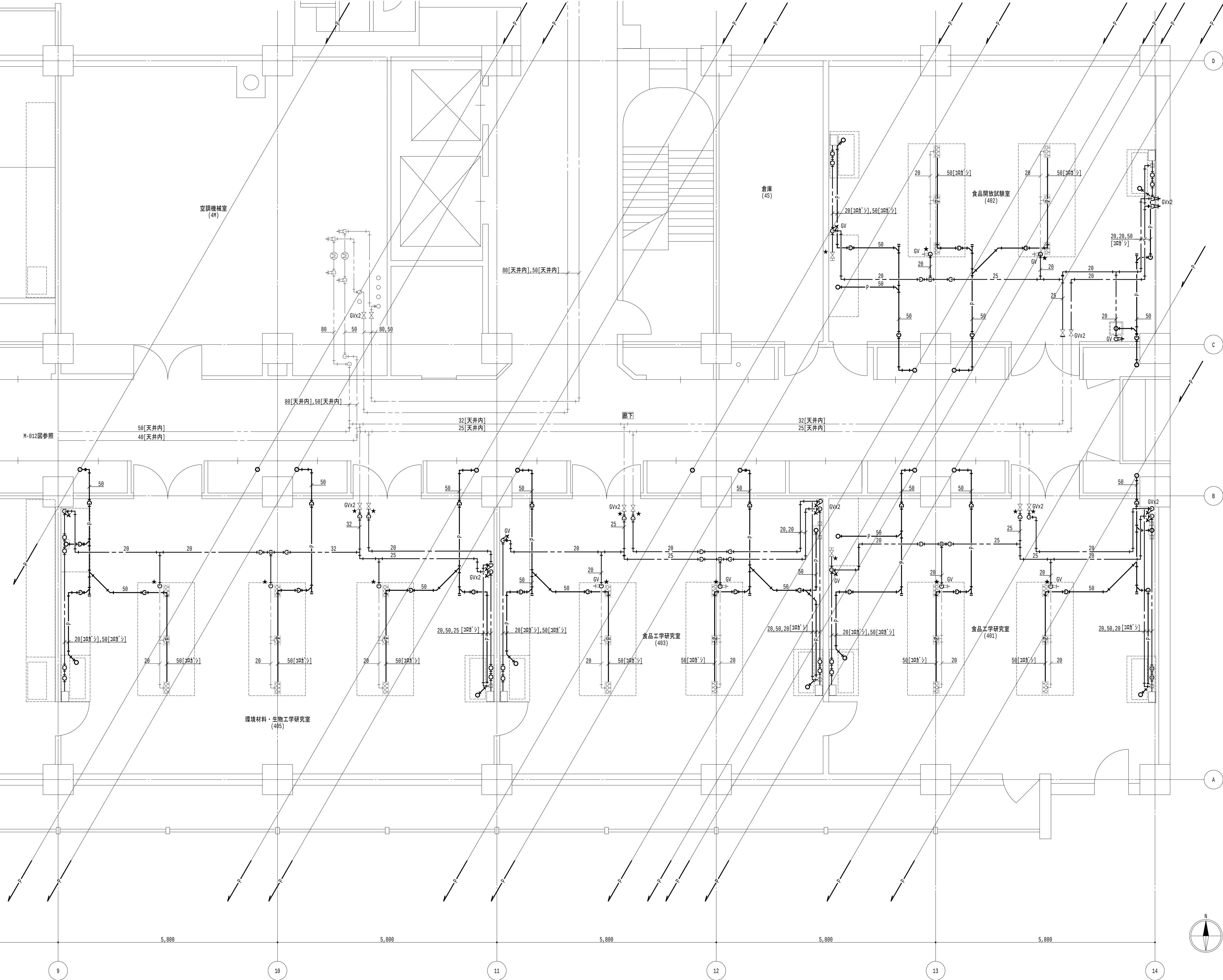
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/50
A3 : 1/100

図面番号

M-043



凡例

- 1. 太線は、新設を示す。
- 2. 細線は、既設を示す。
- 3. ★ は、接続箇所を示す。
- 4. 〔蓋名〕は、天井有を示す。

特記事項

- 1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
- 2. 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
- 3. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

4 階平面図 (1) 1/50

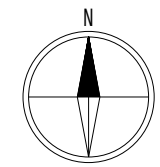
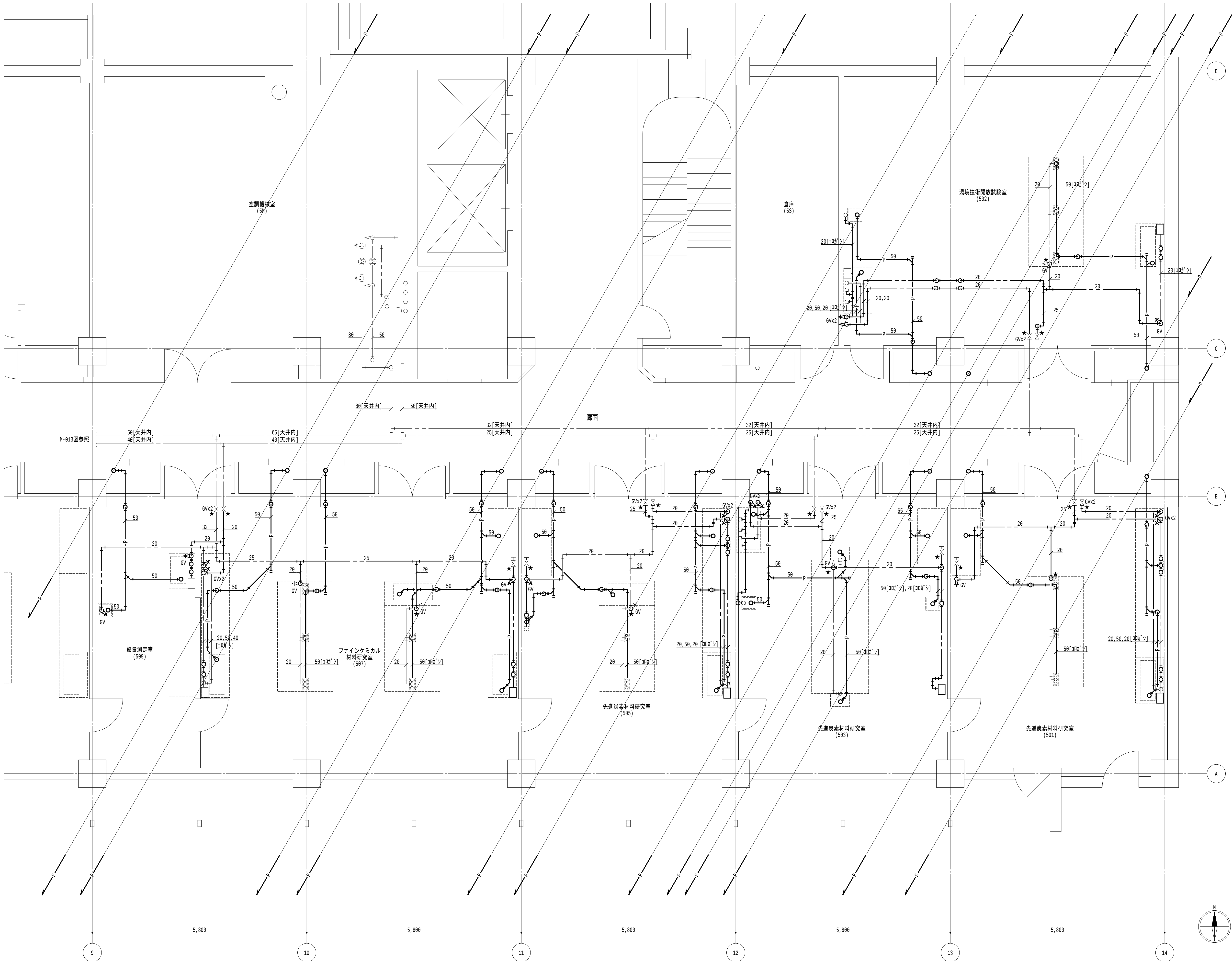
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 4 階平面図 (改修) (その 2 工事)

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/50
A3 : 1/100
図面番号
M-044



凡例

- 1. 太線は、新設を示す。
- 2. 細線は、既設を示す。
- 3. ★は、接続箇所を示す。
- 4. [室名]は、天井有を示す。

特記事項

- 1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
- 2. 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
- 3. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

5階平面図(1) 1/50

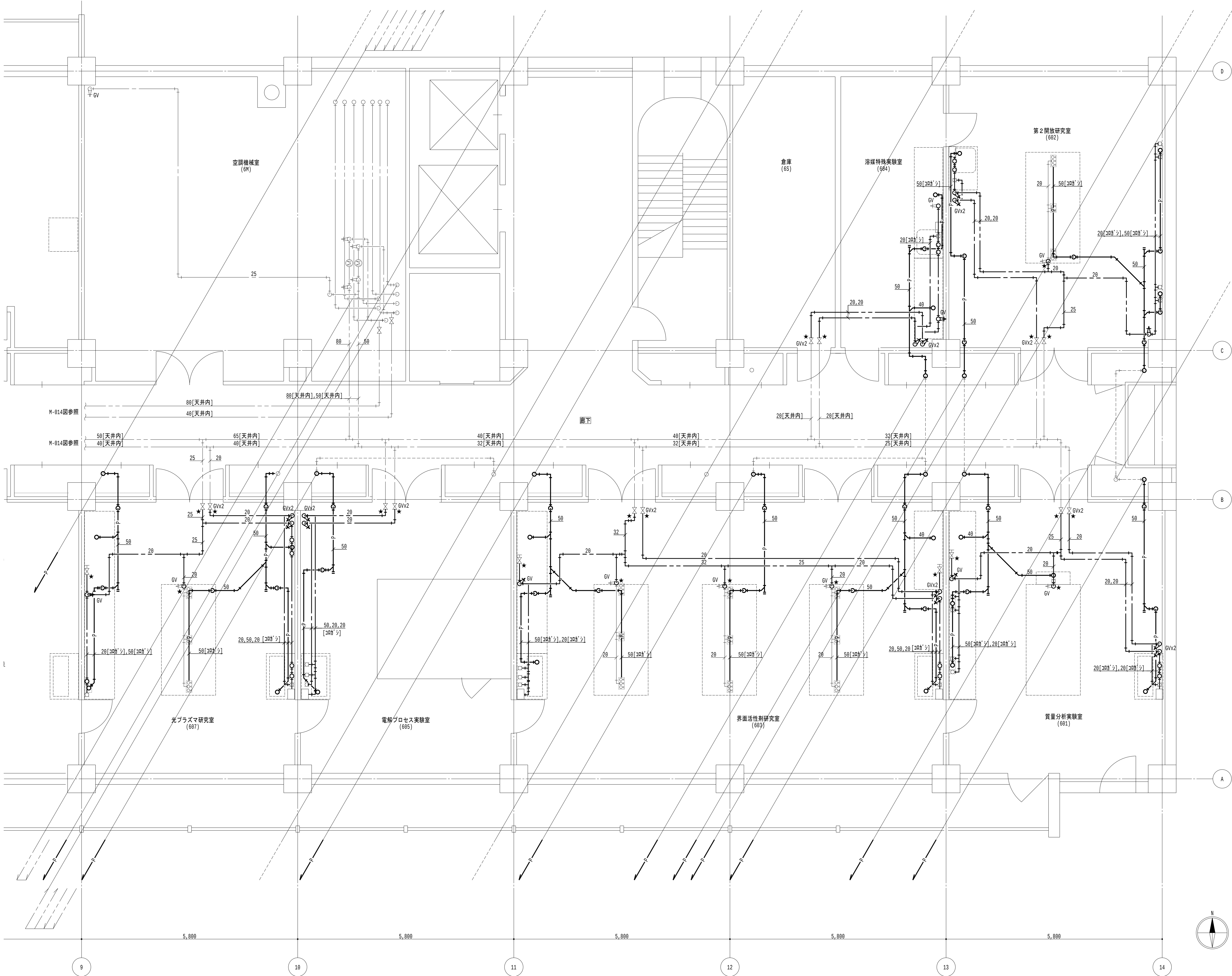
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 5階平面図(改修) (その2工事)

日付
2026.8.31

縮尺
A1: 1/50
A3: 1/100
図面番号
M-045



凡例

1. 太線は、新設を示す。
2. 細線は、既設を示す。
3. ★は、接続箇所を示す。
4. [番号]は、天井有を示す。

特記事項

1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
2. 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
3. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

6階平面図 (1) 1/50

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称

大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

給排水設備 6階平面図 (改修) (その2工事)

日付

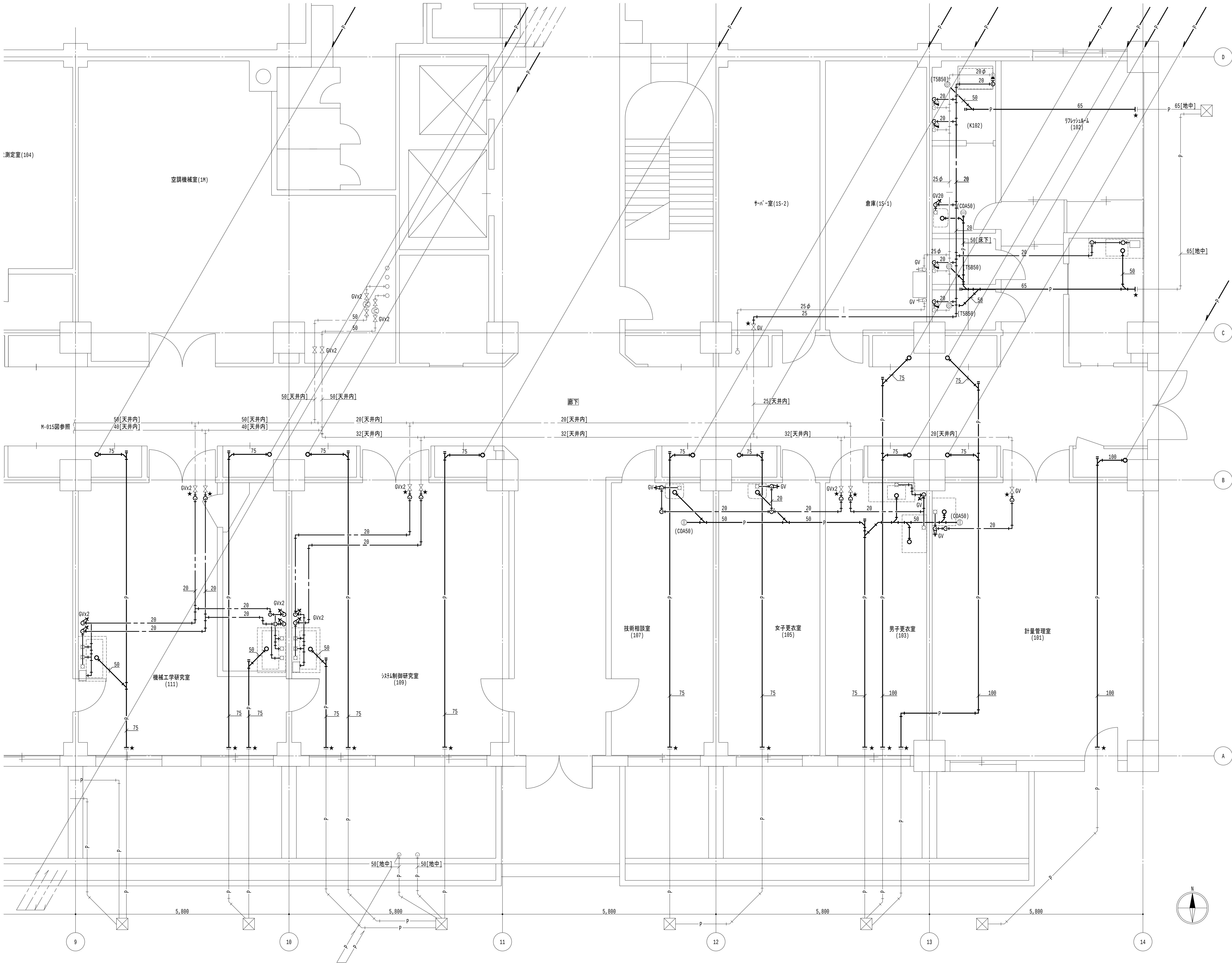
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/50
A3 : 1/100

図面番号

M-046



- 凡例
- 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切断箇所を示す。
 - 室名は、天井有を示す。

- 特記事項
- 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

1階平面図 (1) 1/50

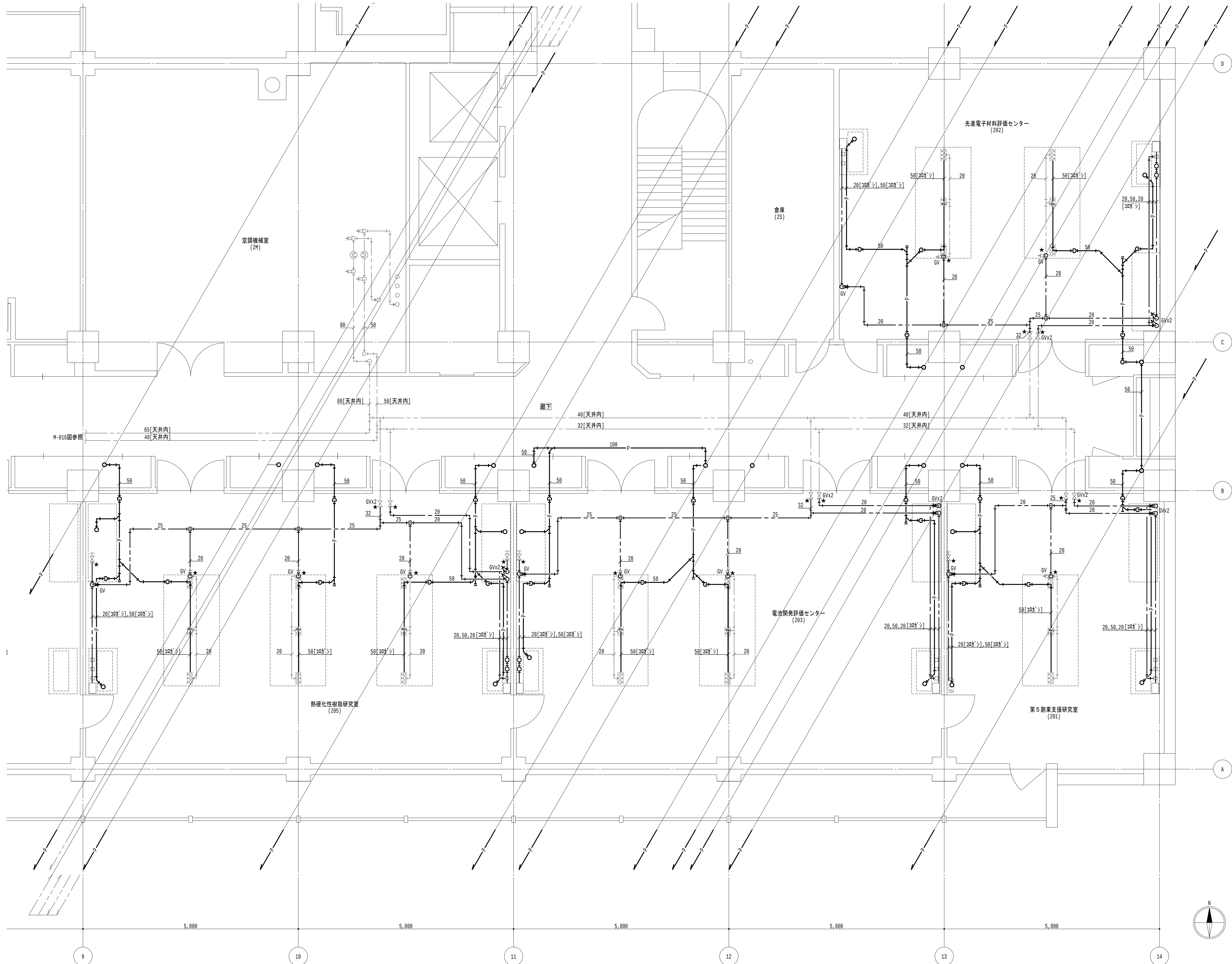
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 1階平面図 (撤去) (その2工事)

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/50
A3 : 1/100
図面番号
M-047



凡例

- 太線は、撤去を示す。
- 細線は、残置を示す。
- ★は、切断箇所を示す。
- 室名は、天井有を示す。

特記事項

- 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
- 排水金物は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
- 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

2階平面図(1) 1/50

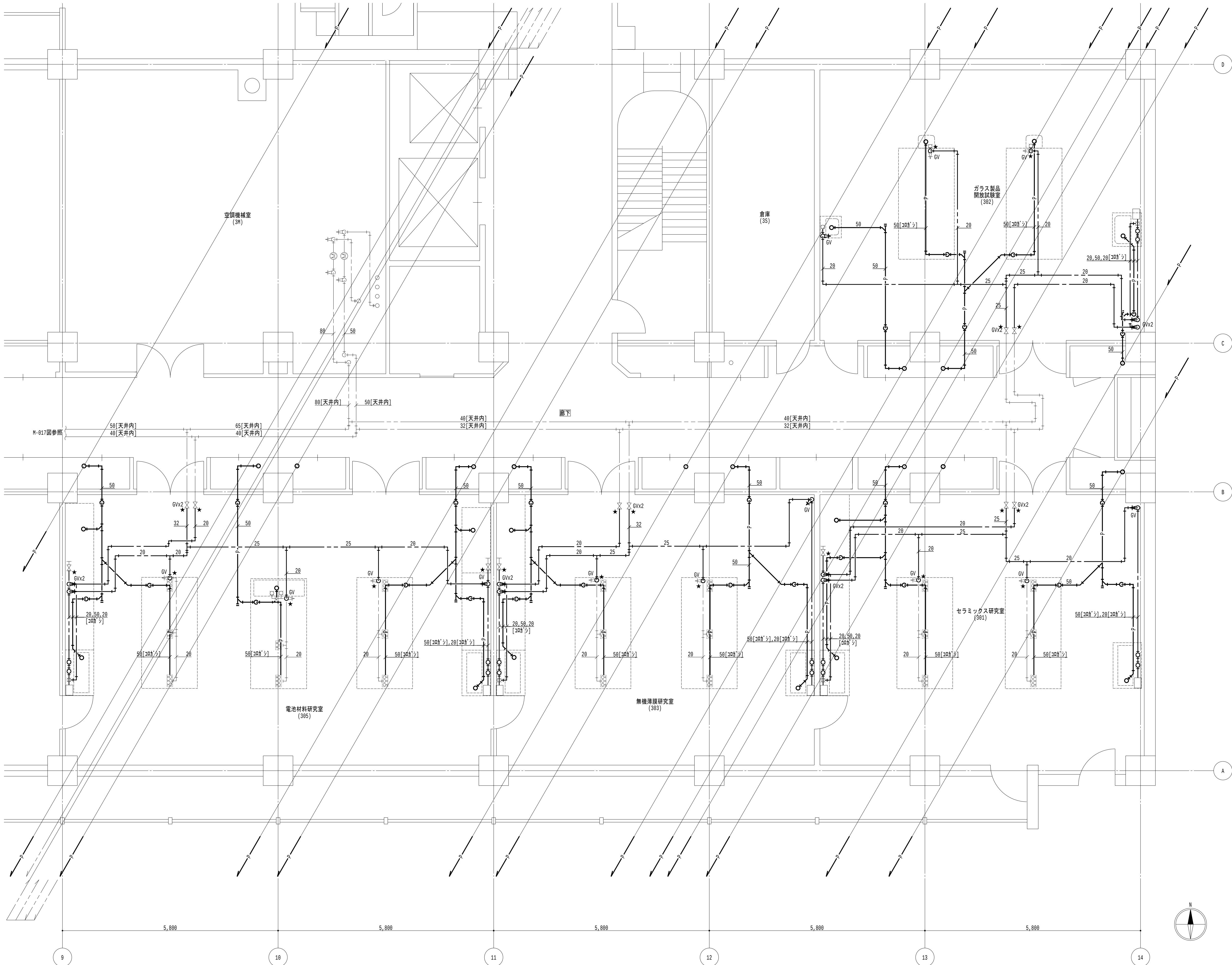
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 2階平面図(撤去) (その2工事)

日付
2026.8.31

縮尺
A1: 1/50
A3: 1/100
図面番号
M-048

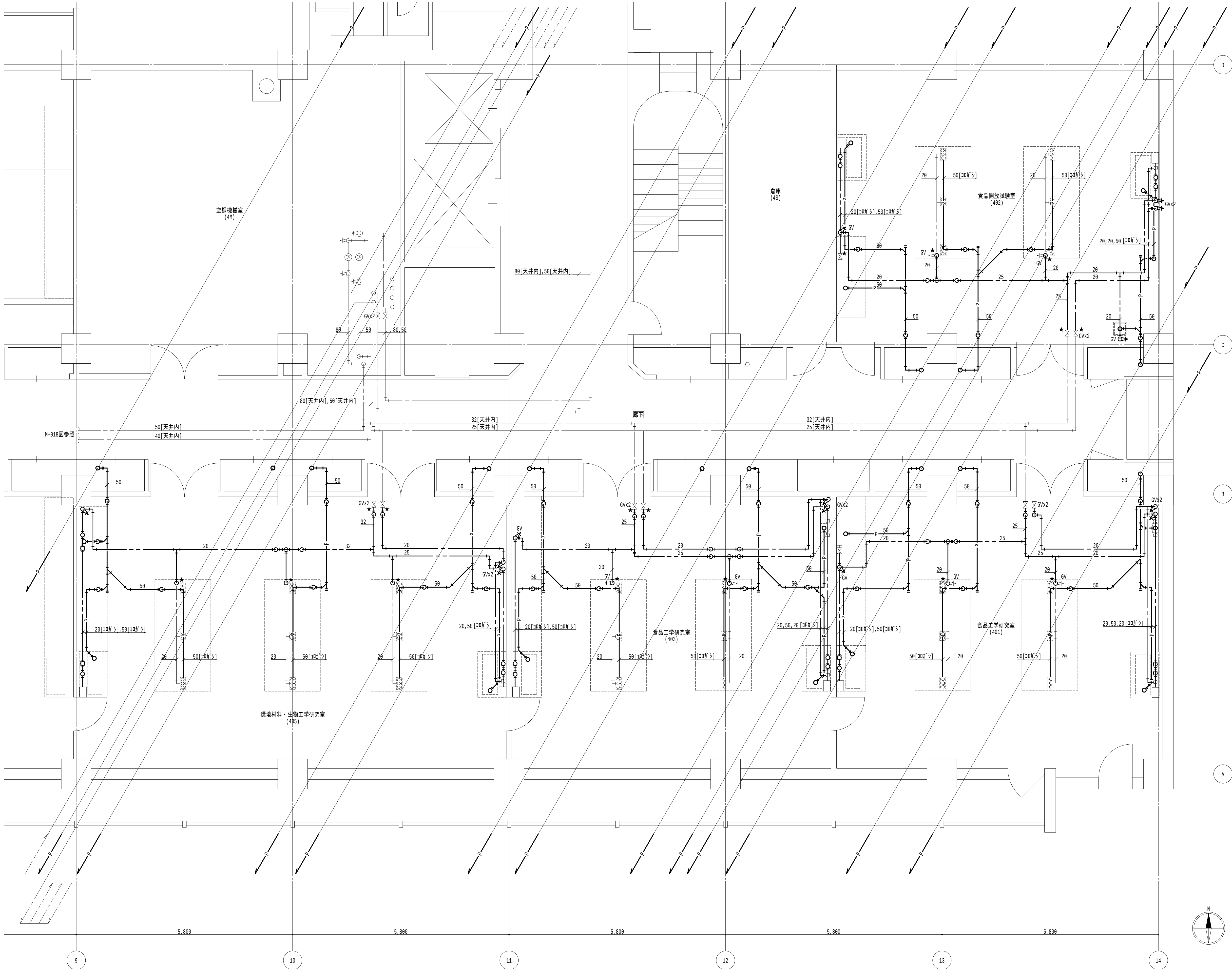


- 凡例
- 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切断箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。

- 特記事項
- 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
設計事務所	図面名称 給排水設備 3階平面図(撤去) (その2工事)	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号 M-049



- 凡例
- 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切断箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。

- 特記事項
- 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

4階平面図（1） 1/50

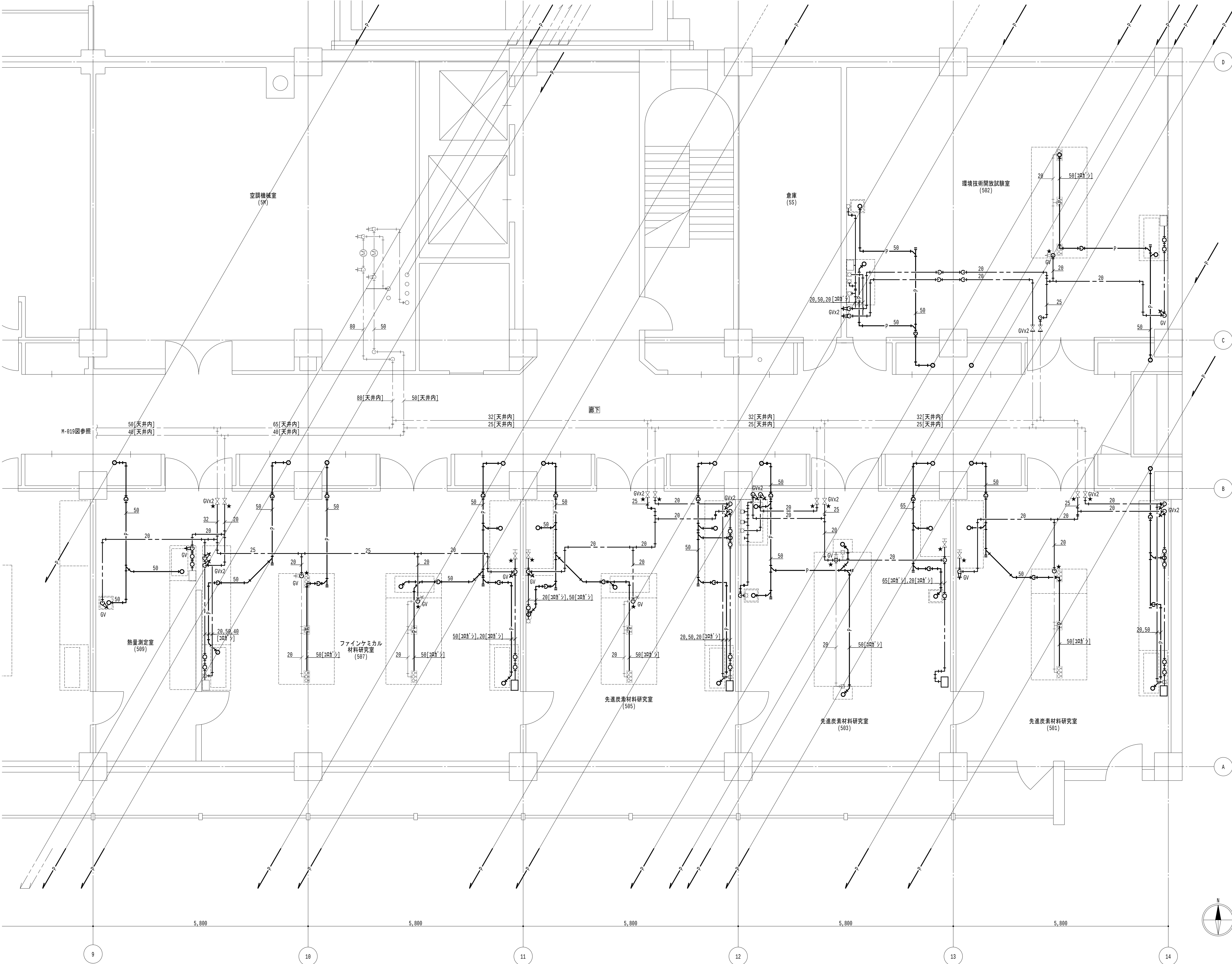
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 4階平面図（撤去）（その2工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/50
A3 : 1/100
図面番号
M-050



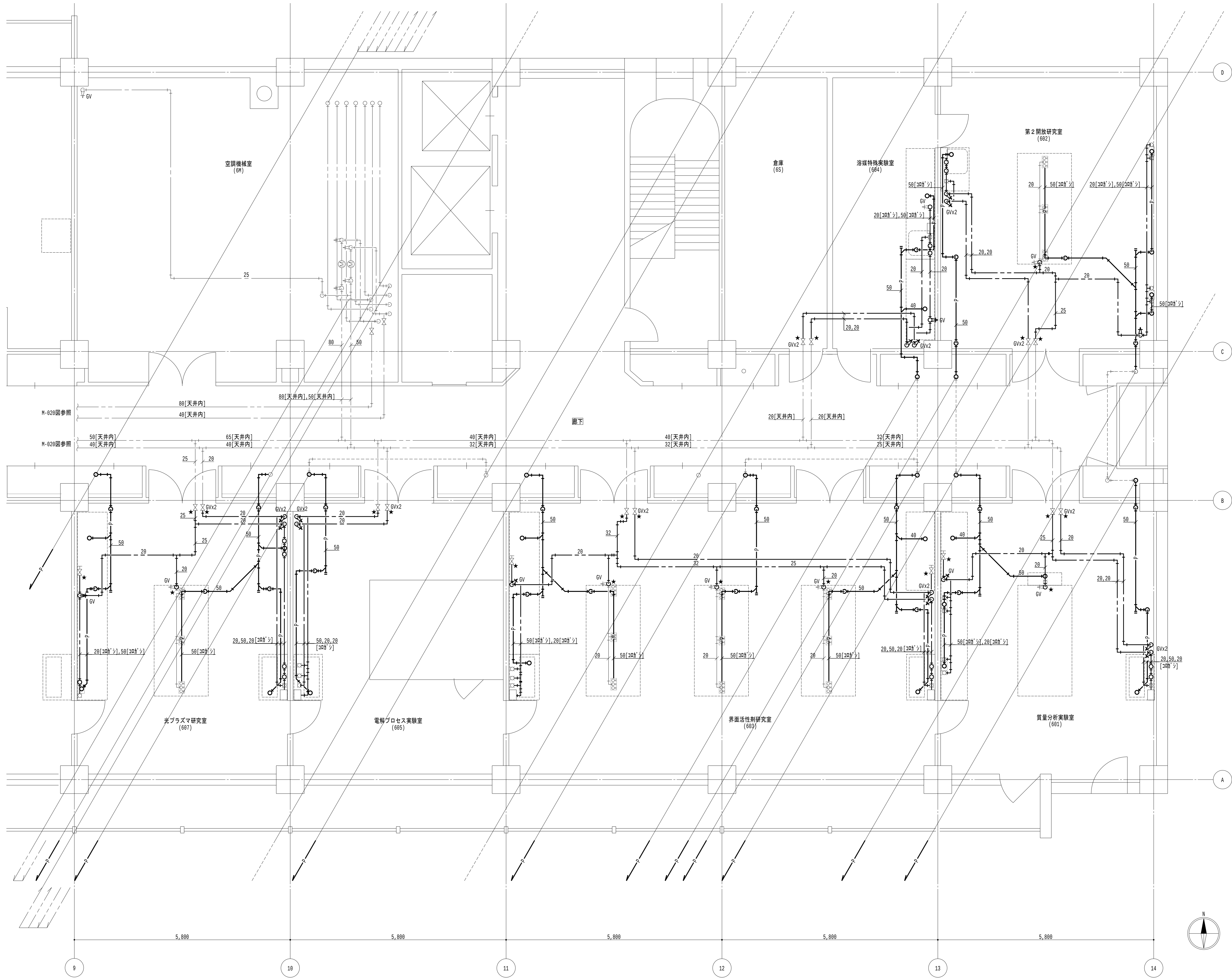
- 凡例

 - 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切斷箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切斷までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切斷までを本工事とする。

5階平面図 (1) 1/50

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 給排水設備 5階平面図(撤去) (その2工事)	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号 M-051



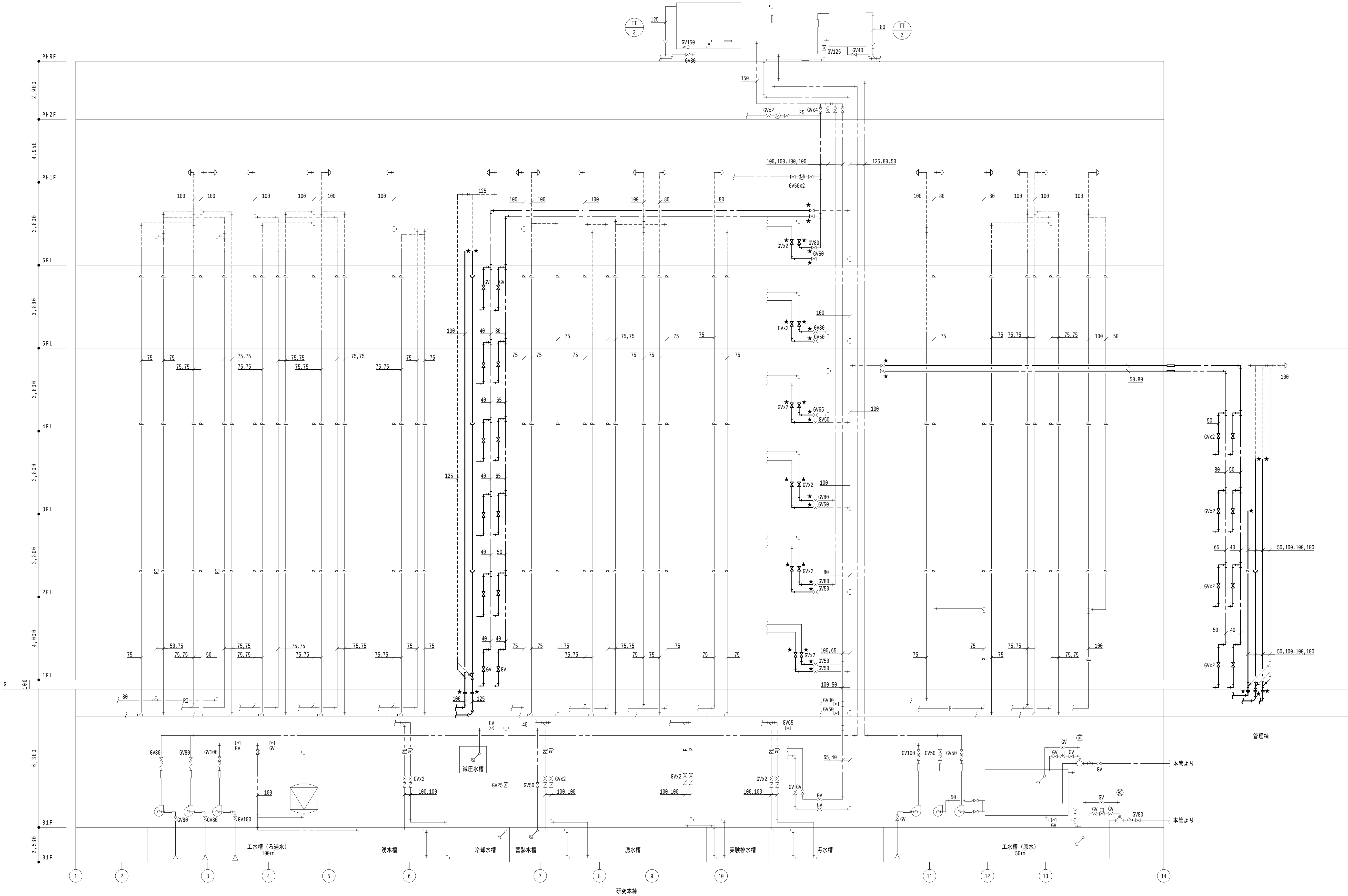
- 凡例

 - 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切断箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

6階平面図 (1) 1/50

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称	大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付	
	設計事務所	図面名称	給排水設備 6階平面図 (撤去) (その2工事)	縮尺	図面番号
				A1 : 1/50 A3 : 1/100	M-052



凡例		
記号	名称	配管材 (既設)
— — — —	市水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管
— — — —	工水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管
— — — —	実験排水管	石綿ビニル二層管 (65A) / 硬質塩ビ管 (65A) 排水用鋼鉄管 (密込型) / 異型管 (1階横主管)
— — — —	雑排水管	配管用炭素鋼管 (白)
— — — —	汚水管	排水用メカニカル鋼鉄管 / 異型管
— — — —	通気管	石綿ビニル二層管 (88A) / 硬質塩ビ管 (65A)

- 太線は、管更生を示す。
- 細線は、残置を示す。
- ★ は、切断・接続箇所を示す。直近 1m の配管撤去・新設を見込むこと。

特記事項

- 給排水配管更新工程ステップ毎に水抜きを行い、都度エア抜き及び整調復旧を行うこと。
- 管更生に伴う施工に必要な天井点検口 (600□) を24カ所設置すること。

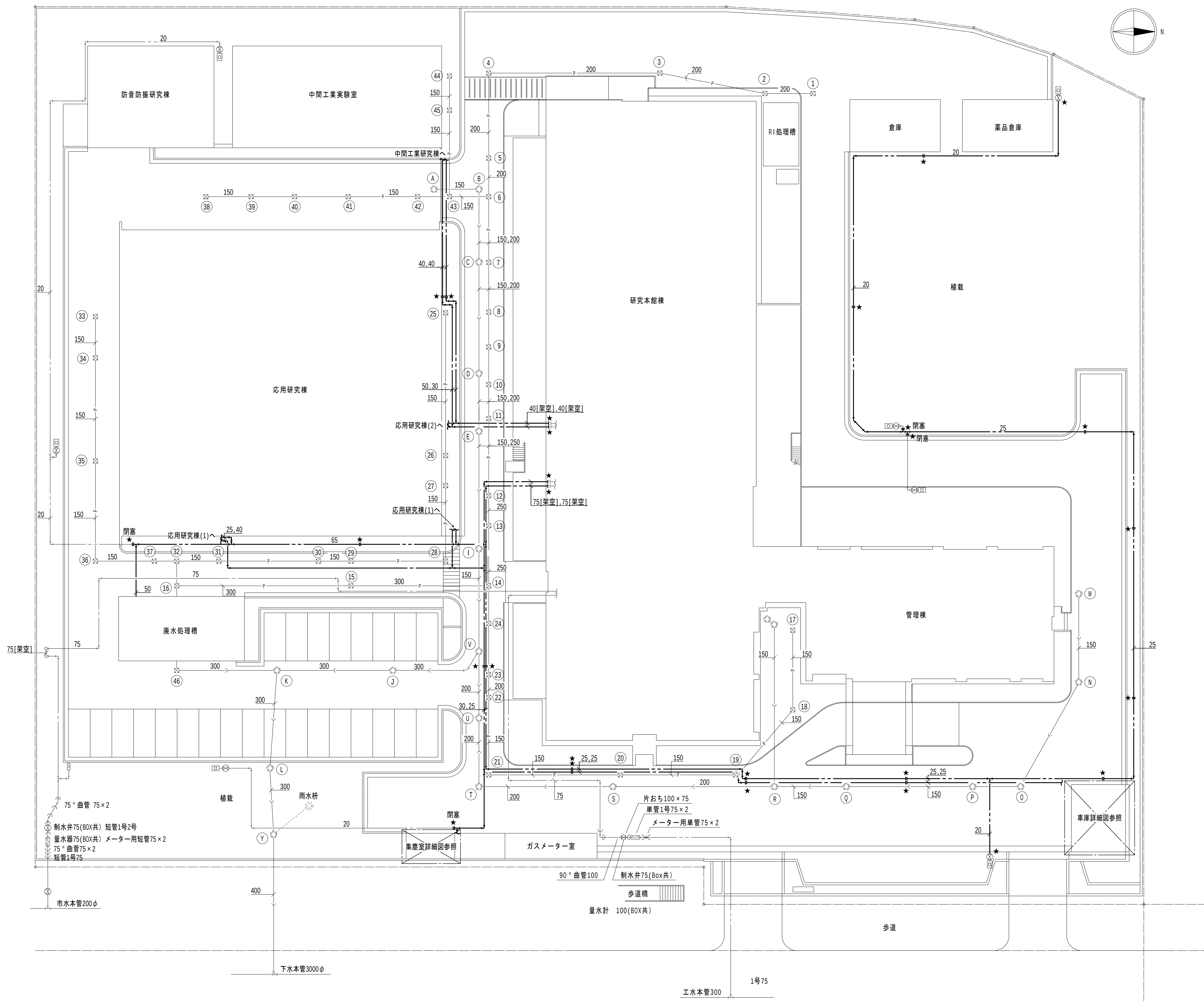
改修内容

- 給水 (市水・工水) 配管の便所系統 (研究本棟・管理棟共) 及び研究本棟各階の廊下天井内横引管を塗布工法にて、管更生する。
- 排水 (汚水・雑排水) 配管の便所系統 (研究本棟・管理棟共) 堅管は、通気との接続部及びビット内最下部で切断し、管形成工法にて管更生する。
- 排水 (汚水・雑排水) 配管の便所系統 (研究本棟・管理棟共) 分岐部～横引管を塗布工法にて、管更生する。
- 管更生工事に伴う建築工事を行う。

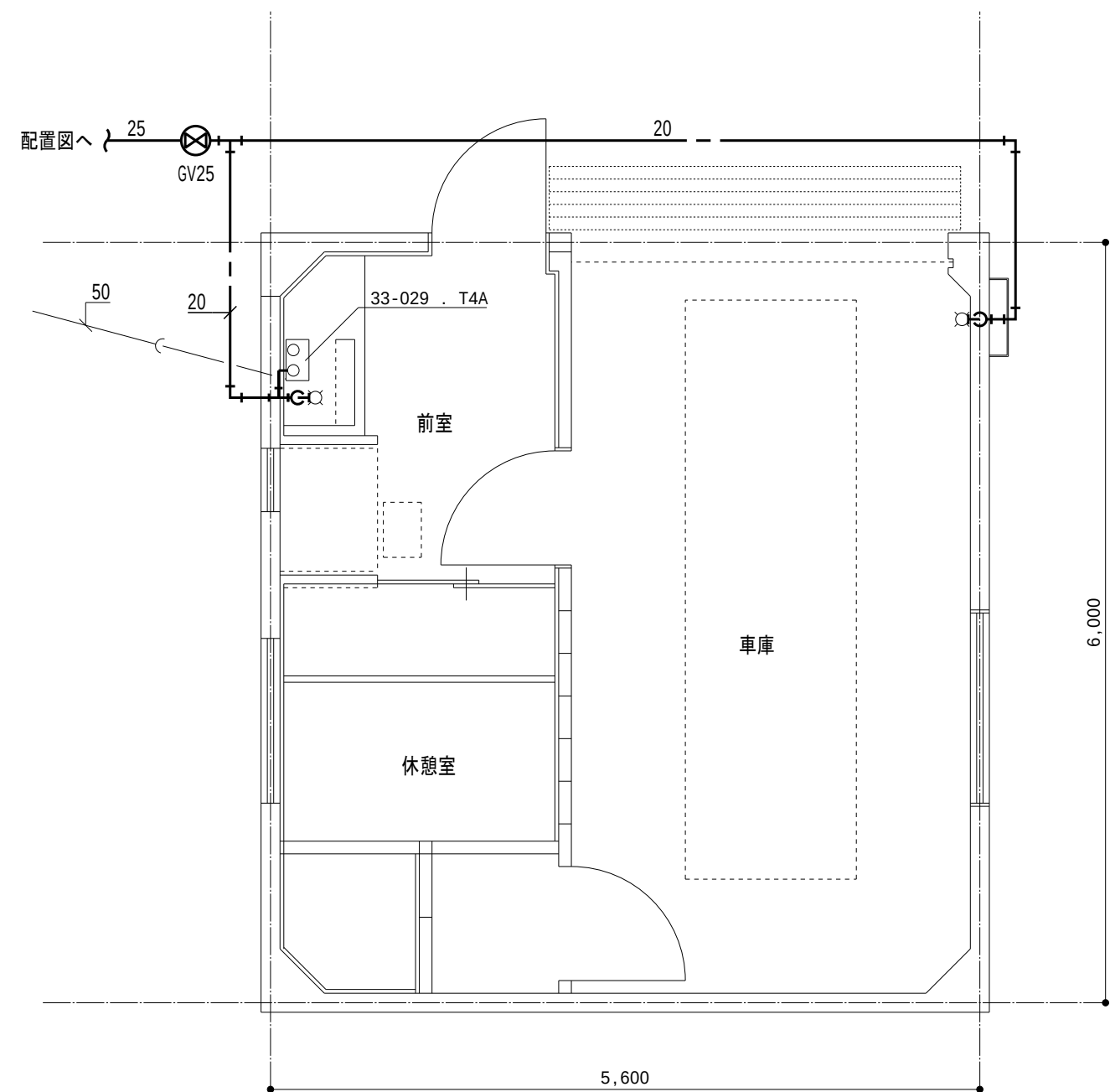
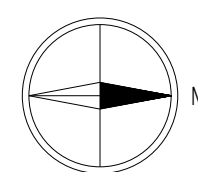
衛生系統図

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事	日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 給排水設備 配管系統図 (更生) (その2工事)	縮尺 A1 : NOSCALE A3 : NOSCALE

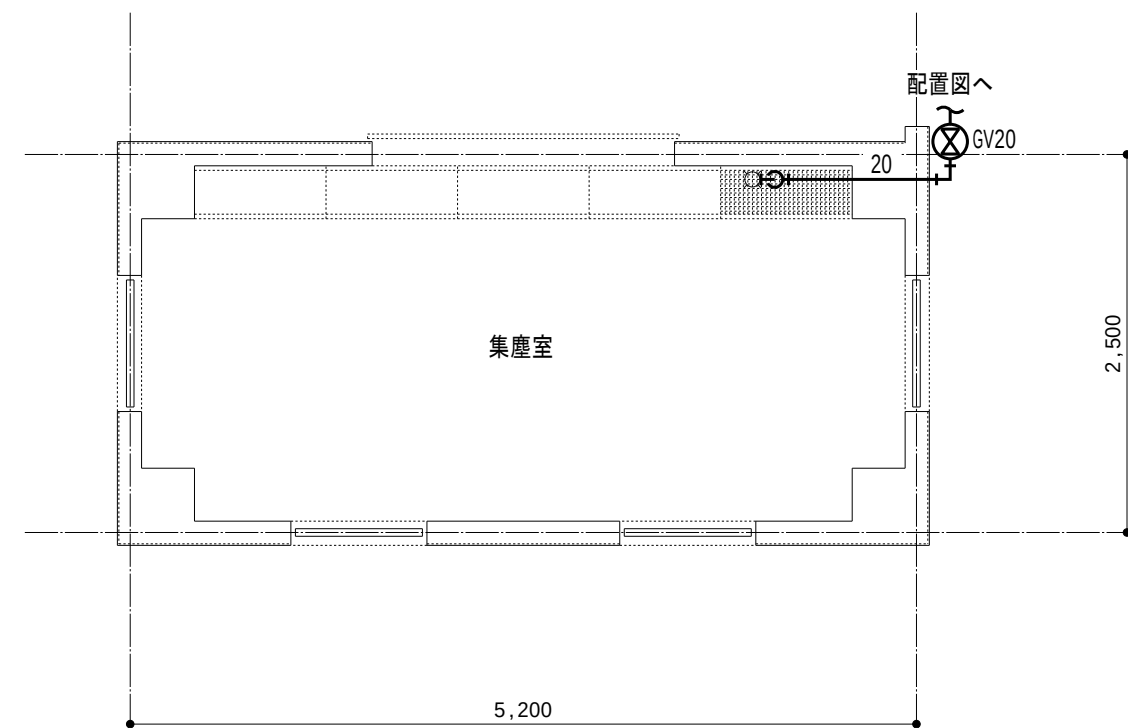
図面番号
M-053



配置図 1:300



車庫詳細図 1:50



集塵室詳細図 1:50

凡例

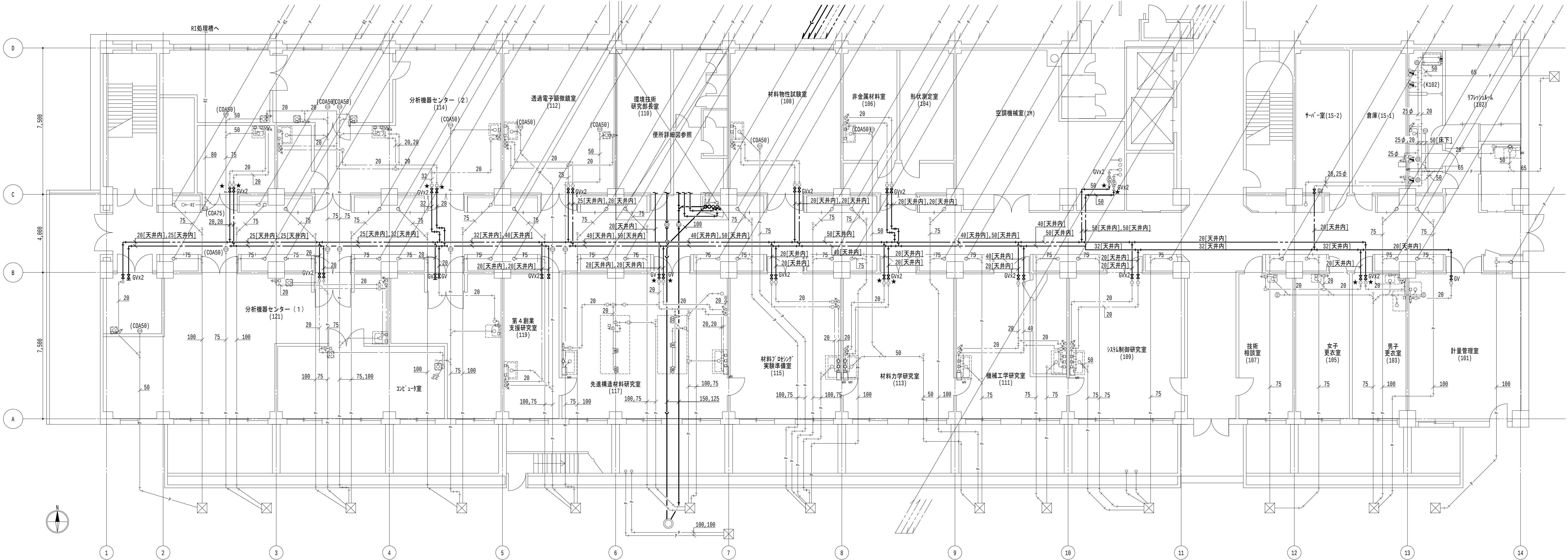
- 1. 太線は、管更生を示す。
- 2. 細線は、残置を示す。
- 3. ★ は、切断・接続を示す。
直近1mの配管撤去・新設を見込むこと。

特記事項

- 1. 特記なきは、地中埋設管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
設計事務所	図面名称 給排水設備 屋外配管図（更生）（その2工事）	縮尺 A1 : 1/300 A3 : 1/600	図面番号 M-054

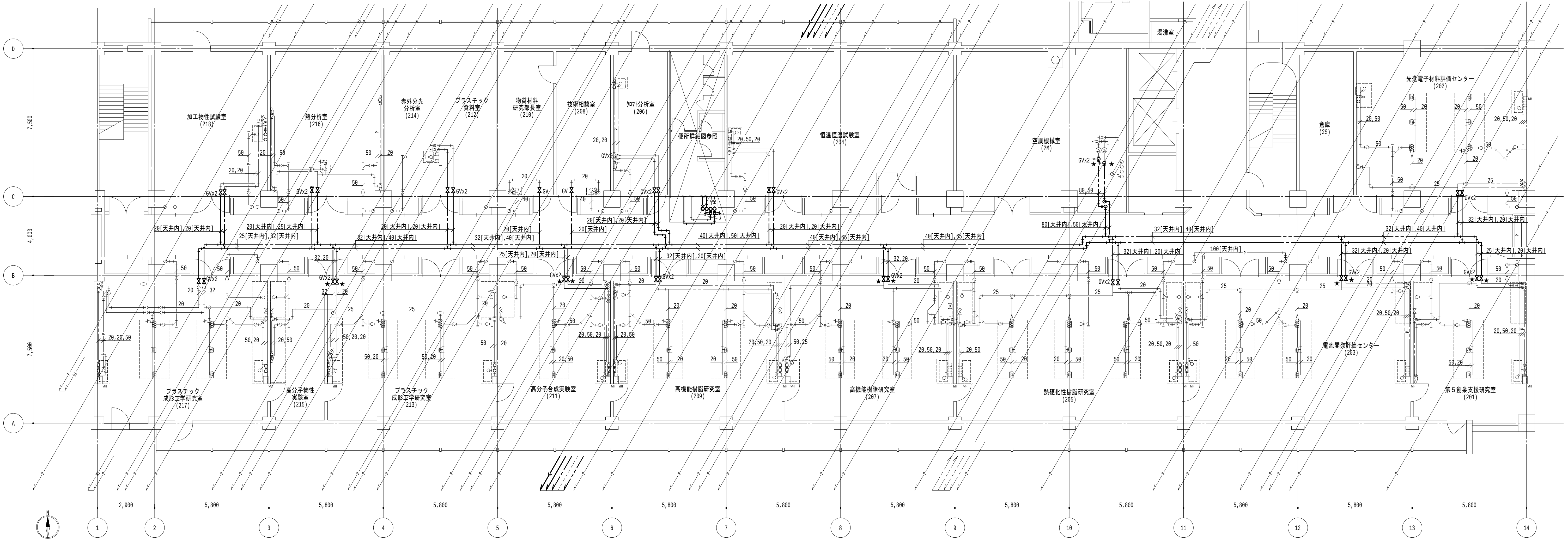


1 階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、管更生を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★ は、切断・接続を示す。
直近1mの配管撤去・新設を見込むこと。

- 特記事項
- 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切断・接続までを本工事とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 給排水設備 1階平面図（更生）（その2工事）	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M-055



2階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、管更生を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★ は、切断・接続を示す。
直近1mの配管撤去・新設を見込むこと。

- 特記事項
- 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切断・接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

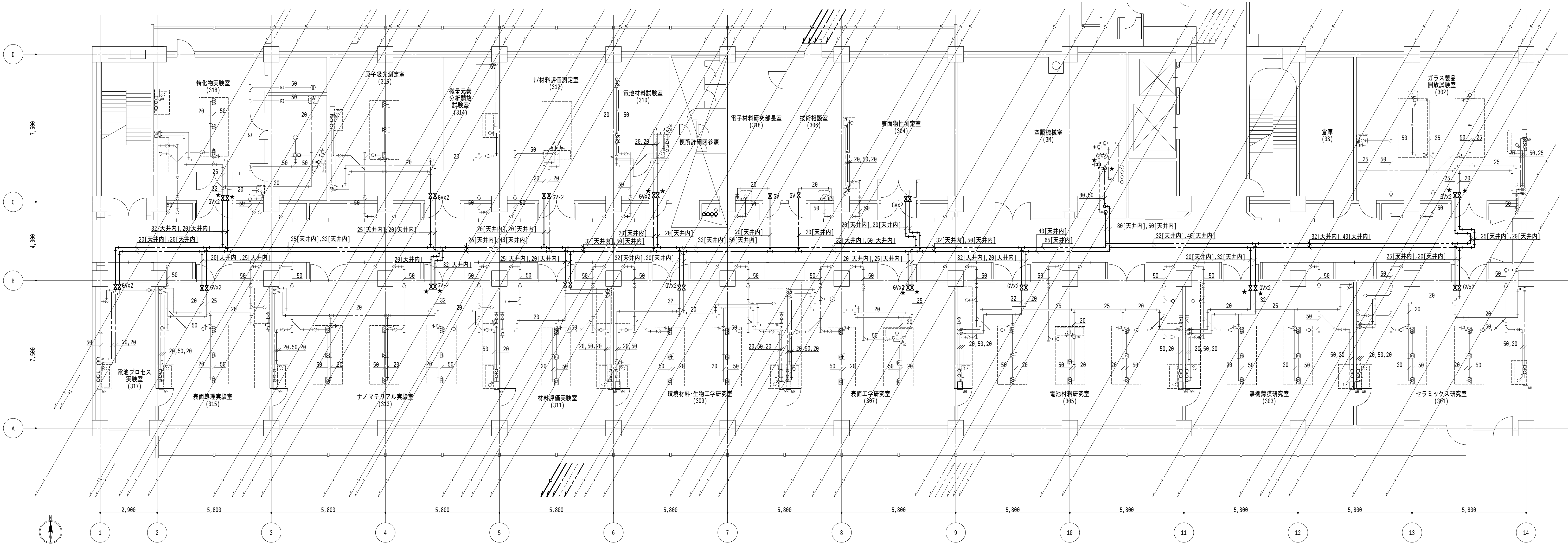
工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 2階平面図（更生）（その2工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-056



3階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、管更生を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★ は、切断・接続を示す。
直近1mの配管撤去・新設を見込むこと。

- 特記事項
- 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切断・接続までを本工事とする。

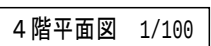
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

日付
2026.8.31

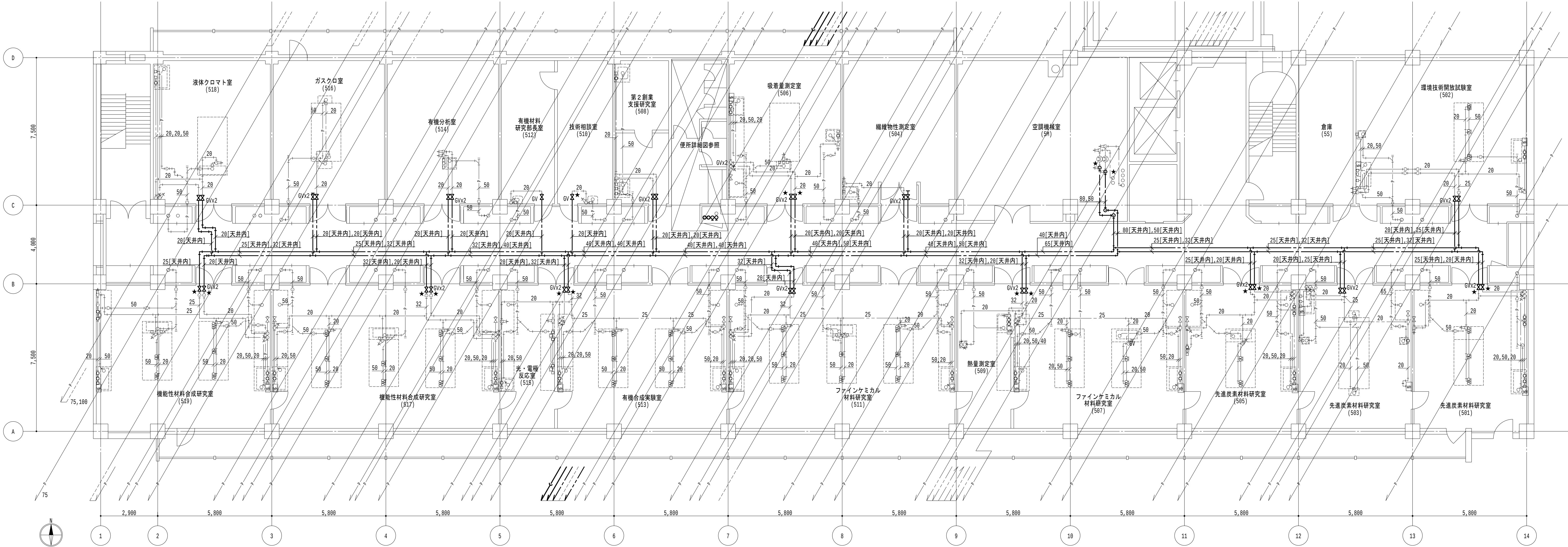
設計事務所
図面名称
給排水設備 3階平面図（更生）（その2工事）

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200
図面番号
M-057



- 特記事項**
1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 2. 排水金物は既設利用とし、配管切断・接続までを本工事とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称		日付	
	大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		2026.8.31	
	設計事務所	図面名称	縮尺	図面番号
		給排水設備 4階平面図（更生）（その2工事）	A1: 1/100 A3: 1/200	M-058



5階平面図 1/100

- 凡例
1. 太線は、管更生を示す。
 2. 細線は、残置を示す。
 3. ★ は、切断・接続を示す。
直近1mの配管撤去・新設を見込むこと。

- 特記事項
1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 2. 排水金物は既設利用とし、配管切断・接続までを本工事とする。

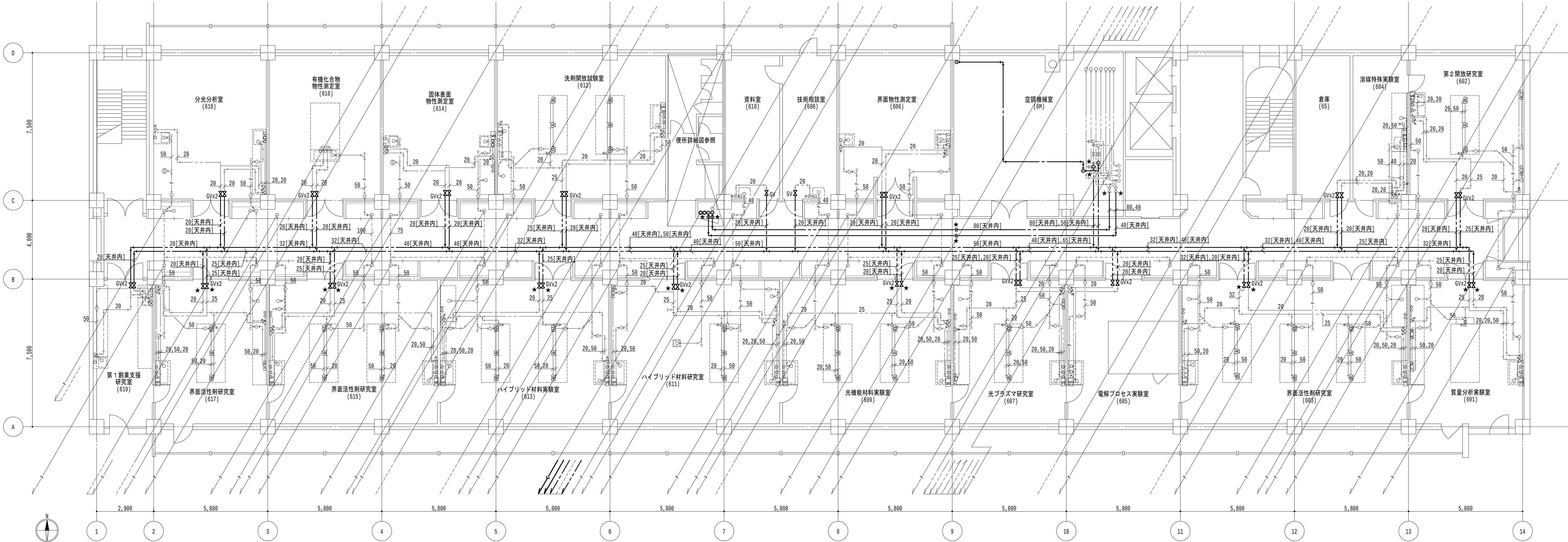
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

日付
2026.8.31

設計事務所
図面名称
給排水設備 5階平面図（更生）（その2工事）

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200
図面番号
M-059



6階平面図 1/100

- 凡例
1. 太線は、管更生を示す。
 2. 細線は、残置を示す。
 3. ★ は、切断・接続を示す。
直近1mの配管撤去・新設を見込むこと。

- 特記事項
1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 2. 排水金物は既設利用とし、配管切断・接続までを本工事とする。

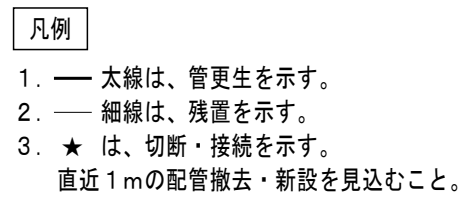
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

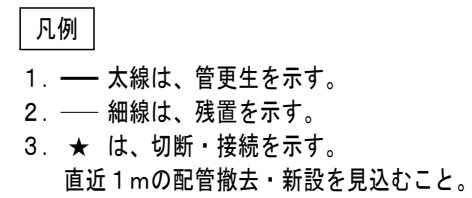
日付
2026.8.31

設計事務所
図面名称
給排水設備 6階平面図（更生）（その2工事）

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200
図面番号
M-060

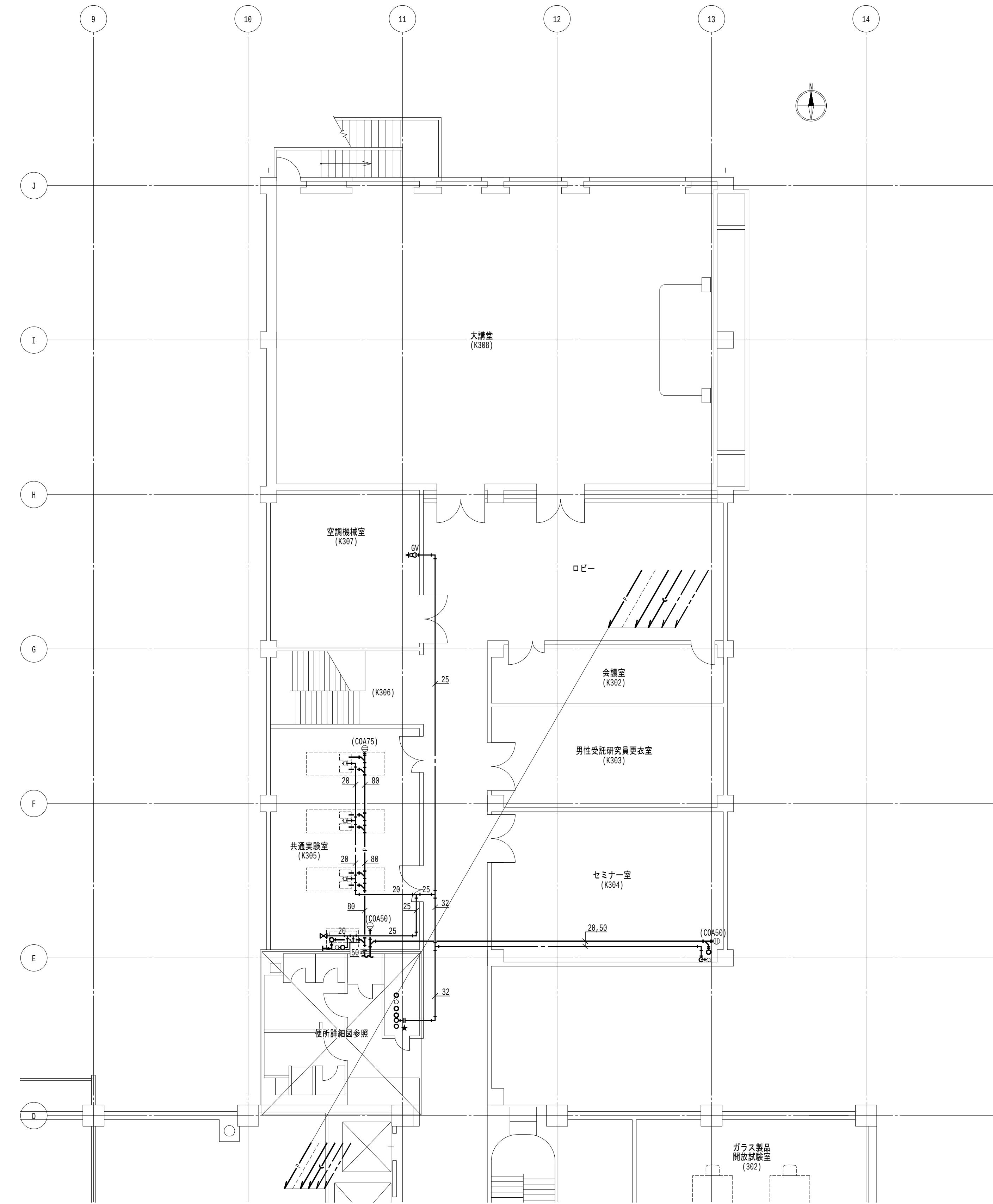


1. 特記なきはピット内配管とする。
2. 排水金物は既設利用とし、配管切断・接続までを本工事とする。



1. 特記なきは下階天井内配管とする。
2. 排水金物は既設利用とし、配管切断・接続までを本工事とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森の宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森の宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 給排水設備 管理棟 1・2階平面図（更生）（その2工事）	縮尺 A1：1/100 A3：1/200	図面番号 M-061



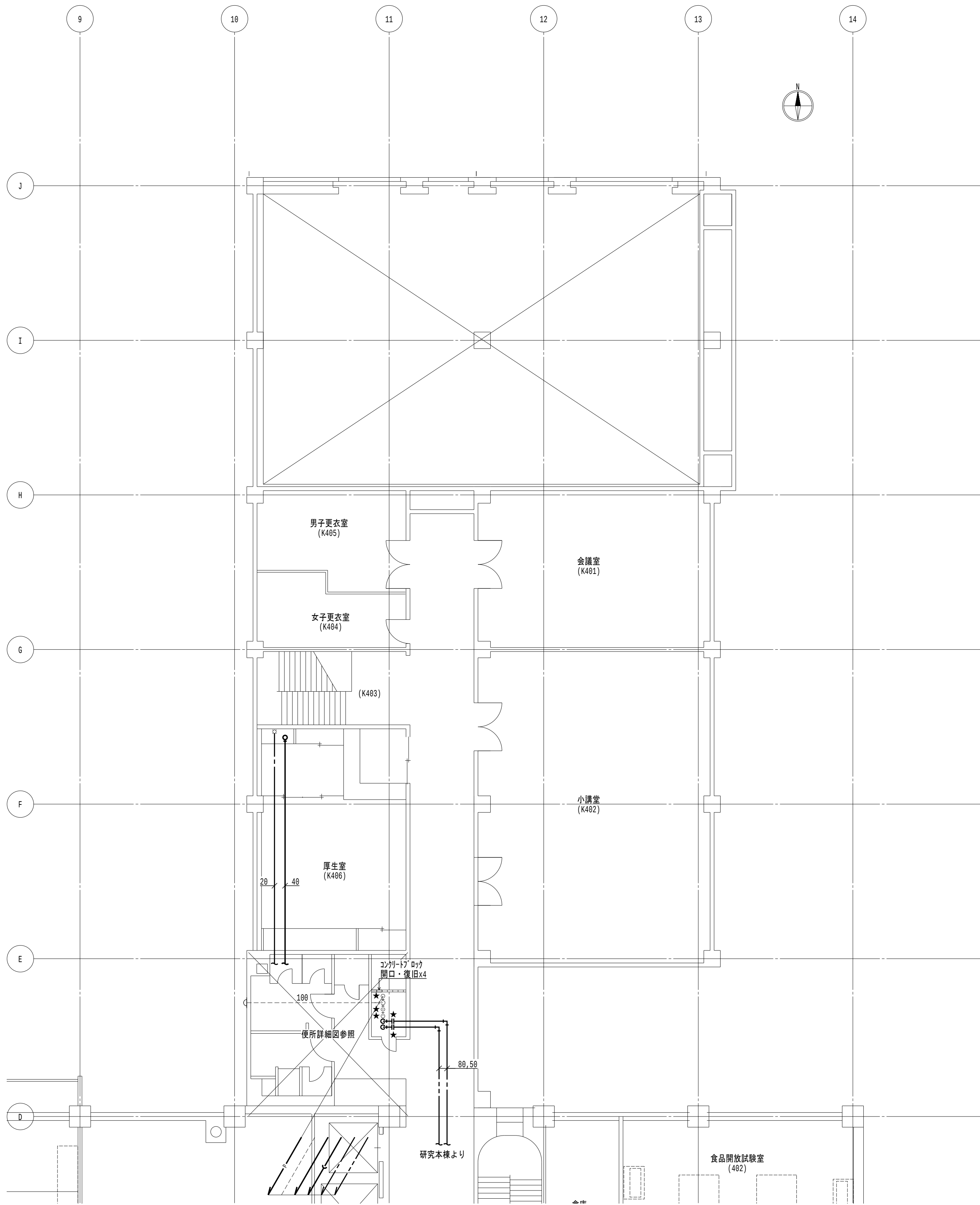
管理棟 3 階平面図 1/100

凡例

1. 太線は、管更生を示す。
2. 細線は、残置を示す。
3. ★ は、切断・接続を示す。
直近 1m の配管撤去・新設を見込むこと。

特記事項

1. 特記なきは下階天井内配管とする。
2. 排水金物は既設利用とし、配管切断・接続までを本工事とする。



管理棟 4 階平面図 1/100

凡例

1. 太線は、管更生を示す。
2. 細線は、残置を示す。
3. ★ は、切断・接続を示す。
直近 1m の配管撤去・新設を見込むこと。

特記事項

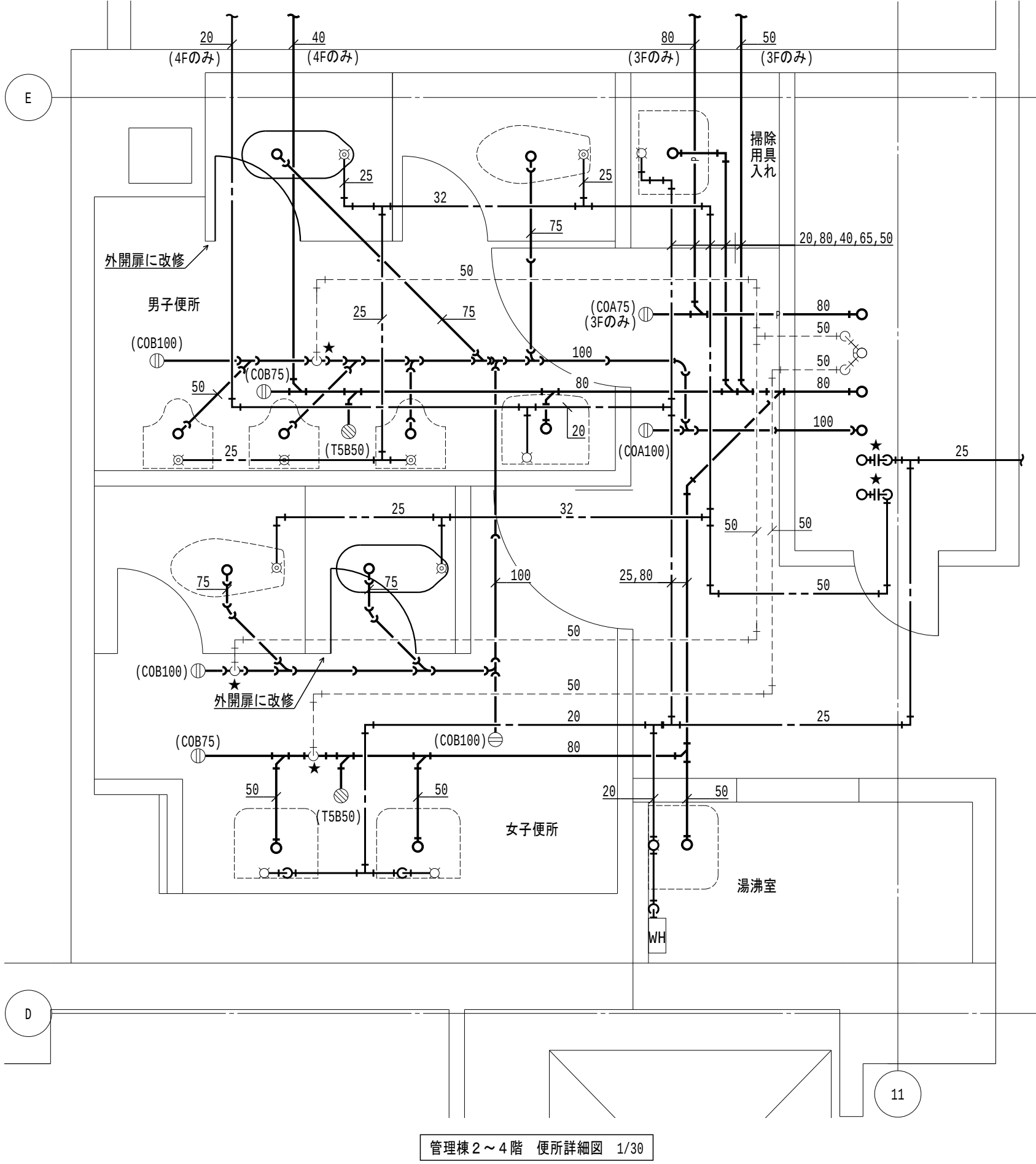
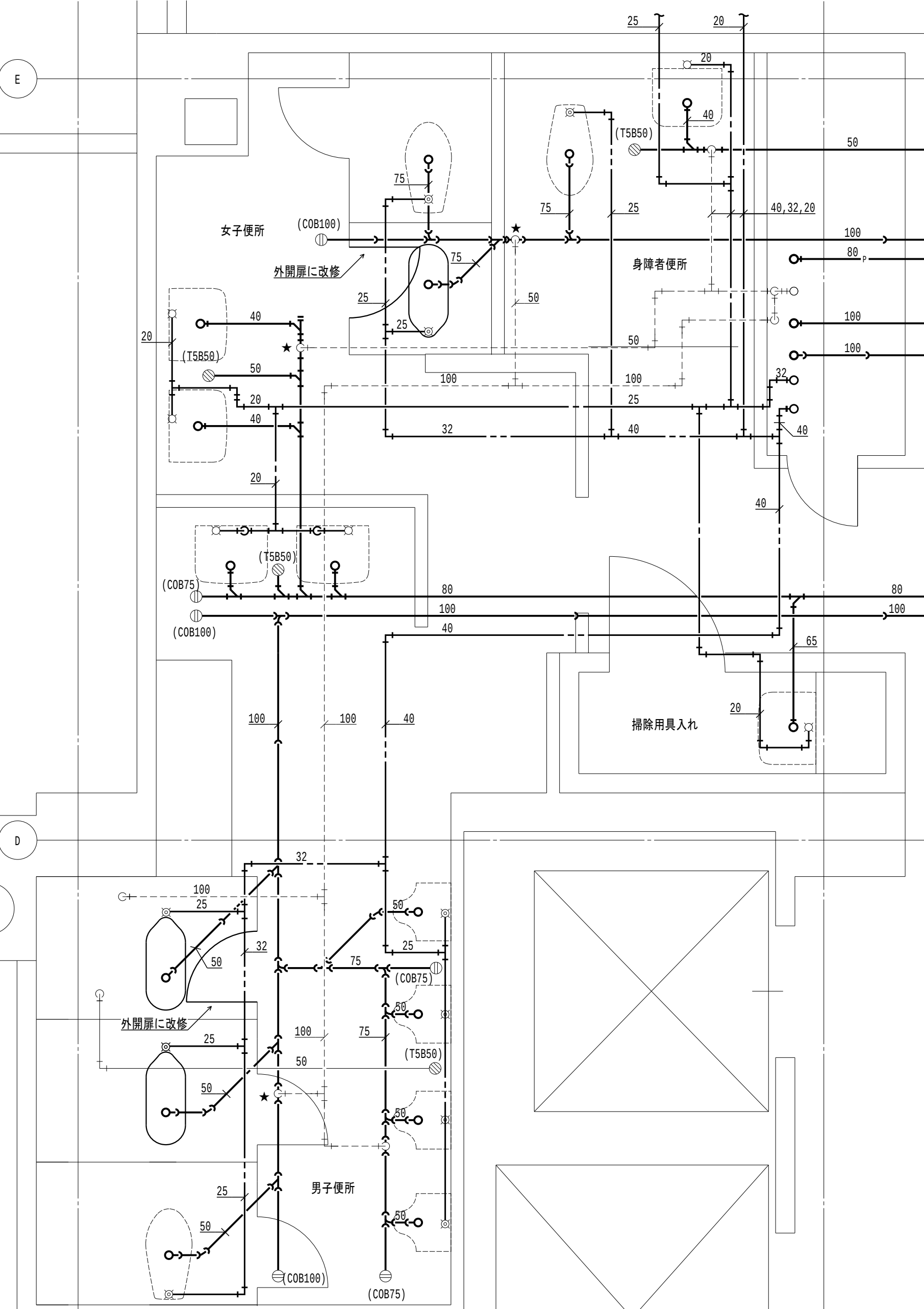
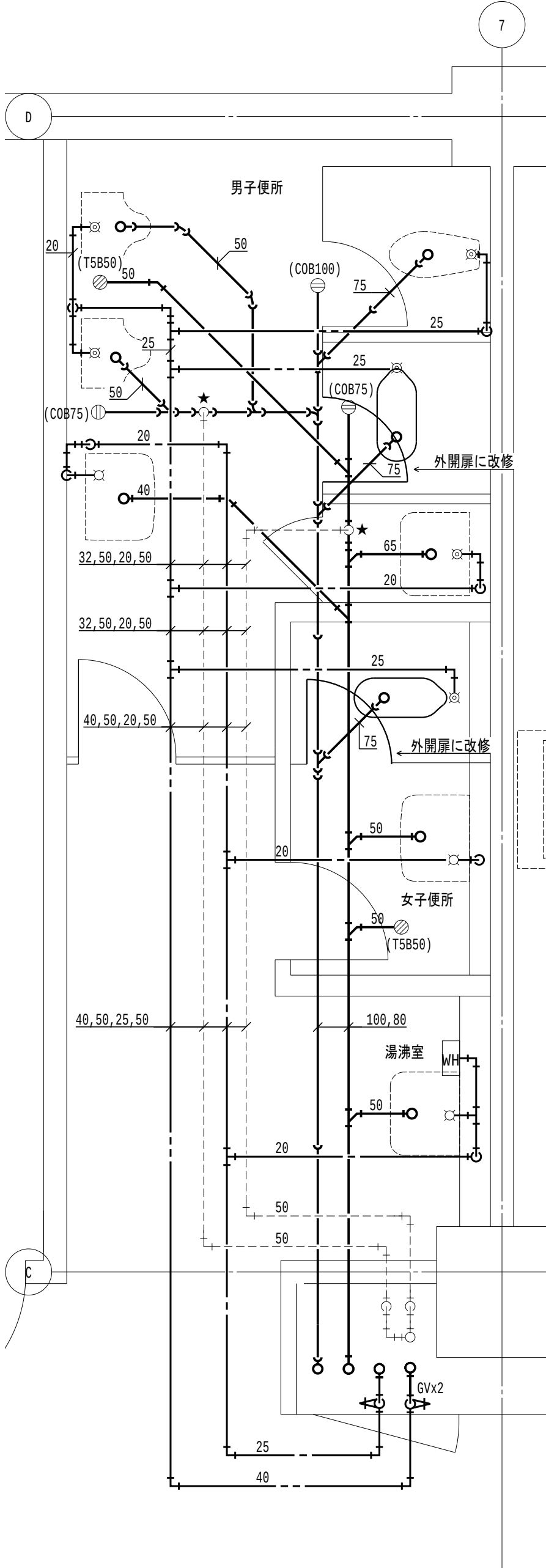
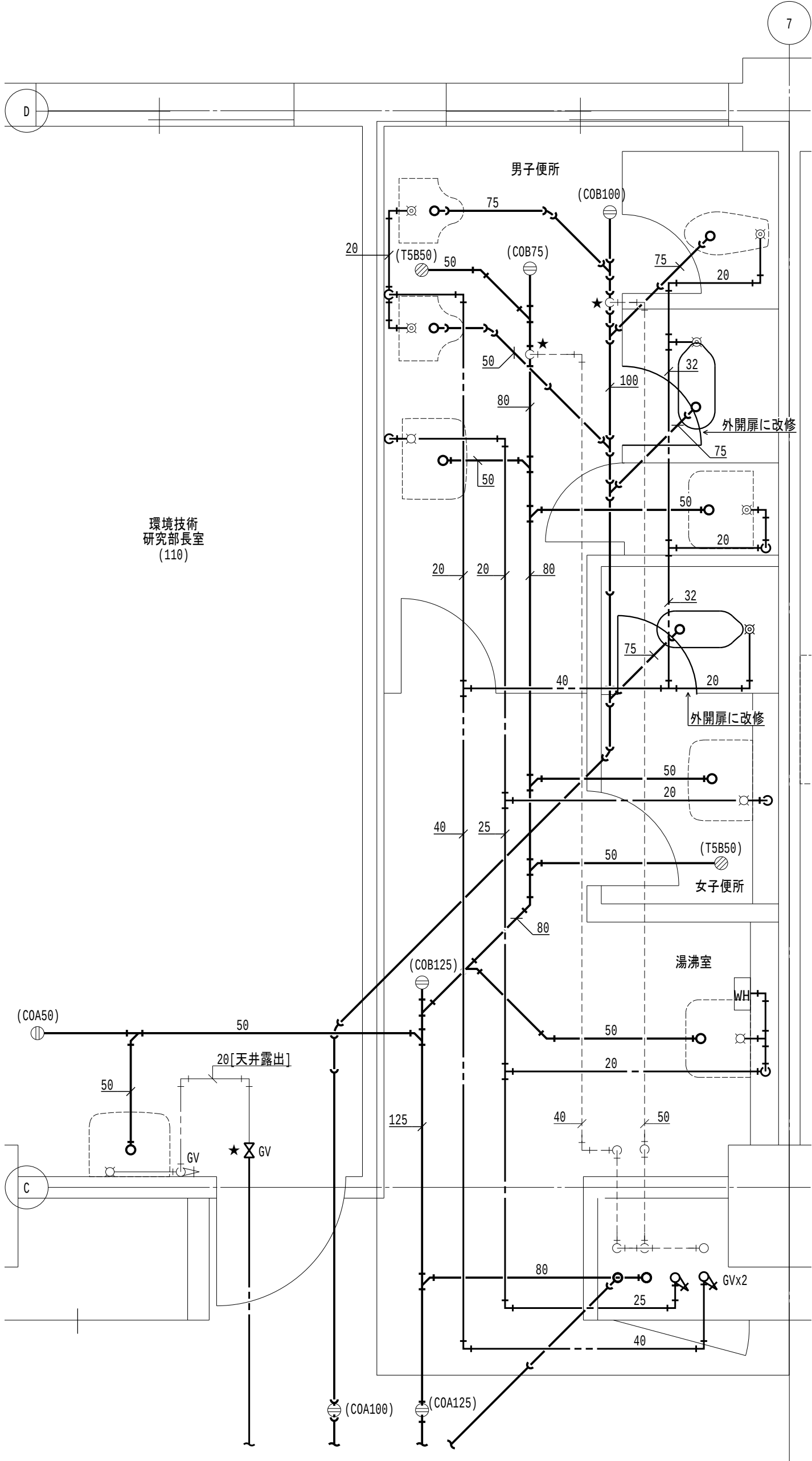
1. 特記なきは下階天井内配管とする。
2. 排水金物は既設利用とし、配管切断・接続までを本工事とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 給排水設備 管理棟 3・4 階平面図（更生）（その2工事）	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M-062

衛生器具表（撤去）											
器具名称	品番 (株式会社TOTO)	仕様	合計	研究本棟				管理棟			
				1階		2～6階		1階		2～4階	
				女子 便所	男子 便所	女子 便所	男子 便所	女子 便所	男子 便所	女子 便所	男子 便所
床上給水和風大便器 (工水)	C375VF	フラッシュバルブ ハンドル式	21	1	1	1	1	1	2	1	1

衛生器具表（新設）											
器具名称	参考品番 (株式会社TOTO)	仕様	合計	研究本棟				管理棟			
				1階		2～6階		1階		2～4階	
				女子 便所	男子 便所	女子 便所	男子 便所	女子 便所	男子 便所	女子 便所	男子 便所
床置床排水大便器 (工水)	C480N#NW1	フラッシュバルブ ハンドル式 (TV658CS)	21	1	1	1	1	1	2	1	1

衛生器具表（取外再取付）														
器具名称	品番 (株式会社TOTO)	仕様	合計	研究本棟					管理棟					
				1階			2～6階		1階			2～4階		
				女子便所	男子便所	110	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	身障者便所	掃除用具入れ	女子便所	男子便所
床排水洋式大便器 (工水)	C21	フラッシュバルブ ハンドル式	8						1	1			1	1
床排水洋式大便器 (工水)	C48	フラッシュバルブ ハンドル式	7		1			1			1			
壁排水小便器 (工水)	U37	フラッシュバルブ式	25		2			2		4				3
カウンター洗面器 (市水)	L331	角形	10						2	2			2	
壁掛洗面器 (市水)	L230D	壁排水 壁給水	15	1	1		1	1						1
車いす用壁掛洗面器 (市水)	L103D	壁排水 壁給水	1								1			
洗面化粧台 (工水)	LD600DL		1			1								
掃除流し (市水)	SK22A		10		1			1				1		1



- 凡例
- 太線は、管更生を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★ は、切断・接続を示す。直近1mの配管撤去・新設を見込むこと。

- 特記事項
- 特記なきは1階はビット内配管とし、2～6階は下階天井内配管とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切断・接続までを本工事とする。
 - 衛生器具は脱着を見込むこと。なお、和式便器は撤去し、洋式便器を新設すること。
 - 洋式便器に更新するブースの扉は内開きから外開きに改修すること。該当箇所は平面図を参照すること。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

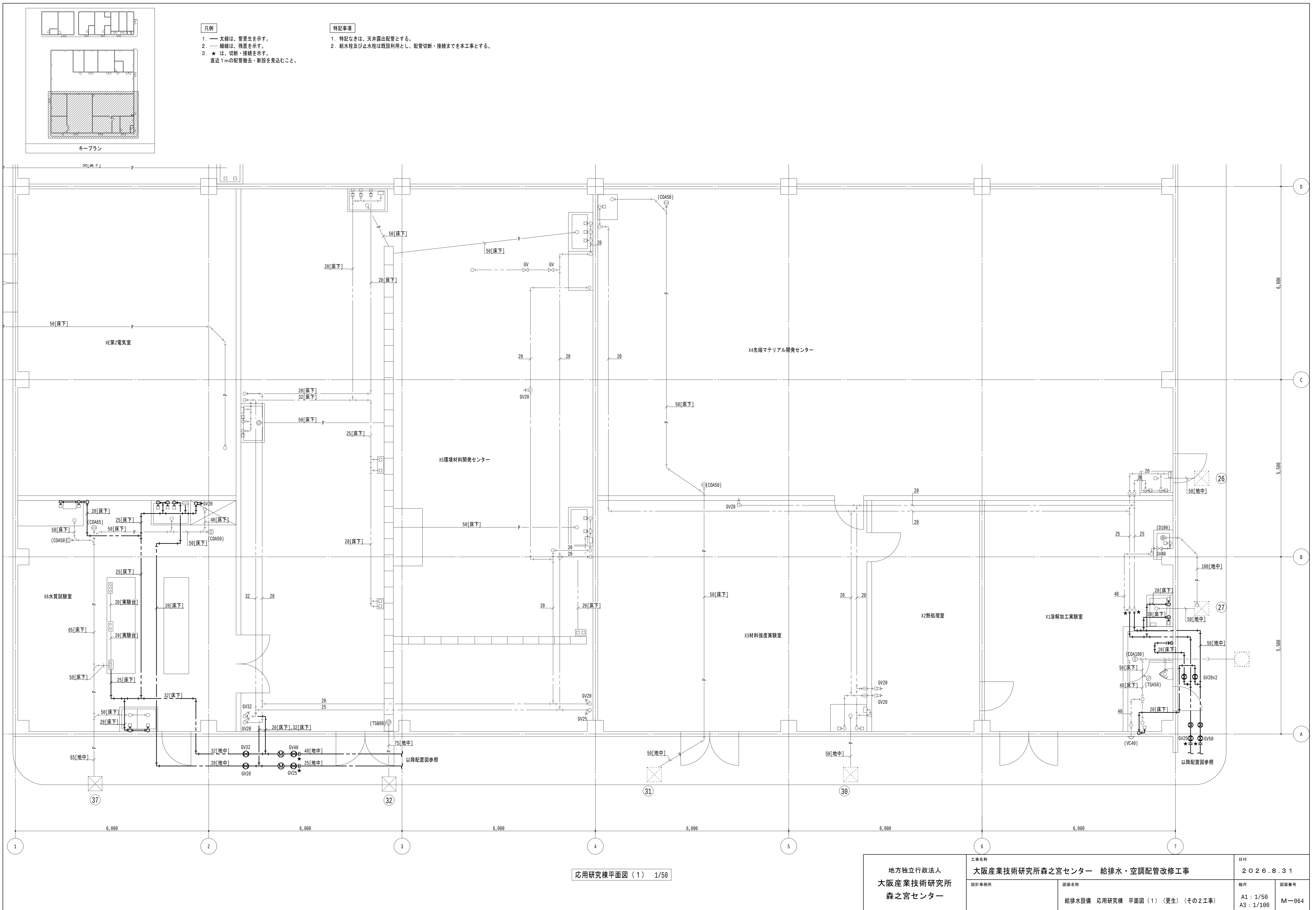
工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

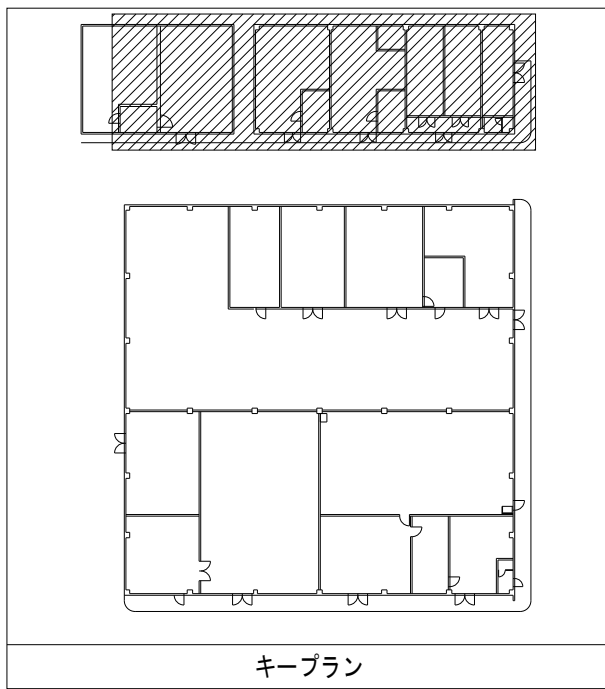
設計事務所
図面名称
給排水設備 便所詳細図（更生）（その2工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1：1/30
A3：1/60

図面番号
M-063



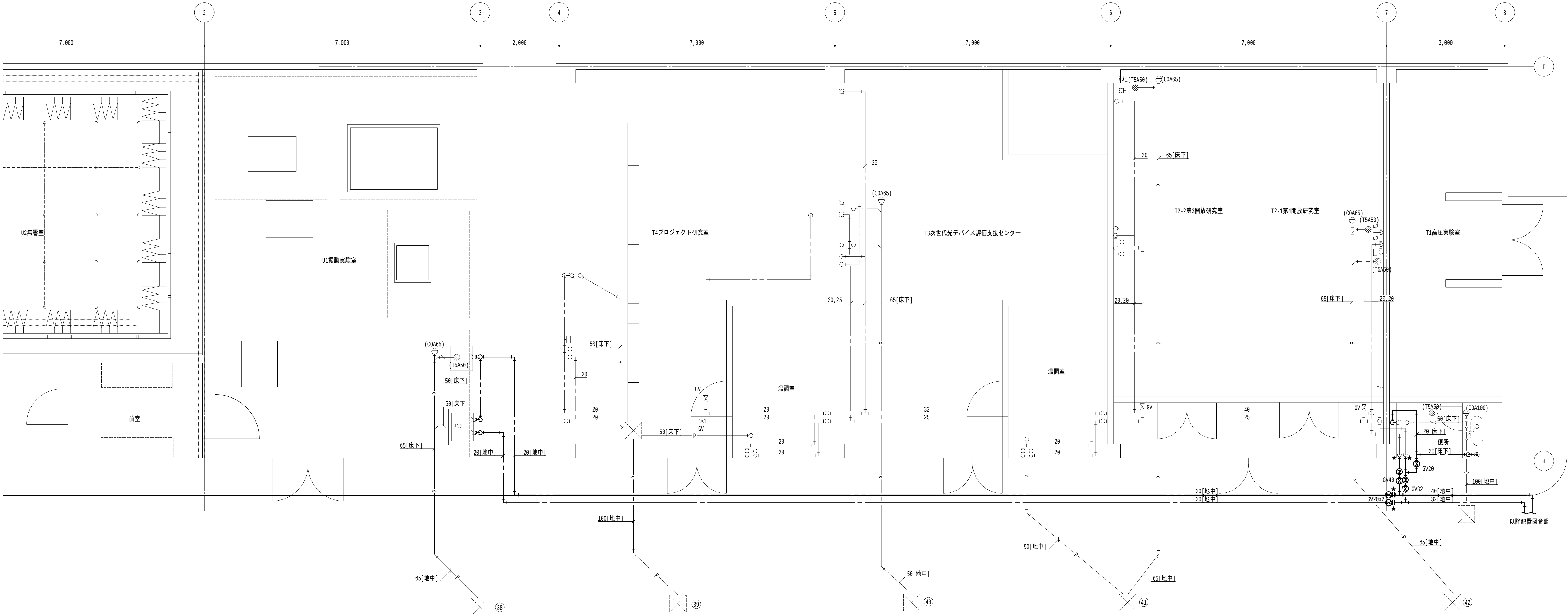


凡例

- 1. 太線は、管更生を示す。
- 2. 細線は、残置を示す。
- 3. ★ は、切断・接続を示す。
直近1mの配管撤去・新設を見込むこと。

特記事項

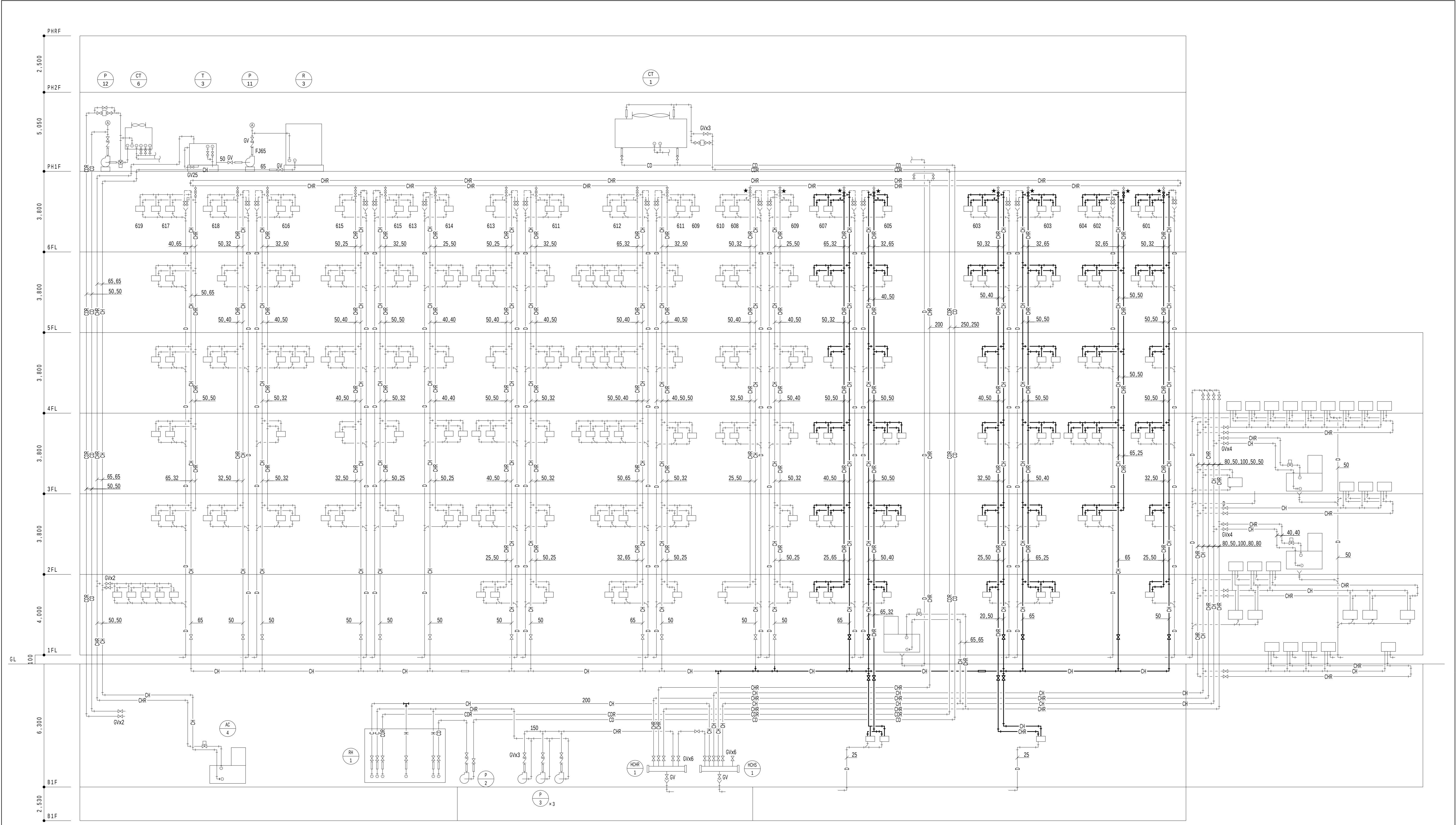
- 1. 特記なきは、天井露出配管とする。
- 2. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断・接続までを本工事とする。



防音防振研究棟平面図 1/50

中間工業研究棟平面図 1/50

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 給排水設備 中間工業研究棟・防音防振研究棟 平面図（更生）（その2工事）	縮尺 A1：1/50 A3：1/100	図面番号 M-066



空調系統図

凡例

記号	名称	配管材 (既設)
CH	冷温水管 (往)	配管用炭素鋼鋼管 (白)
CHR	冷温水管 (還)	配管用炭素鋼鋼管 (白)
CD	冷却水管 (往)	塩化ビニルライニング鋼管
CDR	冷却水管 (還)	塩化ビニルライニング鋼管
C	冷水管 (往)	配管用炭素鋼鋼管 (白)
CR	冷水管 (還)	配管用炭素鋼鋼管 (白)
H	温水管 (往)	配管用炭素鋼鋼管 (白)
HR	温水管 (還)	配管用炭素鋼鋼管 (白)
D	ドレン管	配管用炭素鋼鋼管 (白)

- 本線は、管更生を示す。
- 細線は、残置を示す。
- ★ は、切断・接続を示す。直近 1 m の配管撤去・新設、バルブ撤去を見込むこと。
- は、新設開口部及び既設開口閉塞部を示す。

特記事項

- 空調配管更新工程ステップ毎に水抜きを行い、都度エア抜き及び整調復旧を行うこと。
- 既設開口部は、モルタル等不燃材にて閉塞補修を行うこと。
- 各居室内の改修期間は極力短期となるように工事工程を組むこと。
- 配管の保温撤去において、エルボ・チーズ部分にアスベストが含有されているため、特記仕様書 (2) に準拠し、撤去すること。
- 配管更新に伴う自動制御用配線は取外し再接続を行い、試運転調整を行うこと。

改修対象内容

- ③～④通りの P S 内冷温水管の縦管及び分岐管を先行して新設し、接続替え後に既設管を撤去する。
- ③～④通りの居室壁～室内機 (バルブがある場合はバルブ) までの冷温水管を撤去・新設し、分岐管に接続する。
- B 1 階冷温水管の横主管を先行して新設し、接続替え後に既設管を撤去する。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

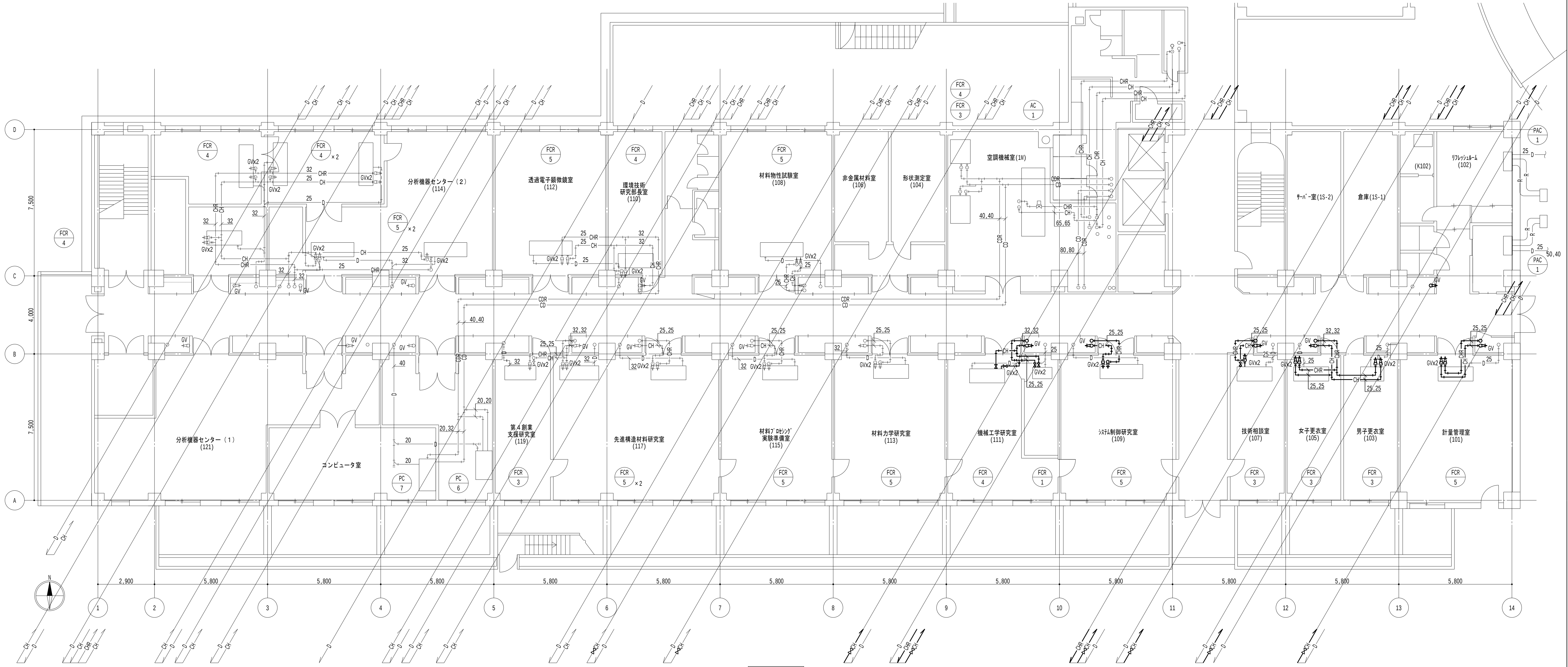
図面名称

空調設備 配管系統図 (改修・撤去) (その 2 工事)

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : NOSCALE
A3 : NOSCALE

図面番号
M-067



1階平面図 1/100

凡例

1. 太線は、新設を示す。
2. 細線は、既設を示す。
3. ★ は、接続箇所を示す。
4. 室名 は、天井有を示す。

特記事項

1. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
2. 機器直近のバルブは既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

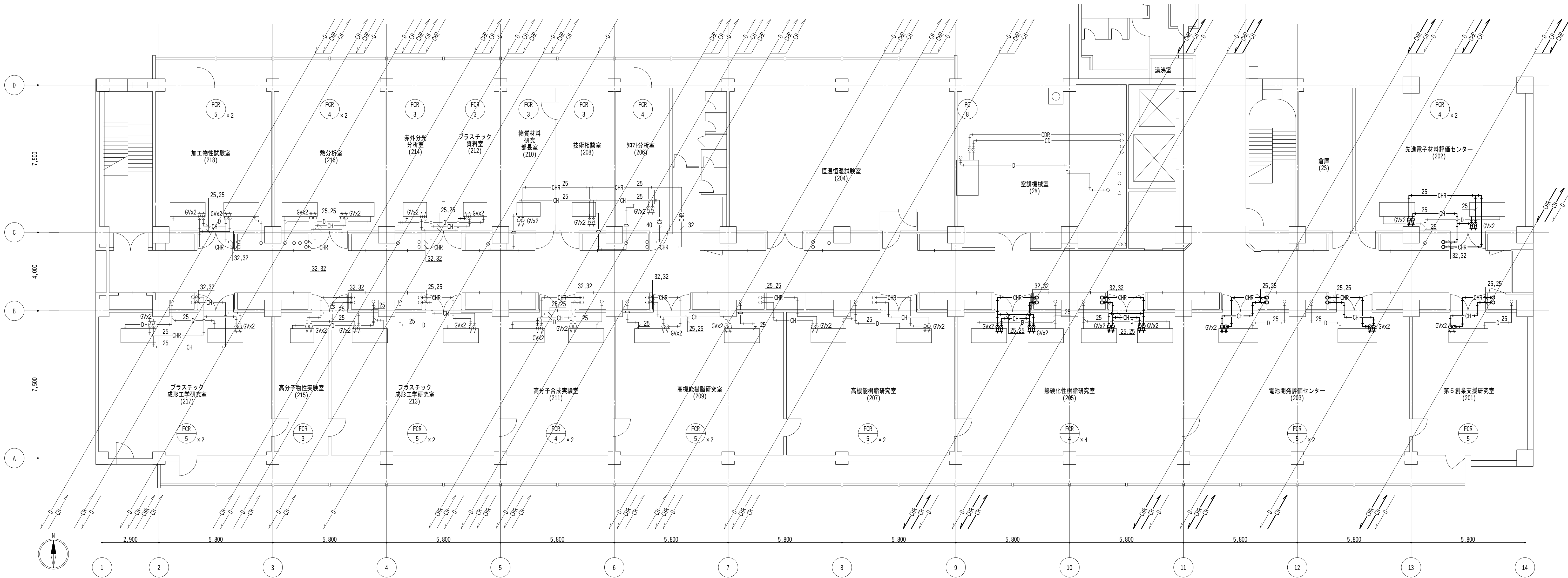
図面名称

空調設備 1階平面図（改修）（その2工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-069



2 階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★ は、接続箇所を示す。
 - 室名 は、天井有を示す。

- 特記事項
- 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
 - 機器直近のバルブは既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 2 階平面図（改修）（その2 工事）

日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-070



3階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★は、接続箇所を示す。
 - 室名は、天井有を示す。

- 特記事項
- 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
 - 機器直近のバルブは既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 3階平面図（改修）（その2工事）

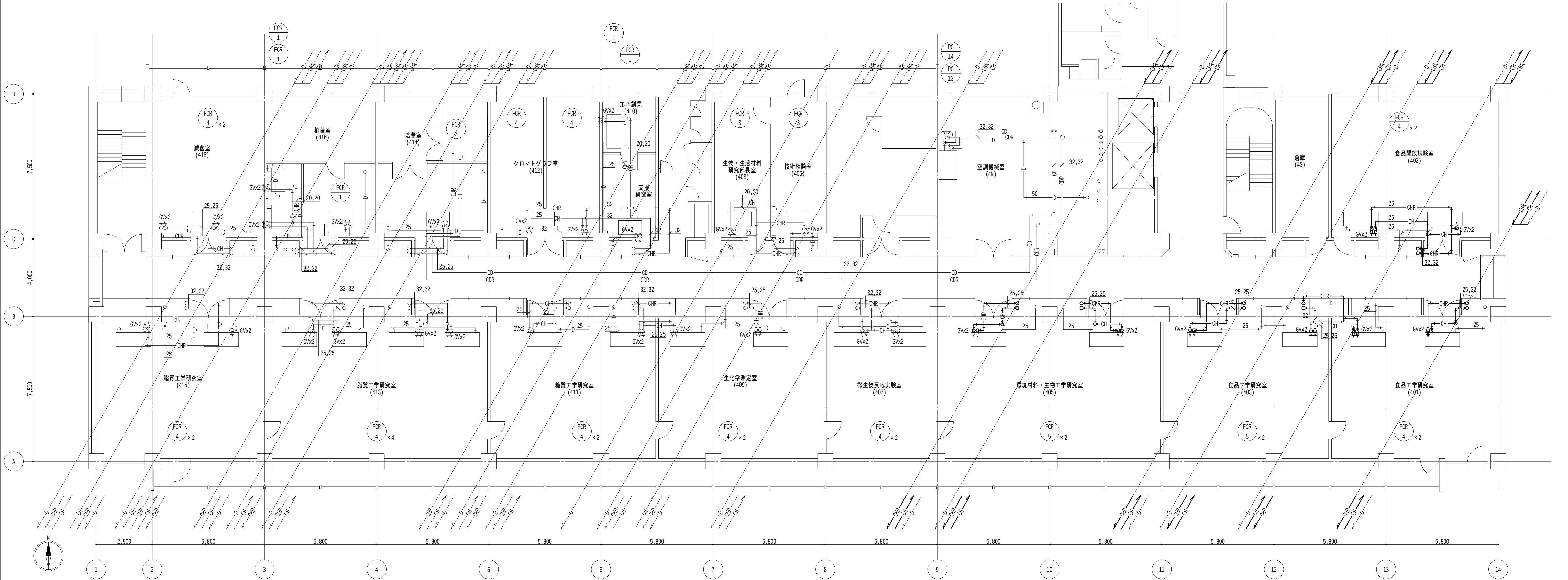
日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-071



4 階平面図 1/100

- 凡例
1. 太線は、新設を示す。
 2. 細線は、既設を示す。
 3. ★ は、接続箇所を示す。
 4. 室名 は、天井有を示す。

- 特記事項
1. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
 2. 機器直近のバルブは既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 4 階平面図（改修）（その2 工事）

日付

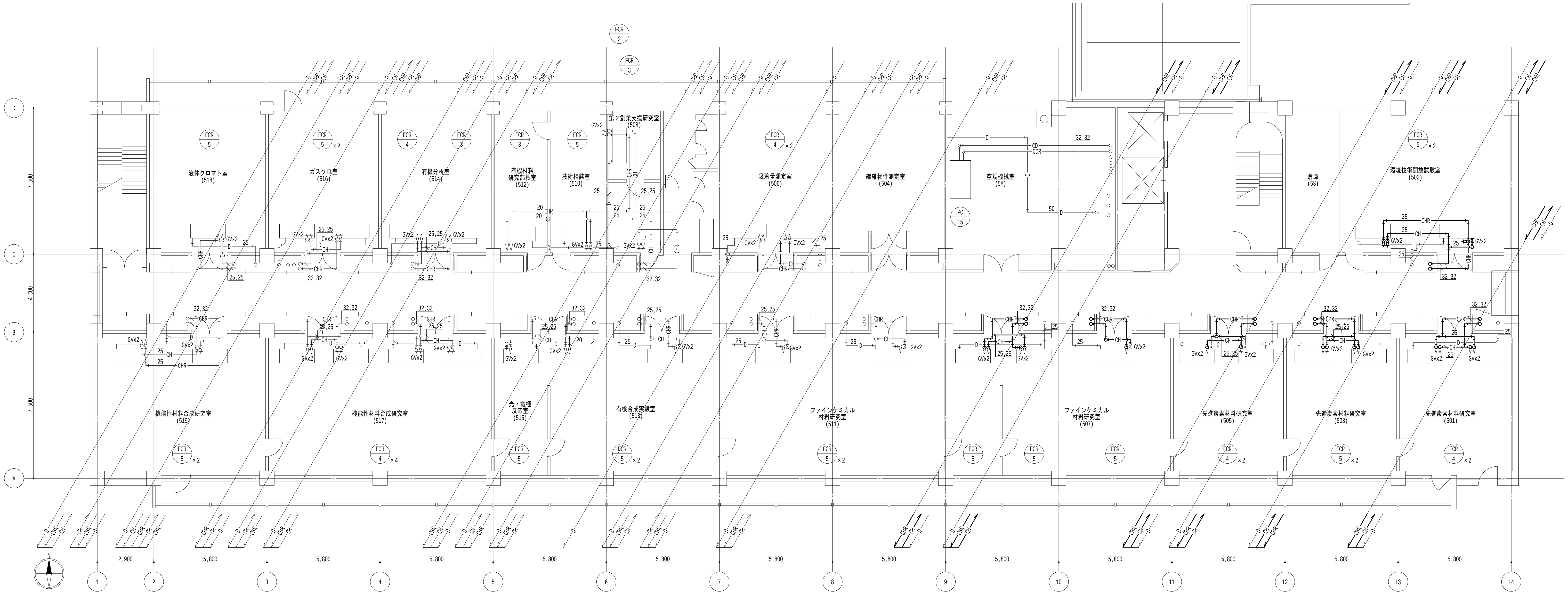
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-072



5階平面図 1/100

- 凡例
1. 太線は、新設を示す。
 2. 細線は、既設を示す。
 3. ★ は、接続箇所を示す。
 4. 室名 は、天井有を示す。

- 特記事項
1. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
 2. 機器直近のバルブは既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 5階平面図（改修）（その2工事）

日付

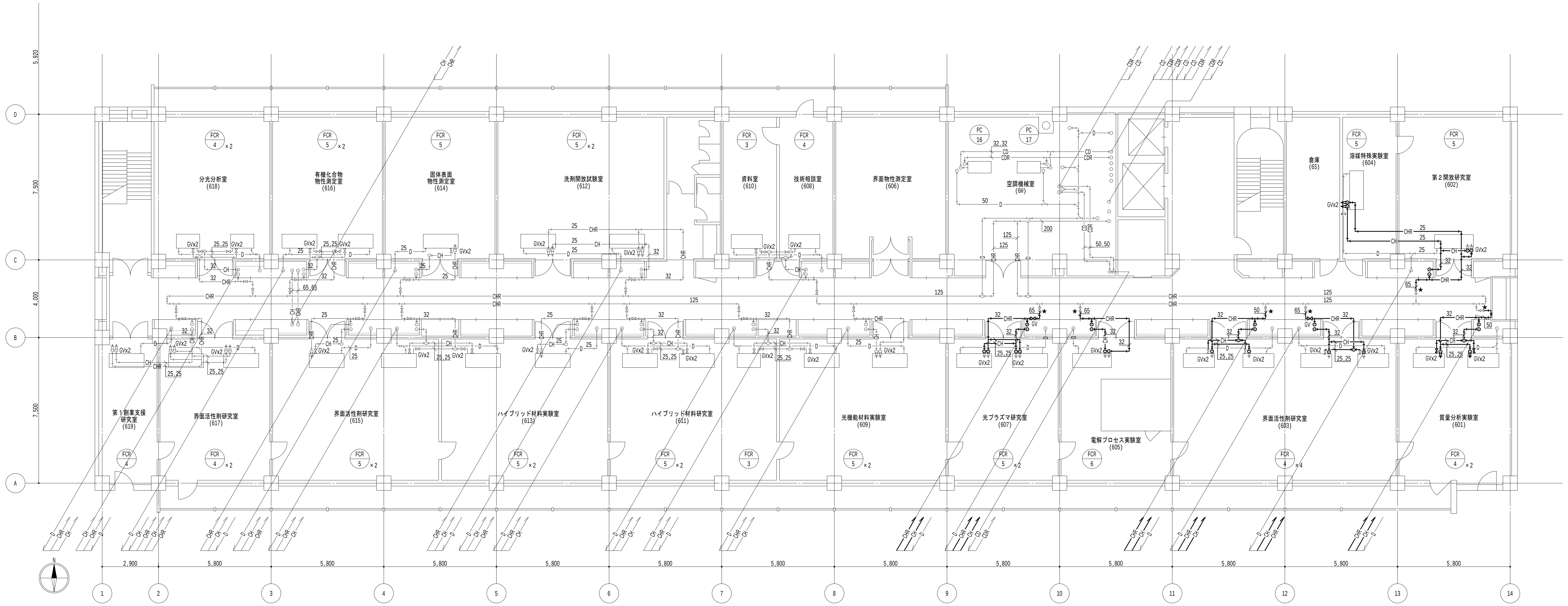
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-073



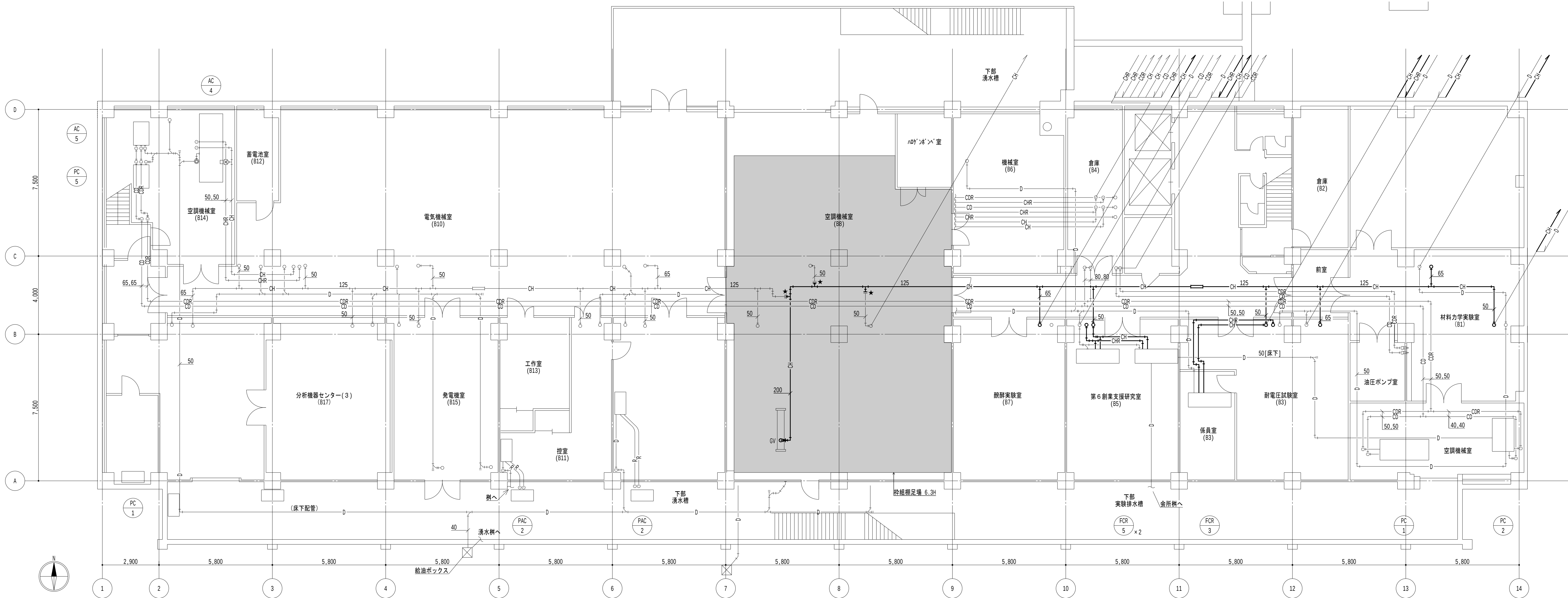
6 平面図 1/100

- 凡例

 - 1. 太線は、新設を示す。
 - 2. 細線は、既設を示す。
 - 3. ★ は、接続箇所を示す。
 - 4. 室名 は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 1. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
 - 2. 機器直近のバルブは既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 空調設備 6階平面図（改修）（その2工事）	縮尺 A1：1/100 A3：1/200	図面番号 M-074



B 1 階平面図 1/100

凡例

1. 太線は、撤去を示す。
2. 細線は、残置を示す。
3. ★ は、切断箇所を示す。
4. [室名] は、天井有を示す。

特記事項

1. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
2. 機器直近のバルブは既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
3. 天井露出配管（空調機械室(B8)を除く）の更新は簡易型移動式足場を設けること。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 B 1 階平面図（撤去）（その2工事）

日付

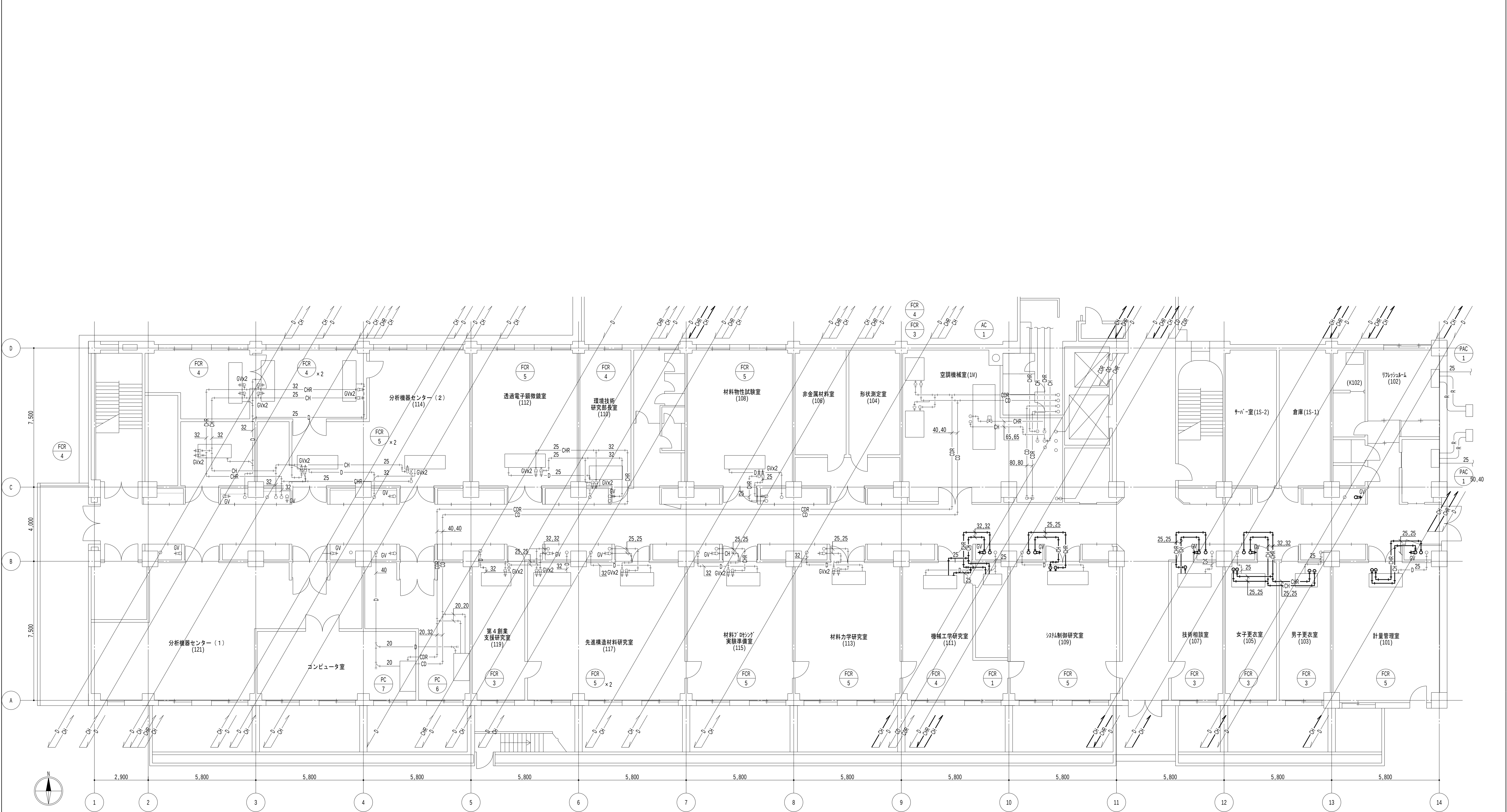
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-075



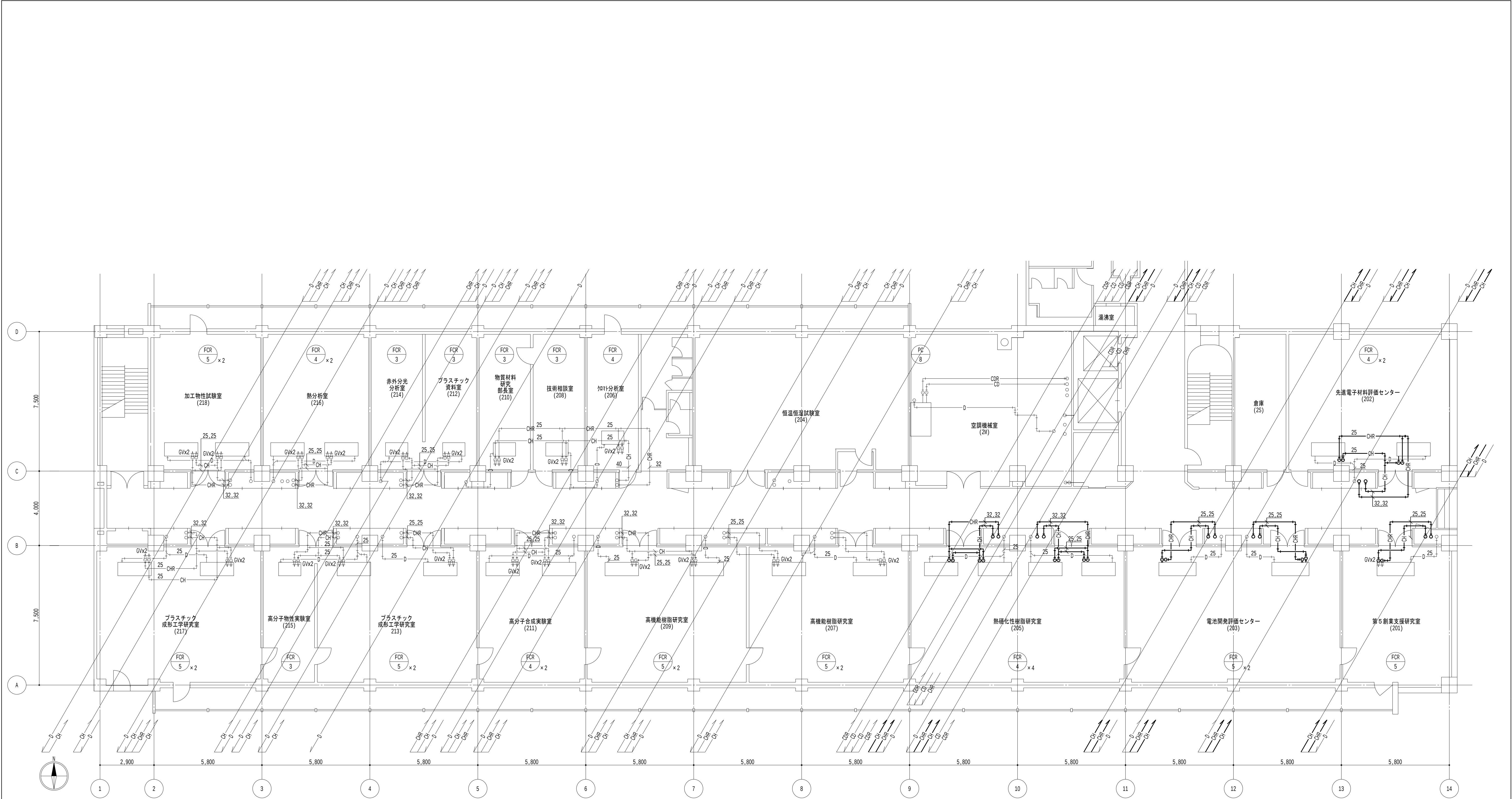
1階平面図 1/100

- 凡例

 - 1. 太線は、撤去を示す。
 - 2. 細線は、残置を示す。
 - 3. ★ は、切断箇所を示す。
 - 4. 〔室名〕は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 1. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
 - 2. 機器直近のバルブは既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 空調設備 1階平面図（撤去）（その2工事）	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M—076



2 階平面図 1/100

凡例

1. 太線は、撤去を示す。
2. 細線は、残置を示す。
3. ★ は、切断箇所を示す。
4. [室名] は、天井有を示す。

特記事項

1. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
2. 機器直近のバルブは既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 2 階平面図（撤去）（その2 工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-077



3 階平面図 1/100

凡例

- 太線は、撤去を示す。
- 細線は、残置を示す。
- ★ は、切断箇所を示す。
- 〔室名〕は、天井有を示す。

特記事項

- 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
- 機器直近のバルブは既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 3 階平面図（撤去）（その 2 工事）

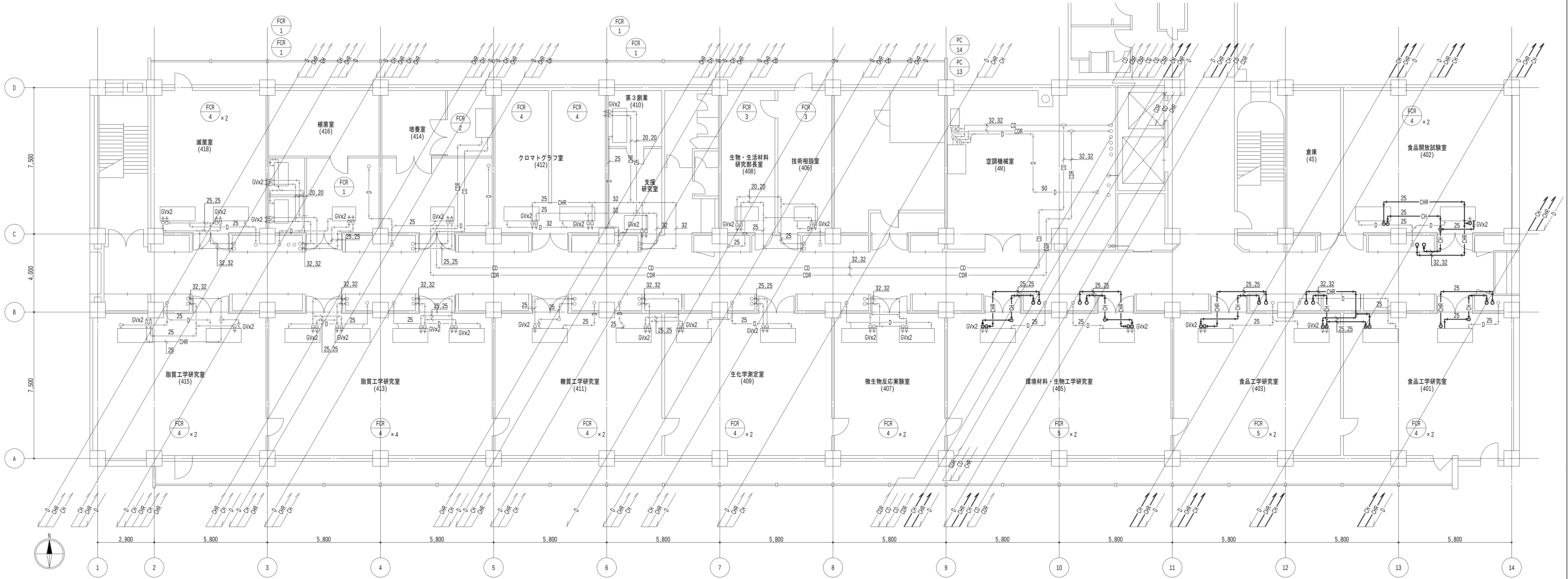
日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-078



4 階平面図 1/100

凡例

1. 太線は、撤去を示す。
2. 細線は、残置を示す。
3. ★ は、切断箇所を示す。
4. [室名] は、天井有を示す。

特記事項

1. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
2. 機器直近のバルブは既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 4 階平面図（撤去）（その 2 工事）

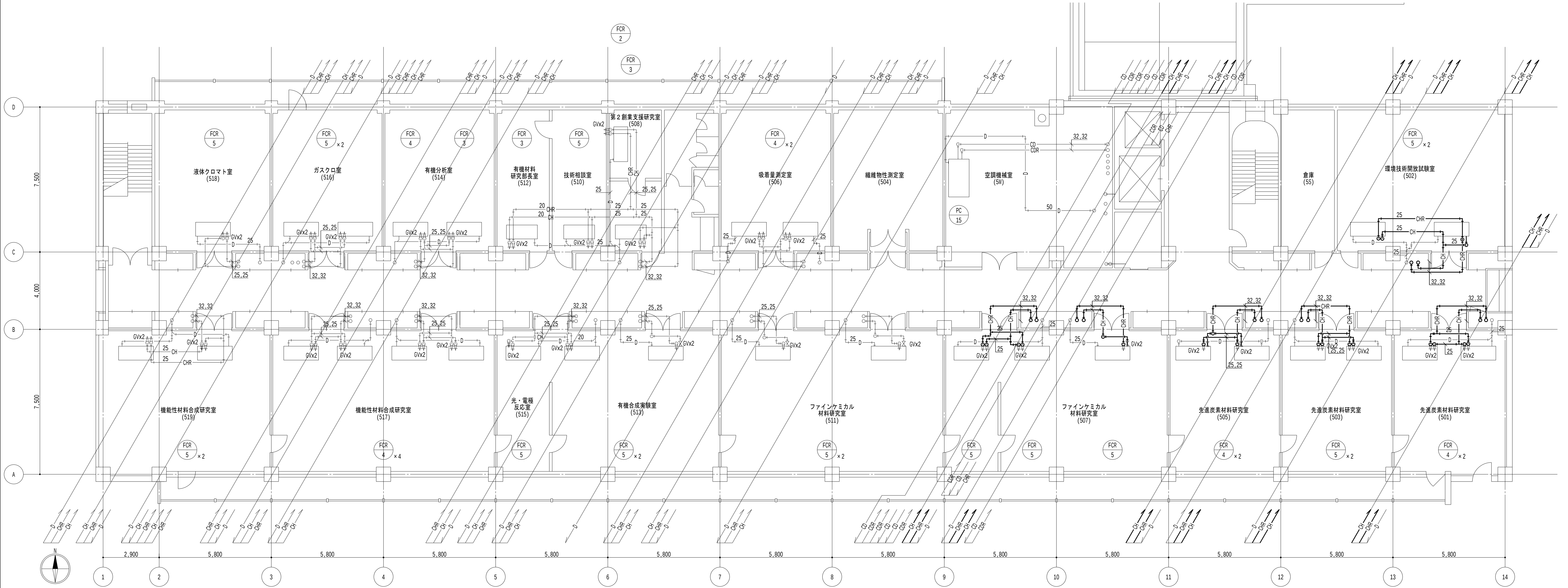
日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-079



5階平面図 1/100

凡例

- 1. 太線は、撤去を示す。
- 2. 細線は、残置を示す。
- 3. ★ は、切断箇所を示す。
- 4. [室名] は、天井有を示す。

特記事項

- 1. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
- 2. 機器直近のバルブは既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

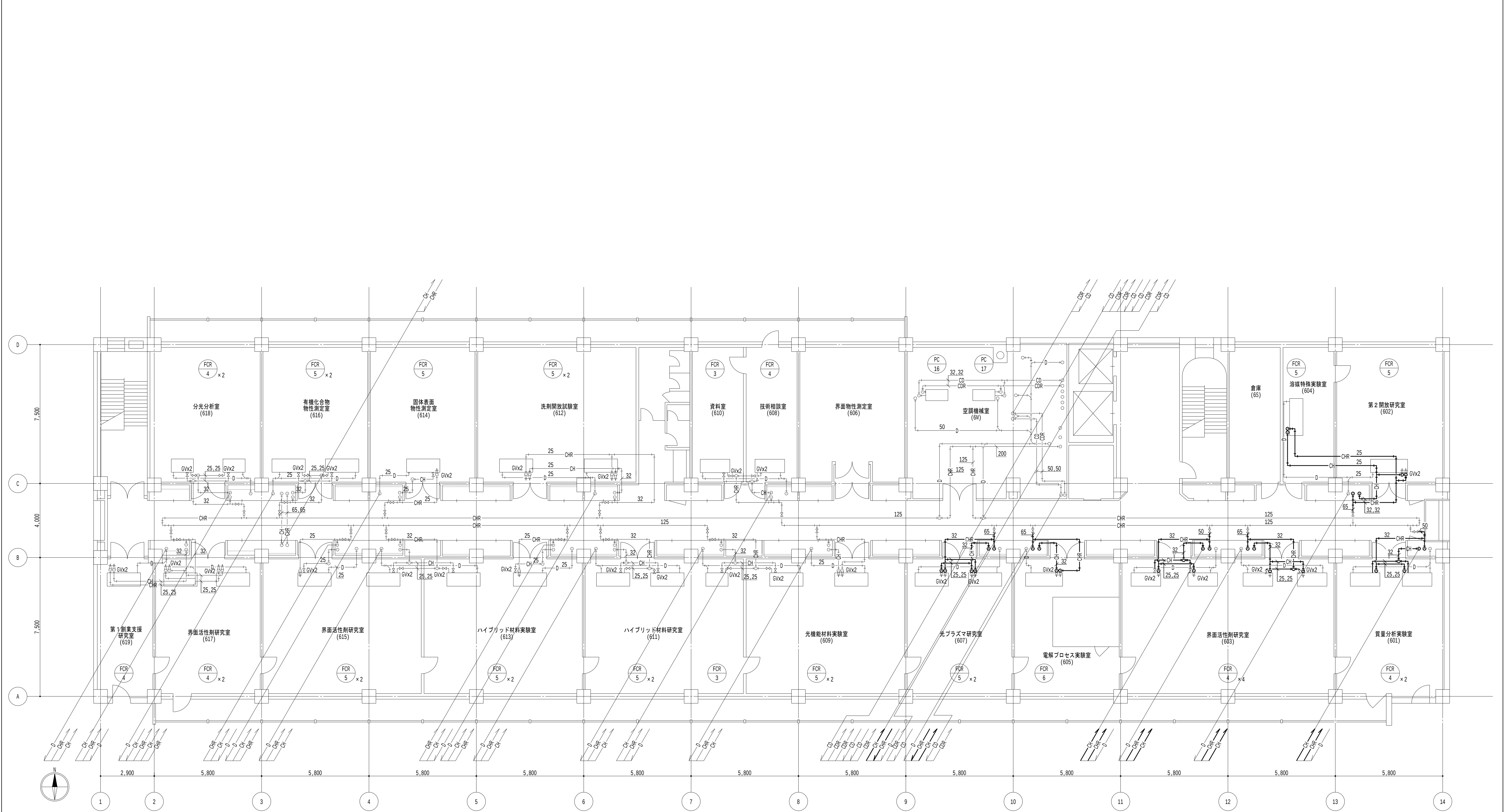
図面名称

空調設備 5階平面図（撤去）（その2工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-080



6階平面図 1/100

凡例

- 太線は、撤去を示す。
- 細線は、残置を示す。
- ★ は、切断箇所を示す。
- 〔室名〕は、天井有を示す。

特記事項

- 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。
- 機器直近のバルブは既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 6階平面図（撤去）（その2工事）

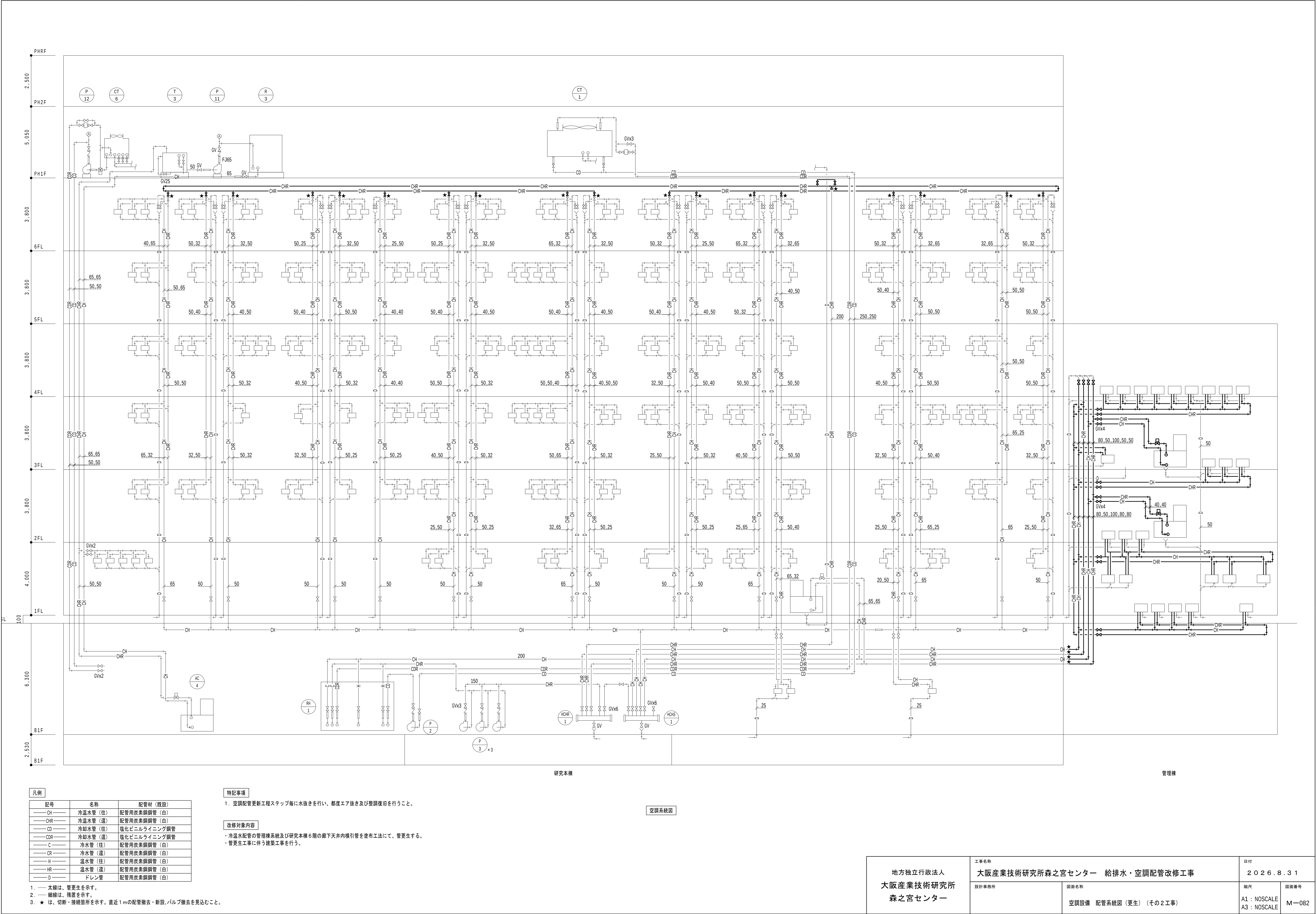
日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-081



凡例		
記号	名称	配管材 (既設)
—CH—	冷温水管 (往)	配管用炭素鋼管 (白)
—CHR—	冷温水管 (還)	配管用炭素鋼管 (白)
—CD—	冷却水管 (往)	塩化ビニルライニング鋼管
—CDR—	冷却水管 (還)	塩化ビニルライニング鋼管
—C—	冷水管 (往)	配管用炭素鋼管 (白)
—CR—	冷水管 (還)	配管用炭素鋼管 (白)
—H—	温水管 (往)	配管用炭素鋼管 (白)
—HR—	温水管 (還)	配管用炭素鋼管 (白)
—D—	ドレン管	配管用炭素鋼管 (白)

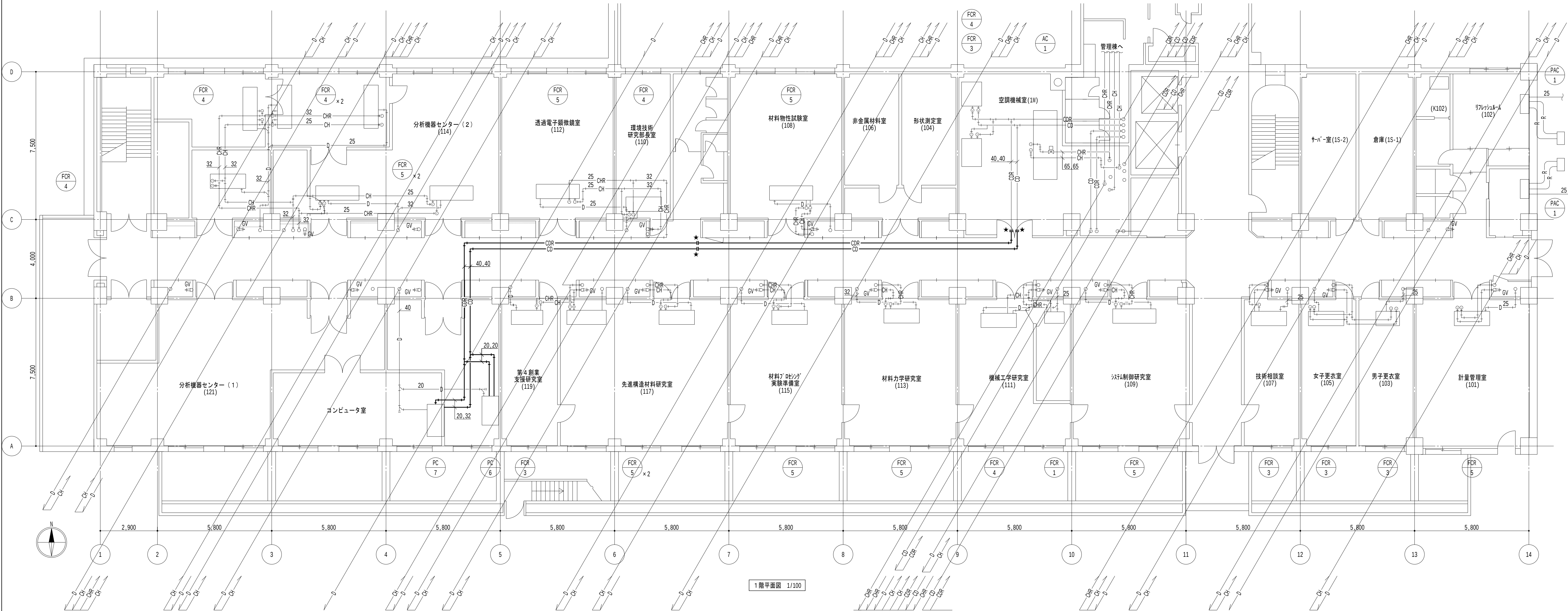
- 太線は、管更生を示す。
- 細線は、残置を示す。
- ★ は、切断・接続箇所を示す。直近1 mの配管撤去・新設、バルブ撤去を見込むこと。

- 特記事項
- 空調配管更新工程ステップ毎に水抜きを行い、都度エア抜き及び整調復旧を行うこと。

- 改修対象内容
- 冷温水配管の管理棟系統及び研究本棟6階の廊下天井内横引管を塗布工法にて、管更生する。
 - 管更生工事に伴う建築工事を行う。

空調系統図

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事	日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 空調設備 配管系統図 (更生) (その2 工事)	縮尺 A1 : NOSCALE A3 : NOSCALE
		図面番号 M-082	



凡例

1. 太線は、管更生を示す。
2. 細線は、残置を示す。
3. ★ は、切断・接続を示す。
直近1mの配管撤去・新設を見込むこと。

特記事項

1. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 1階平面図（更生）（その2工事）

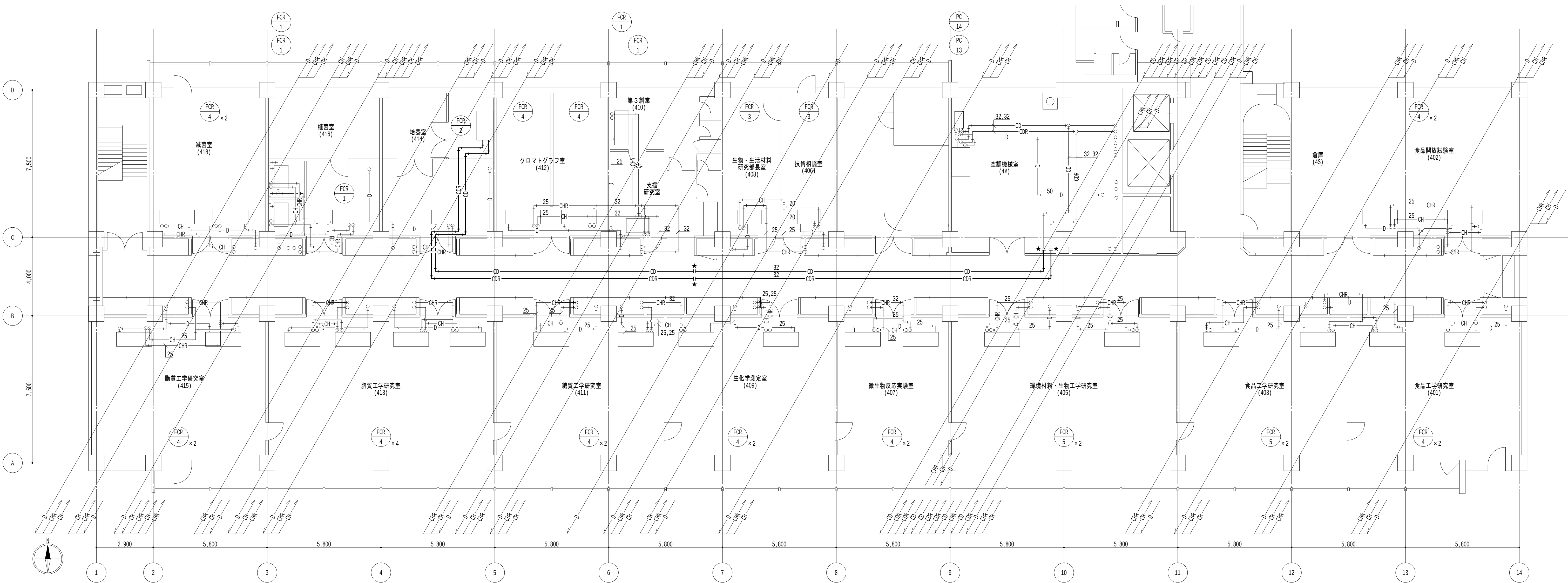
日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-083



4 階平面図 1/100

特記事項

1. 太線は、管更生を示す。
2. 細線は、残置を示す。
3. ★ は、切断・接続を示す。直近 1 m の配管撤去・新設を見込むこと。
4. 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

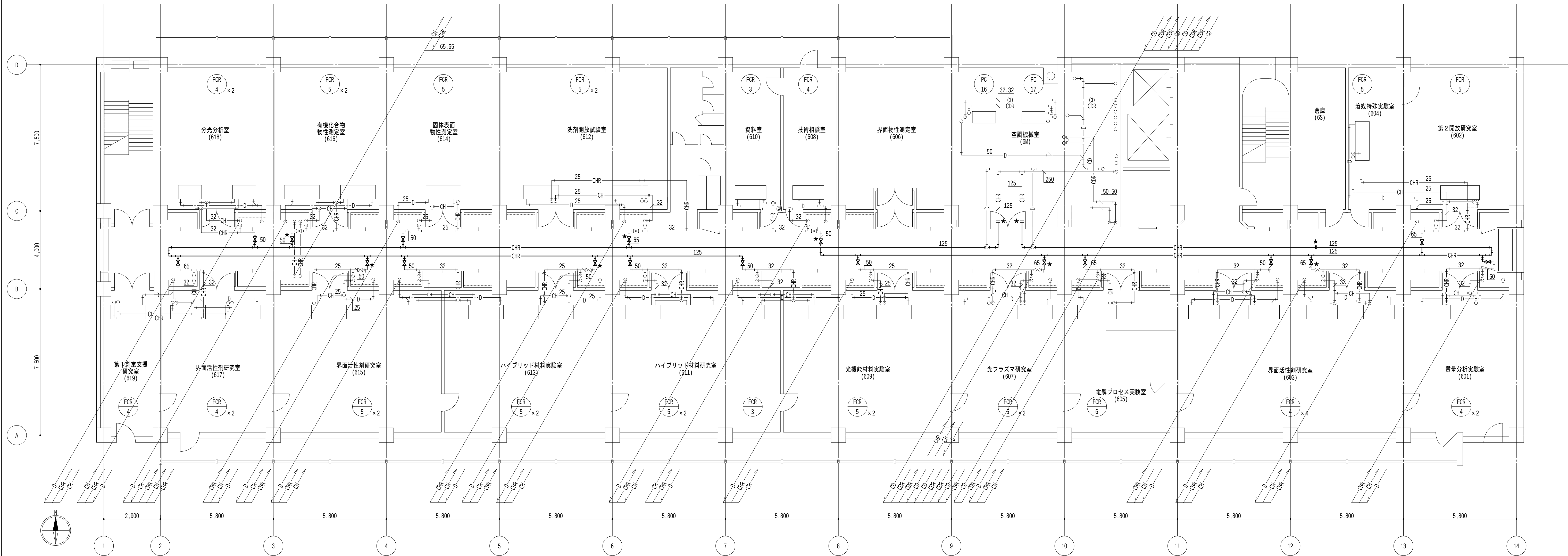
図面名称

空調設備 4 階平面図（更生）（その 2 工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

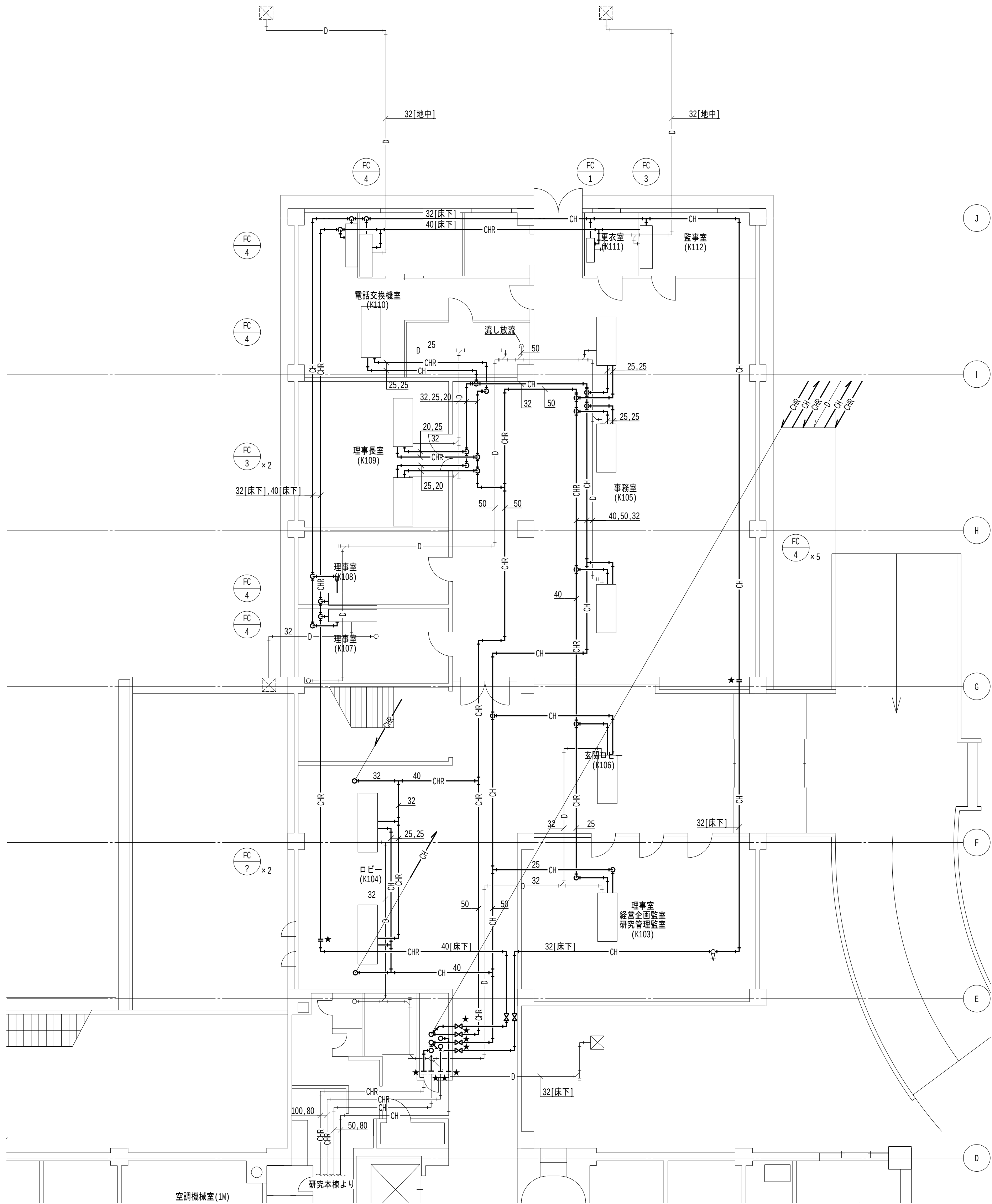
図面番号
M-084



1 6階平面図 1/100

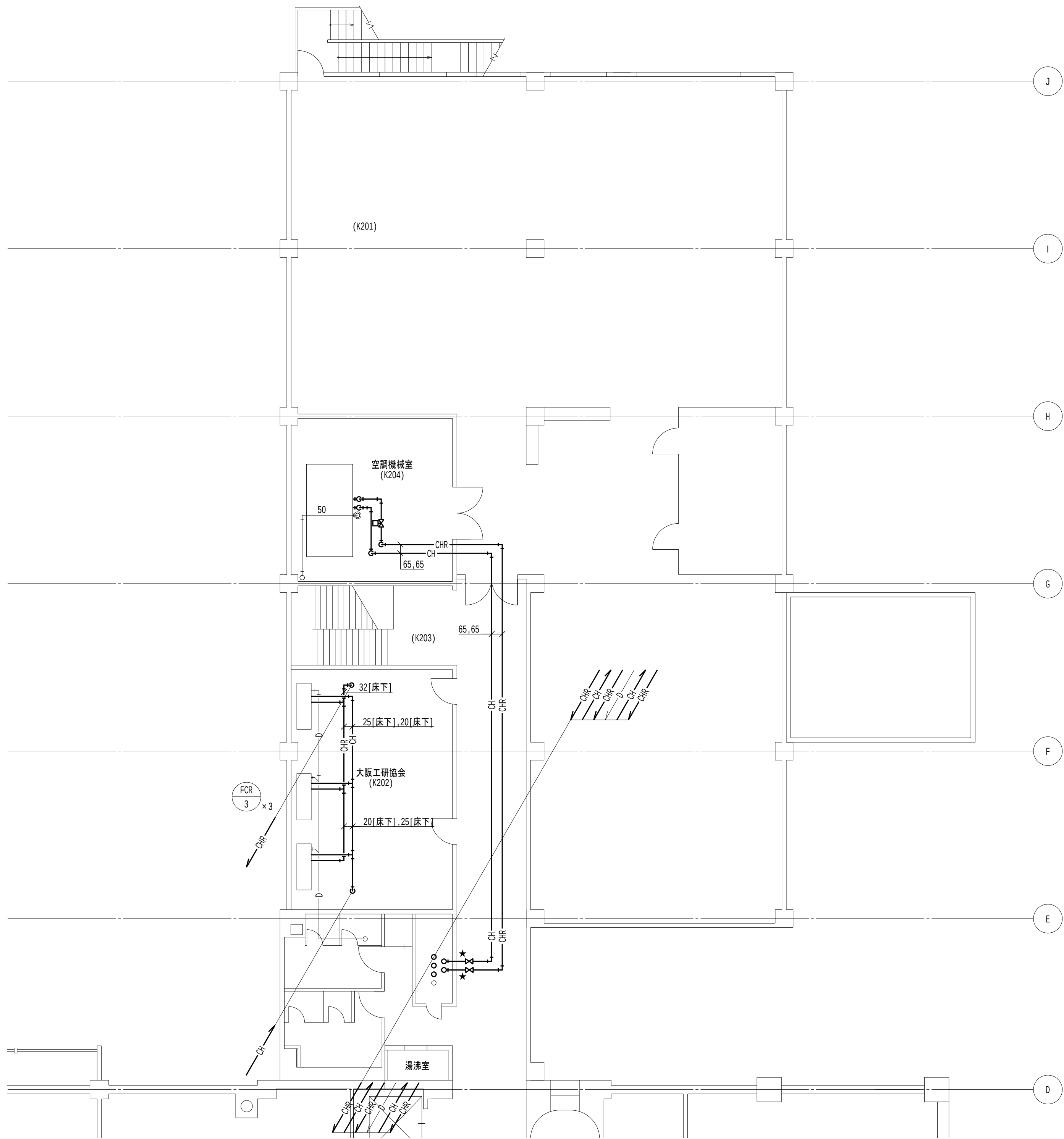
- 特記事項
- 太線は、管更生を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★ は、切断・接続を示す。直近1mの配管撤去・新設を見込むこと。
 - 居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 空調設備 6階平面図（更生）（その2工事）	縮尺 A1：1/100 A3：1/200	図面番号 M-085



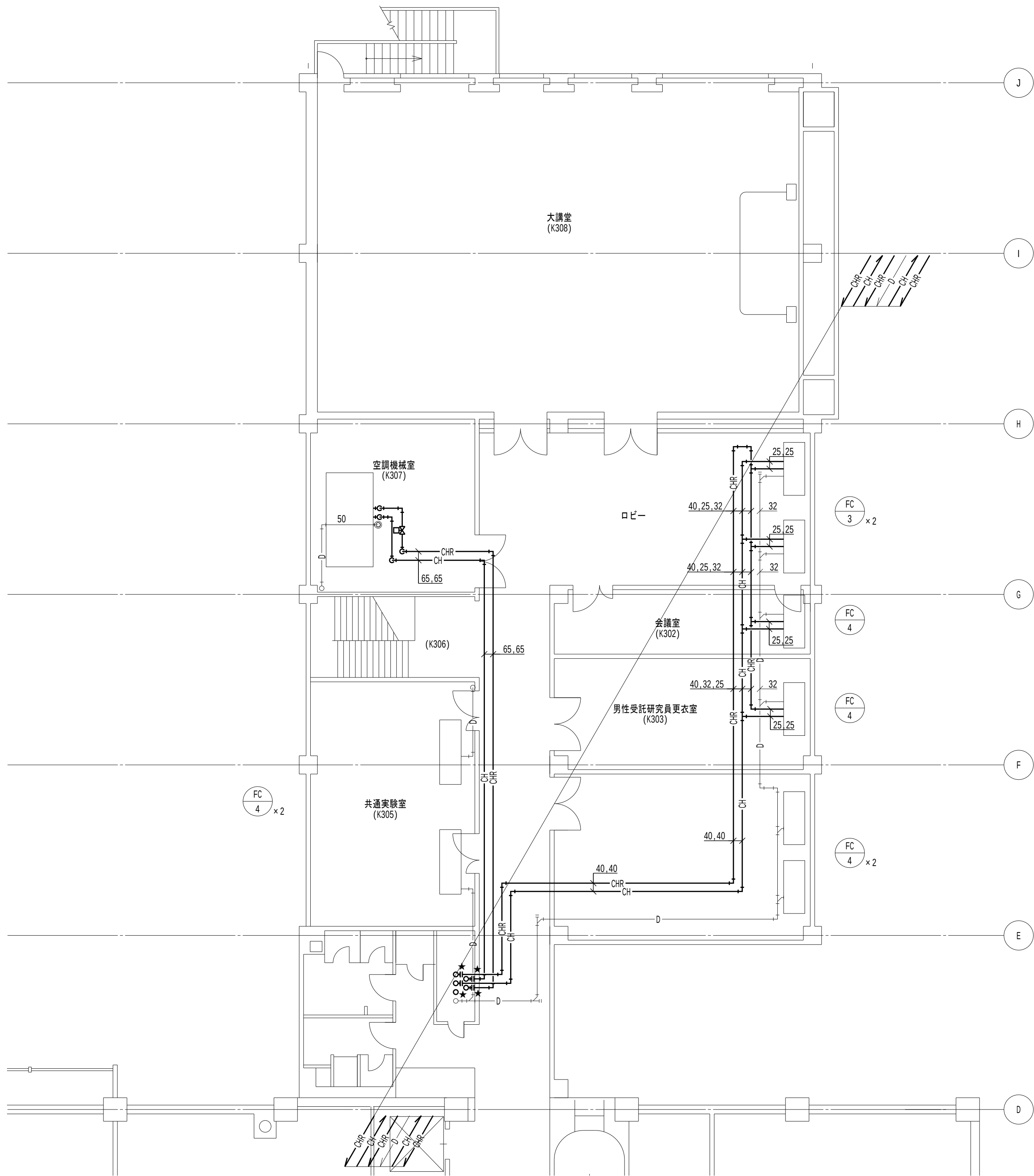
- 特記事項
- 太線は、管更生を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★ は、切断・接続を示す。直近1mの配管撤去・新設を見込むこと。
 - 特記なきは天井内配管とする。

管理棟 1 階平面図 1/100



管理棟 2 階平面図 1/100

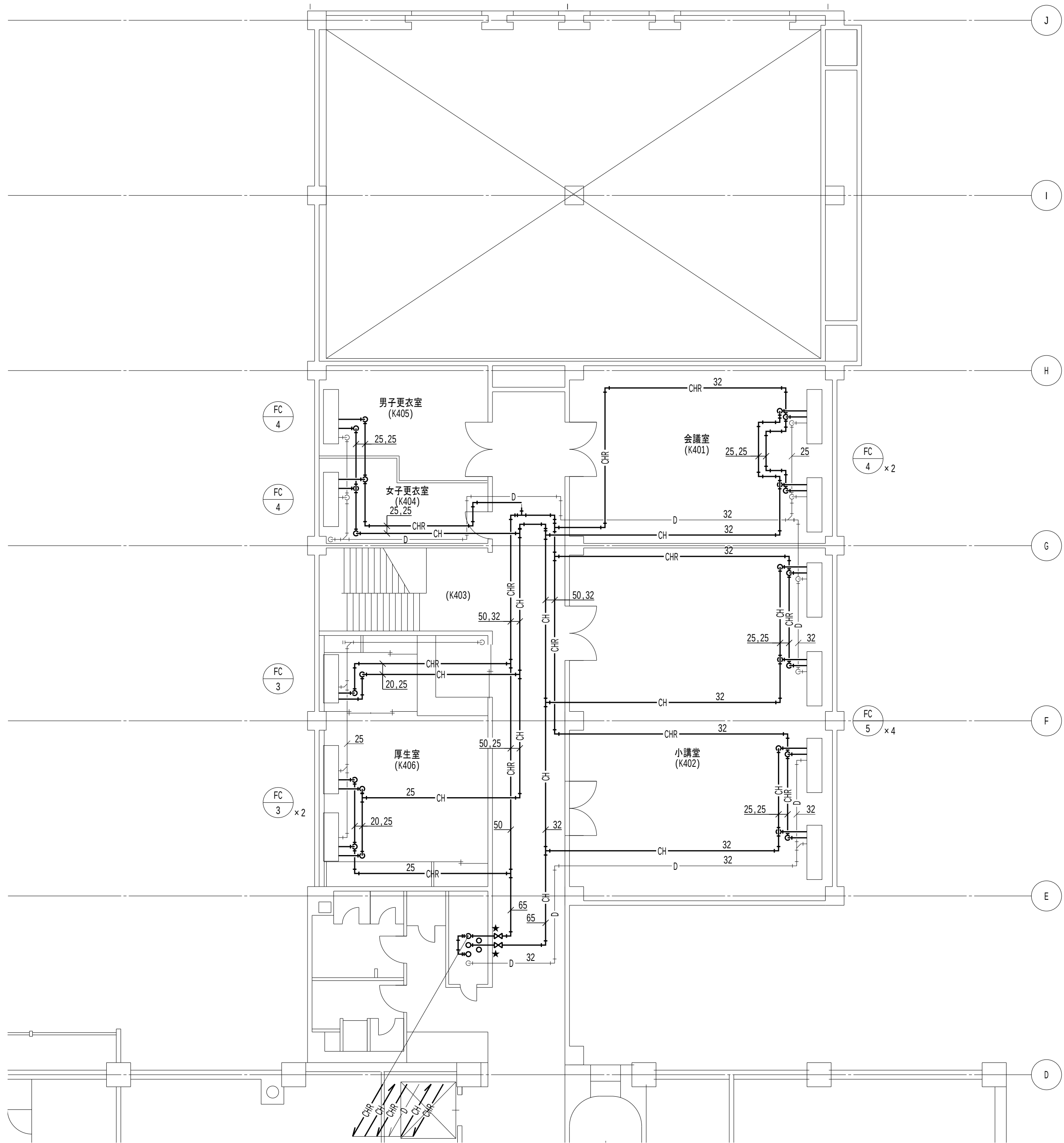
地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 空調設備 管理棟 1・2 階平面図（更生）（その2工事）	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M-086



管理棟3階平面図 1/100

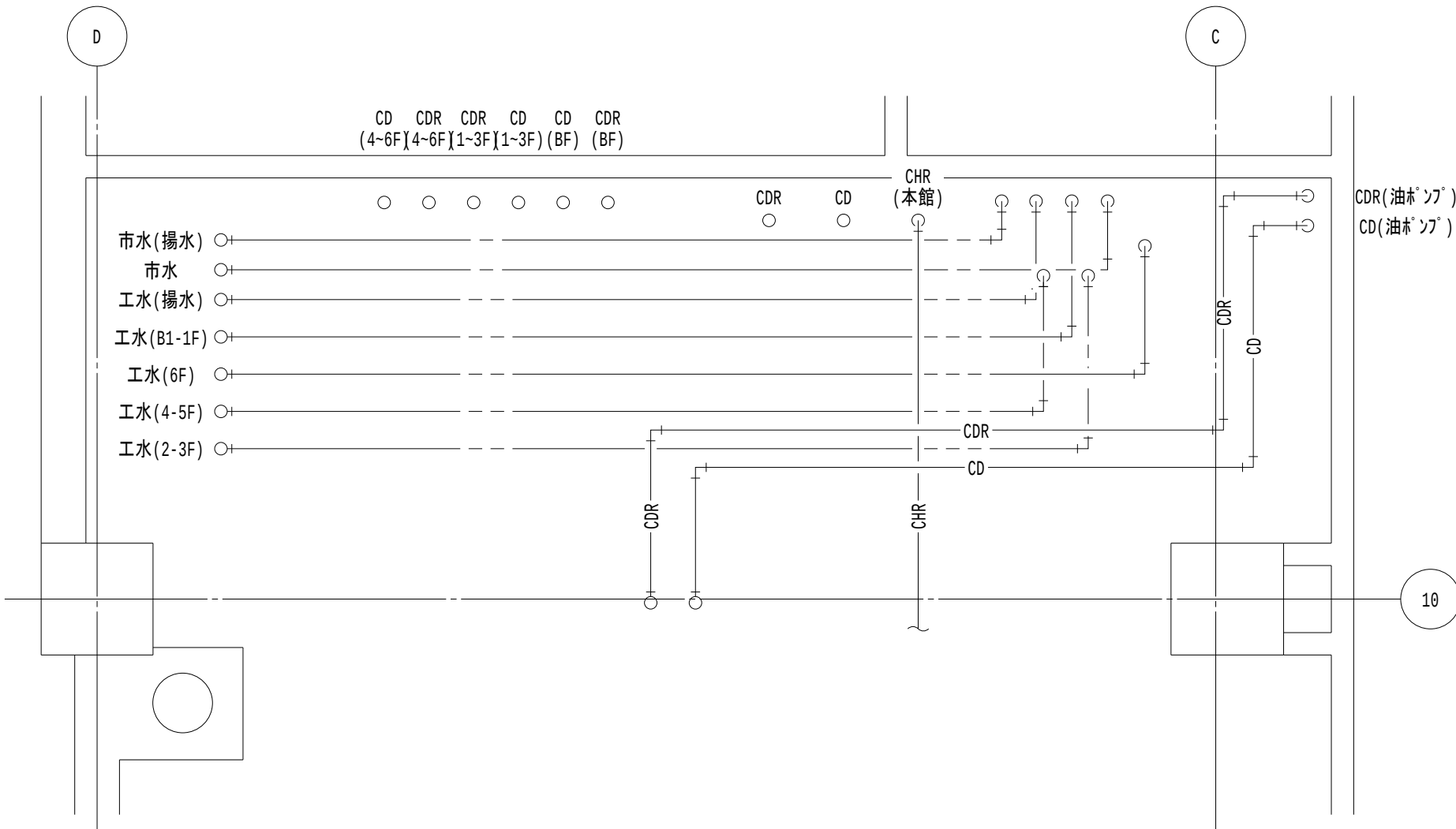
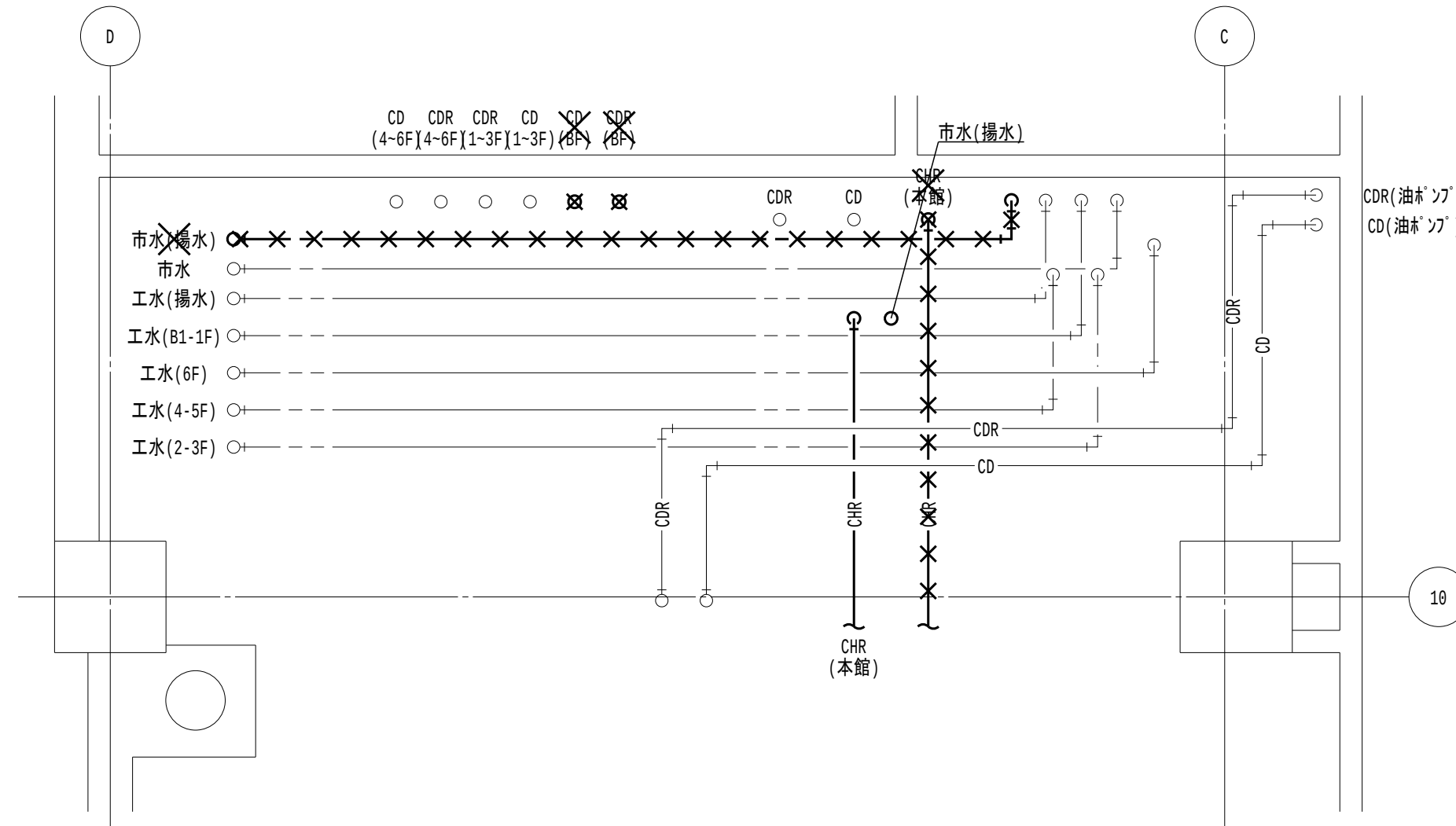
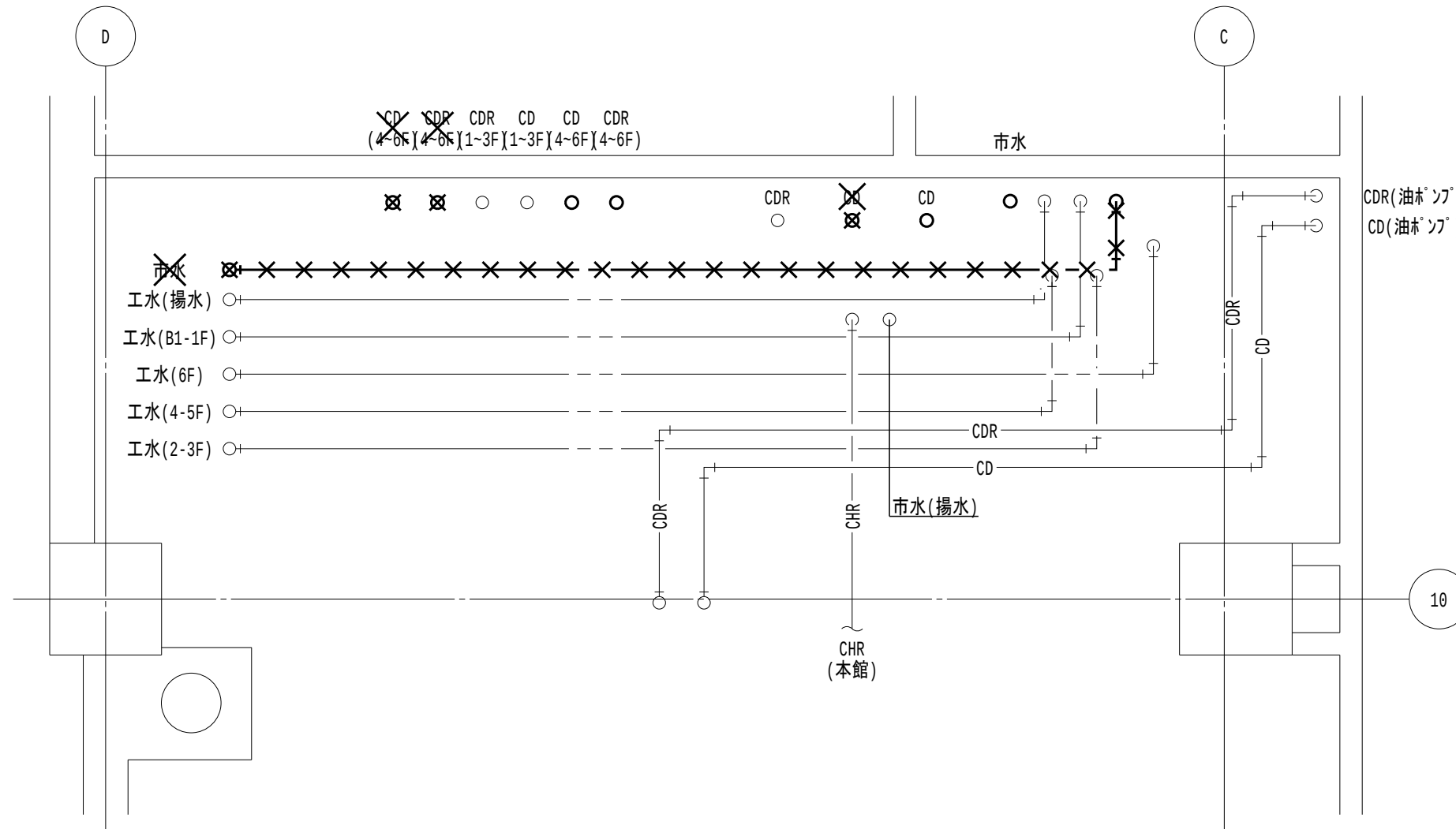
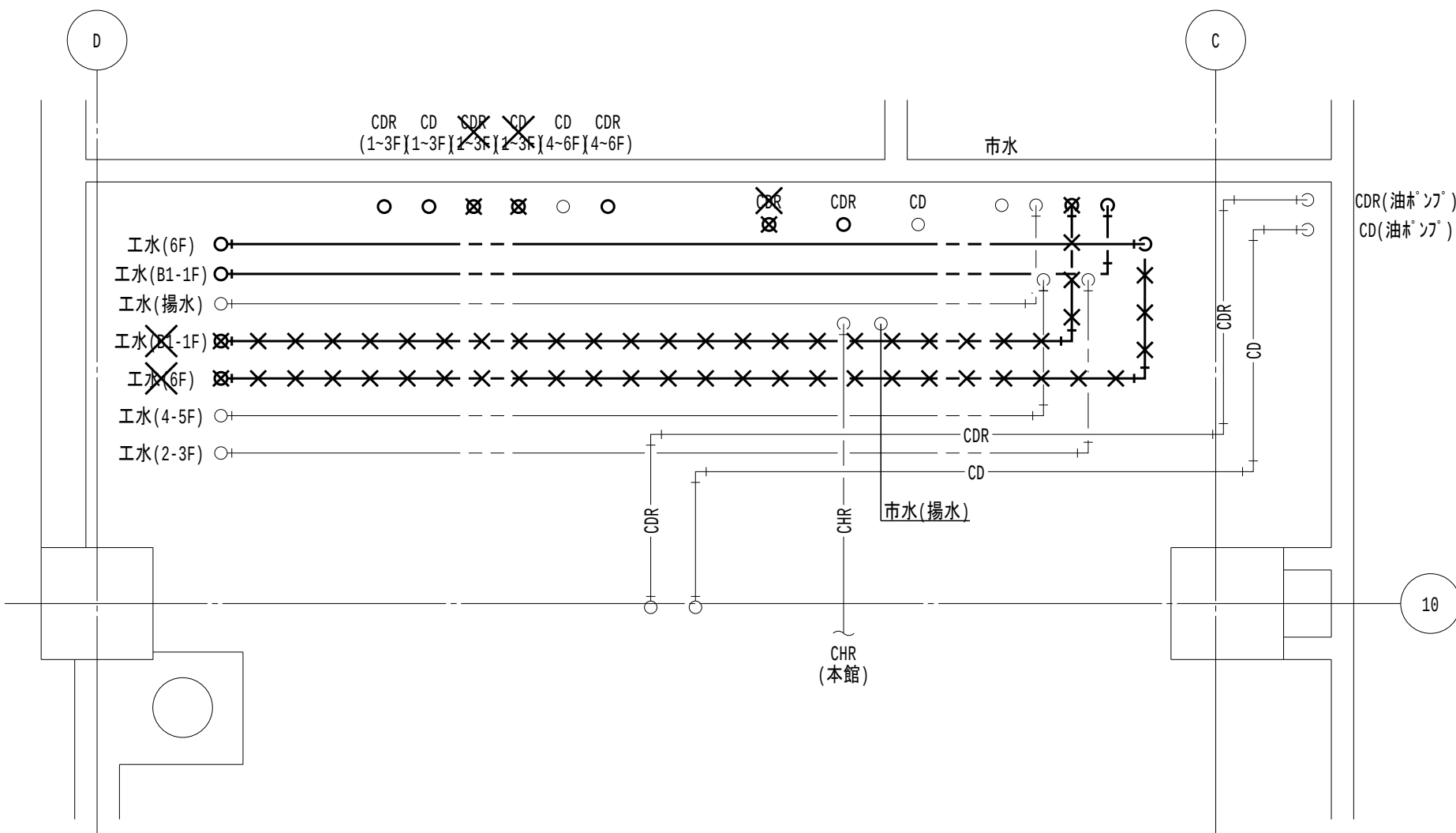
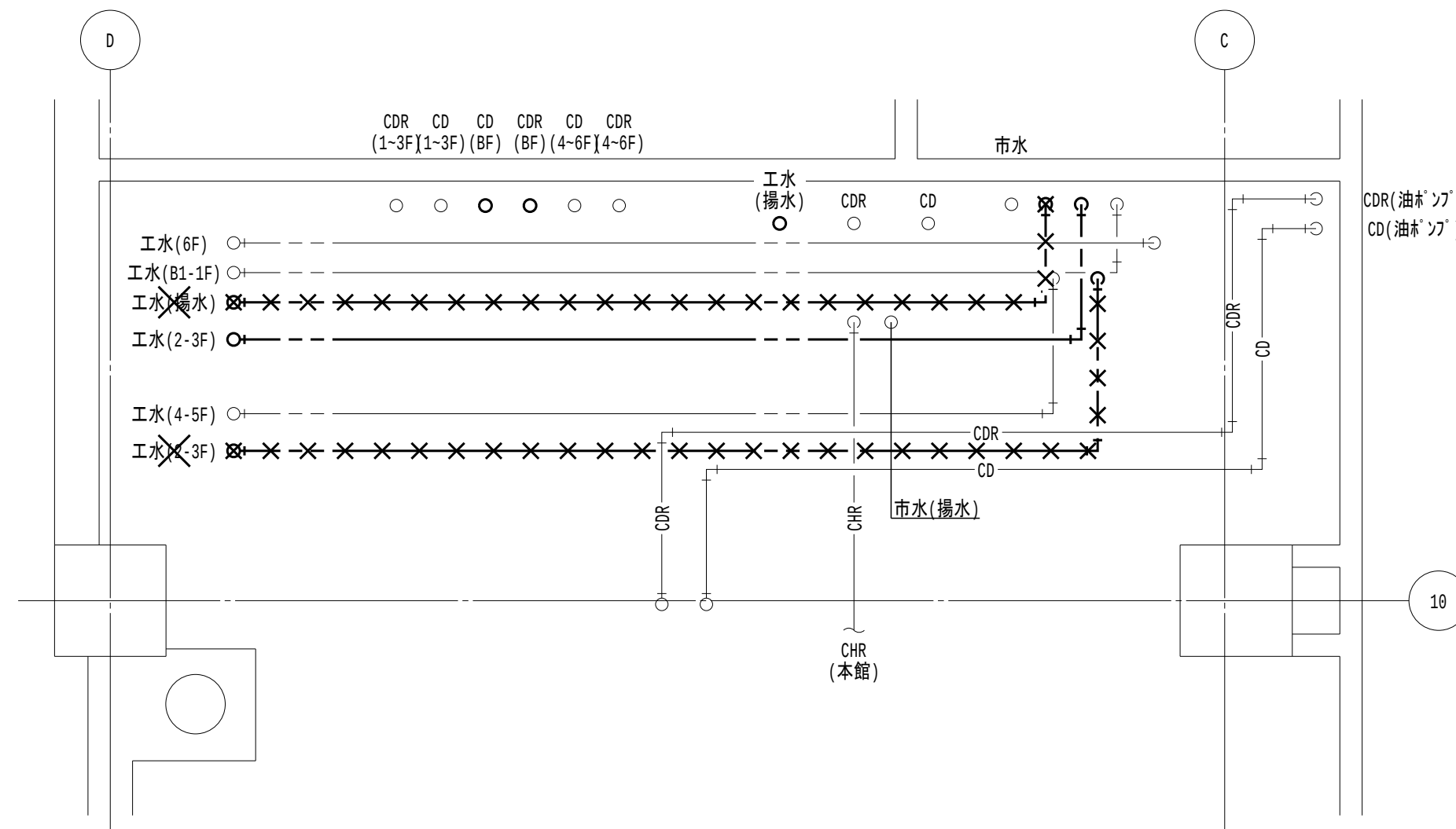
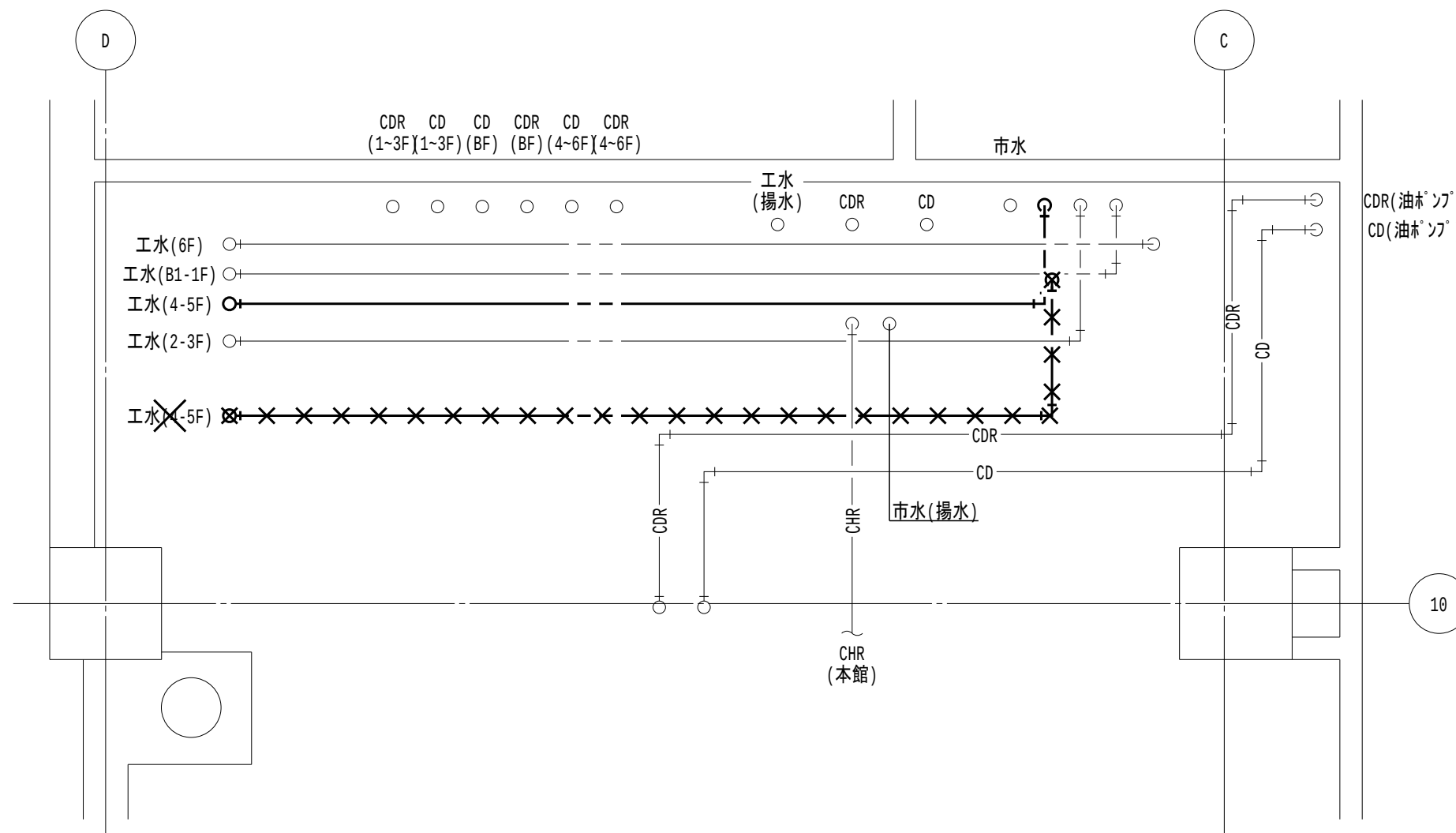
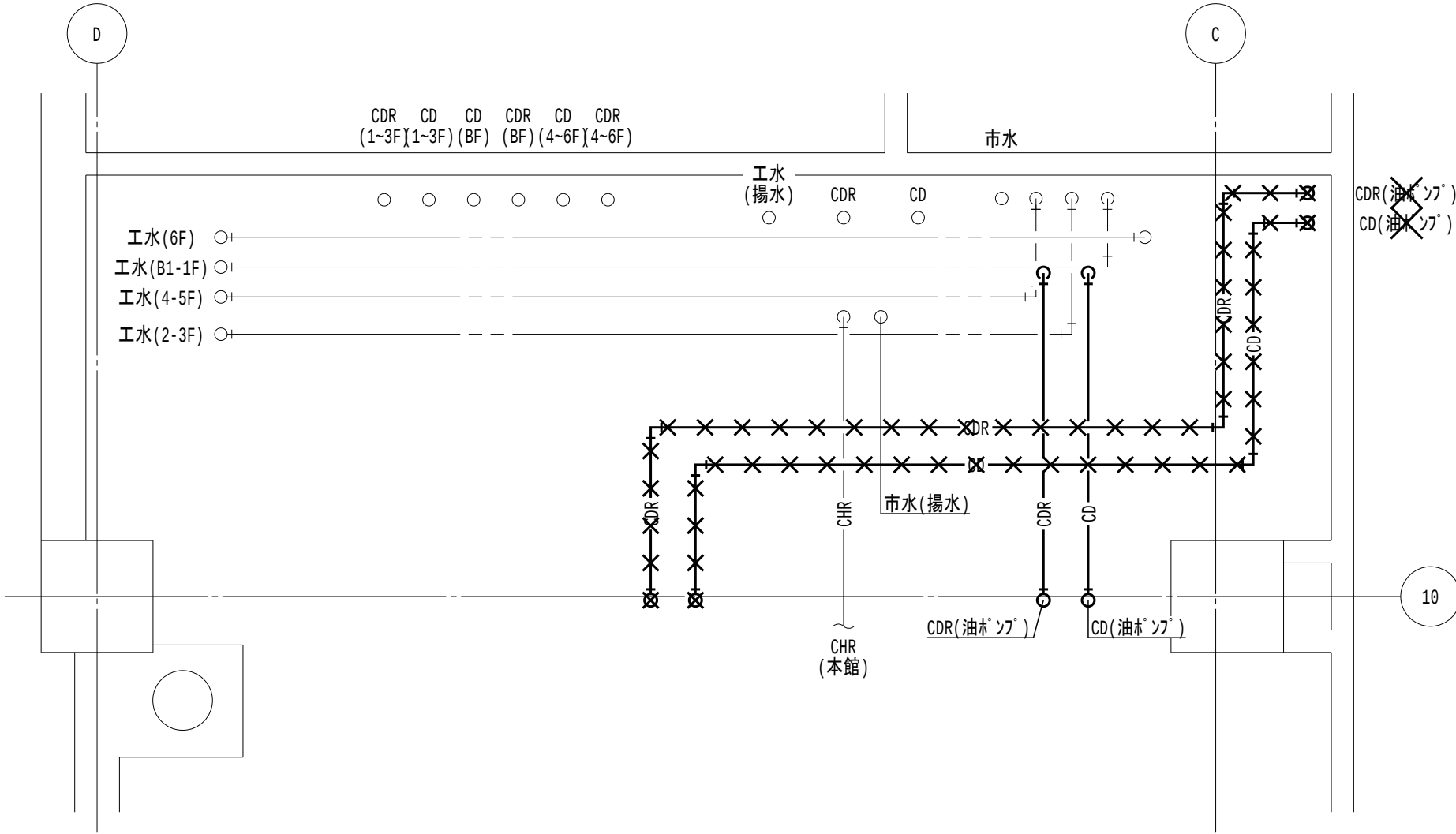
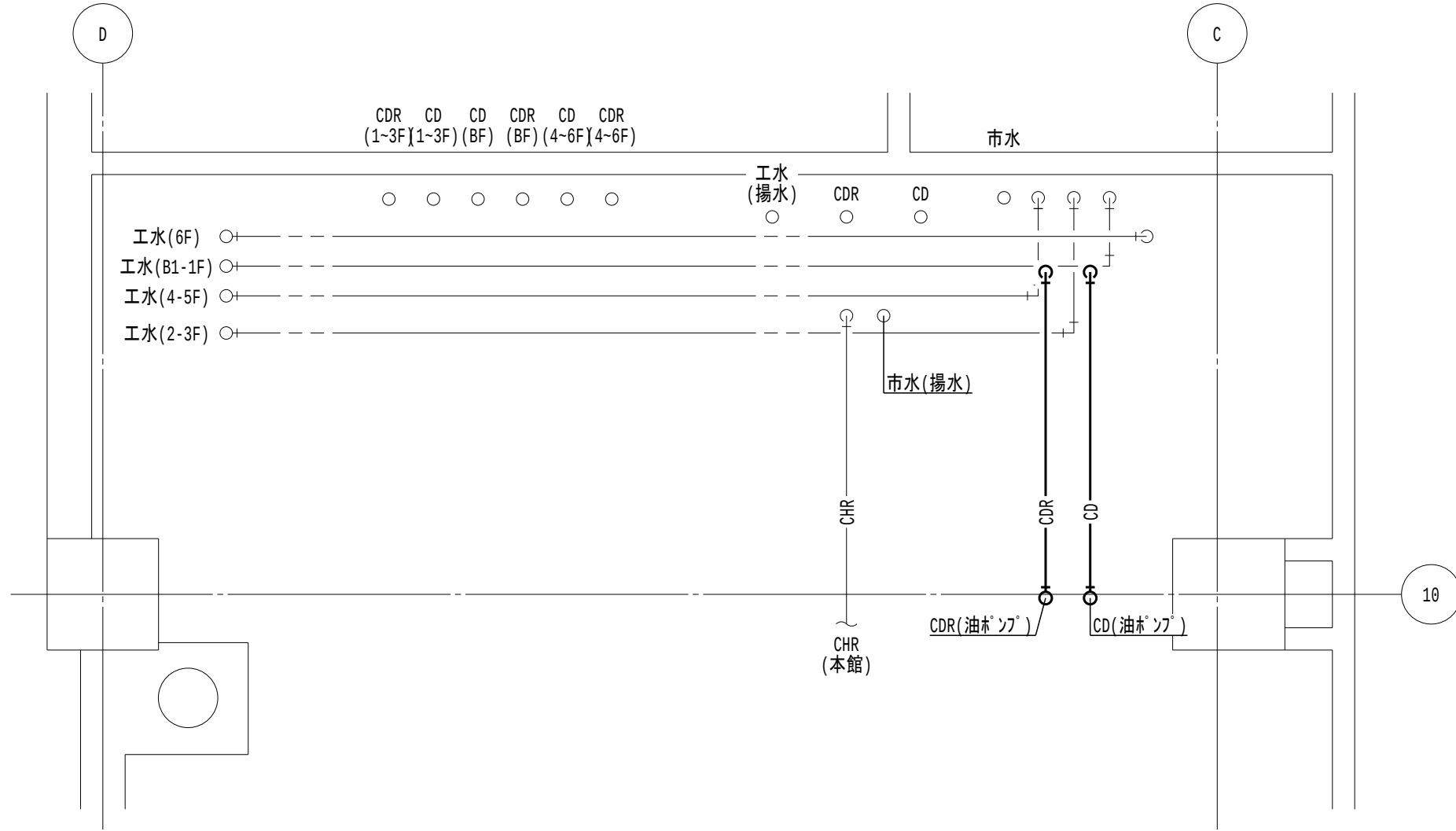
特記事項

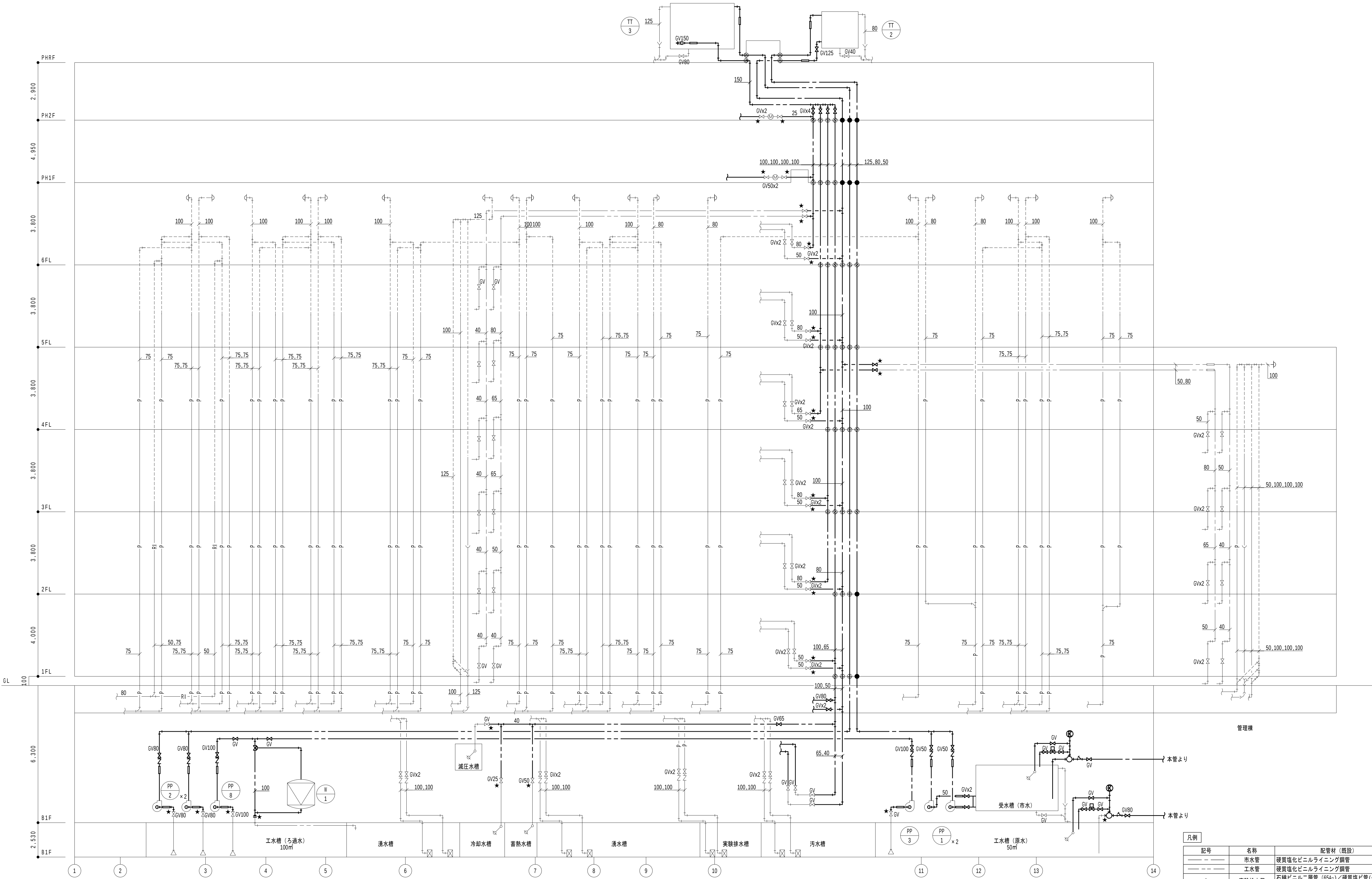
1. 太線は、管更生を示す。
2. 細線は、設置を示す。
3. ★ は、切断・接続を示す。直近1mの配管撤去・新設を見込むこと。
4. 特記なきは天井内配管とする。



管理棟4階平面図 1/100

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 空調設備 管理棟 3・4階平面図（更生）（その2工事）	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M-087

ステップ1．現況		ステップ2．冷水水還管（本館系統）・市水排水管・冷水水往管（B1階系統）・冷水水還管（B1階系統）		ステップ3．冷水水往管・市水管・冷水水往管（4～6階系統）・冷水水還管（4～6階系統）							
											
ステップ4．冷水水還管・工水管（6階系統・B1～1階系統）・冷水水往管（1～3階系統）・冷水水還管（1～3階系統）		ステップ5．工水排水管・工水管（2～3階系統）・冷水水往管（B1階系統）・冷水水還管（B1階系統）		ステップ6．工水管（4～5階系統）							
											
ステップ7．冷水水往管（油ポンプ系統）・冷水水還管（油ポンプ系統）		ステップ8．改修後		特記事項 1. — は、新設を示す。 2. - は、既設を示す。 3. ✕ は、撤去を示す。							
											
ステップ7改修内容 ・冷水水往還管（油ポンプ系統）を新設する。 ・上記の既設管を撤去し、新設管に接続替える。				<table><tr><td rowspan="2">地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター</td><td>工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事</td><td>日付 2026.8.31</td></tr><tr><td>設計事務所</td><td>図面名称 空調機械室内更新手順（その3工事）</td><td>縮尺 A1：NOSCALE A3：NOSCALE 図面番号 M－088</td></tr></table>		地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事	日付 2026.8.31	設計事務所	図面名称 空調機械室内更新手順（その3工事）	縮尺 A1：NOSCALE A3：NOSCALE 図面番号 M－088
地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事	日付 2026.8.31									
	設計事務所	図面名称 空調機械室内更新手順（その3工事）	縮尺 A1：NOSCALE A3：NOSCALE 図面番号 M－088								



衛生系統図

特記事項

- 空調配管更新工程ステップ毎に水抜きを行い、都度エア抜き及び整頓復旧を行うこと。
- 新たに設ける床開口は、レントゲン撮影を行い、コア抜きを行うこと。また、モルタル等の不燃材にて閉塞し補修を行うこと。(仕上げ補修も含む)
- 既設を利用する壁開口し、新設配管施工後はモルタル等不燃材にて閉塞補修を行うこと。
- 各居室内の改修期間は極力短期となるように工事工程を組むこと。
- 配管の保温撤去において、エルボ・チーズ部分にアスベストが含まれているため、特記仕様書(2)に準拠し、撤去すること。
- 配管更新に伴う自動制御用配線は取外・再接続を行い、試運転調整を行うこと。
- 給水管(市水・工水)のクロスコネクション防止策として、識別テープによる色分け表示と配管種別の表示を行うこと。

改修内容

- 給排水管のB1層露出配管を先行して新設し、接続替え後に既設管を撤去する。
- 機械室内の給水(市水・工水)竖管及び分岐管を空調機械室内更新手順図の更新ステップを参照して、撤去・新設する。

凡例			
記号	名称	配管材(既設)	
——	市水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管	
---	工水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管	
—p—	実験排水管	石綿ビニル二層管(65A-)/硬質塩ビ管(-50A)排水用鉄線管(差込型)/異型管(1階横主管)	
——	雑排水管	配管用炭素鋼鋼管(白)	
——	汚水管	排水用メカニカル鉄線管/異型管	
-----	通気管	石綿ビニル二層管(80A-)/硬質塩ビ管(-65A)	

- 太線は、撤去・新設を示す。
- 細線は、既設残置を示す。
- ★ は、切断・接続箇所を示す。
- は、新設開口部を示す。○ は、既設開口部補修部を示す。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

給排水設備 配管系統図(改修・撤去) (その3工事)

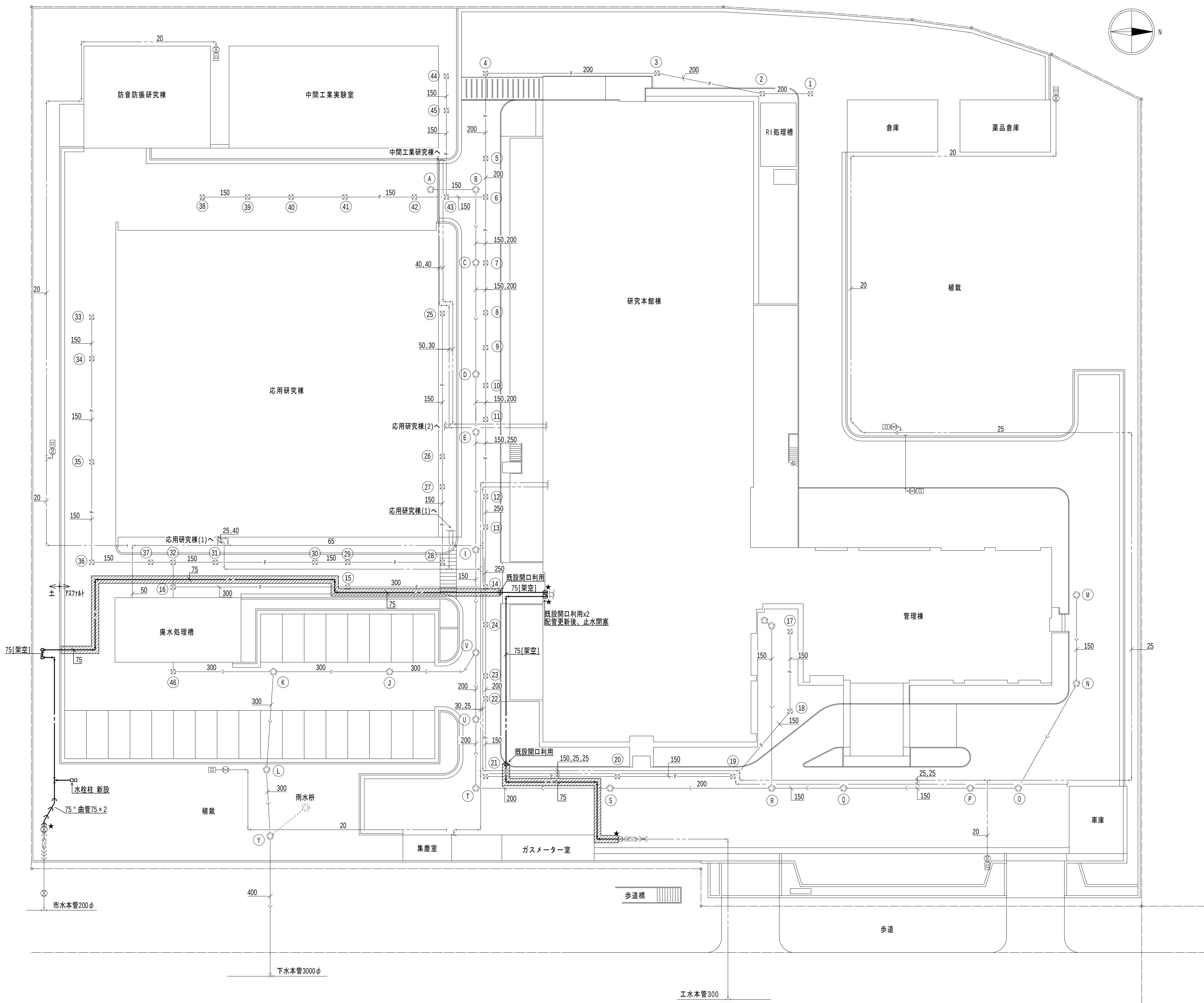
日付
2026.8.31

縮尺

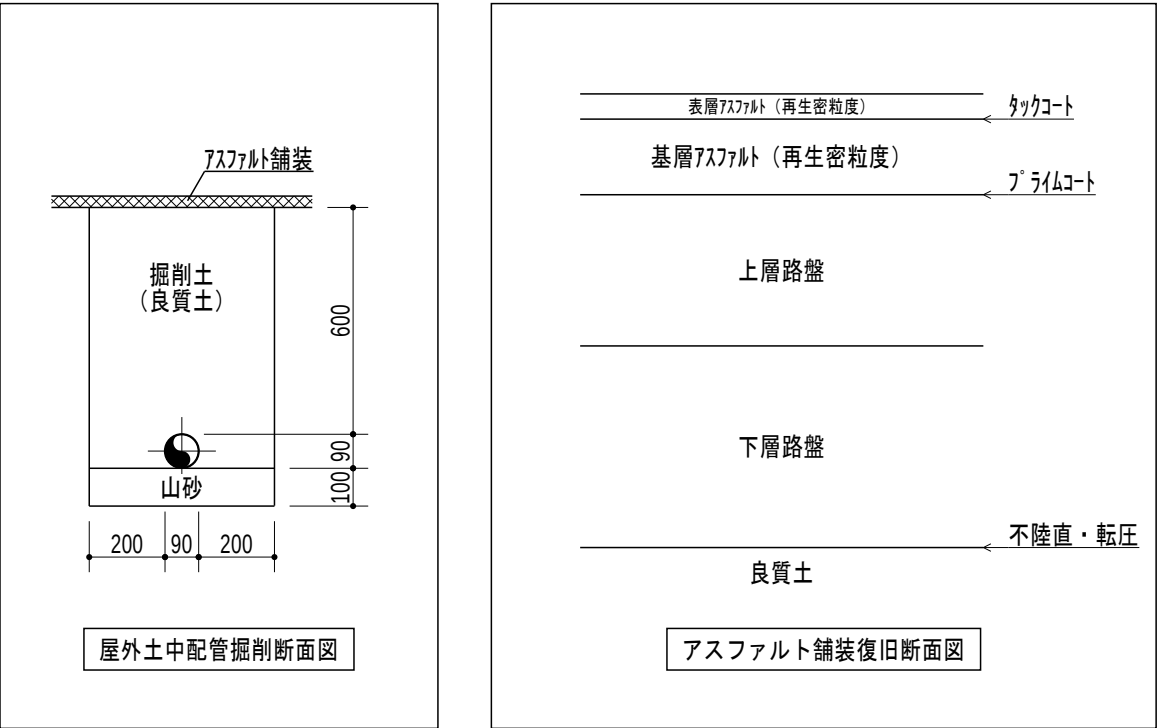
A1: NOSCALE
A3: NOSCALE

図面番号

M-089



配置図 1:300



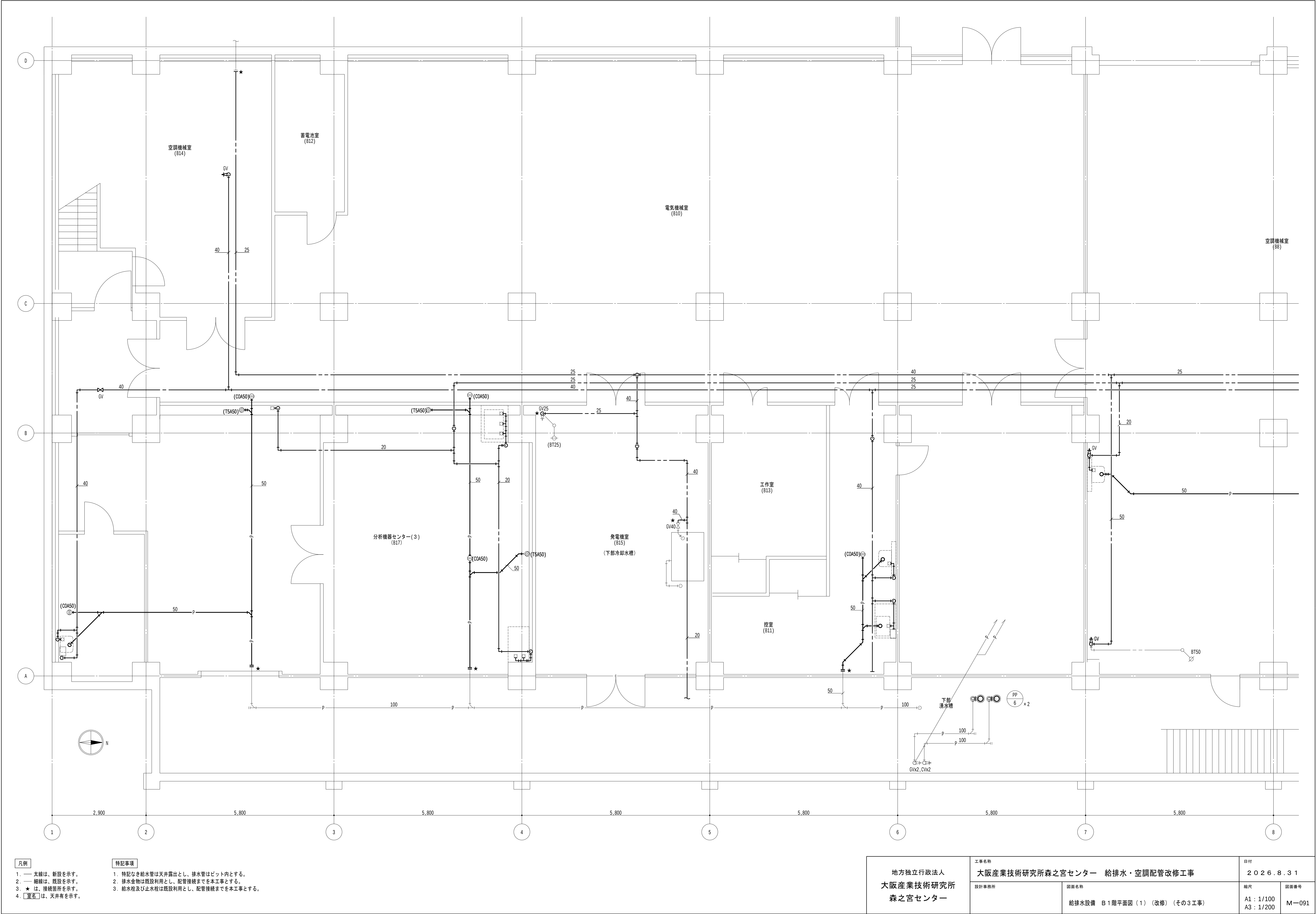
凡例

- 1. 太線は、新設を示す。
- 2. 細線は、既設を示す。
- 3. ★ は、接続箇所を示す。
- 4. 破線は、75mmコンクリート切断、撤去及び復旧範囲を示す。

特記事項

- 1. 特記なきは、地中埋設管とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター		工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事	日付 2026.8.31	
設計事務所	図面名称 給排水設備 屋外配管図（改修）（その3工事）	縮尺 A1 : 1/300 A3 : 1/600	図面番号 M-090	

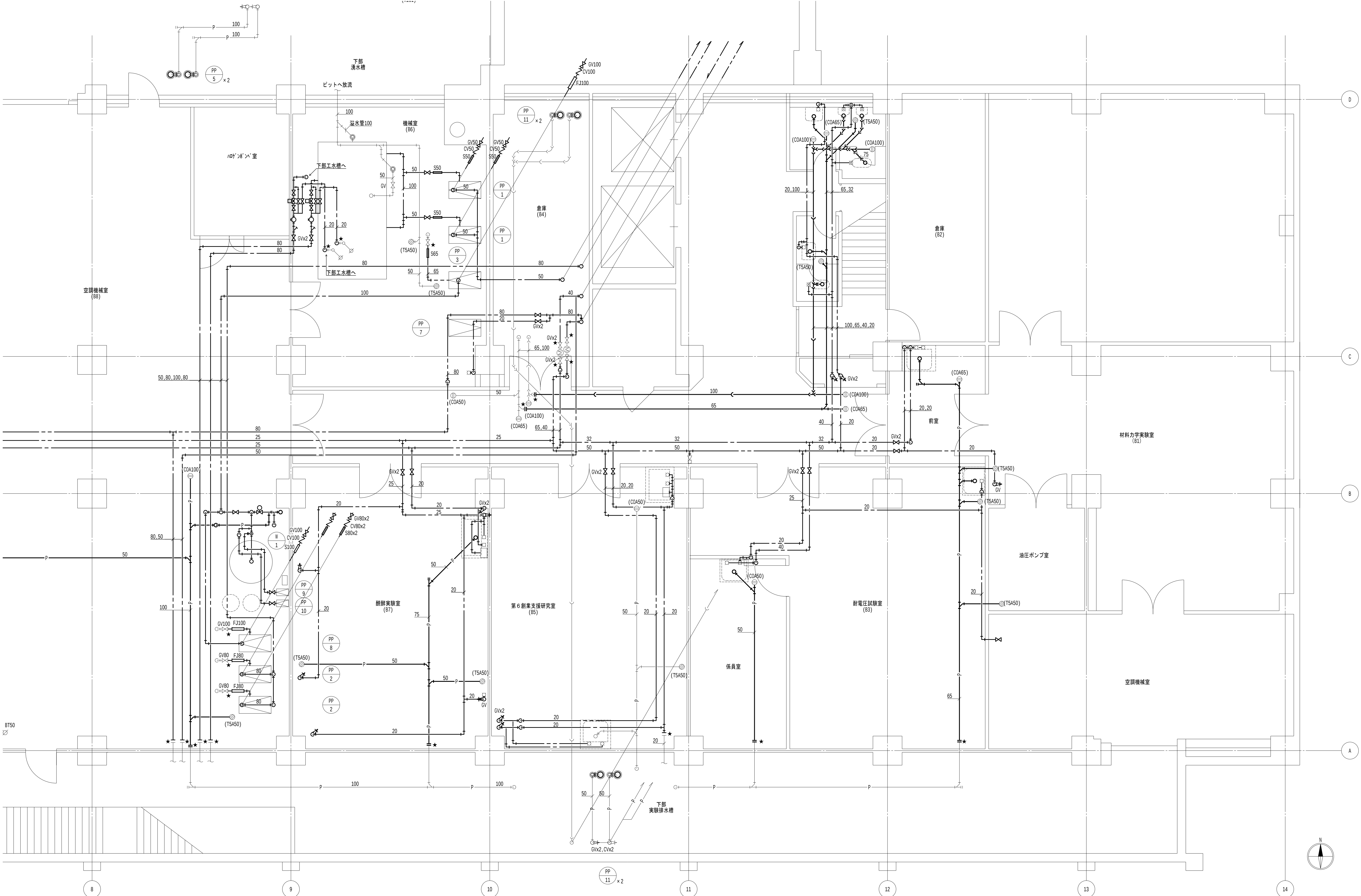


- 凡例

 - 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★は、接続箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管はビット内とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 給排水設備 B1階平面図(1) (改修) (その3工事)	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号 M—091

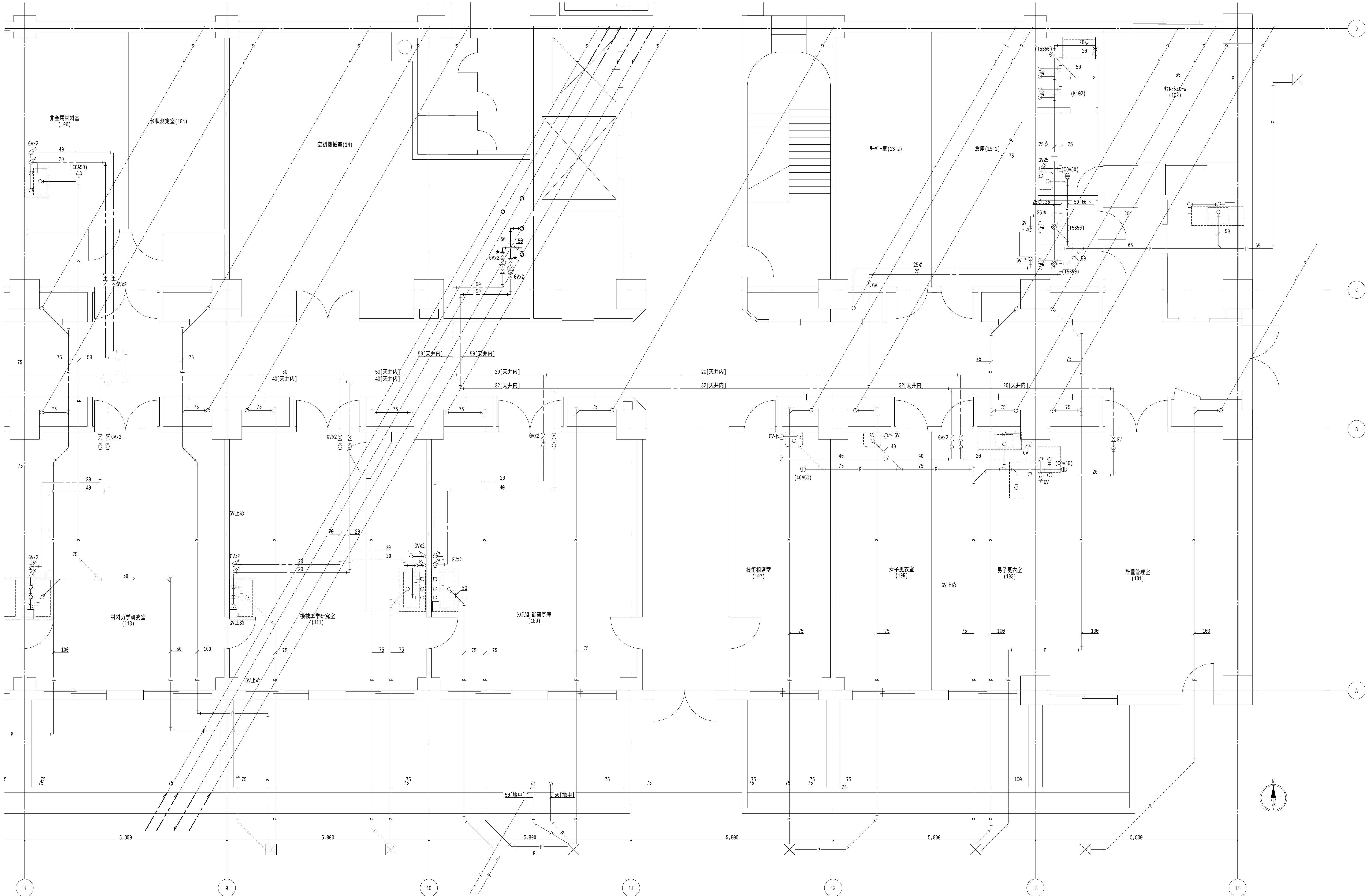


- 凡例

 - 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★ は、接続箇所を示す。
 - 〔室名〕 は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管はビット内とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター		工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事	日付 2026.8.31	
設計事務所	図面名称 給排水設備 B1階平面図(2)(改修)(その3工事)	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号 M-092	



凡例

- 1. 太線は、新設を示す。
- 2. 細線は、既設を示す。
- 3. ★ は、接続箇所を示す。
- 4. 室名 は、天井有を示す。

特記事項

- 1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
- 2. 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
- 3. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

1階平面図 1/50

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称

大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

給排水設備 1階平面図（改修）（その3工事）

日付

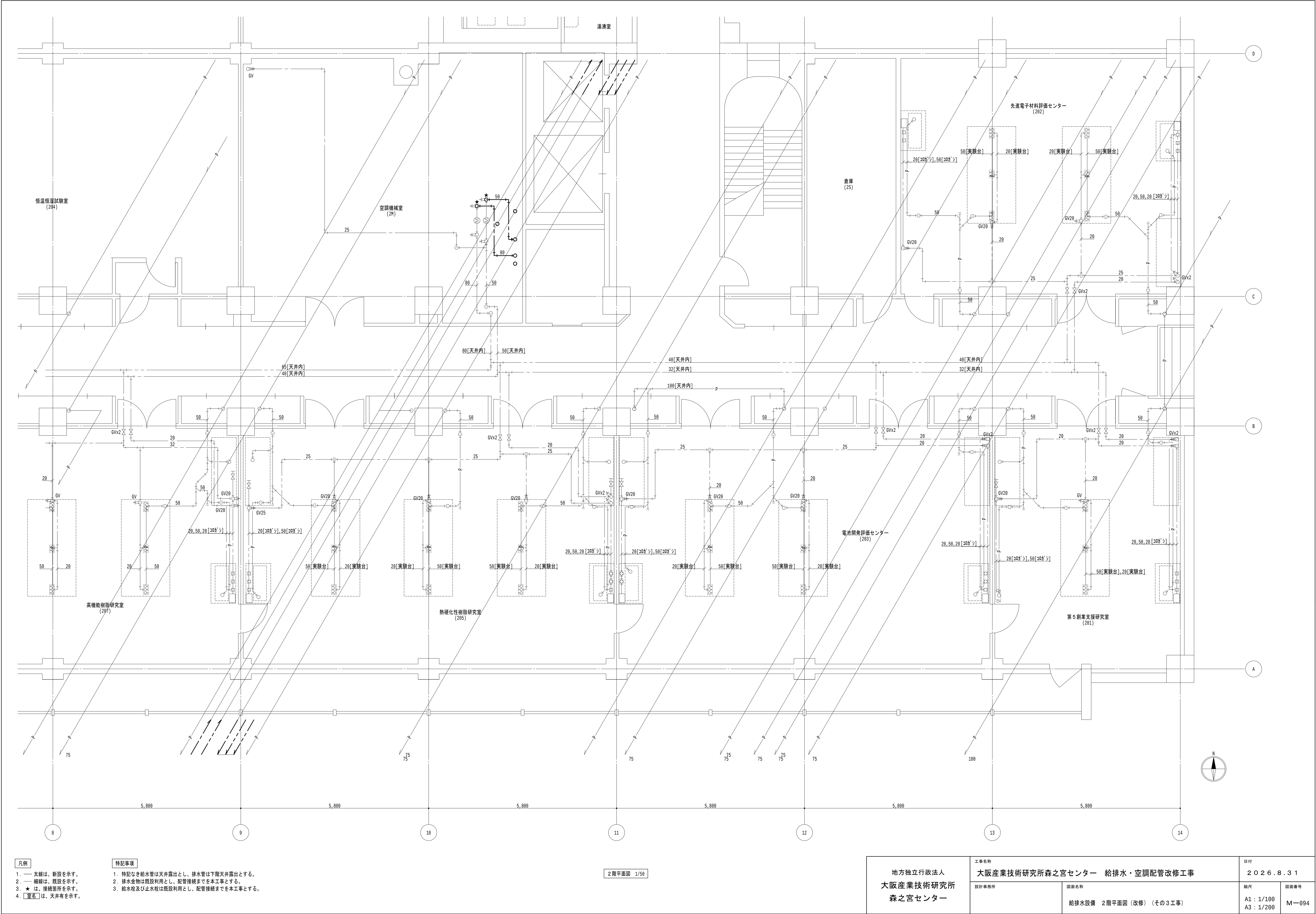
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-093



凡例

- 1. 太線は、新設を示す。
- 2. 細線は、既設を示す。
- 3. ★ は、接続箇所を示す。
- 4. 〔室名〕 は、天井有を示す。

特記事項

- 1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
- 2. 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
- 3. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

2階平面図 1/50

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

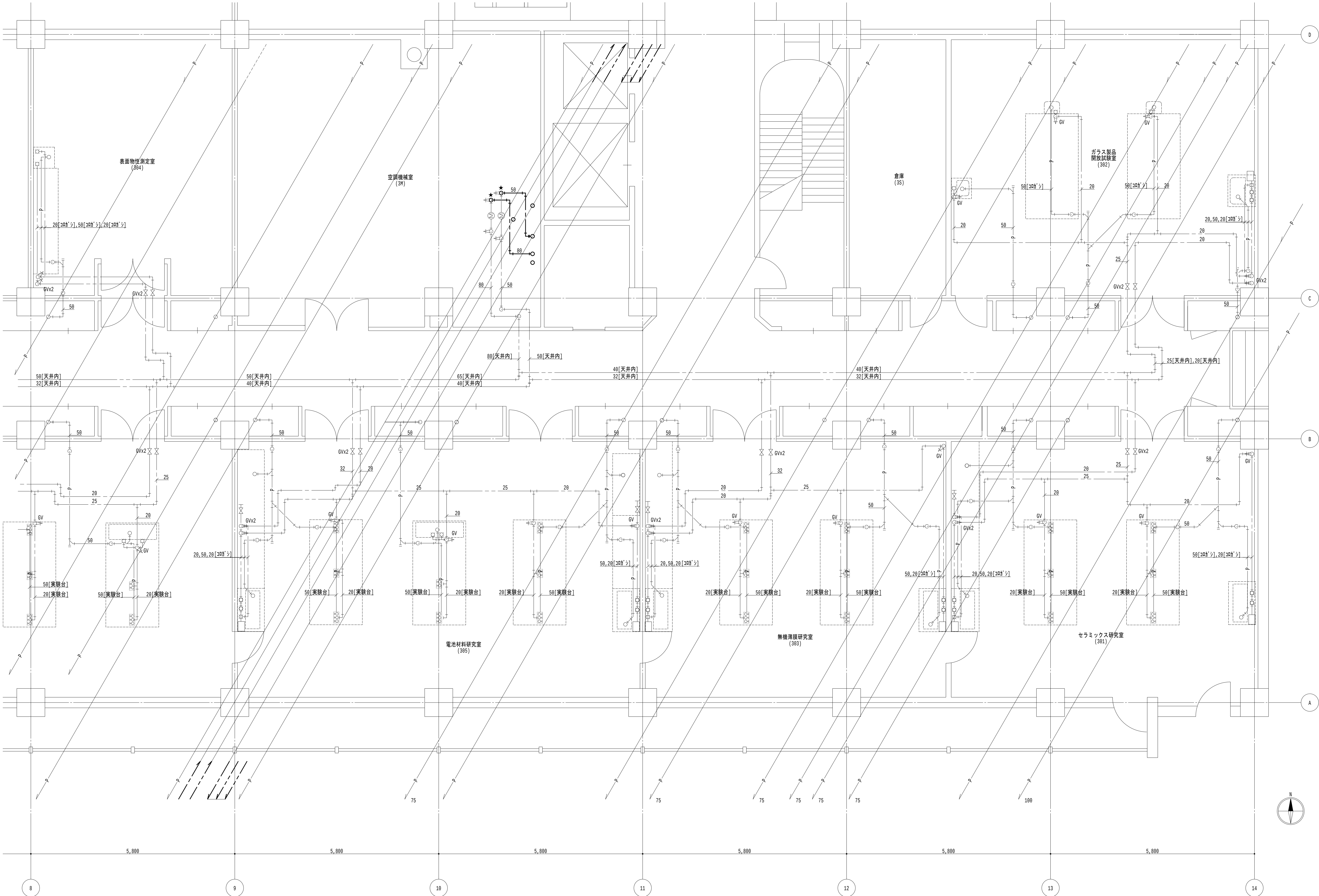
設計事務所

図面名称
給排水設備 2階平面図（改修）（その3工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-094



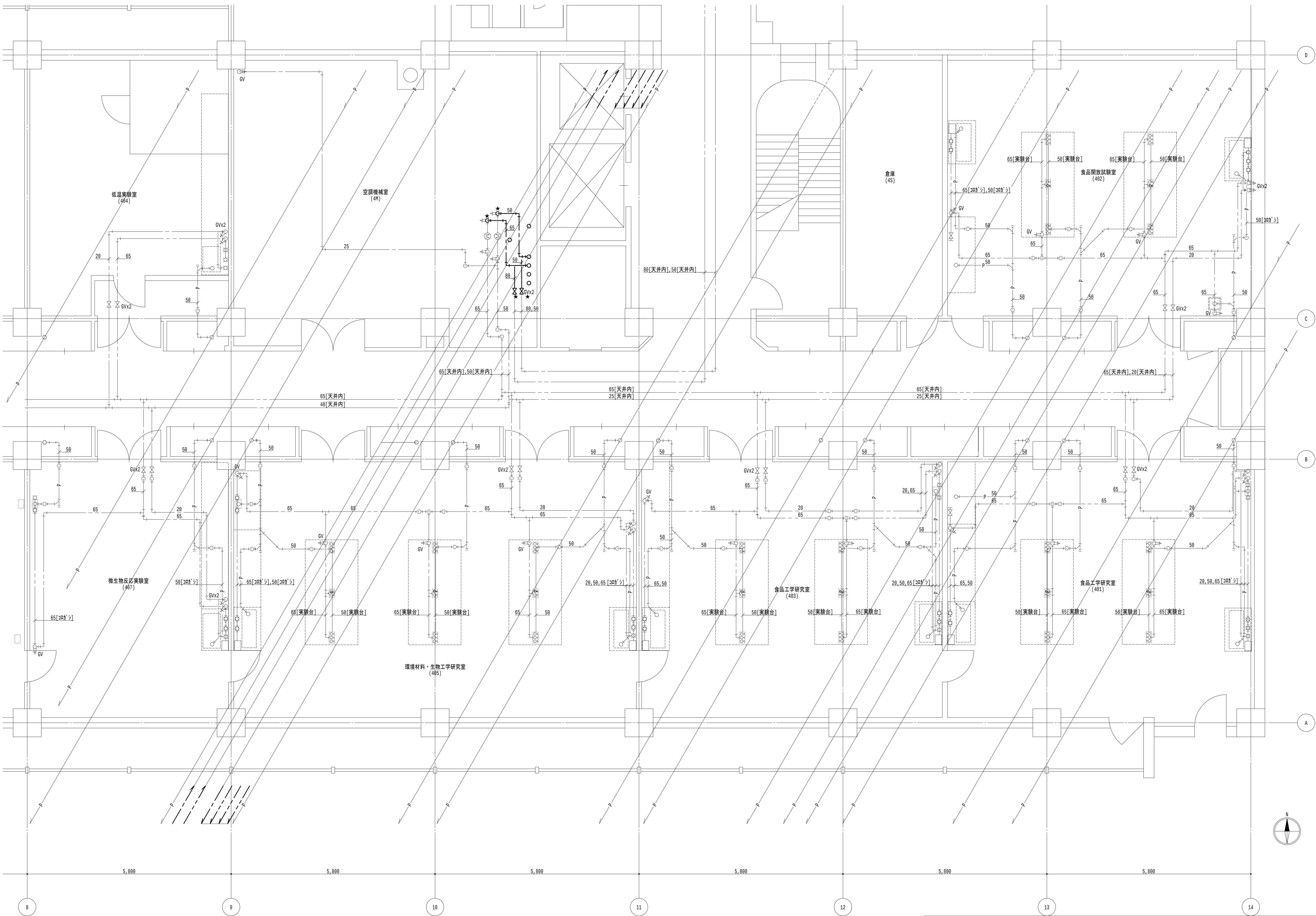
- 凡例**

 - 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★ は、接続箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。
- 特記事項**

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
設計事務所	図面名称 給排水設備 3階平面図（改修）（その3工事）	縮尺 A1：1/100 A3：1/200	図面番号 M-095



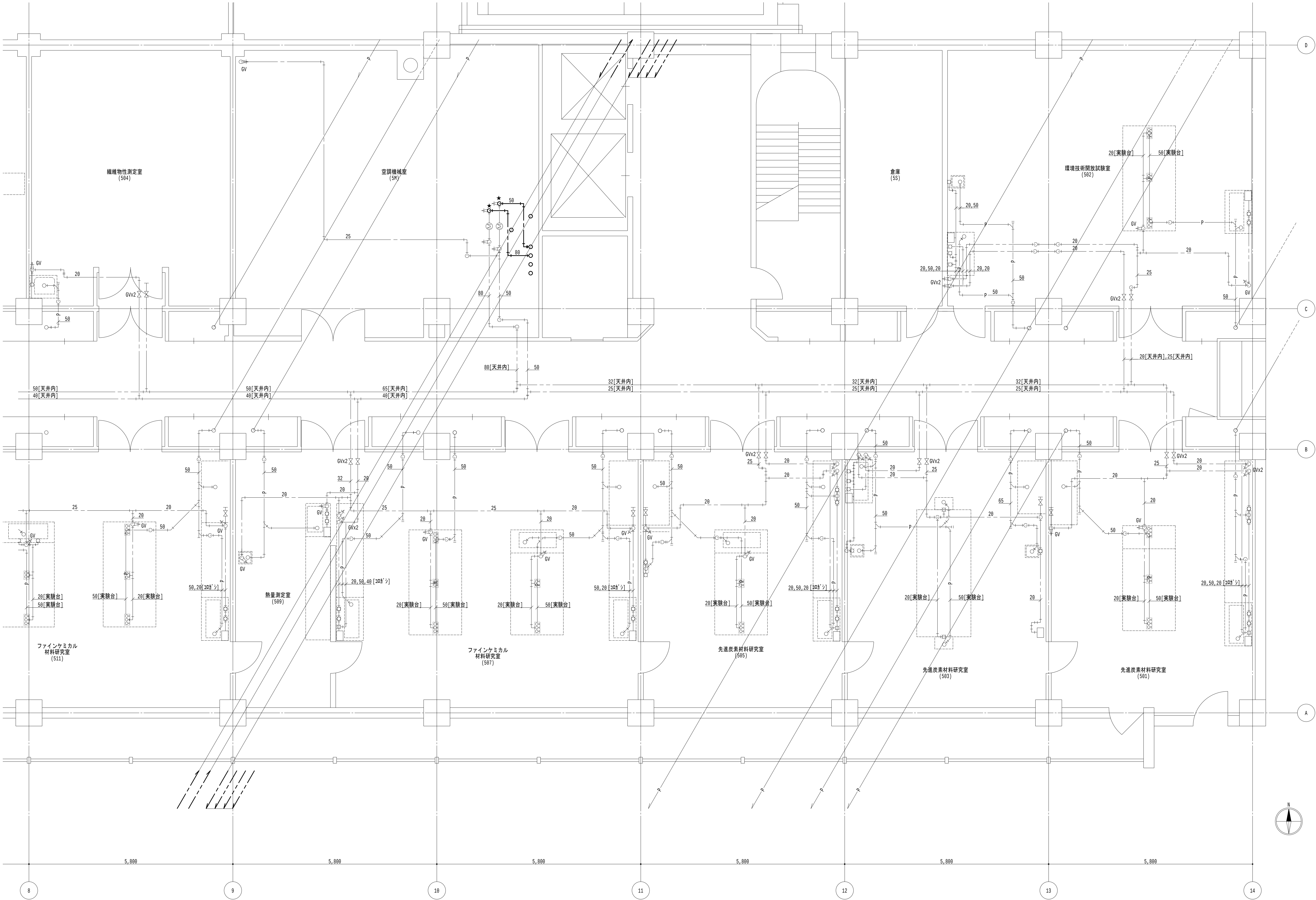
- 凡例

 - 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★ は、接続箇所を示す。
 - 室名 は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

4 階平面図 1/50

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター		工事名称	大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付	2026.8.31	
		設計事務所	図面名称	給排水設備 4階平面図(改修) (その3工事)	縮尺	A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M-096



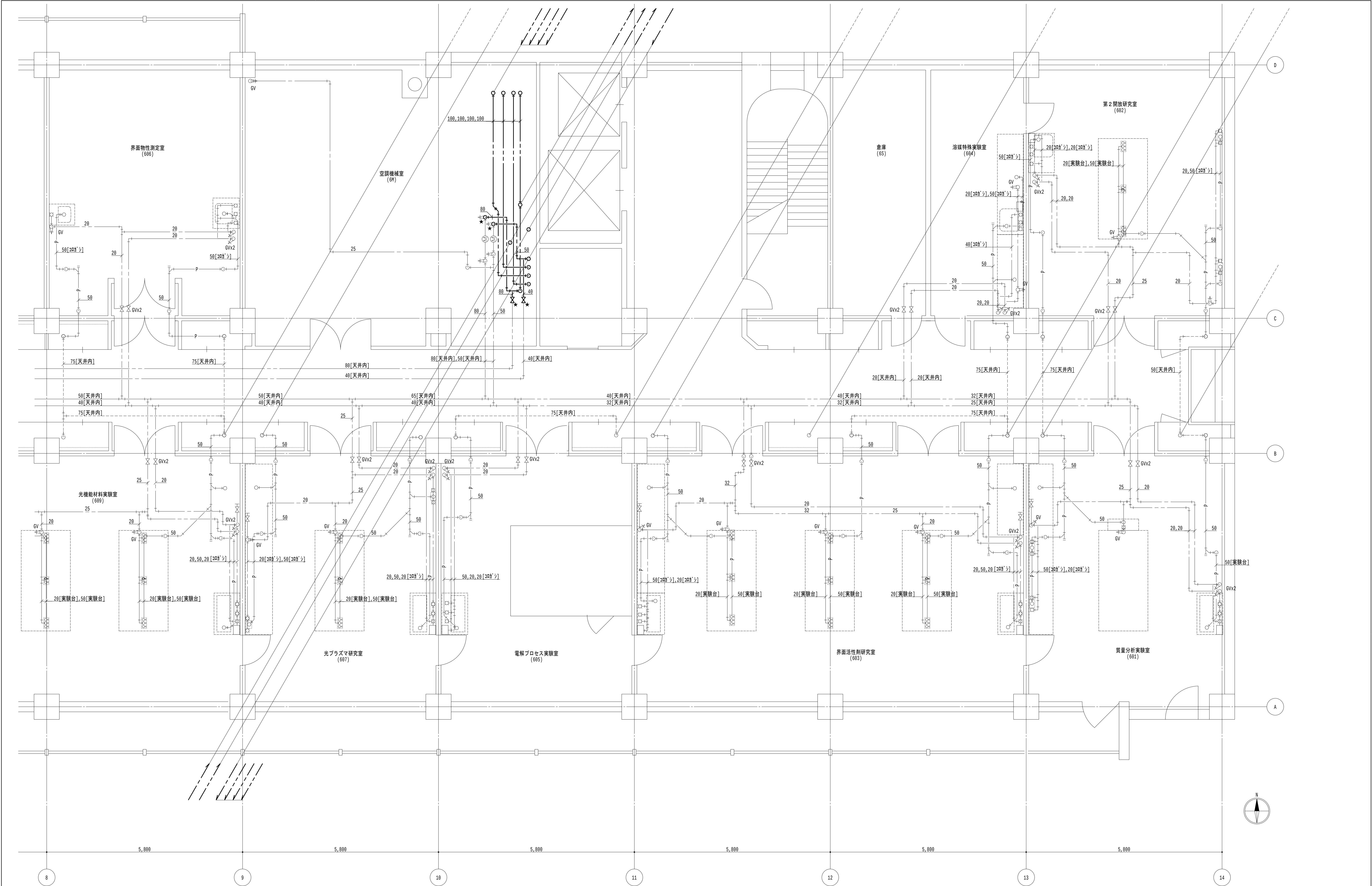
- 凡例

 - 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★は、接続箇所を示す。
 - 室名は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

5階平面図 1/50

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター		工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事	日付 2026.8.31	
設計事務所		図面名称 給排水設備 5階平面図（改修）（その3工事）	縮尺 A1：1/100 A3：1/200	図面番号 M-097



- 凡例

 - 1. 太線は、新設を示す。
 - 2. 細線は、既設を示す。
 - 3. ★ は、接続箇所を示す。
 - 4. 〔室名〕は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 1. 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 2. 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
 - 3. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

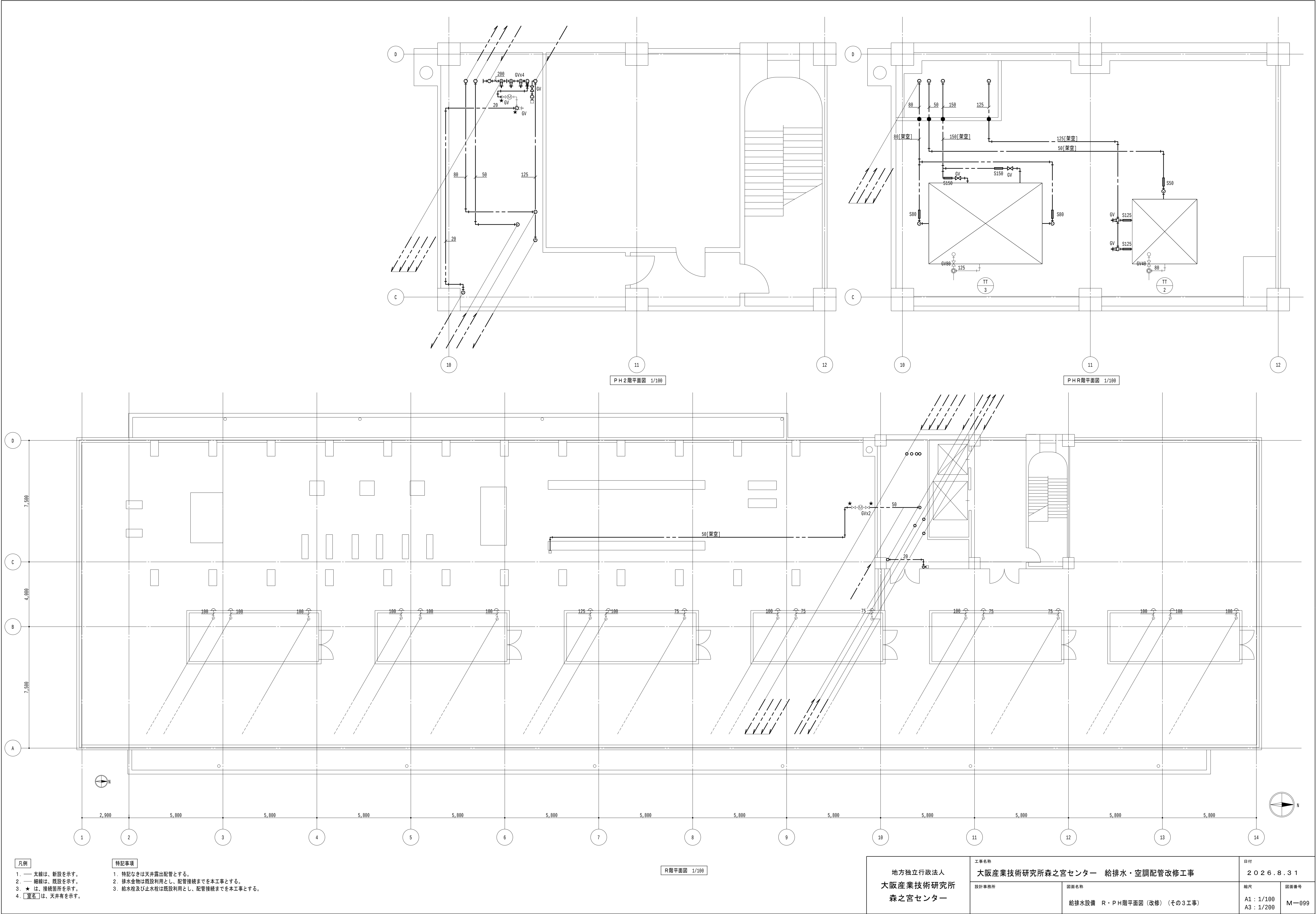
工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 6階平面図（改修）（その3工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-098



凡例

1. 太線は、新設を示す。
2. 細線は、既設を示す。
3. ★ は、接続箇所を示す。
4. 〔室名〕 は、天井有を示す。

特記事項

1. 特記なきは天井露出配管とする。
2. 排水金物は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。
3. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

給排水設備 R・PH階平面図（改修）（その3工事）

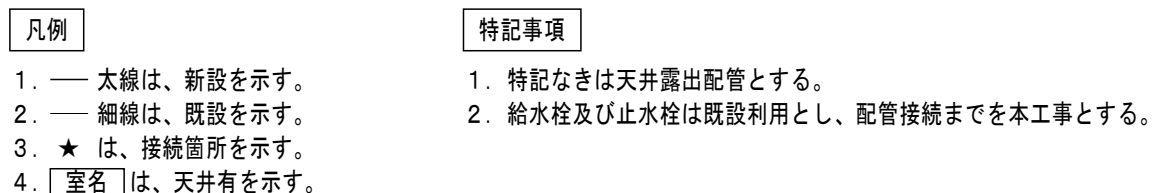
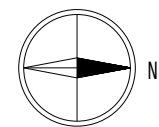
日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

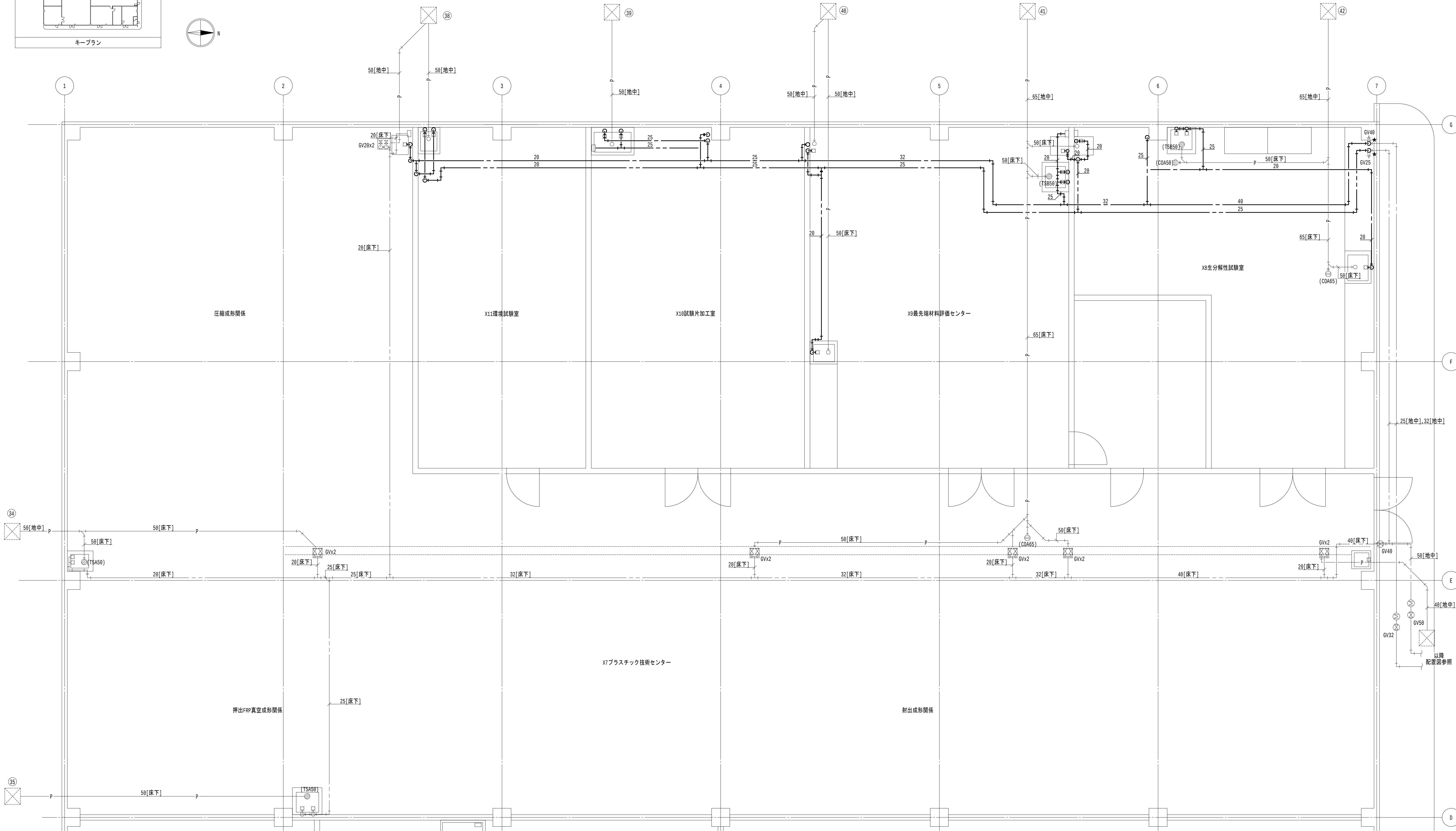
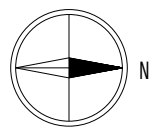
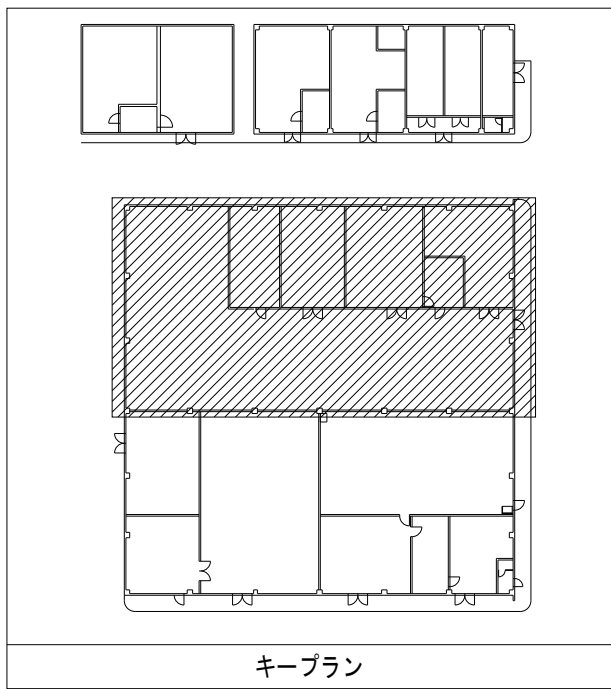
図面番号

M-099



応用研究棟 平面図 (1) 1/50

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 給排水設備 応用研究棟 平面図(1)(改修)(その3工事)	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号 M-190



- 凡例

 - 1. 太線は、新設を示す。
 - 2. 細線は、既設を示す。
 - 3. ★ は、接続箇所を示す。
 - 4. [室名] は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 1. 特記なきは天井露出配管とする。
 - 2. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

給排水設備 応用研究棟 平面図 (2) (改修) (その3工事)

日付

2026.8.31

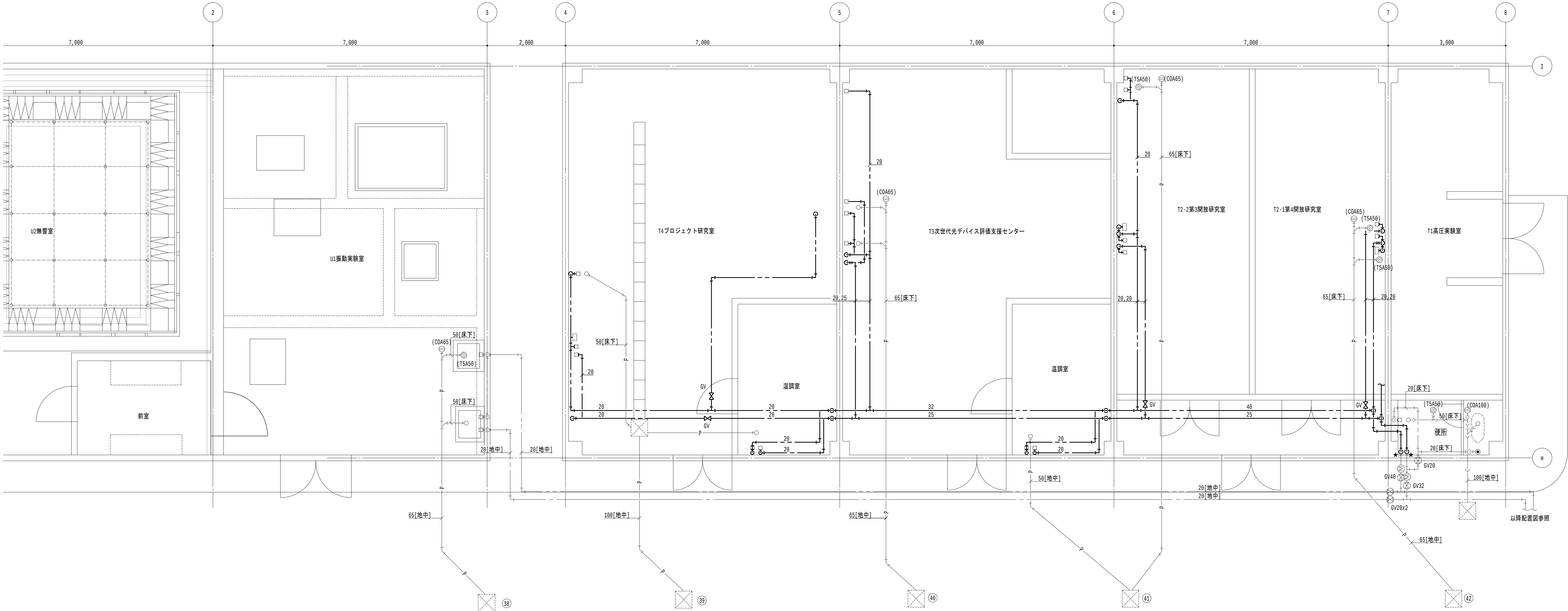
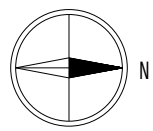
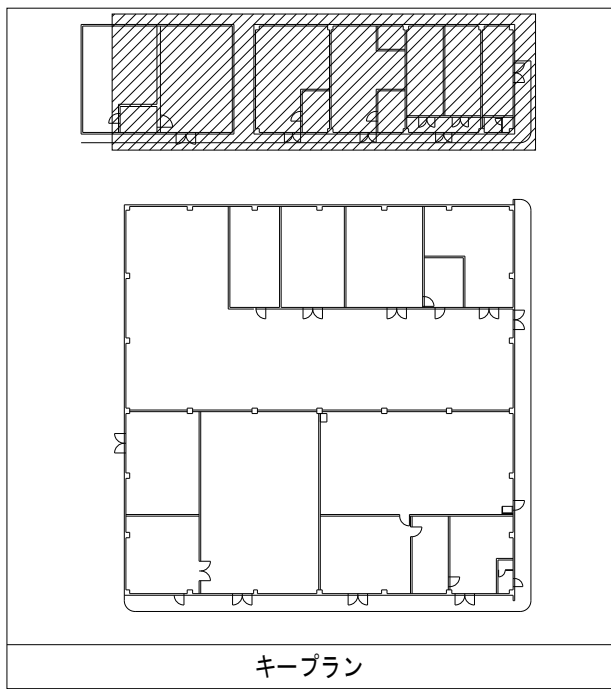
縮尺

A1 : 1/50
A3 : 1/100

図面番号

M-101

以降
配置図参照



防音防振研究棟 平面図 1/50

中間工業研究棟 平面図 1/50

- 凡例
- 太線は、新設を示す。
 - 細線は、既設を示す。
 - ★ は、接続箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。

- 特記事項
- 特記なきは天井露出配管とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管接続までを本工事とする。

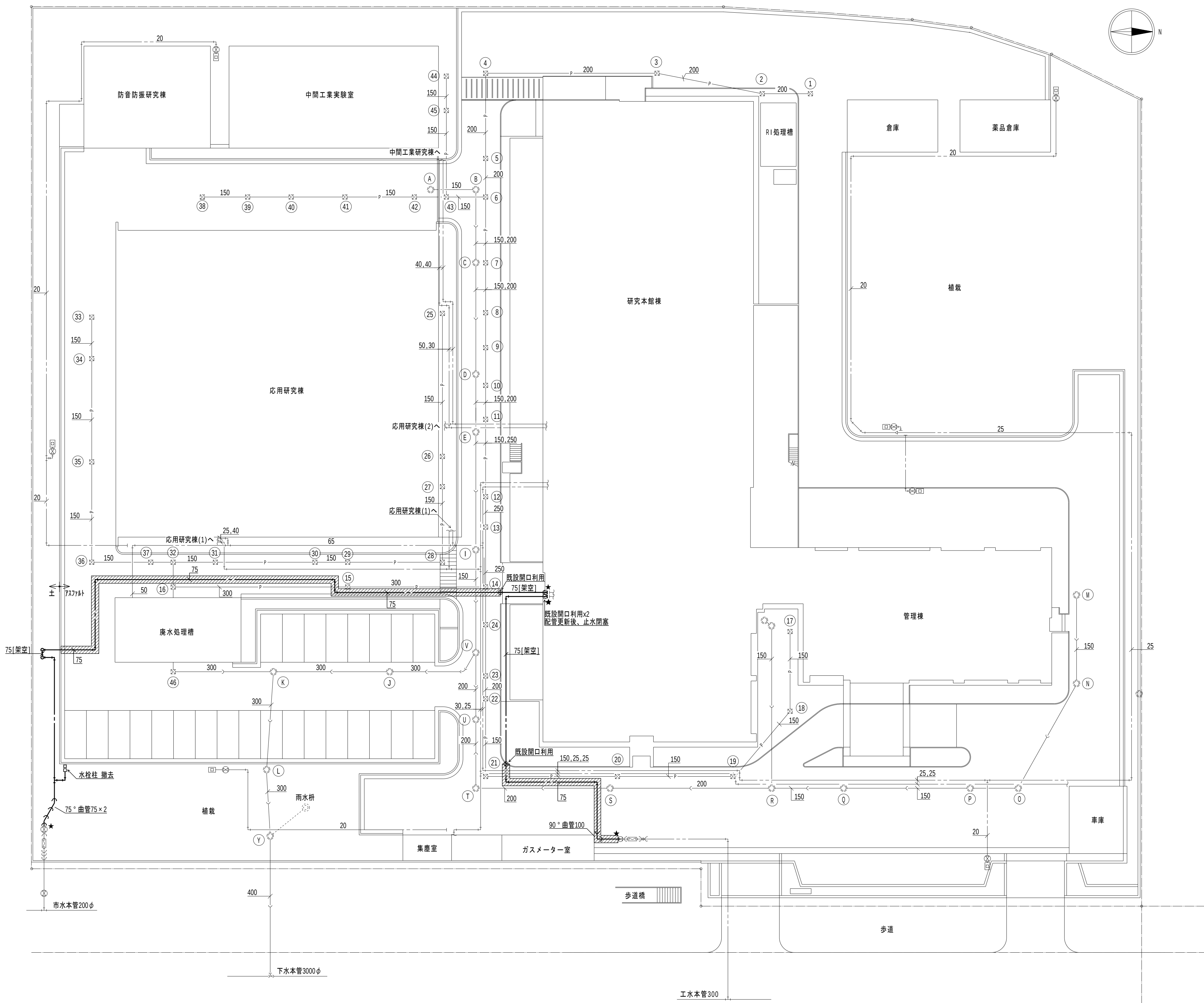
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備
中間工業研究棟・防音防振研究棟 平面図（改修）（その3工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/50
A3 : 1/100
図面番号
M-102



配置図 1:300

凡例

1. 太線は、撤去を示す。
2. 細線は、残置を示す。
3. ★は、切断箇所を示す。
4. 破線は、75mm径の切断、撤去及び復旧範囲を示す。

特記事項

1. 特記なきは、地中埋設管とする。

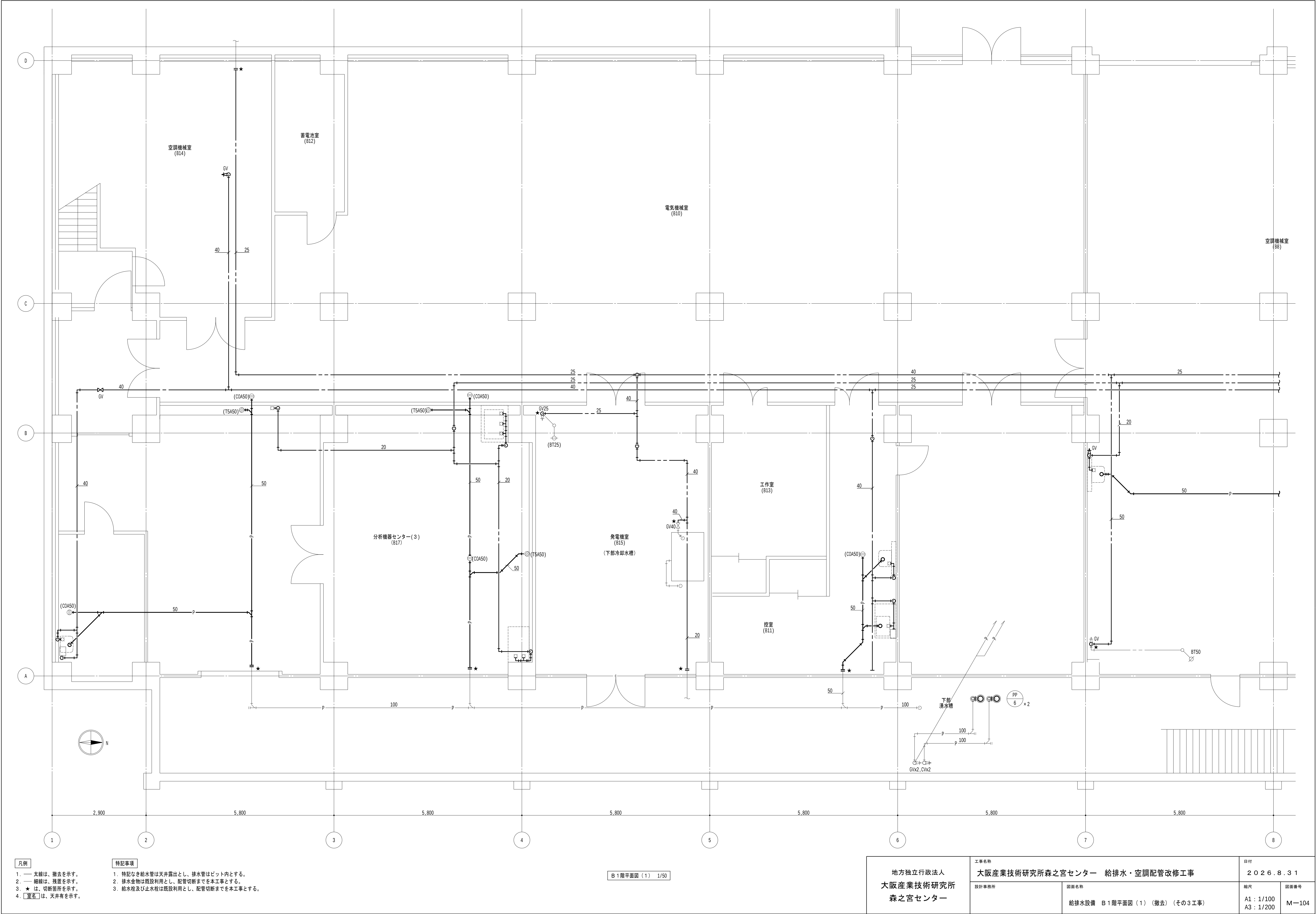
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 屋外配管図（撤去）（その3工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/300
A3 : 1/600
図面番号
M-103



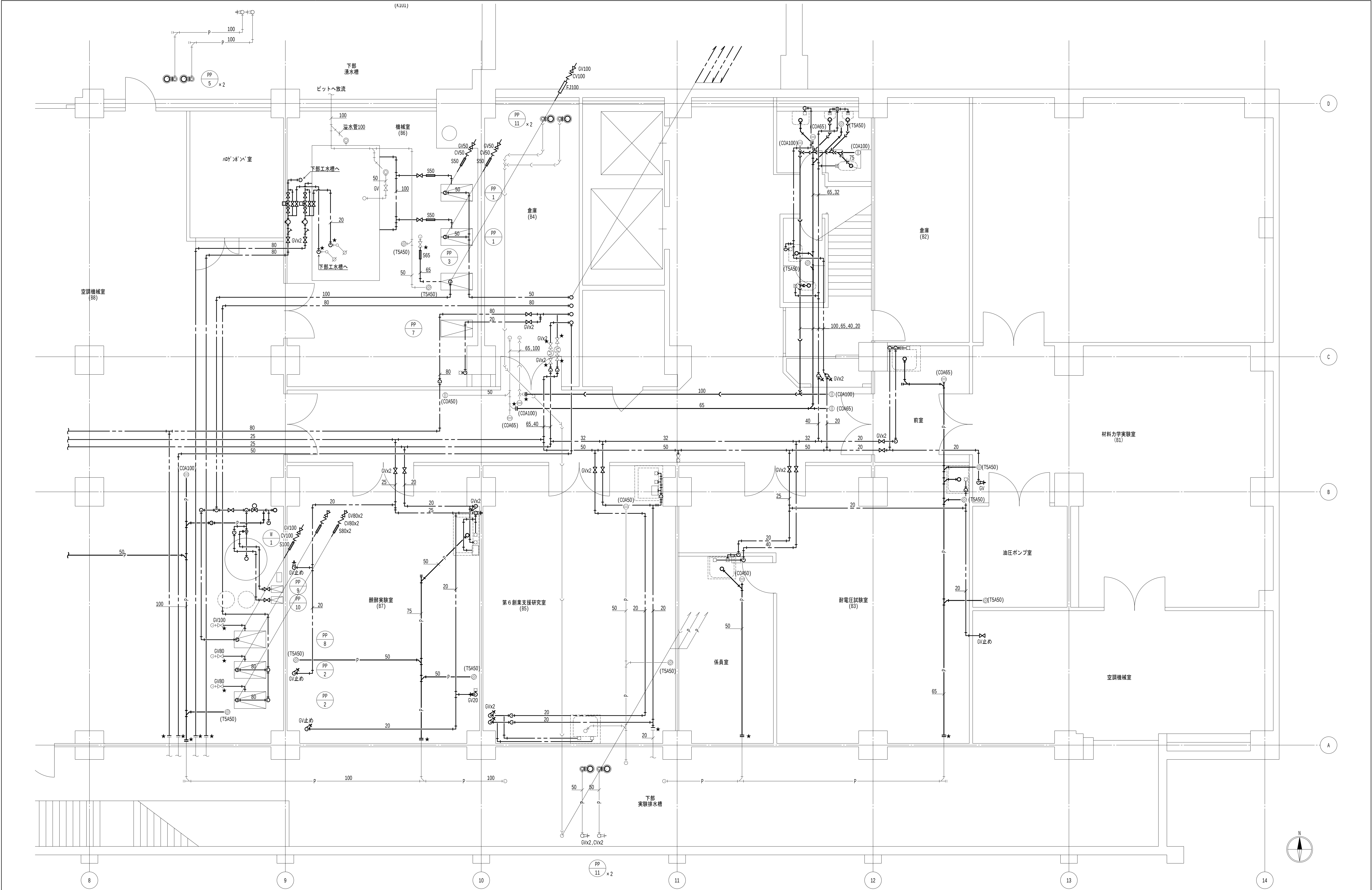
- 凡例

 - 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切断箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管はビット内とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

B 1 階平面図 (1) 1/50

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 給排水設備 B1階平面図(1) (撤去) (その3工事)	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号 M-104



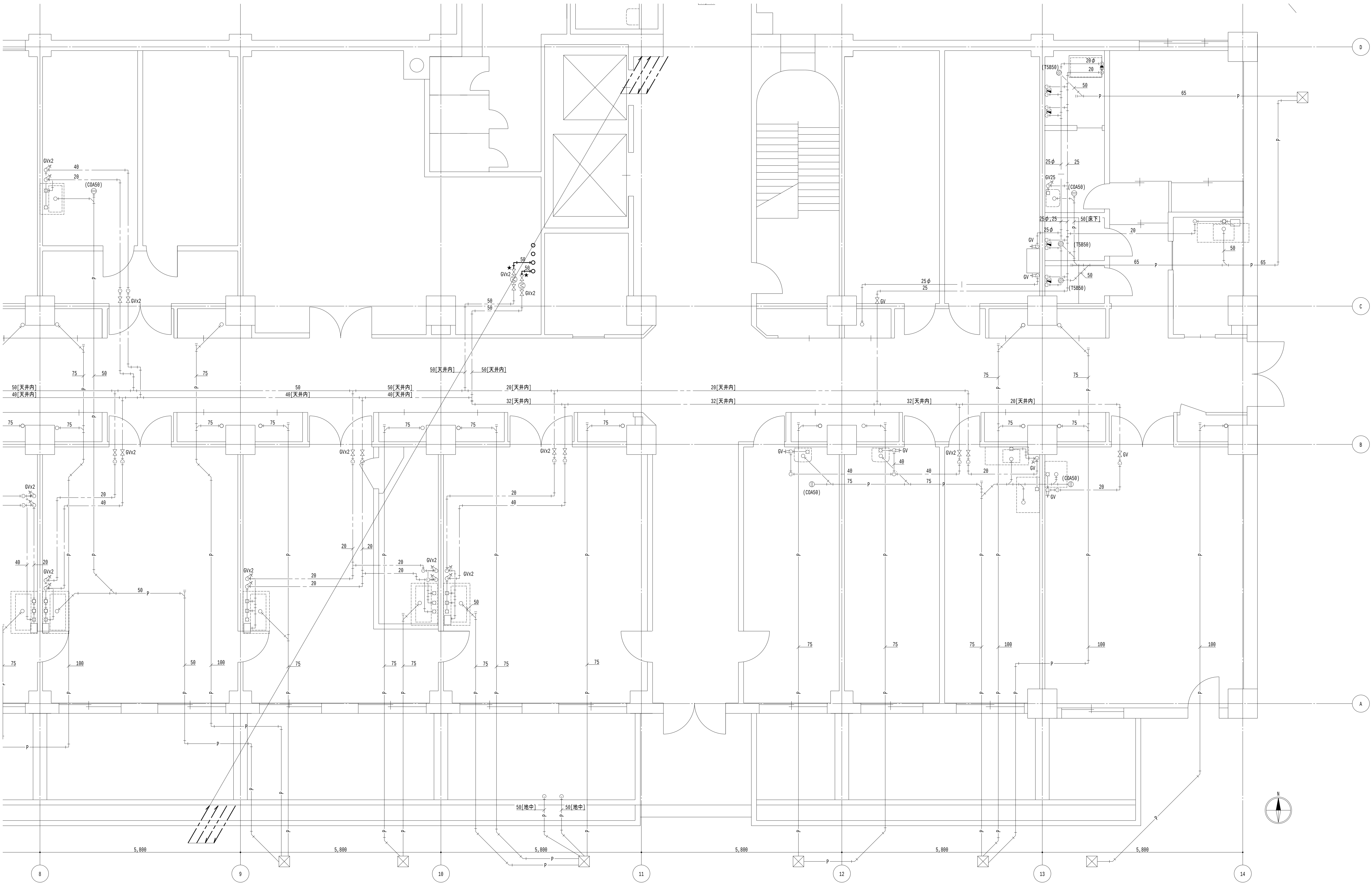
- 凡例

 - 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切断箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管はビット内とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

B 1 階平面図 (2) 1/50

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター		工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事	日付 2026.8.31	
設計事務所		図面名称 給排水設備 B 1 階平面図 (2) (撤去) (その3工事)	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M-105



- 凡例

 - 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切斷箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切斷までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切斷までを本工事とする。

1階平面図 (2) 1/50

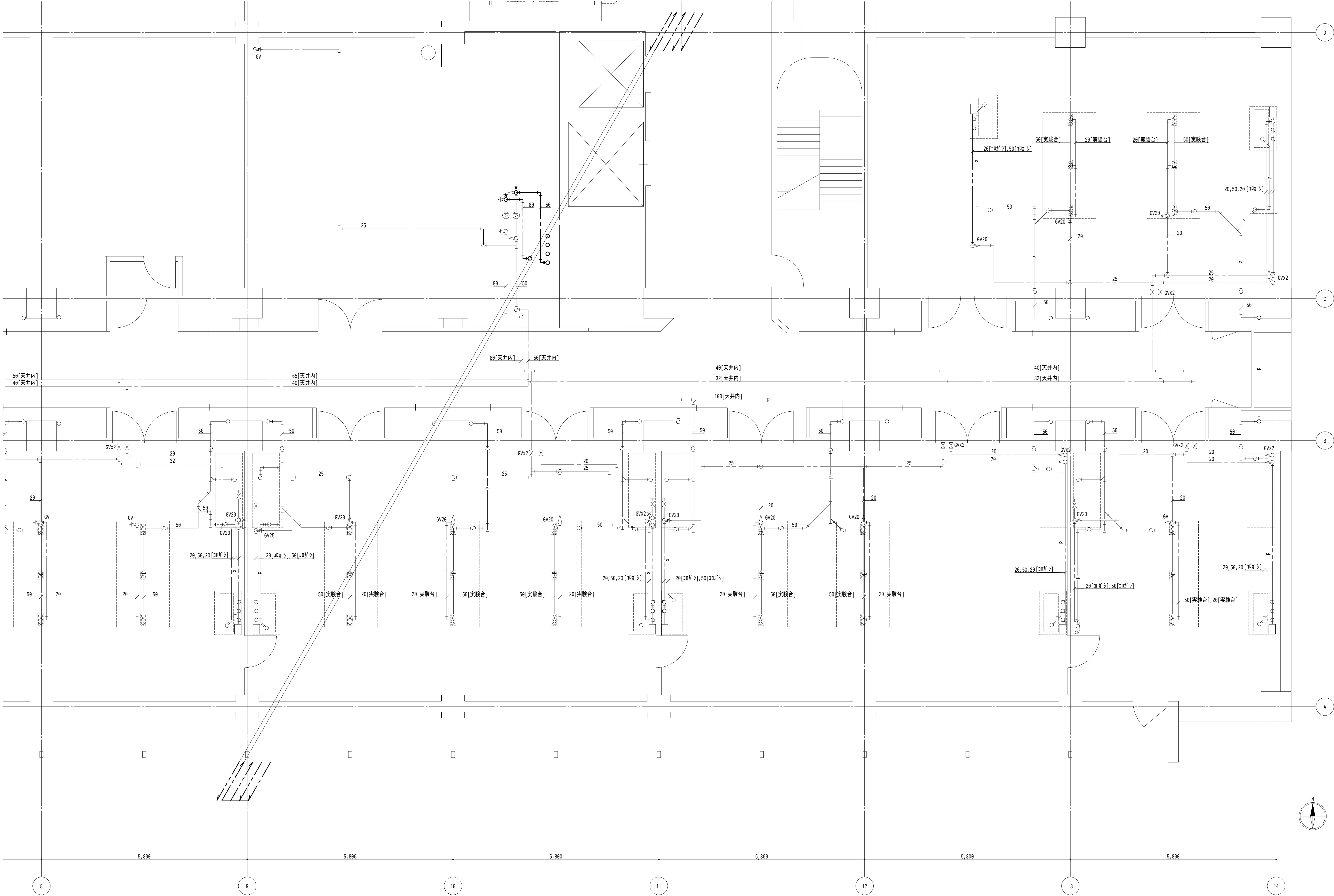
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 1階平面図 (撤去) (その3工事)

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200
図面番号
M-106



- 凡例

 - 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切断箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

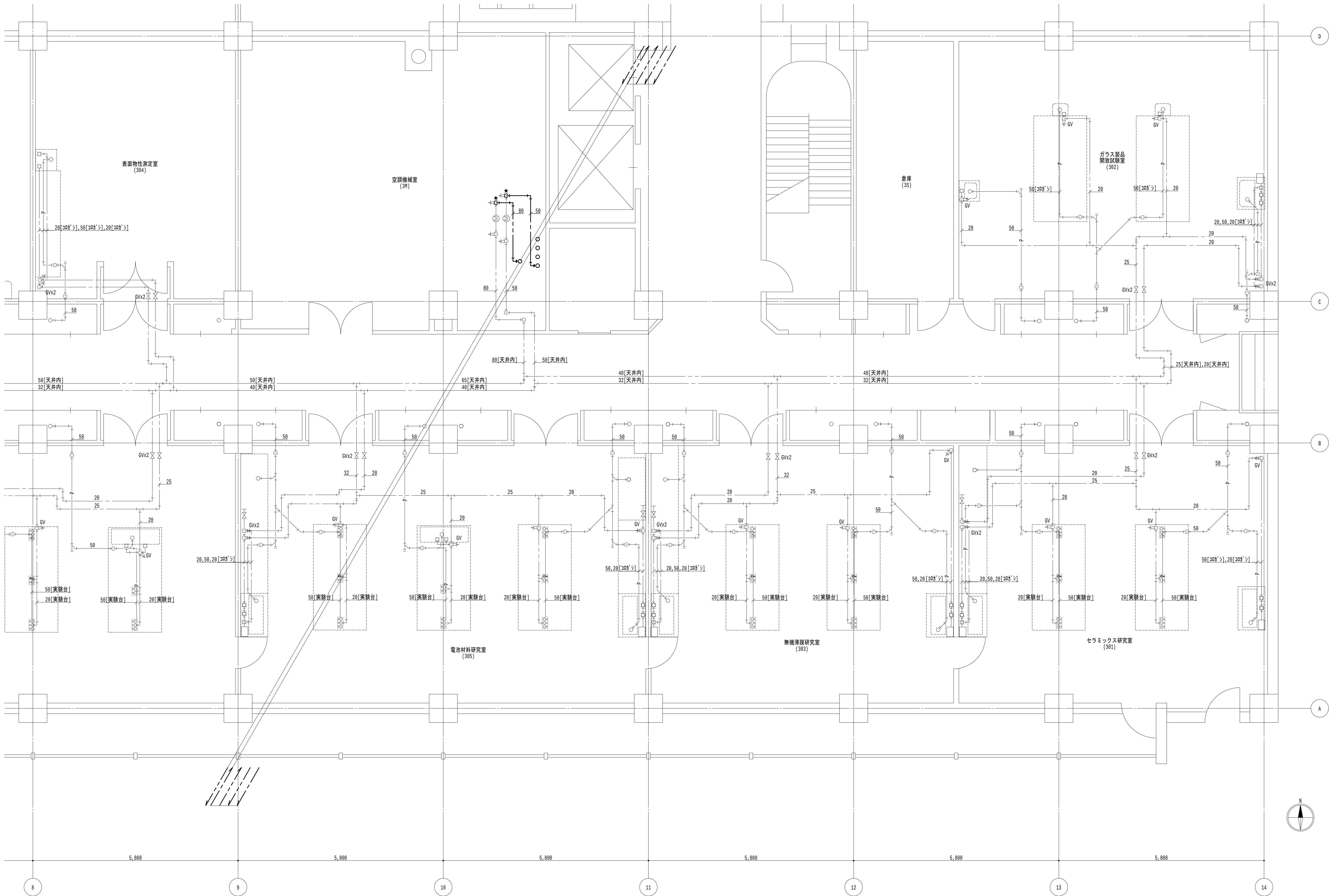
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 2階平面図 (撤去) (その3工事)

日付
2026.8.31

縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M-107
--------------------------------	---------------



凡例

- 太線は、撤去を示す。
- 細線は、残置を示す。
- ★は、切断箇所を示す。
- 〔室名〕は、天井有を示す。

特記事項

- 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
- 排水金物は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
- 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

3階平面図(2) 1/50

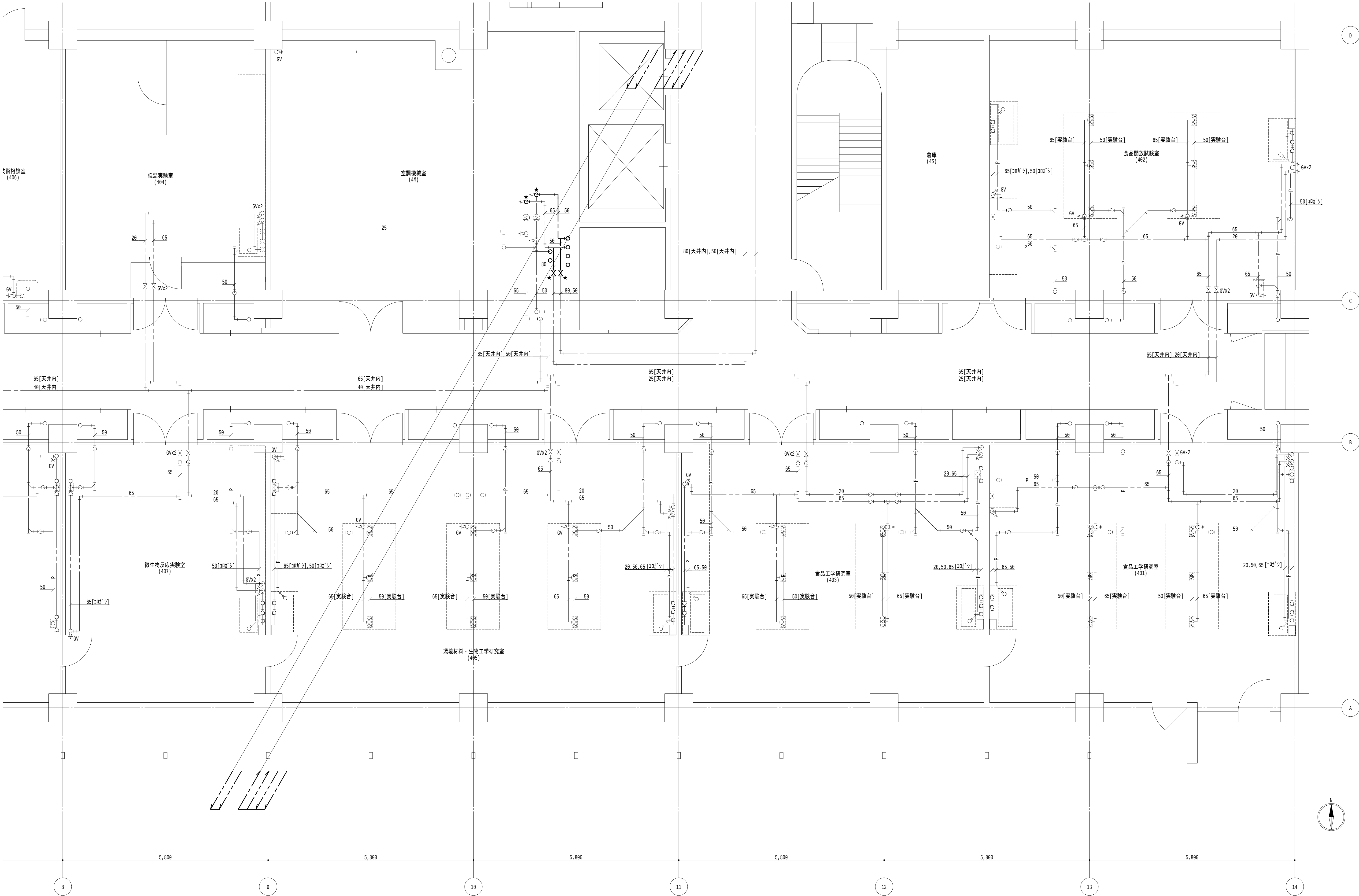
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 3階平面図(撤去) (その3工事)

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200
図面番号
M-108



- 凡例

 - 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切断箇所を示す。
 - 室名は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

4階平面図 (2) 1/50

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

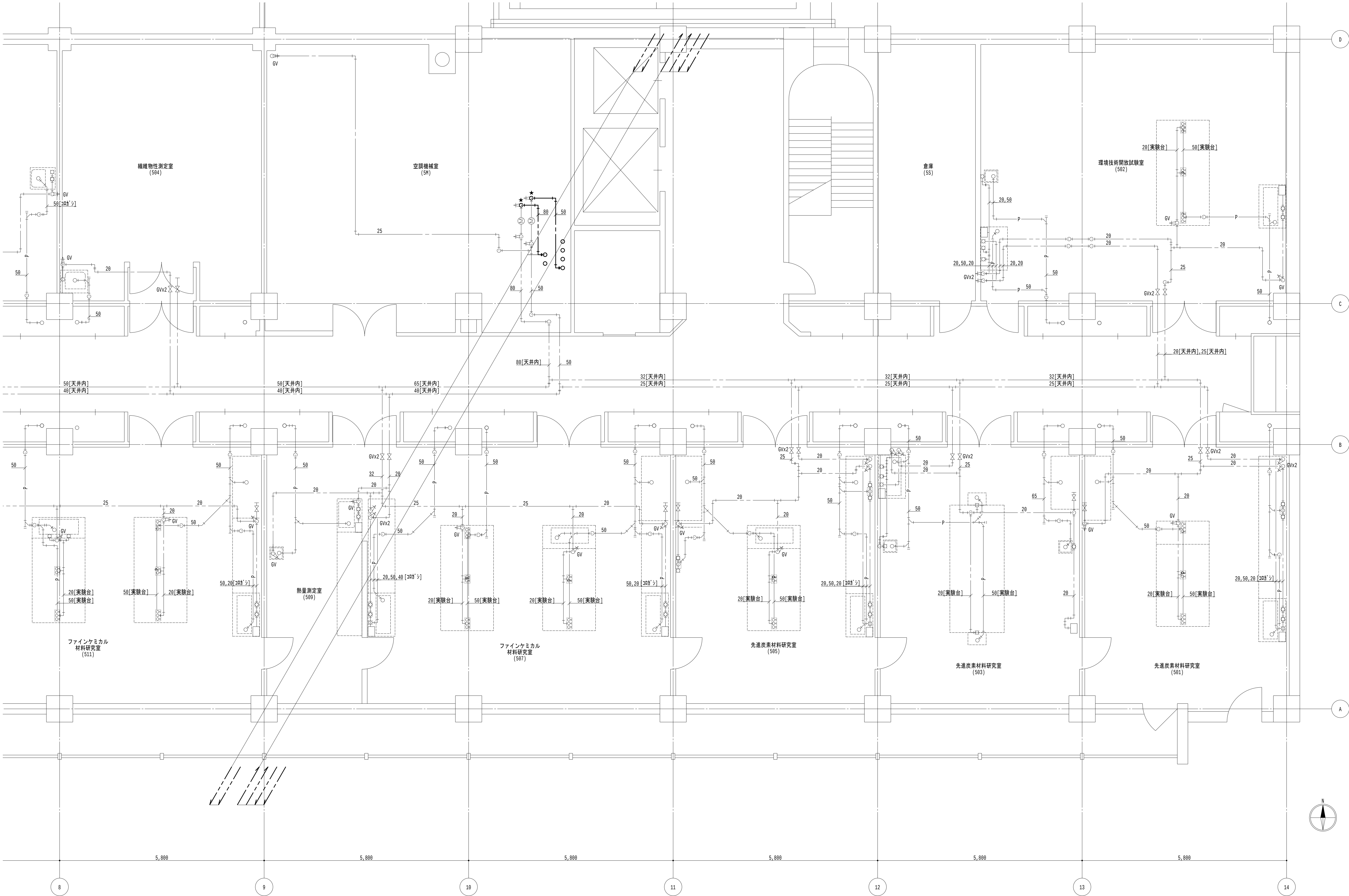
工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備 4階平面図 (撤去) (その3工事)

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-109



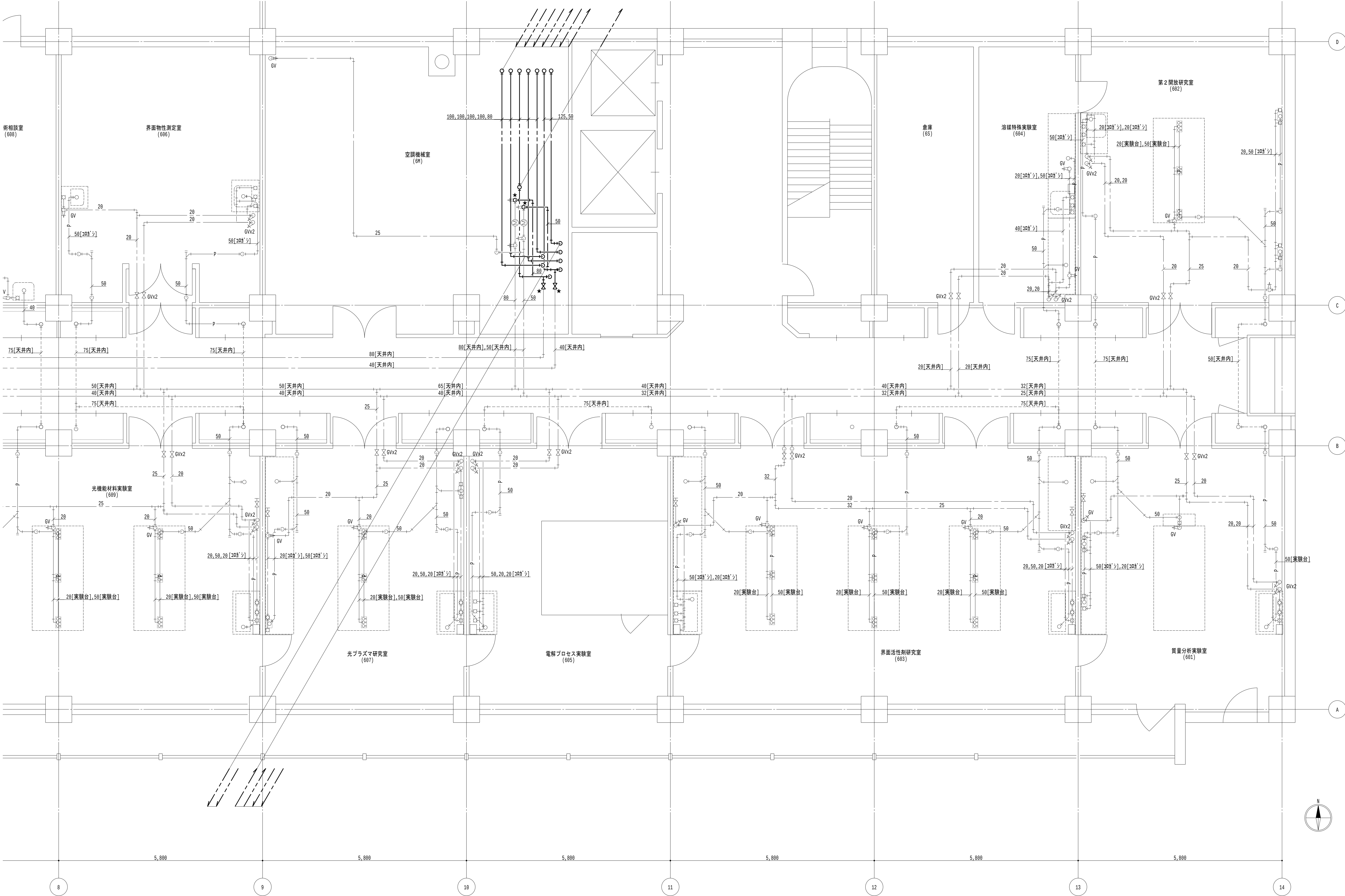
- 凡例

 - 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切断箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
設計事務所	図面名称 給排水設備 5階平面図（撤去）（その3工事）	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M-110



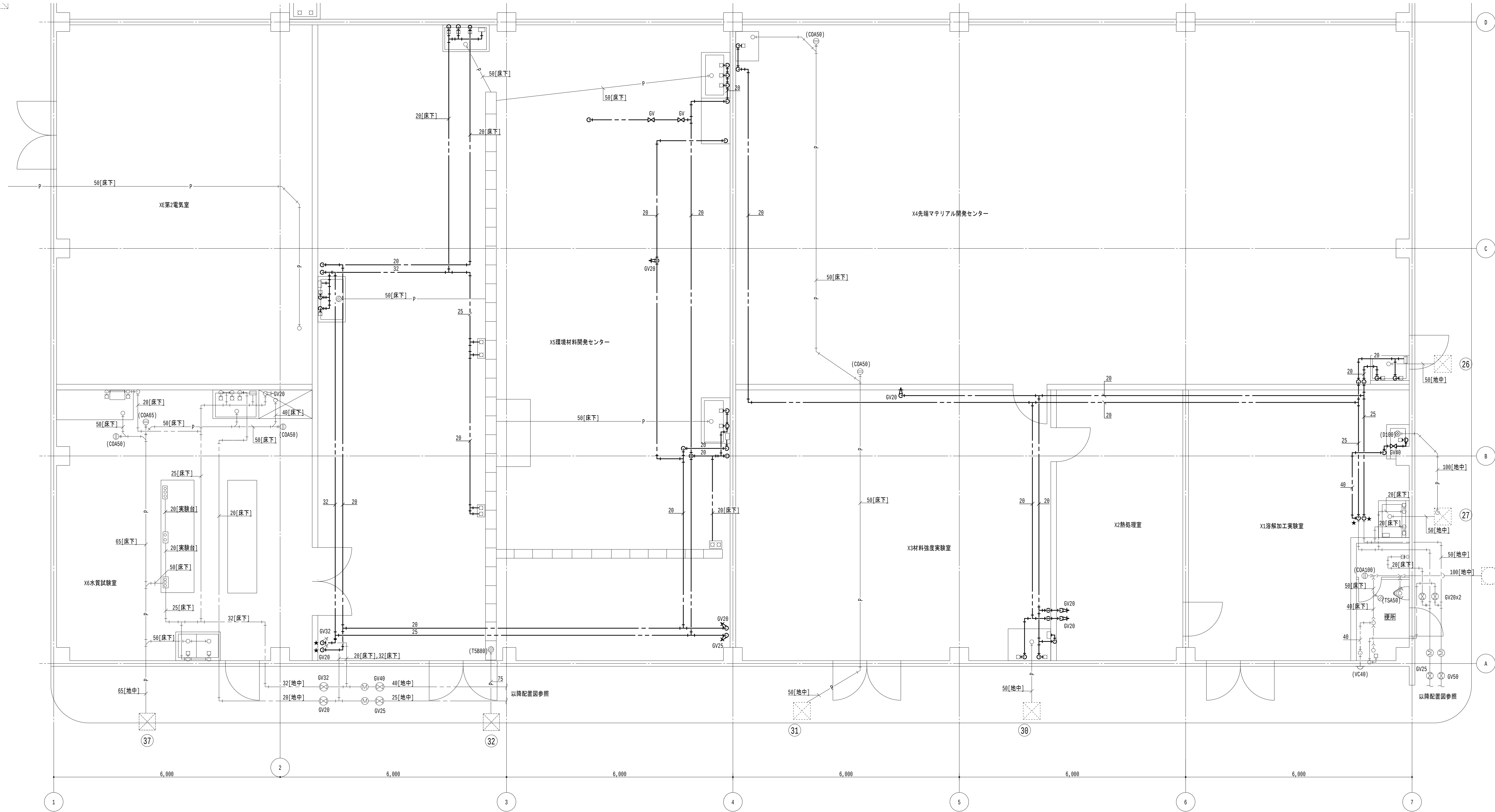
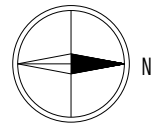
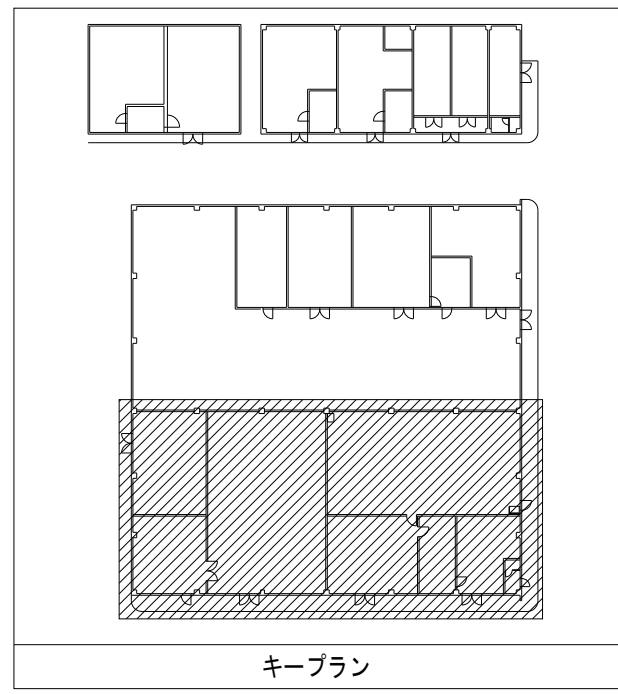
- 凡例

 - 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切斷箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。
- 特記事項

 - 特記なき給水管は天井露出とし、排水管は下階天井露出とする。
 - 排水金物は既設利用とし、配管切斷までを本工事とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切斷までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
設計事務所	図面名称 給排水設備 6階平面図（撤去）（その3工事）	縮尺 A1：1/100 A3：1/200	図面番号 M-111



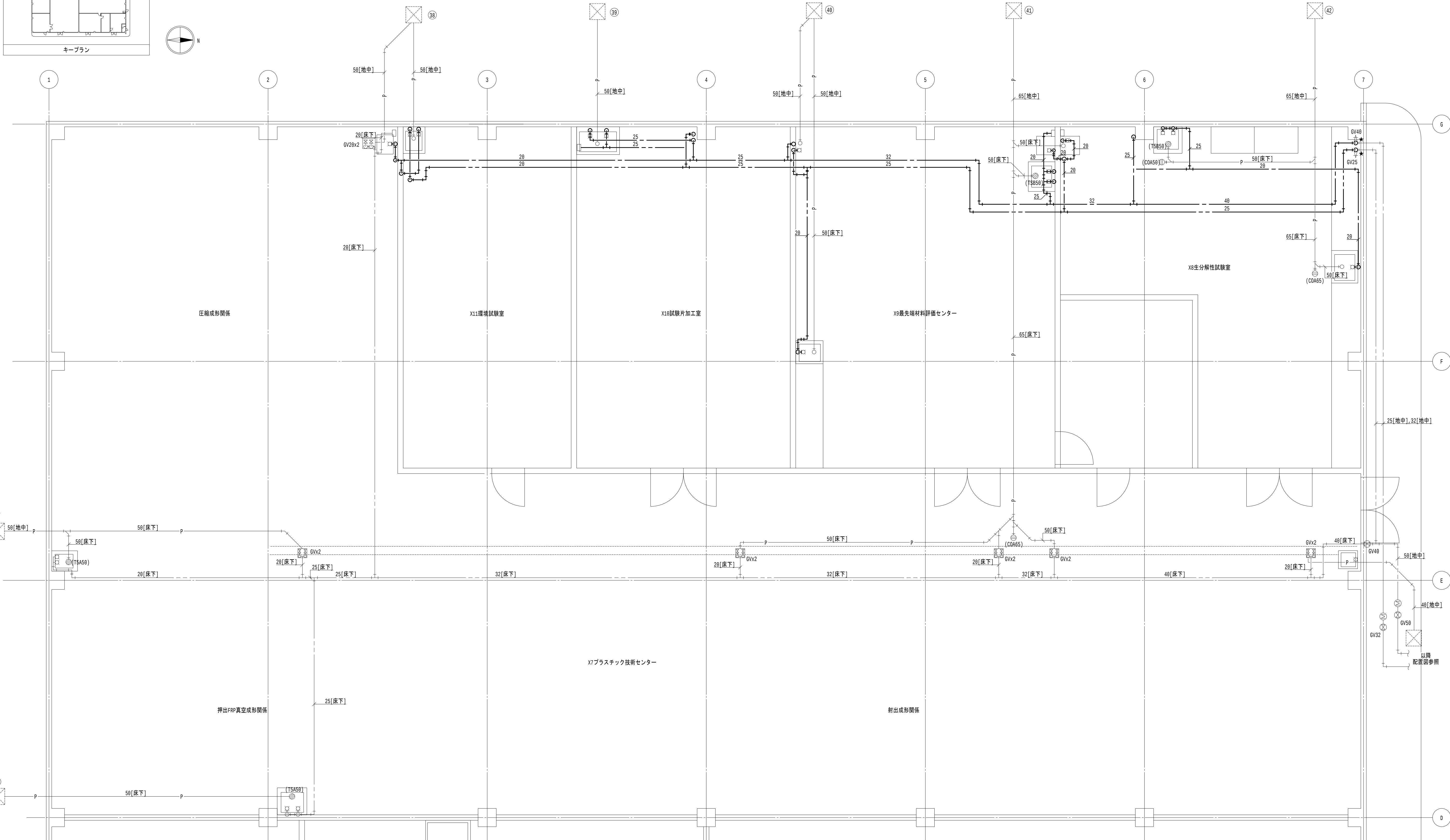
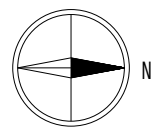
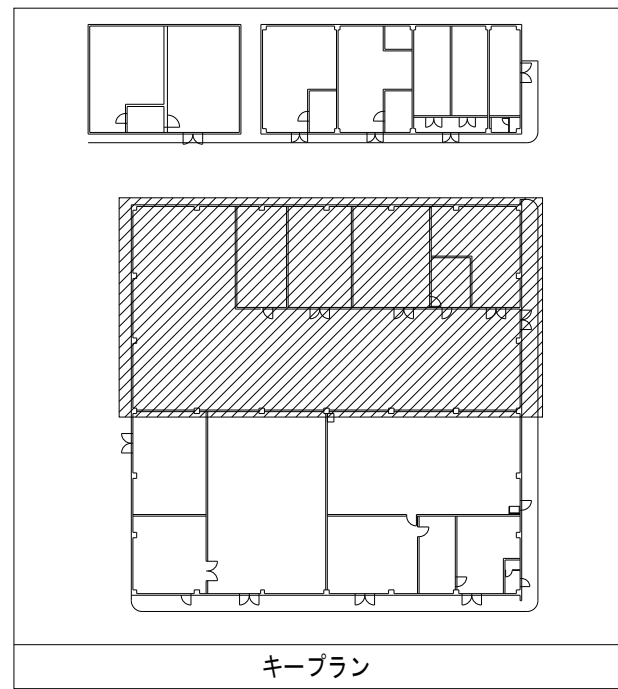
- 凡例**

 - 1. — 太線は、撤去を示す。
 - 2. — 細線は、残置を示す。
 - 3. ★ は、切断を示す。
 - 4. [室名] は、天井有を示す。
- 特記事項**

 - 1. 特記なきは天井露出配管とする。
 - 2. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		目付 2026.8.31	
設計事務所	図面名称 給排水設備 応用研究棟 平面図 (1) (撤去) (その3工事)	縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	図面番号 M-113



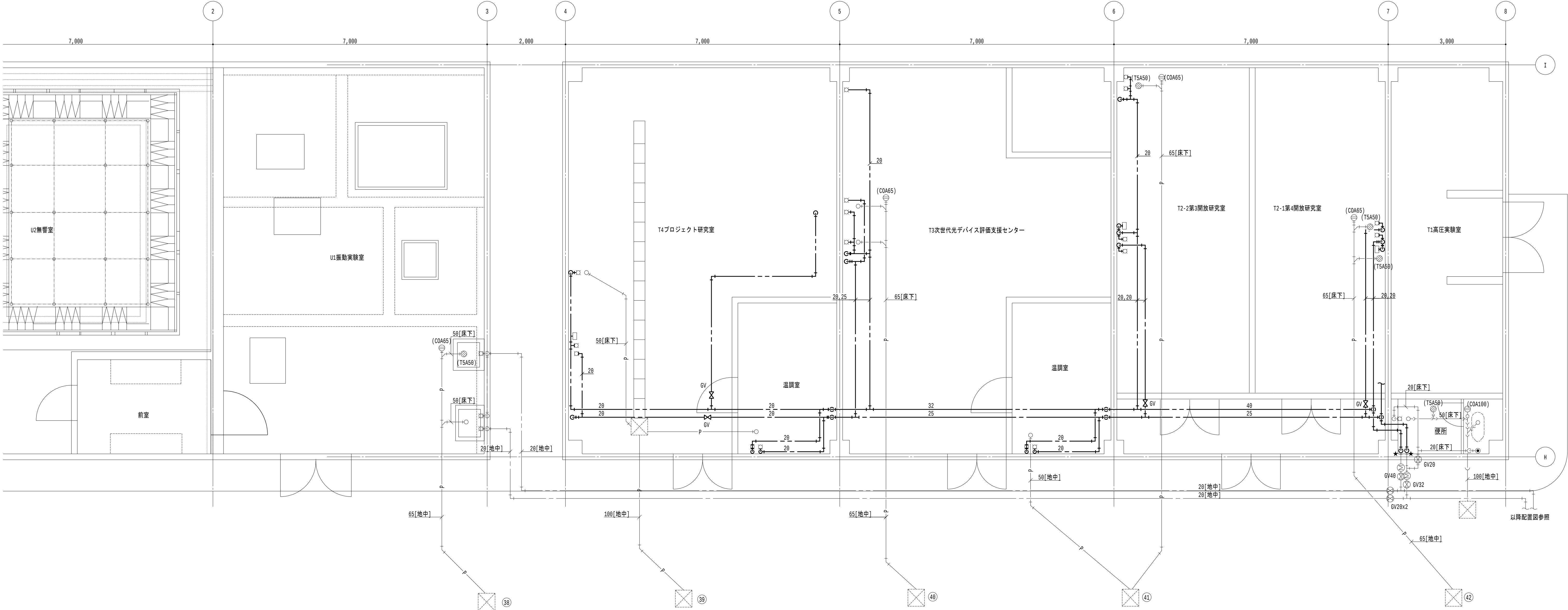
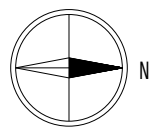
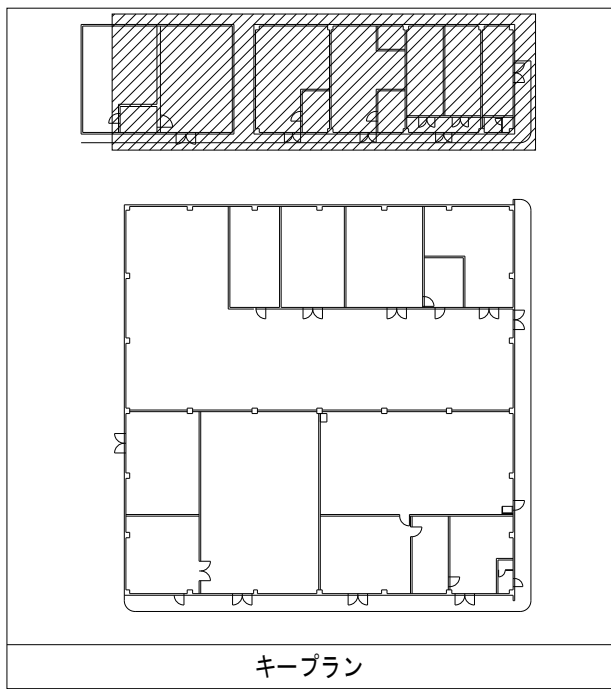
- 凡例**

 - 1. — 太線は、撤去を示す。
 - 2. — 細線は、残置を示す。
 - 3. ★ は、切断を示す。
 - 4. [重名] は、天井有を示す。
- 特記事項**

 - 1. 特記なきは天井露出配管とする。
 - 2. 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切断までを本工事とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
設計事務所	図面名称 給排水設備 応用研究棟 平面図 (2) (撤去) (その3工事)	縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	図面番号 M-114



防音防振研究棟 平面図 1/50

中間工業研究棟 平面図 1/50

- 凡例
- 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切斷を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。

- 特記事項
- 特記なきは天井露出配管とする。
 - 給水栓及び止水栓は既設利用とし、配管切斷までを本工事とする。

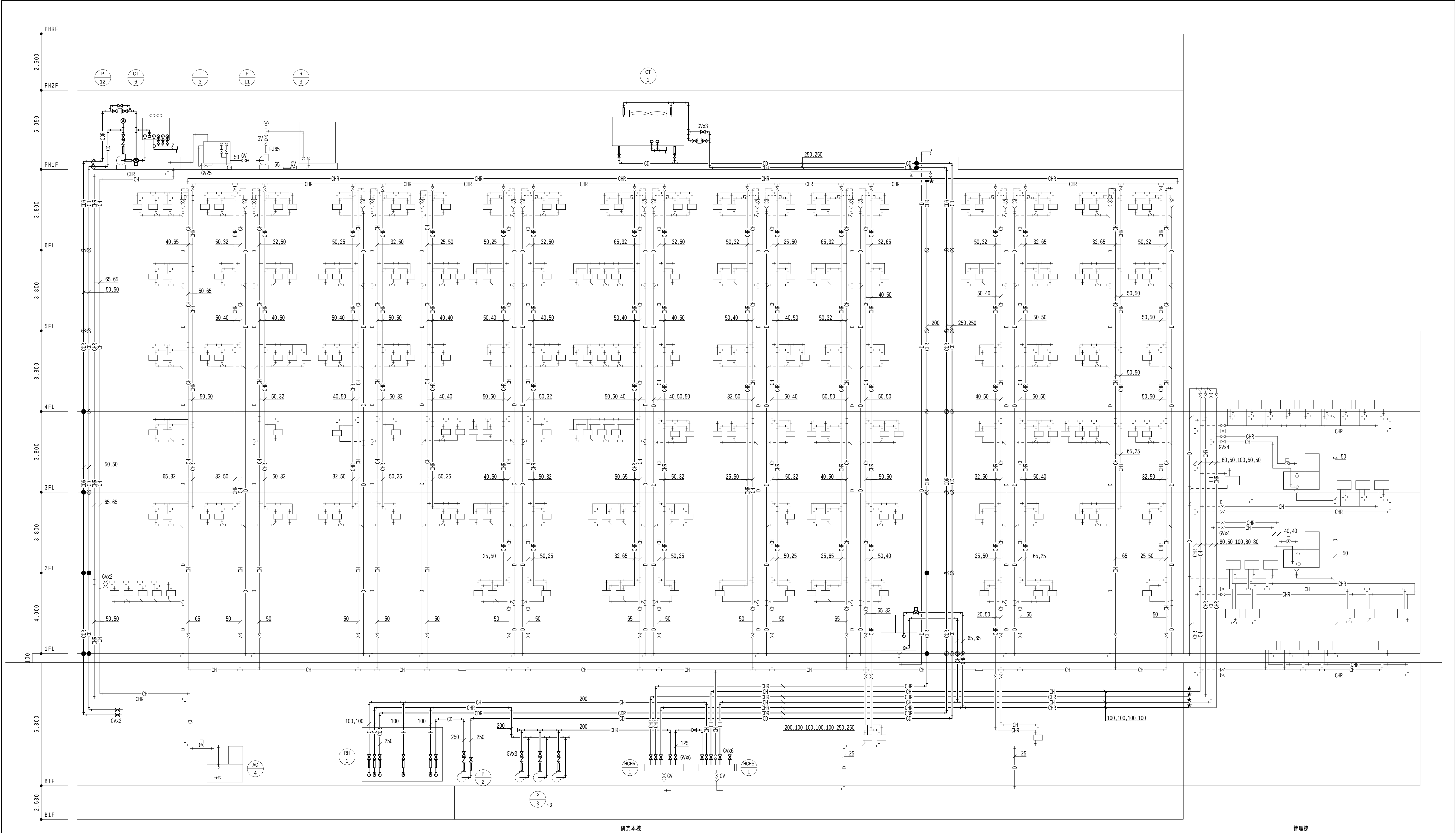
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
給排水設備
中間工業研究棟・防音防振研究棟 平面図（撤去）（その3工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/50
A3 : 1/100
図面番号
M-115



凡例

記号	名称	配管材（既設）
CH	冷水水管（往）	配管用炭素鋼鋼管（白）
CHR	冷水水管（還）	配管用炭素鋼鋼管（白）
CD	冷却水管（往）	塩化ビニルライニング鋼管
CDR	冷却水管（還）	塩化ビニルライニング鋼管
C	冷水管（往）	配管用炭素鋼鋼管（白）
CR	冷水管（還）	配管用炭素鋼鋼管（白）
H	温水管（往）	配管用炭素鋼鋼管（白）
HR	温水管（還）	配管用炭素鋼鋼管（白）
D	ドレン管	配管用炭素鋼鋼管（白）

1. — 太線は、撤去・新設を示す。

2. — 細線は、既設残置を示す。

3. ★ は、切断・接続箇所を示す。

4. ● は、新設開口部を示す。○ は、既設開口補修部を示す。

特記事項

1. 空調配管更新工程ステップ毎に水抜きを行い、都度エア抜き及び整調復旧を行うこと。

2. 新たに設ける床開口部は、レントゲン撮影を行い、コア抜きを行うこと。また、モルタル等の不燃材にて閉塞し補修を行うこと。（仕上げ補修も含む）

3. 既設利用する開口部は、新設配管施工後はモルタル等不燃材にて閉塞補修を行うこと。

4. 各居室内の改修期間は極力短縮となるように工事工程を組むこと。

5. 配管の保温撤去において、エルボ・テース部分にアスベストが含まれているため、特記仕様書（2）に準拠し、撤去すること。

6. 配管更新に伴う自動制御用配線は取外し再接続を行い、試運転調整を行うこと。

改修内容

・B1階の冷水水露出配管を先行して新設し、接続替え後に既設管を撤去する。

・B1階の冷却水露出配管を先行して新設し、接続替え後に既設管を撤去する。

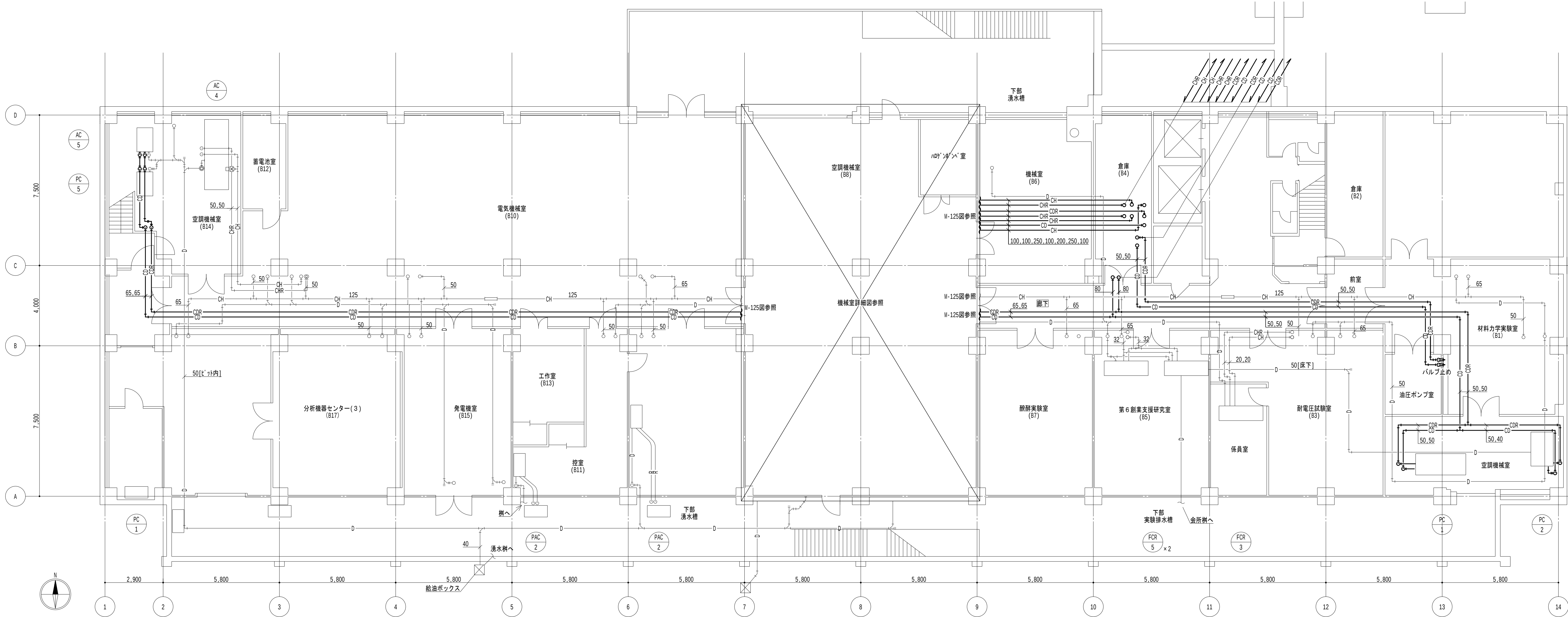
・機械室内の冷水水管及び分岐管を空調機械室内更新手順図の更新ステップを参照して、撤去・新設する。

・機械室内の冷却水管及び分岐管を空調機械室内更新手順図の更新ステップを参照して、撤去・新設する。

・R階の冷却水管を先行して新設し、接続替え後に既設管を撤去する。

空調系統図

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 空調設備 配管系統図（改修・撤去）（その3工事）	縮尺 A1：NOSCALE A3：NOSCALE	図面番号 M-116



B 1 階平面図 1/100

凡例

- 1. 太線は、新設を示す。
- 2. 細線は、既設を示す。
- 3. ★ は、接続箇所を示す。
- 4. [室名] は、天井有を示す。

特記事項

- 1. 特記なきは天井露出配管とする。

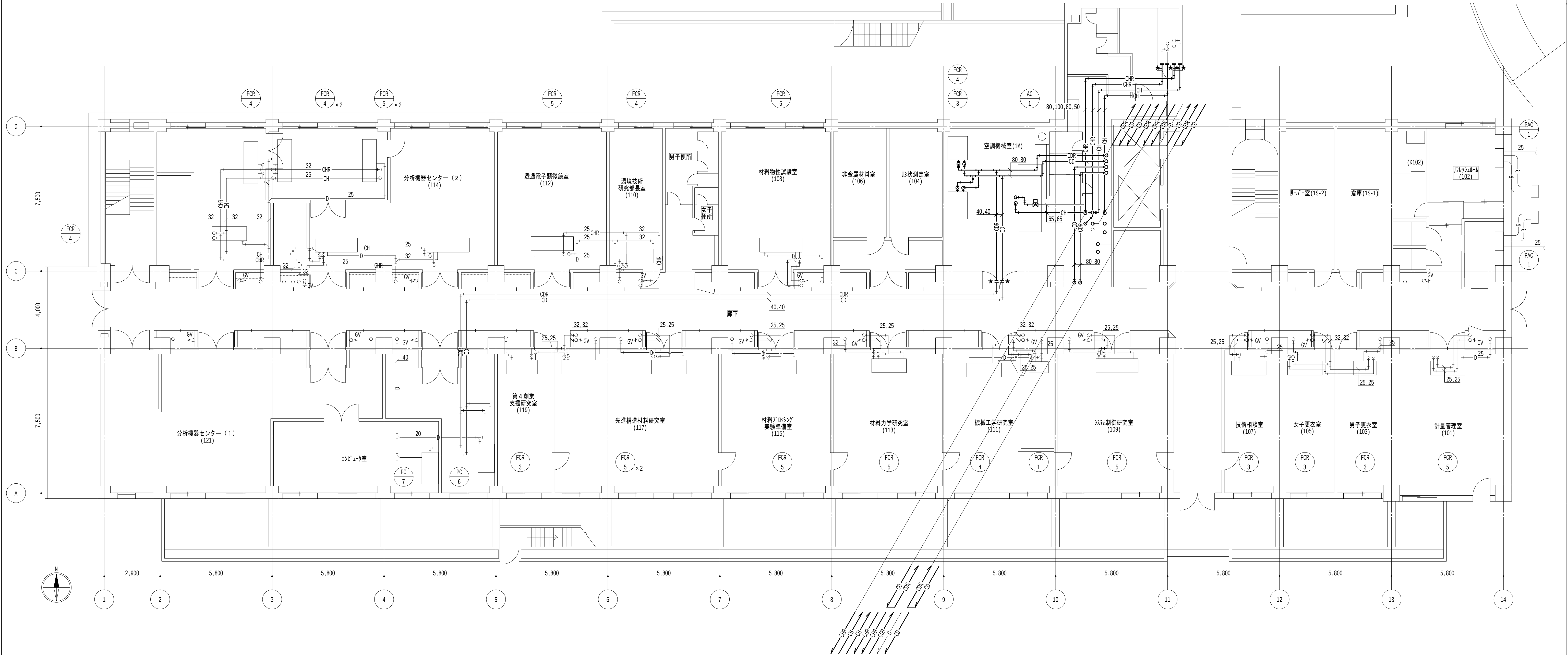
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
空調設備 B 1 階平面図（改修）（その 3 工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200
図面番号
M-117



1 階平面図 1/100

凡例

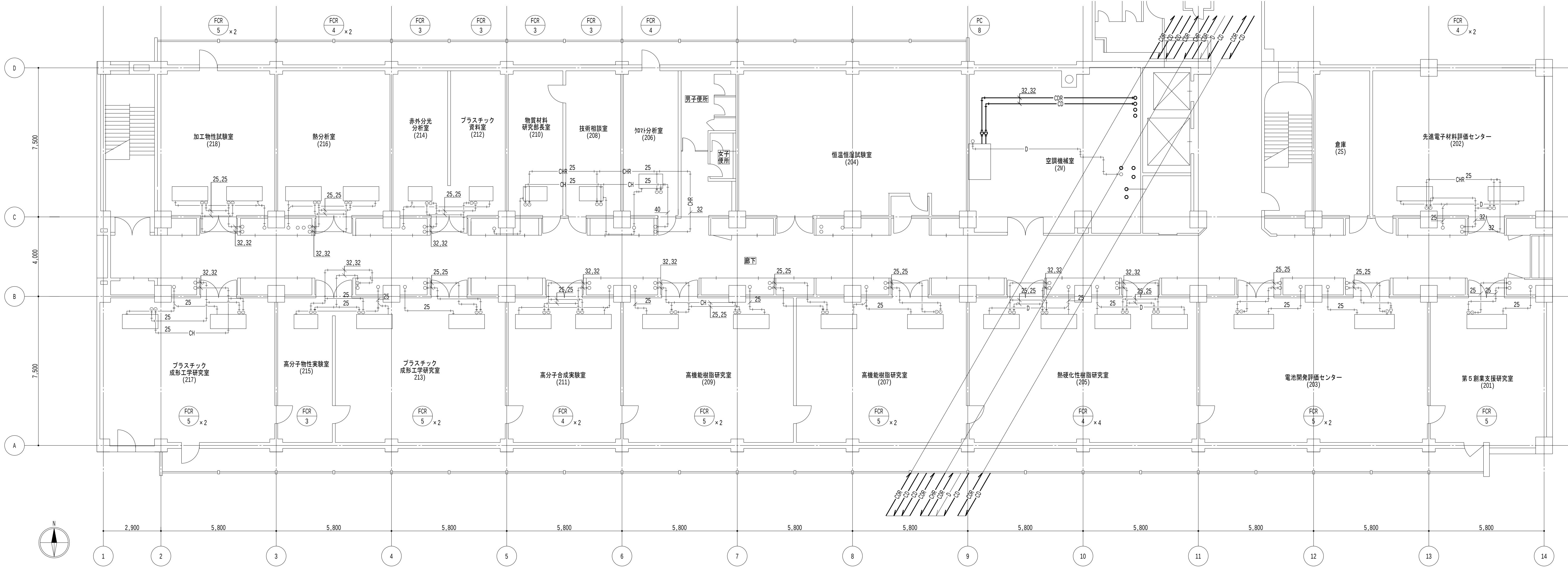
- 1. 太線は、新設を示す。
- 2. 細線は、既設を示す。
- 3. ★は、接続箇所を示す。
- 4. [室名]は、天井有を示す。

特記事項

- 1. 特記なき居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
設計事務所	図面名称 空調設備 1 階平面図（改修）（その3工事）	縮尺 A1：1/100 A3：1/200	図面番号 M-118



2階平面図 1/100

凡例

- 1. — 太線は、新設を示す。
- 2. — 細線は、既設を示す。
- 3. ★ は、接続箇所を示す。
- 4. [室名] は、天井有を示す。

特記事項

- 1. 特記なき居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 2階平面図（改修）（その3工事）

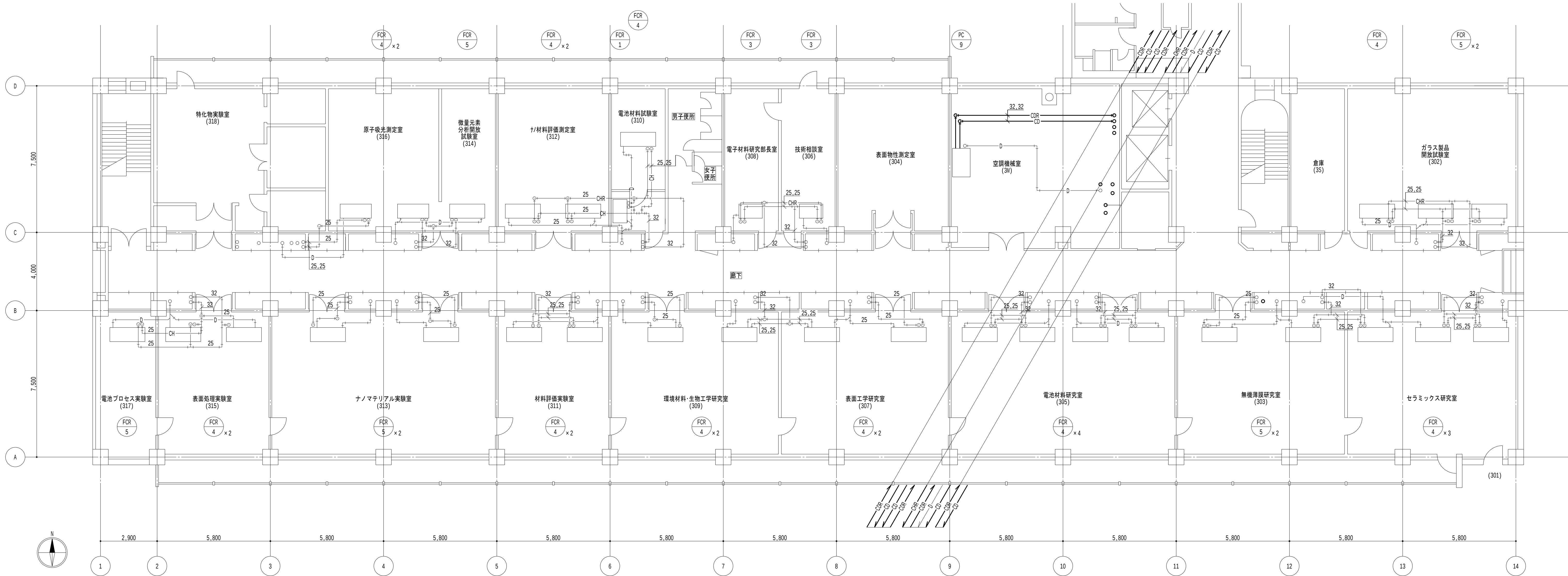
日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-119



3階平面図 1/100

凡例

1. 太線は、新設を示す。
2. 細線は、既設を示す。
3. ★ は、接続箇所を示す。
4. [室名] は、天井有を示す。

特記事項

1. 特記なき居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 3階平面図（改修）（その3工事）

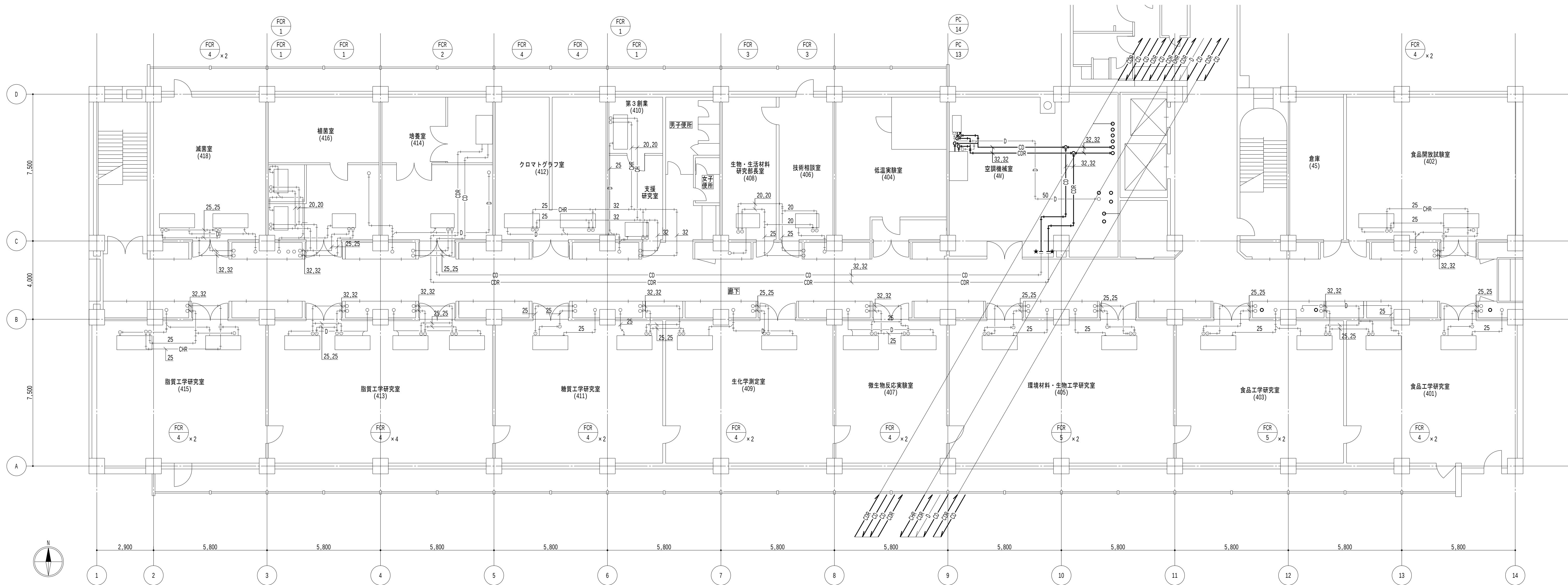
日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-120



4階平面図 1/100

凡例

1. 太線は、新設を示す。
2. 細線は、既設を示す。
3. ★は、接続箇所を示す。
4. [室名]は、天井有を示す。

特記事項

1. 特記なき居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 4階平面図（改修）（その3工事）

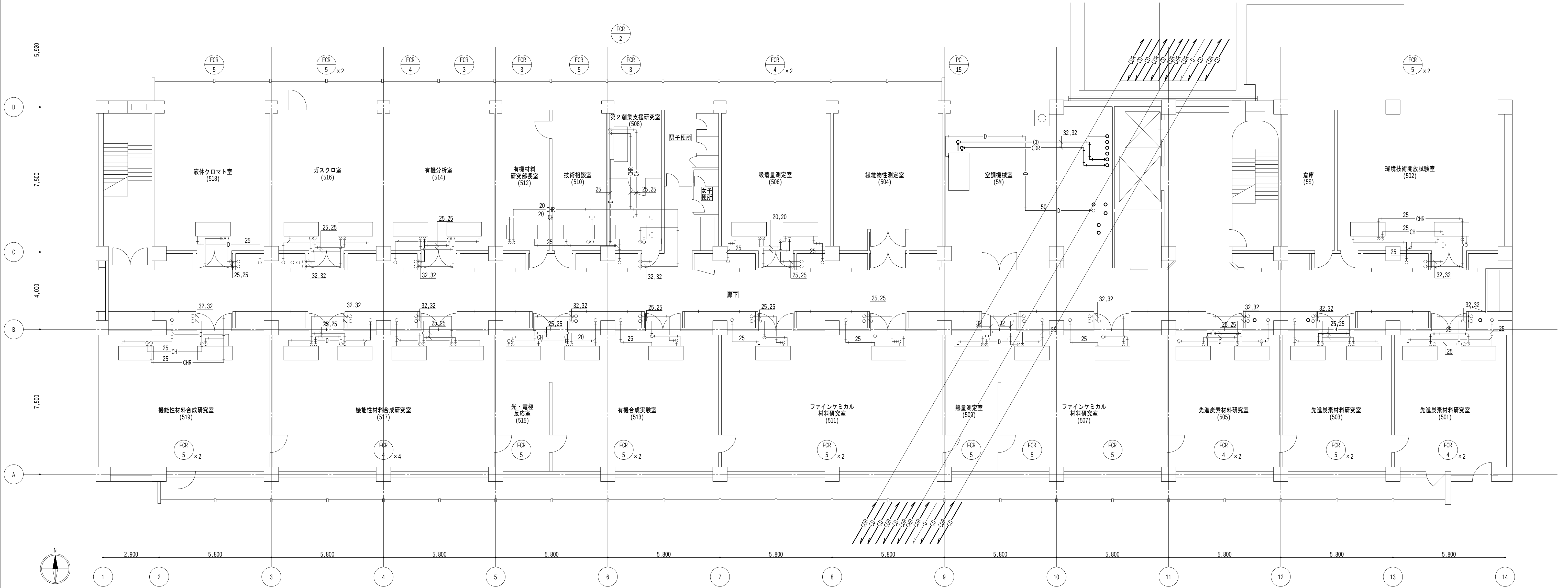
日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-121



5階平面図 1/100

凡例

1. 太線は、新設を示す。
2. 細線は、既設を示す。
3. ★ は、接続箇所を示す。
4. [室名] は、天井有を示す。

特記事項

1. 特記なき居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 5階平面図（改修）（その3工事）

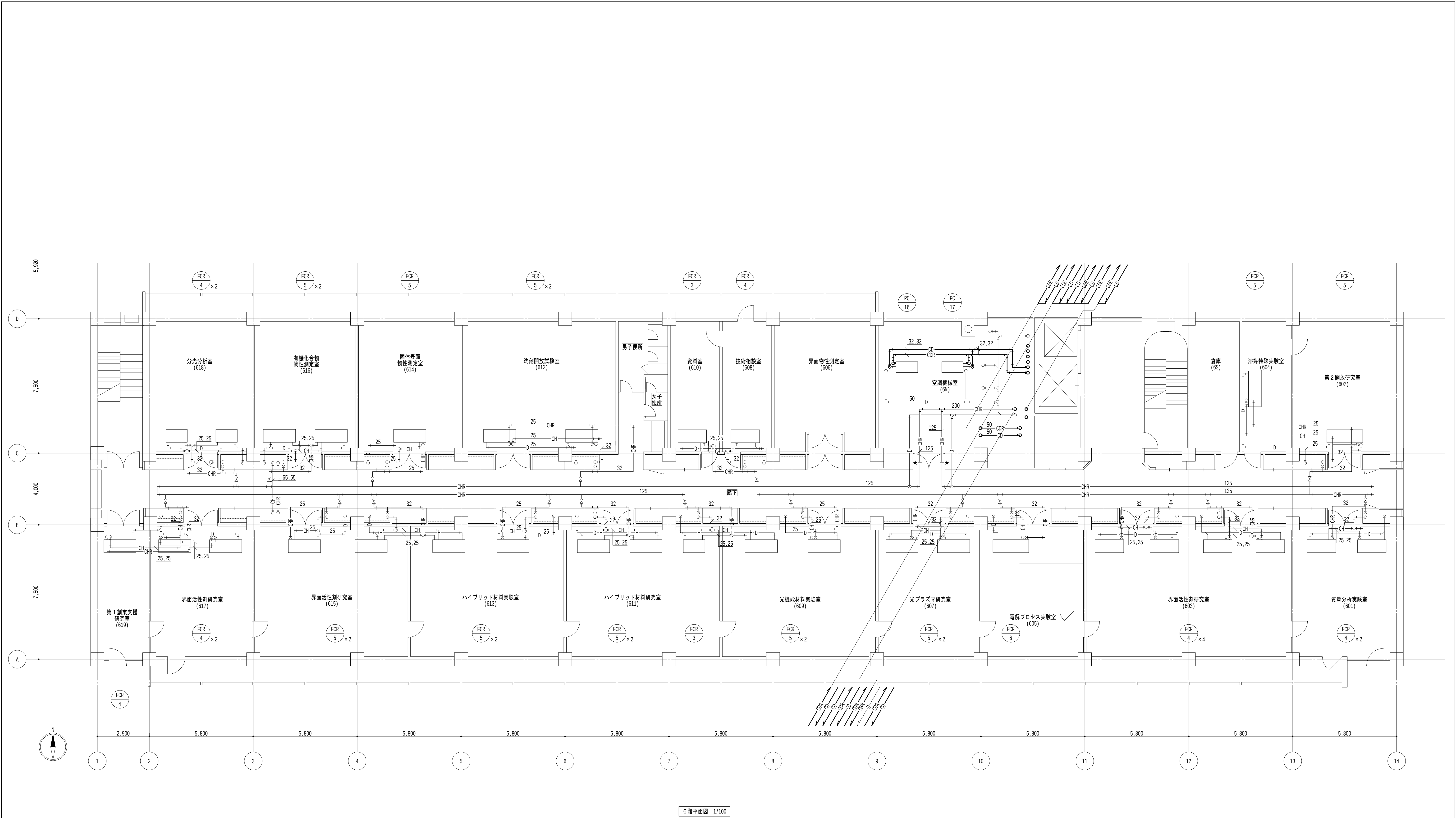
日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-122



6階平面図 1/100

凡例

1. 太線は、新設を示す。
2. 細線は、既設を示す。
3. ★ は、接続箇所を示す。
4. [室名] は、天井有を示す。

特記事項

1. 特記なき居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

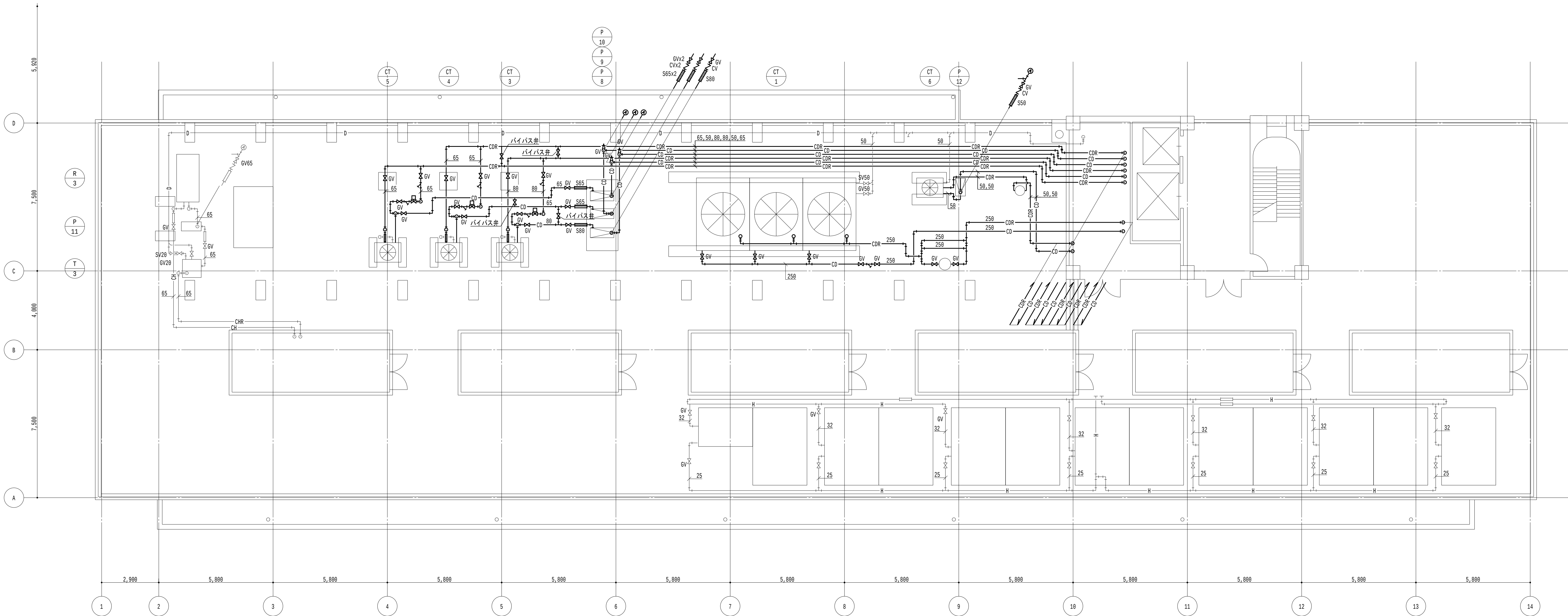
図面名称

空調設備 6階平面図（改修）（その3工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-123



R階平面図 1/100

凡例

- 1. — 太線は、改修を示す。
- 2. — 細線は、既設を示す。
- 3. ★ は、接続箇所を示す。
- 4. [室名] は、天井有を示す。

特記事項

- 1. 特記なきは屋外架空配管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

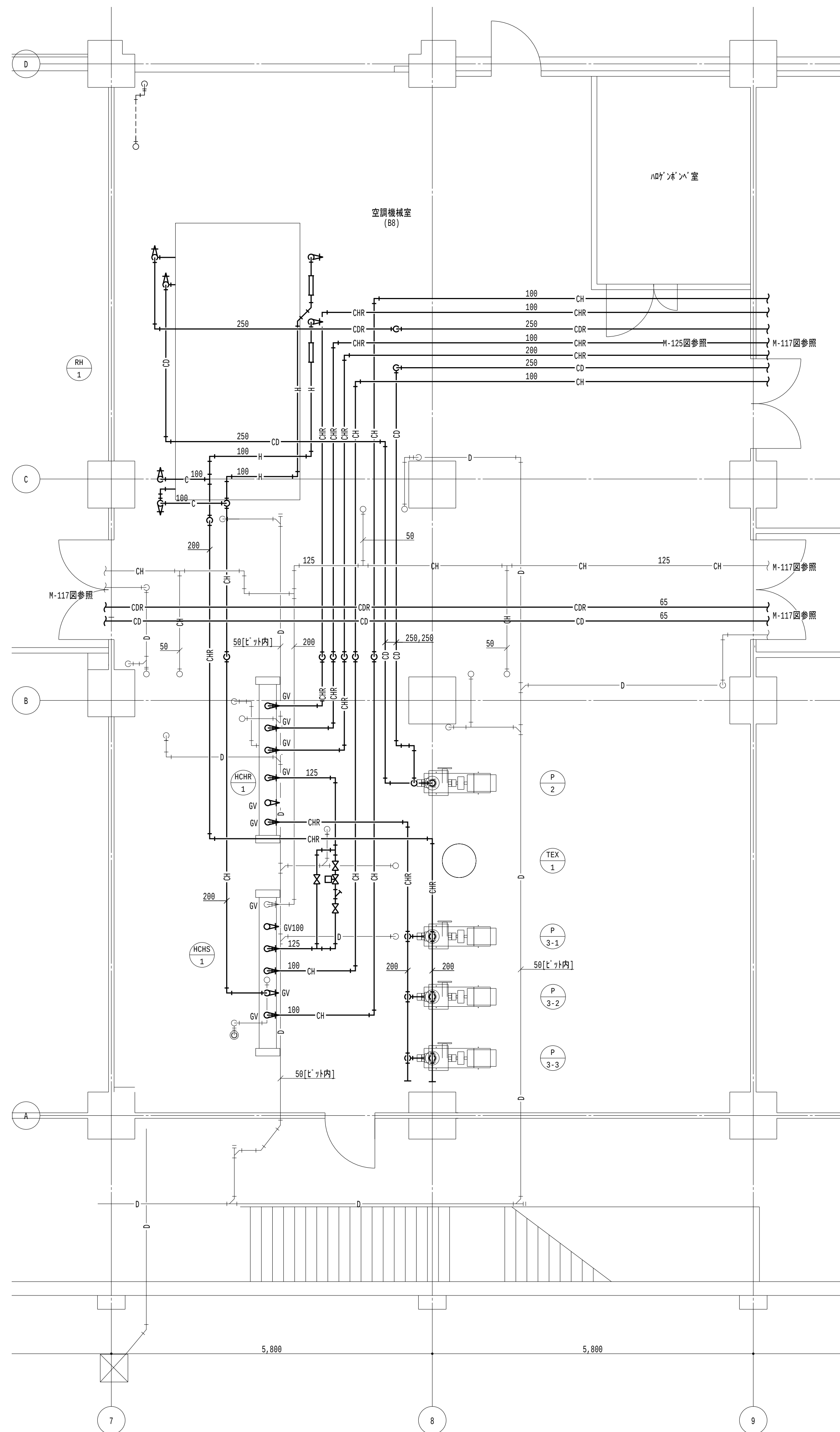
図面名称

空調設備 R階平面図（改修）（その3工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

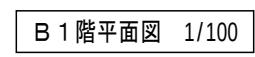
図面番号
M-124



凡例

- 特記事項

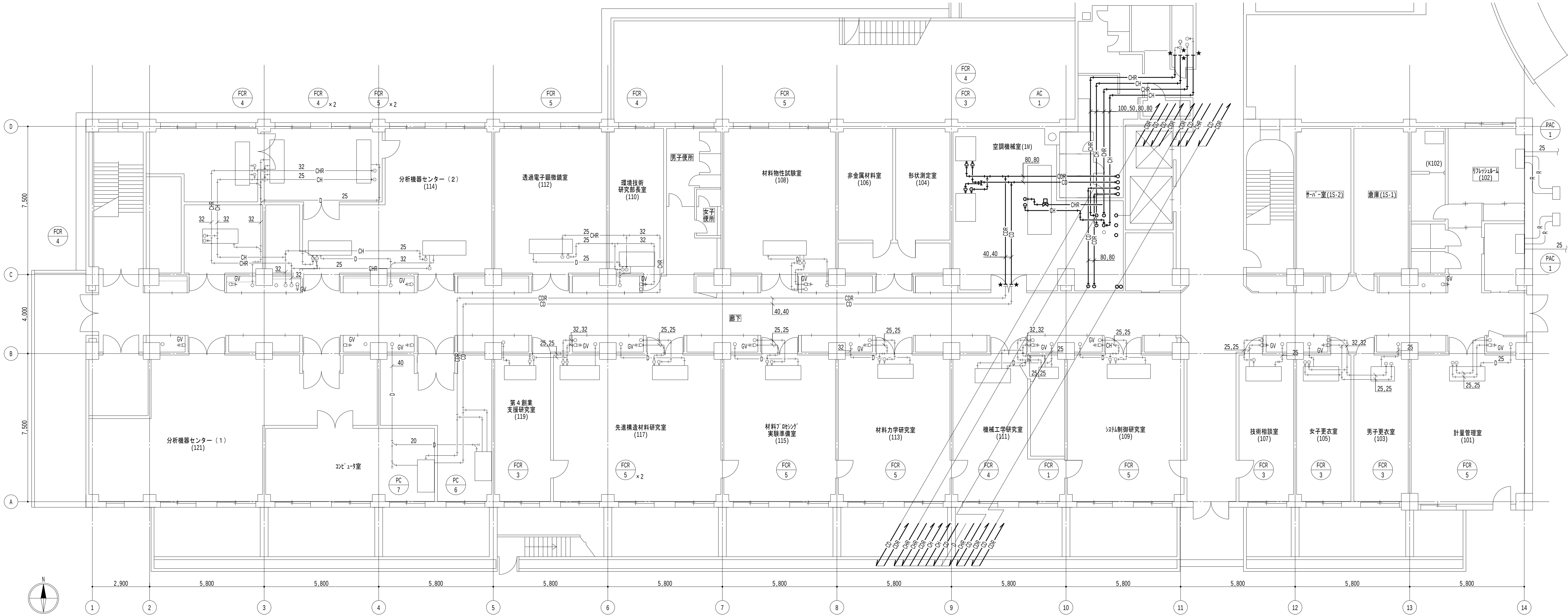
- | | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------|---------------|
| 工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事 | | 日付
2026.8.31 | |
| 設計事務所 | 図面名称
空調設備 B1階機械室詳細図（改修）（その3工事） | 縮尺
A1：1/50
A3：1/100 | 図面番号
M-125 |



1. — 太線は、撤去を示す。
2. — 細線は、残置を示す。
3. ★ は、切断箇所を示す。
4. 室名 は、天井有を示す。

1. 特記なきは天井露出配管とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称		日付	
	大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		2026.8.31	
	設計事務所	図面名称	縮尺	図面番号
		空調設備 B1階平面図(撤去) (その3工事)	A1: 1/100 A3: 1/200	M-126



1 階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切斷箇所を示す。
 - 室名は、天井有を示す。

- 特記事項
- 特記なき居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 1 階平面図（撤去）（その3 工事）

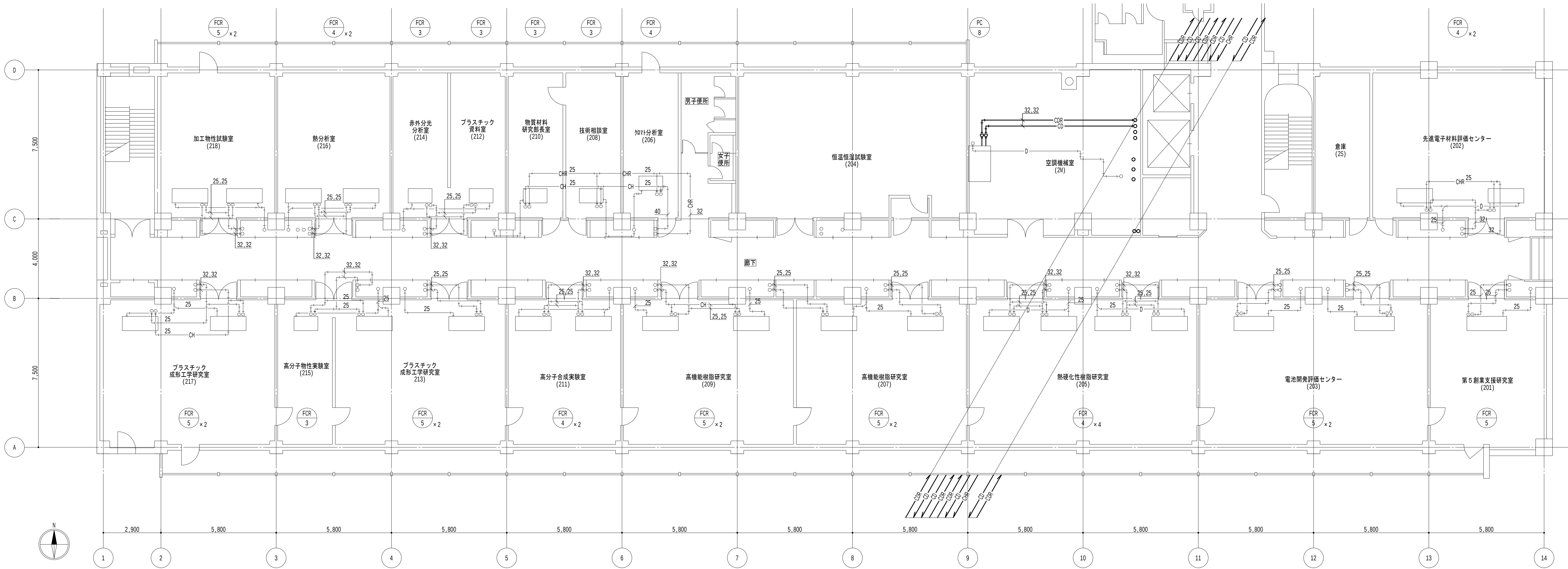
日付
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-127



2階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切斷箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。

- 特記事項
- 特記なき居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

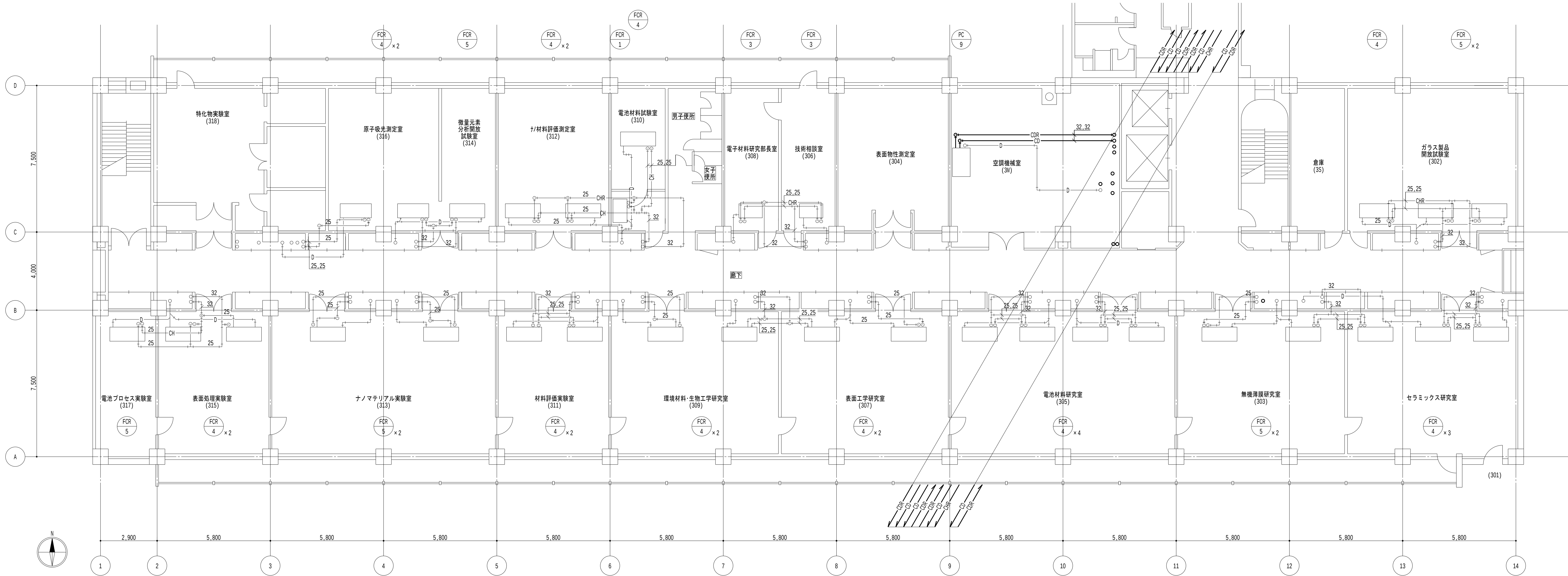
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
空調設備 2階平面図（撤去）（その3工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200
図面番号
M-128



3階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切斷箇所を示す。
 - 〔室名〕は、天井有を示す。

- 特記事項
- 特記なき居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

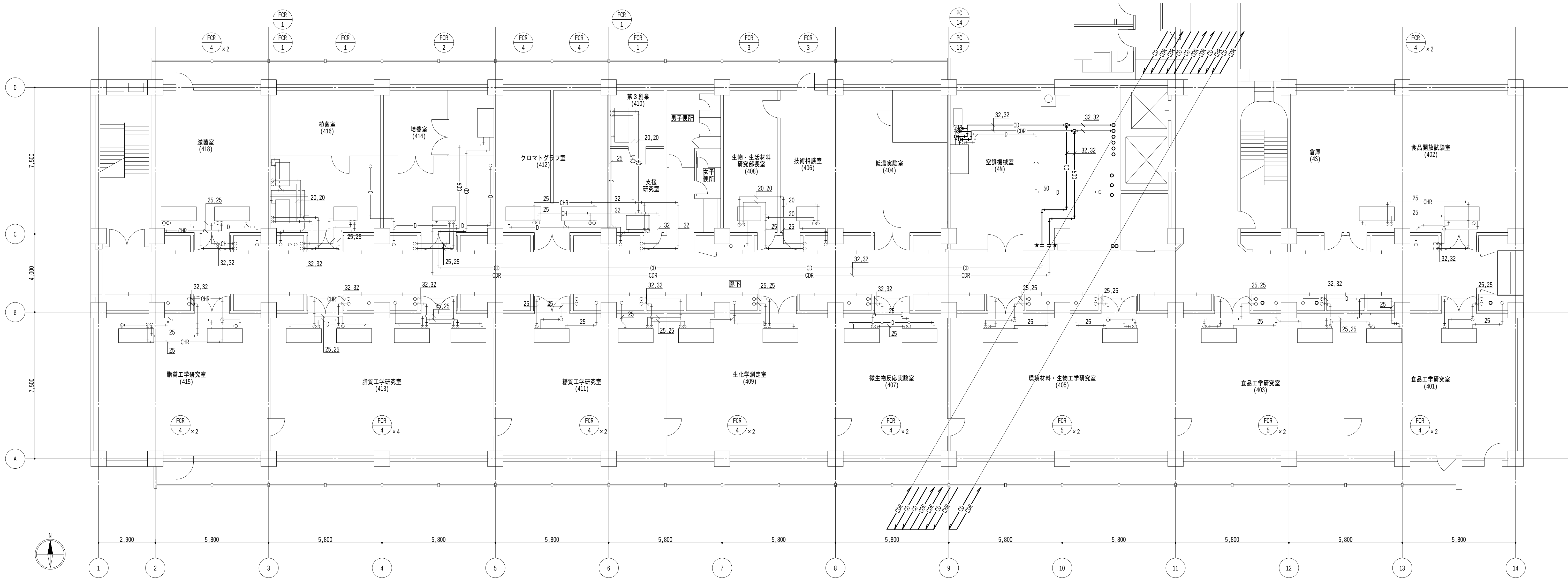
地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所
図面名称
空調設備 3階平面図（撤去）（その3工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200
図面番号
M-129



4 階平面図 1/100

凡例

1. — 太線は、撤去を示す。
2. — 細線は、残置を示す。
3. ★ は、切斷箇所を示す。
4. [室名] は、天井有を示す。

特記事項

1. 特記なき居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称

大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

図面名称

空調設備 4 階平面図（撤去）（その3工事）

日付

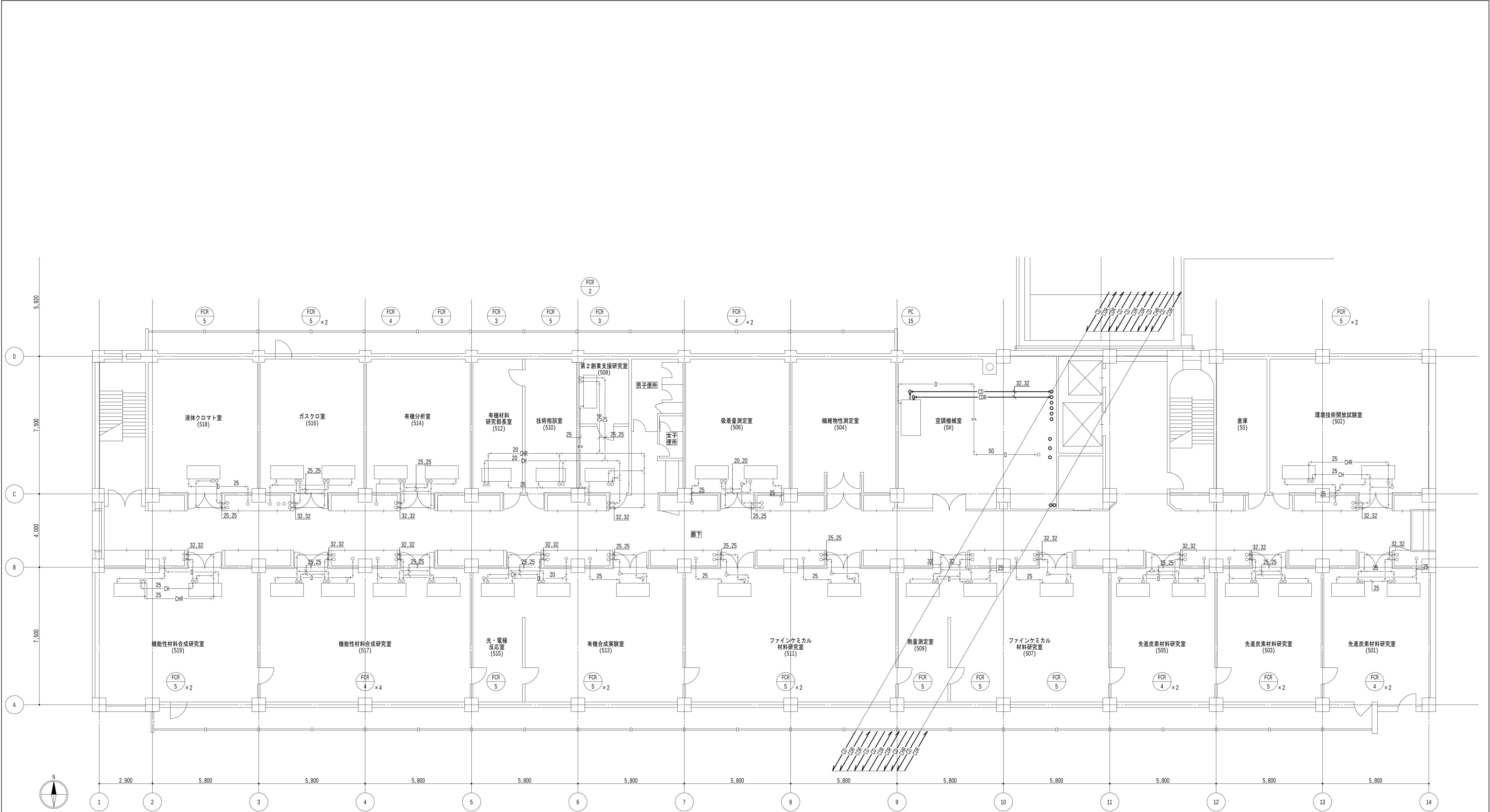
2026.8.31

縮尺

A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号

M-130



5階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切斷箇所を示す。
 - 室名は、天井有を示す。

- 特記事項
- 特記なき居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

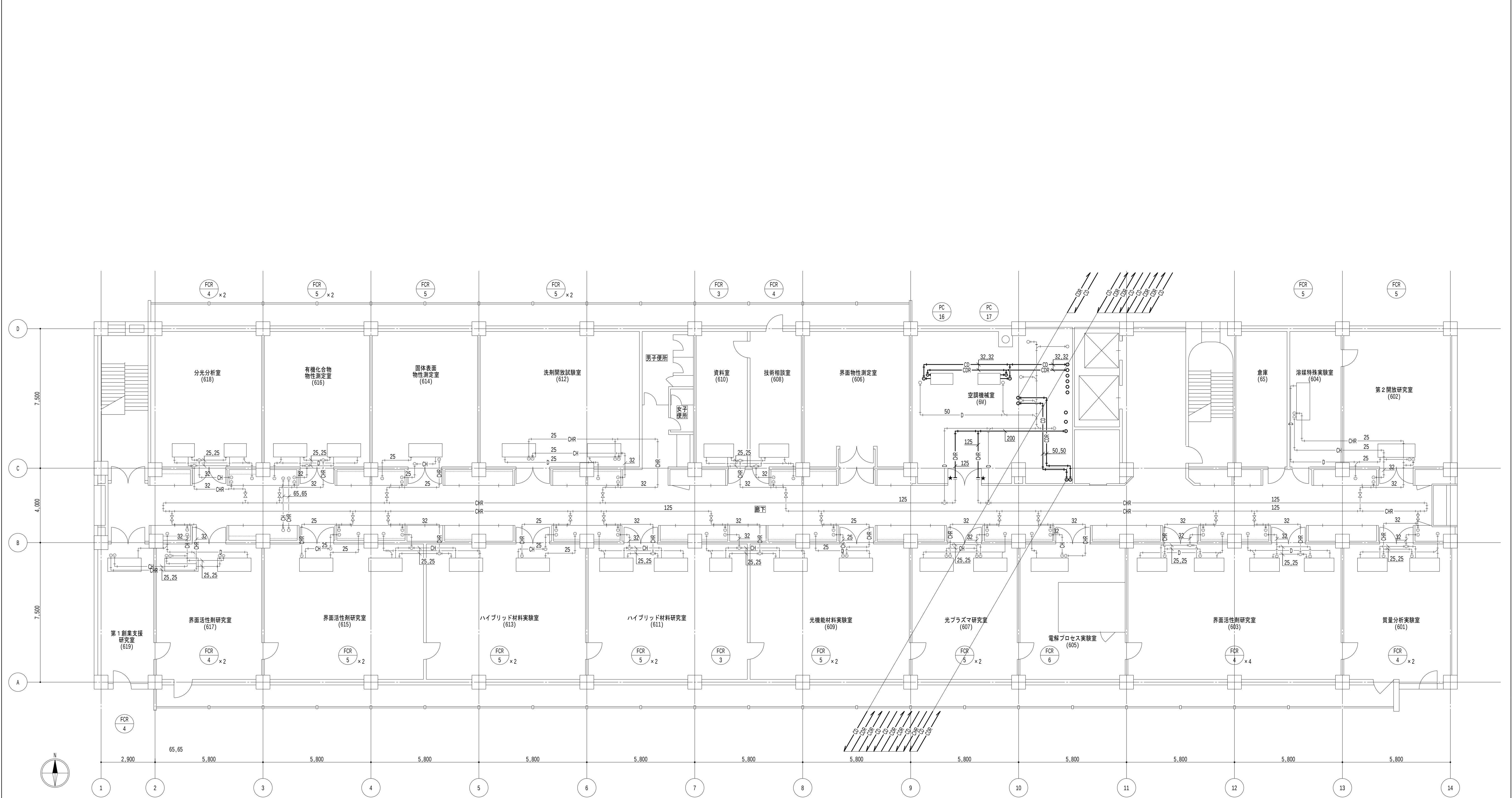
図面名称

空調設備 5階平面図（撤去）（その3工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-131



6階平面図 1/100

- 凡例
1. 太線は、撤去を示す。
 2. 細線は、残置を示す。
 3. ★は、切斷箇所を示す。
 4. 室名は、天井有を示す。

- 特記事項
1. 特記なき居室内は天井露出配管とし、廊下部分は天井内配管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

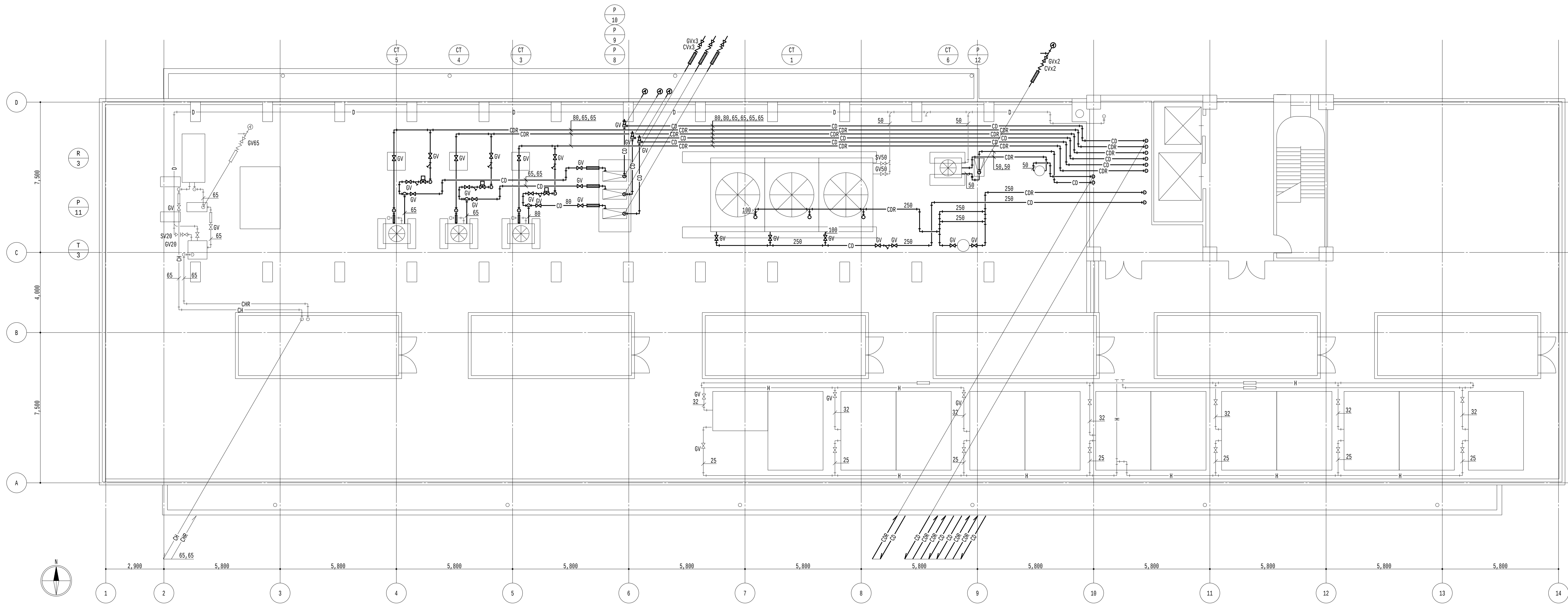
図面名称

空調設備 6階平面図（撤去）（その3工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-132



R階平面図 1/100

- 凡例
- 太線は、撤去を示す。
 - 細線は、残置を示す。
 - ★は、切斷箇所を示す。
 - は、天井有を示す。

- 特記事項
- 特記なきは屋外架空配管とする。

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
森之宮センター

工事名称
大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

設計事務所

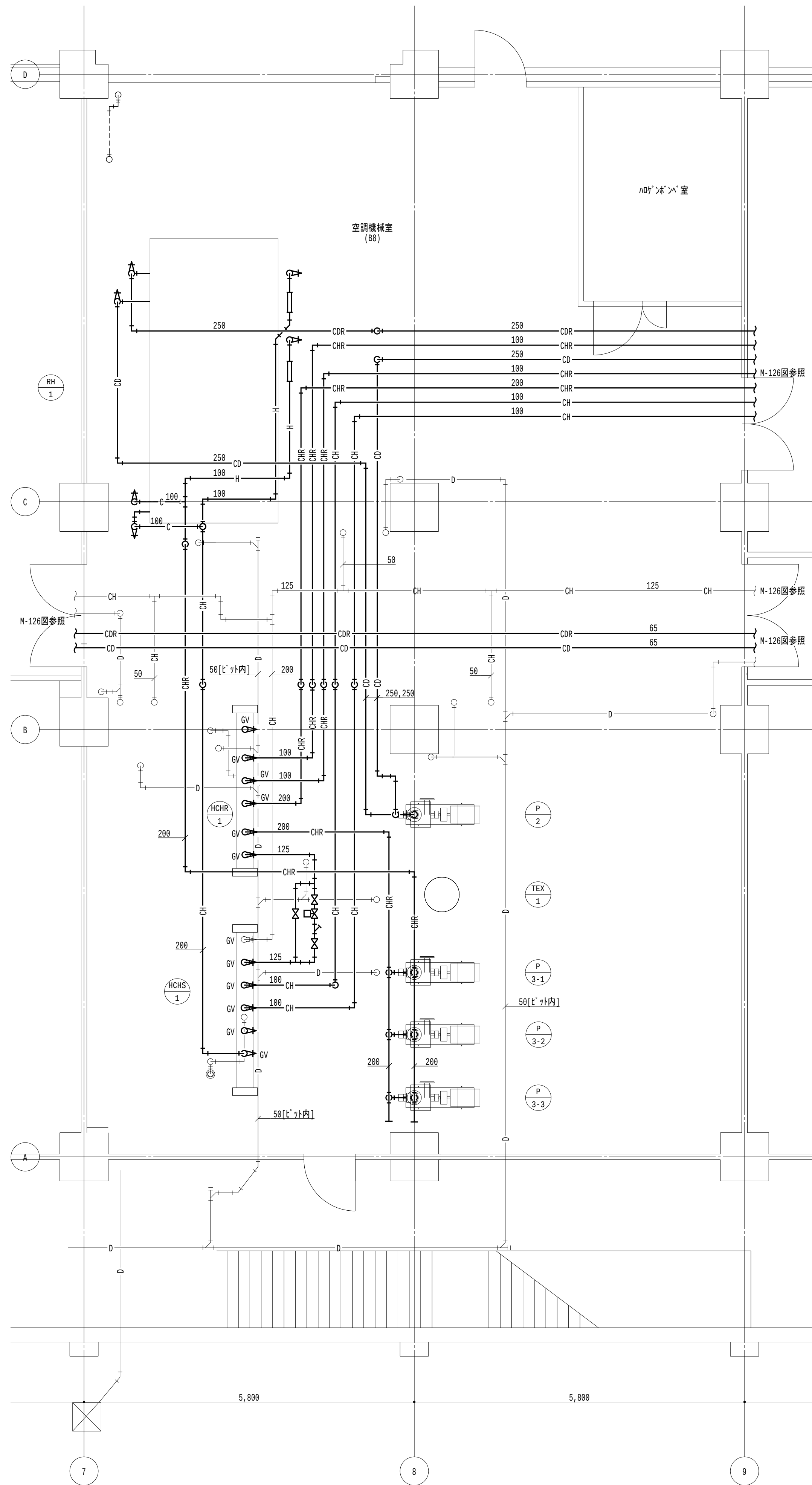
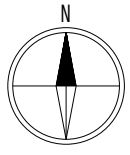
図面名称

空調設備 R階平面図（撤去）（その3工事）

日付
2026.8.31

縮尺
A1 : 1/100
A3 : 1/200

図面番号
M-133



B 1 階機械室詳細図 1/50

凡例

1. — 太線は、撤去を示す。
2. — 細線は、残置を示す。
3. ★ は、切断箇所を示す。
4. [室名] は、天井有を示す。

特記事項

1. 特記なきは天井露出配管とする。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 森之宮センター	工事名称 大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事		日付 2026.8.31	
	設計事務所	図面名称 空調設備 B1階機械室詳細図（撤去）（その3工事）	縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	図面番号 M-134

【その1工事】 工事工程表

[工事内容] ・ソーラーシステムの機器及び配管の撤去を行う。

- ・研究本棟①～⑨通りの各PS内立管及び各居室内器具までの給排水配管の更新を行う。

- ・研究本棟①～⑨通りの各PS内立管及び各室内機までの冷温水配管の更新を行う。

[工事条件] 1. エリア番号は1～6階全てを対象とする。

3. エリアごとに漏水・耐水試験を行う。

大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

		年	令和8年																										
		月	1 か月目				2 か月目				3 か月目				4 か月目				5 か月目				6 か月目						
		週	1 W	2 W	3 W	4 W	1 W	2 W	3 W	4 W	1 W	2 W	3 W	4 W	1 W	2 W	3 W	4 W	1 W	2 W	3 W	4 W	1 W	2 W	3 W	4 W			
機 械 設 備 工 事	準備・検査他	← 現地確認 →				← 施工図・施工計画書作成 →																← 試運転調整・完成検査手直し →							
	空調設備工事					← 配管工事(エリア 1) →				← 配管工事(エリア 2) →				← 配管工事(エリア 3) →				← 配管工事(エリア 4) →				← 雑工事 →							
	衛生設備工事					← 配管工事(エリア 1) →				← 配管工事(エリア 2) →				← 配管工事(エリア 3) →				← 配管工事(エリア 4) →				← 雑工事 →							
	撤去工事					← 撤去工事(ローラー系統) →				← 撤去工事(エリア 1) →				← 撤去工事(エリア 2) →				← 撤去工事(エリア 3) →				← 撤去工事(エリア 4) →							
建 築 工 事	準備・検査他	← 現地確認 →				← 施工図・施工計画書作成 →																← 試運転調整・完成検査手直し →							
	仮設工事									← 内部足場・養生 (105日) →																			
										各階居室内脚立足場				地下1階移動式足場															
備考																													

【その2工事】 工事工程表

大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

[工事内容] ・研究本棟⑨～⑭通りの各PS内立管及び各室内機までの冷温水配管の更新を行う。
・研究本棟の廊下天井内配管及び管理棟の冷温水配管の管更生を行う。

[工事条件] 1. エリア番号は1～6階全てを対象とする。
2. 対象エリア以外は施設利用可能とする。

- ・研究本棟⑨～⑭通りの各PS内立管及び各居室内器具までの給排水配管の更新を行う。
- ・研究本棟及び管理棟の便所系統の給排水配管の管更生を行う。

3. エリアごとに漏水・耐水試験を行う。

	年 月 週	令和9年																												令和10年																			
		4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月			
		1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W												
機 械 設 備 工 事	準備・検査他	現地確認				施工図・施工計画書作成																																											
	空調設備工事																																																
	衛生設備工事																																																
	管更生工事																																																
	撤去工事																																																
建 築 工 事	準備・検査他	現地確認				施工図・施工計画書作成																																											
	仮設工事																																																
	内部改修工事																																																
備考																																																	

【その3工事】 工事工程表

[工事内容]

- ・研究本棟の地階・屋上階及び各階機械室F・研究本棟の地階・屋上階及び各階機械室内の給排水配管の更新を行う。
- ・応用研究棟の給水配管（露出部）の更新を行う。

[工事条件]

1. 冷却水配管の更新は、冬期期間にて行う。

- ・研究本棟の地階・屋上階及び各階機械室内の給排水配管の更新を行う。

大阪産業技術研究所森之宮センター 給排水・空調配管改修工事

	年 月 週	令和10年																												令和11年																																																											
		4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月																																											
		1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W																																												
機械設備工事	準備・検査他	現地確認				施工図・施工計画書作成																																																																																			
	空調設備工事																													配管工事（研究本棟）																																																											
	衛生設備工事																													配管工事（屋外・応用研究棟）								研究本棟（研究本棟）																																																			
	撤去工事																													撤去工事																																																											
建築工事	準備・検査他	現地確認				施工図・施工計画書作成																																																																																			
	仮設工事	その2工事にて施工済				内部足場・養生（420日） B1階機械室内枠組足場																																				解体																																															
備考																																																																																									